

MOBILE SUIT

機動戦士Vガンダム

VICTORY GUNDAM

VOL.2 SHAHKTI'S PRAYER



MOBILE SUIT

機動戦士Vガンダム

VICTORY GUNDAM

VOL.2 SHAHKTI'S PRAYER



CONTENTS

MOBILE SUIT VICTORY GUNDAM

VOL.2 SHAHKTI'S PRAYER



地球圏に住む人類の支配をめざすザンスカール帝国と
それに対抗する神聖軍事同盟「リガ・ミリティア」との
戦乱に巻き込まれた少年たちは、数々の戦場を駆け抜ける中で
しだいに戦士としての成長を遂げていくのだった
ザンスカール軍の「モトラッド艦隊」による地球進攻作戦を
阻止するため、月を離れたホワイトアークは、地球へと降下する
熾烈な戦いは終局へと向かって加速を続けていた……



MOBILE SUIT

MOBILE SUIT OF ZANSCARE Part1	32
MOBILE SUIT OF ZANSCARE Part2	34
MOBILE SUIT OF LEAGUE MILITAIRE	36
MOBILE SUIT GENEALOGY	
LEAGUE MILITAIRE	38
ZANSCARE	40

SPECIAL INTERVIEW

YOSHIYUKI TOMINO	43
DAISUKE SAKAGUCHI	73
YUMI KURODA	75
AKIRA NISHIMORI	67
YASUHIRO SEO	81

THE OFFICIAL ART OF V-GUNDAM

V2-ASSAULT GUNDAM	48	ÜSO / SHAHKTI / ODELO	72
V2-BUSTER GUNDAM	48	HUNGERG / MUBARAC	74
DOMUTTIA / ZOLLIDIA	52	CRONICLE / KATEJINA	78
BRUCKENG / JABACO	54	IQ / RENDA / KUBLAI	80
ZANNECK / GENGAOZO	56	MAZIS /	82
ZOLO / RIG-SHOKEW / BIRKNAU	58	TORRI / NENEKAS	84
GOTTRLATAN / RIG-CONTIO	60	ART WORKS	
ANGEL HALO / JEANNE D'ARC	66	HAJIME KATOKI	50
WHITE ARC / BOAT & VEHICLE	68	JUNYA ISHIGAKI	62
		HIROSHI OUSAKA	76
SPACE FLEETS COMPARISON	70		
ORGANIZATION CHART	86		
オールキャラクターを時間の流れに合わせて組織別にわかりやすく徹底的に紹介するぞ /			
LOG FILE BATTLE & MOVE FIELD MAP	90		
ウッソを中心にリガ・ミリティアとザンスカールの戦いのすべてを詳細MAPで解説			
100%ENCYCLOPEDIA	96		
お待ちせ / ガンダム用語のすべてを初心者からマニアまで納得いく解説でまとめたぞ			
DATA OF VICTORY GUNDAM	100		
33話から最終回までの後半19話分のデータとストーリーを各話設定入りで紹介			

CONTENTS

NEWTYPE100% COLLECTION VICTORY GUNDAM Vol.2

S H A H K T I ' S P R A Y E R

REENTRY TO THE EARTH.....8

敵モトラッド艦隊を追うリーンホースJr.のMS部隊を、巨大MA「ドッゴラ」が待ち受ける

DEFENSE UNDER THE SEA.....10

戦いのステージは再度地球へ！海底都市「アンダーブック」を巻き込み、激しい海戦が始まる

MOTORAD ROLLING ON.....12

ついに開始されたモトラッド艦隊による地上制圧作戦。大地を揺るがす異形の艦が人々を蹂躞する！

TWINRAD ON THE NORTH SEA.....14

北海を渡るホワイトアークに、休戦協定を破ったドッカー・イクの部隊が迫る！

SPECIAL ATTACK OF ZOLO FORCE.....16

ホワイトアークを倒すため、ベスバのマチス隊は決死の攻撃を仕掛けるが……

DECISIVE BATTLE.....18

AROUND ANGEL HALO

ザンスカール軍の新たな動きをキャッチし、リーンホースJr.の部隊は再び宇宙へと向かった

LOVERS WHY THEY FIGHT EACH OTHER.....20

愛し合うがゆえに生まれた悲劇。戦場に散った恋人たちの魂

ASSAULT EVOLUTION VICTORY 2.....22

リガ・ミリティアの新たな力の象徴。その名も「V2アサルト・バスター」！

LAST JUDGMENT.....24

ON DEVILISH FIGHTER

ウツソを執拗に狙うファラ。死刑執行人の鈴の音が戦場となった宇宙に妖しく鳴り響く

PRAYER FOR DYING SOLDIER.....26

激しい戦いの中、散っていく人々の魂。シャクティの祈りは死にゆく者たちへの鎮魂歌なのか？

FATEFUL FIGHT.....28

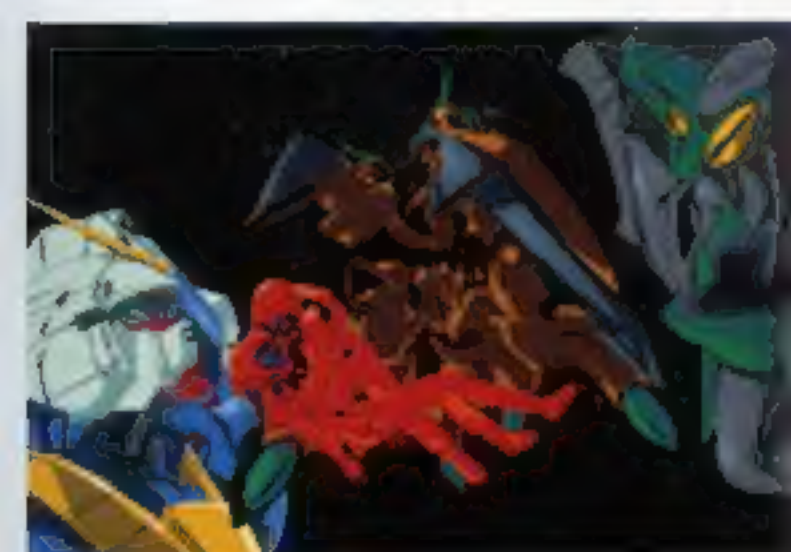
USO AGAINST CRONICLE AND KATEJINA

戦いはついに最終局面へ！ウツソ、クロノクル、カテジナ、それぞれの運命の行方は！？

MOTHER EARTH.....30

WE LIVE ON KASARERIA

カサレリア——ここから物語は始まり、そしてこの地で静かに幕を降ろす……





SHAKTI'S PRAYER

宇宙に戦火の絶えることなく、「革新」への道程はいまだ遠い……
憎しみを消せずに、同じ過ちを繰り返す人間の哀しみを受けとめて
ひとり天使の輪の上で祈りを捧げる運命の少女——シャクティ
彼女の祈りは、人々の魂を何処へ導いていくというのだろうか？



REENTRY TO THE EARTH

地球へ向かうモトラッド艦隊の動きを阻止するため、ウッソたちはクロノクルの乗艦「アドラステア」に対し、奇襲攻撃を仕掛けようと出撃する。だがその前に、巨大なMA「ドッグーラ」と、カテジナの率いる敵MS部隊が立ちふさがった！ドッグーラの猛攻にウッソたちは苦戦を強いられる。

DOGGORLA

●ドッグーラ

竜のような形態の巨大MA。その自在に可動する「テールラッド」と呼ばれる長大な胴体部は、強力なビーム砲を装備した5対の腕をもち、攻撃を受けた場合にも脱落したブロックだけを切り離すことでそのまます戦いを継続することができる。



地球へ向かうモトラッド艦隊の後を追って月面を離れた「グリーンホースJr.」は、損傷した艦体の修理と補給のためにドック艦「メリリン」と接触したクロノクルの乗艦「アドラステア」に対し奇襲攻撃を仕掛けるべく、ウッソたちMS部隊を発進させる。

敵ドック艦「メリリン」に迫るリガ・ミリティアのMS部隊。だが追撃を予測していたクロノクルは、すでにカテジナの率いるシュバツラッド隊と、MA「ドッゴラ」による迎撃部隊を展開していた。奇襲に失敗したウッソたちは、戦いに不慣れたトマーシュとオデロを戦列に加えていたこともあり、思わぬ苦戦を強いられる。

さながら竜（ドラゴン）のような長大な機体を操り、変幻自在の攻撃を繰り出すドッゴラの前に翻弄されるウッソたち。本来ならば未熟なオデロたちを援護するはずのマーベットまでもが2人を囷にしたような戦い方をしてしまう。

必死の連携プレーによってドッゴラの動きをとらえ、かろうじて撃破することのできたウッソたちであったが、この戦闘の間に補給を終えたアドラステアとモトラッド艦隊は、再び地球へ向けて移動を開始していた。

DEFENSE

UNDER THE SEA

戦いのステージは再度地球へと戻り、そして海底へ
モトラッド艦隊を追って地上へと降下したリーンホースJr.に
MA"ドッゴラ"の黒く巨大な影が海中から忍び寄り、
海底都市を巻き込み、激しい海戦の幕が上がった！

ADRASTEIA

アドラステア

クロノクルがみずから開発したアドラステアは、中継基地や補給基地として、海底都市を航行するたての艦隊であり、海底都市の防衛に力を入れる。その最大の武器は、地上のあらゆるものを破壊する、超強力なレーザー砲である。

モトラッド艦隊のあとを追って、地球に降下したリーンホースJr.は、メキシコ湾上に浮かぶ人工海洋都市“アンダーフック”に入港する。しかしそこは、地球のマリア主義信奉者たちが暗躍する街でもあった。

ホワイトアークのクルーたちとともに街に出ていたシャクティは、アンダーフックのマリア主義者と協力したカテシナによって拉致されてしまう。異状に気付いたウッソたちがマリア主義者たちのアジトへと駆けつけたそのとき、敵艦隊の攻撃が始まり、迎撃のためウッソは出撃を余儀なくされる。

海中からリーンホースJr.に迫るMA"ドッゴラ"に対し、水中では本来の性能を発揮できず、思うように戦えないウッソのV2ザンスカル軍の容赦ない攻撃は、戦場となったアンダーフック自体をも崩壊の危機に陥れる。市民を戦いに巻き込む敵の攻撃に、激しい怒りを覚えるウッソ。水の中での戦いに不利を悟ったウッソは、オデロたちとの連携プレーによって、海中に潜むドッゴラを海面上へと誘い出し、かろうじてこれを撃破する……。だがその戦いの間に、シャクティを乗せたマリア主義者たちの潜水艇はクロノクルの乗艦“アドラステア”と合流していた。

illustrated by TAKAHIRO YAMADA







母とシャクティの救出のため、ウツソは捕虜となった敵バネロッド・ゴズ・パールを利用して敵艦への潜入を企てるが……

MOTORAD

ROLLING ON

地球の人々を粛清するため、ついにモトラッド艦隊による無差別地上攻撃「ローラー作戦」が開始された。地上のすべてを蹂躞する敵艦隊に、決死の抵抗を試みる「ガ・ミリティア」そして激戦の中、ウツソの目の前で、母ミューラの命が戦場に散る……

モトラッド艦隊による地上制圧作戦「ローラー作戦」が始まった。メキシコ湾東岸に上陸を開始したモトラッド艦隊は、文字どおりその巨大な船の下に山を、街を、そして人々を平穏に破壊し、大地を焦土にしていく。ウツソはMS部隊に命を懸かせ、敵艦の足を止めようと試みるが、核爆発の威力をもうけても、敵艦隊の進軍を食い止めることはできなかった。

激しい戦闘が続く中、敵艦の船窓に母の姿を見つけ出したウツソは、オデロらとともに捕らえられたミューラとシャクティを助け出すため、敵艦「アドラステア」へと潜入。シャクティの救出には成功するが、ウツソたちを逃がすためにミューラは再び捕虜となり、功を焦った敵バネロッド・ゴズ・パールの卑劣な策謀によって「人間の盾」として利用されてしまう。仲間たちの犠牲をうけ、人質となった母を助けようとするウツソは、その日、ゴズ・パールのMS「ソリディエ」は手のひらの中にミューラを握りしめたまま、モトラッド艦隊の襲撃に巻き込まれ押し潰されてしまう。

母の死を目のあたりにし、激情にかられるウツソ。だがその直後、停戦協定が発効され、戦場は一時の静寂に包まれるのだった……



合戦の最中、ミューラを人質に取ったゴズ・ドールのMSはアドラステアの平面上で戦場に於いて、暴走してしまふ

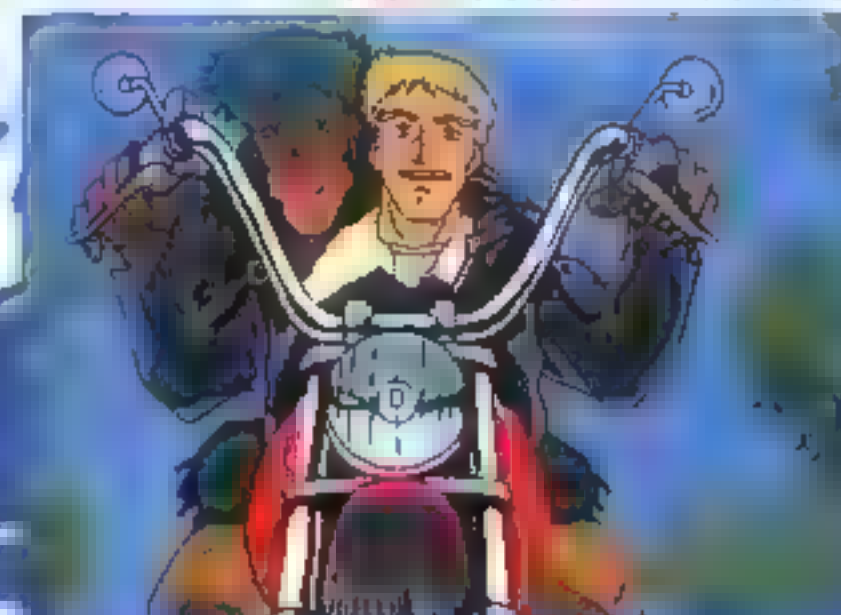


カサレリアをめざし、洋上をいくホワイトアークに
艦隊を離れ、単独行動をとるトゥッカーイクの部隊が迫る
北海を血の色に染めて繰り広げられる闘い
大海原に散ったバイク乗り之魂が、帰るべき故郷はどこか?

[illegible]



戦いの合間の一時の安らぎ——レ
ンダのひそかな夢に、ドゥカーイク
はみずからの夢を重ね合わせる。2
人が暮らすための小さな家。たが彼
らのそんなささやかな願いも、戦い
の渦中にかき消されていくのだった



Illustrated by TAKAHIRO YAMADA

SPECIAL ATTACK OF ZOLO FORCE

懐かしいカサレリアに戻り、つかの間の休息を得た
ウッソたち「ホワイトアーク」のクルー
だがそこへマチス・ワーカー大尉の率いる
ベスバのMS部隊が攻撃を仕掛ける
捨て身の敵の姿を前にウッソは、
強すぎる自分自身の力に戸惑いを感じるのだった



ベスバの士官、マチス・ワーカーは第1の敵軍となつたカサレリアの地を「守る」ために、ホワイトアークに襲いを掛ける



合戦の地であるウッソたちに敵軍を拒くマチスの家族、だが
知てあるマチスを手早く黙らせたことを知り、心を閉す





衛星軌道上から飛来した

高空攻撃に、新たな戦

立ったウッソとホフ

たのは、ザンスカー

ガ・ミリティアと地球連

合軍のシン・ジツ・

ハンゲルグ・エヴィン

建設が進むザンス

カー・ミリティア軍の最

終決戦のため、

ミリティア軍合艦隊

するビビニーデ

が開始される

として、あく

でいた。そん

ルベ・シノ。

生き延び

隊を破り

のしさを

には、

の鳴ら



DECISIVE BATTLE AROUND ANGEL HALO

物語の舞台は再び宇宙へ——
ウッソの父ハンゲルグ・エヴィンとの再会
みずからの命運をかけ、決死の戦いを挑む
ビビニーデン、そしてルベ・シノ
そして、宇宙の暗闇の中から帰還したファラ
人々の思いが錯綜する宇宙に、決戦の刻が迫る！

Illustrated by HIROSHI OUSAKA
and HIROYUKI YAMADA

ついに父、ハンゲルグと再会したウッソだったが、リガ・ミリティアのリーダーとして、艦隊の指揮を執る父はウッソに父親らしい姿を見せてはくれない……

BIRKNAU

①ビルケナウ

ザンスカールの試作機。ザンネックとザンネックの試作機と対戦。この機体により、ザンネックの試作機は、ザンネックの試作機を倒した。ザンネックの試作機は、ザンネックの試作機を倒した。ザンネックの試作機は、ザンネックの試作機を倒した。

ZANNECK

②ザンネック

復活したフアラの試作機。MS、カイラス・ギリーのMS。機とともいえる圧倒的威力を誇る。ザンネック・キャンパルと呼ばれる大型ビーム砲を装備する。四角の形状のビームは、強力なビームの発生に必要な電子加減速となっている。

ザンネックの試作機、ビルケナウの試作機と対戦。それぞれの野心が、それぞれの思いが、戦場となった宇宙に燃える。気はなぜ、みずから背負った「業」を燃えて生きていくことができないのだろうか。

LOVERS

WHY THEY FIGHT EACH OTHER

リーンホースJr.の艦隊との合流が不可能となったホワイトアークは、やむをえず敵の巨大要塞「エンジェル・ハイロウ」の空域へと向かっていた。そのホワイトアークの臨検に現われたのは、ザンスカールの近衛師団士官キスハールとカリンガ——2人の若い恋人たちであった。

Illustrated by YASUHIRO SEG.



キスハール・バグワットとカリンガ・ゾーグル。理解が生み出した理解とはいえない。愛し合う恋人同士がなぜ、悲劇的な戦いを演じなければならなかったのだろう？ 戦いの非情さに、ウツはやはり悔いのない戦いを抱えることができない。

●リグ・シャッコー近接戦闘用
ザンスカーの近接戦闘用の使用
するMS。リグ・シャッコーをベースに
した機体だが、一般型にはない大型の
シールドとメタルラップ、と呼ばれる流
注装置の搭載をもつ。これらはあくまで
近接戦闘の際に用達を助けた装置である。

●リグ・シャッコー近接戦闘用
ザンスカーの近接戦闘用の使用
するMS。リグ・シャッコーをベースに
した機体だが、一般型にはない大型の
シールドとメタルラップ、と呼ばれる流
注装置の搭載をもつ。これらはあくまで
近接戦闘の際に用達を助けた装置である。

巨大要塞兵器「エッジ」を
進入してしまったホワイトの
ル近衛衛隊の襲撃を受けてい
った。ツツたちを、ホワイトブ
スハールとカリシガ、サイ
ジェル、ハイロウに送り出す
ルー3へと案内する。その最
中に、抱いたシャクティの心は
とろとなり、カガミは侵入者、襲撃も
自分たちが侵入者の手引に
に気付いたキスハールだっ
に捕らえられてしまう。だが
ールに、シャクティは自分の
リアのもとへ連れて行ってく
だった。シャクティを乗せて
れたキスハール機に迫る。恋人を奪
こまされたカリシガ。それに気付
人の戦いをやめさせようとするが、その最
ラの「ゲンガオゾ」が立ち上がった。そして恋
人たちは、互いに気付かないままに刺し違ひとな
って宇宙に散っていくのだった……。ファラに捕
獲されたシャクティは、自分こそがこの悲しい戦
いをやめさせなければならないと誓う。

EVOLUTION VICTORY 2

軍事大佐の「新装備による
 の」は、両軍の「戦場の中
 新装備がガビーンを駆使し、
 重量あがっている
 だが、
 と戦力な
 には地
 下鉄道の
 再び「
 一方その、戦艦隊の後方
 軍事大佐は、ハザロウが
 いていた。集められた大勢のサ
 ちの敵となるため、エンジェル
 ルテムに入り、祈りは人々を
 人々の平和を願う。エンジェル
 の「サ」システムによって増強さ
 戦場の状態にまで運行させる思
 と、



「サルトとバスター」2つのオプションを同時に装備した
場合、攻撃に最高レベルの威力を備えた最強のMSとなる

Illustrated by NAJIME KATOKI



ASSAULT GUNDAM

●V2アサルトガンダム
 機体上部の大型ビームキャノンを
 テレポリングの施された
 ガビオンシールド
 搭載型MSの
 となった

V2-BUSTER GUNDAM

●V2バスターガンダム
 ミナフスカードライブユニットの上座す
 れた長距離攻撃用のメガビームキャノンを
 搭載用のスプレービームランチャーを装備し
 V2バスター。は、その名の示すとおり強大
 な火力で戦場を制圧する重攻撃強化機である





自分自身のエゴを、むきだしにしてぶつかってくるファラに、ウツソは激しい悔意を覚え、強い怒りの意思を表す。

連合艦隊の猛攻の前に、自艦隊の不利を悟ったタシロは、かねてから不信を抱いていたカガチに対して反乱を決意。単独で「エンジェル・ハイロウ」へと赴いたタシロはキールームで祈りをささげる女王マリアを自艦「シュバッテン」に拉致する。

「エンジェル・ハイロウ」を使ったカガチの本当の目的をタシロから聞かされ、動揺するマリア。シャクティを救出するため、戦場に出ていたウツソは、そんなマリアの心の声に感応し、女王を救出するため、シュバッテンへと向かう。だがその前に、新型MS「ゲンガオゾ」で出撃したファラの鬼気迫る姿が立ちふさがった。ファラの執拗な攻撃にしだいに追いつめられるウツソ。

間一髪ウツソの危機を救ったのは、ファラの鳴らす鈴の音に導かれて駆けつけたマーベット機だった。ウツソは、マーベットの中に宿るもうひとつの命の存在に驚愕したファラの一瞬のすきを突いて、ついにゲンガオゾを撃破する。しかし、戦いに勝利したはずのウツソの胸には、ただむなしさだけが込み上げてくるのだった。





★「おまえにはメッテエのところに行ってもらいたい。おまえの涙しい笑顔が映る中、ファラの叫びが宇宙に響く」



GENGAOZO

モビルスーツ

ファラ・グリフォンが発見するザンズル軍の新機体。大型の機体にも各々のマルサブルビー・ランチャーを装備した。また、高機動性のある大型ブースターを備え、その大威力を生かした攻撃によって、ザンズルの基地を破壊した。

LAST JUDGMENT

ON DEVILISH FIGHTER

戦場に妖しく鳴り響く死刑執行人の鈴の音――
女王マリアの声に導かれ、タシロ艦隊へと向かうウツソの前に
戦場の彗星となったファラが立ちはだかる――
その姿にウツソは、戦いに生きる道を選んだ女の悲しみをみる――



PRAYER FOR DYING SOLDIER

継ぎゆくべき希望を、次なる世代へと託して逝く者
愛する者たちを守るため、みずからの命を投げうつ者
志なかばに倒れる者、そしてみずから背負う業に焼かれる者
——死にゆく者たちの魂は、生き残った者たちに
何を賭けるのか……？何を残すのか……？
“I pray to bring near the new day.”

Illustrated by TETSUYA YANAGISAWA

ザンスカールの女王マリアの魂も、タシロの野望とともに炎の中へ消え、サイコミュー要害「エンジェル・ハイロウ」の核となる女王を失ったカガチは、マリアの身代わりとしてシャクティを新たな女王に迎えようと企てる。だが、エンジェル・ハイロウのもつ危険性に気付いたシャクティは自分の意志でキールームに入ることを選び、祈りはじめるのだった。一方、すでに消耗戦へ突入した戦場では戦士たちが次々と散華していく。老人たちを乗せたリーンホースJr.も、敵艦と刺し通えるようにして沈んでいった……。そしてウツソはシャクティを奪回するため、アサルトV2でひとりエンジェル・ハイロウへと向かう。それを待ち受けるカゲジナの新型MS「ゴトラタン」。みずからの命と引き換えに血路を開いてくれた仲間たちの力によって、エンジェル・ハイロウ内部への侵入を果たしたウツソ。ついにシャクティの救出に成功する。ウツソに従い、一度はエンジェル・ハイロウを離れるシャクティだったが、自分の思念を蓄積したサイキツカーたちがエンジェル・ハイロウを暴走させはじめたことを知り、ウツソに再び自分をエンジェル・ハイロウへと送り届けるよう懇願するのだった。



GOTT/LATAN

● 31歳
身長 185cm
体重 100kg
血液型 B型
好きな食べ物 肉、酒
好きな飲み物 コーヒー
好きな言葉 勝利は必ずや
我々の手にやってくる
好きなアニメ 機動戦士ガンダム
好きな漫画 機動戦士ガンダム
好きなゲーム 機動戦士ガンダム
好きな映画 機動戦士ガンダム
好きな音楽 機動戦士ガンダム
好きなキャラクター 機動戦士ガンダム
好きな武器 機動戦士ガンダム
好きな乗り物 機動戦士ガンダム
好きな場所 機動戦士ガンダム
好きな季節 機動戦士ガンダム
好きな色 機動戦士ガンダム
好きな数字 機動戦士ガンダム
好きな言葉 機動戦士ガンダム
好きなアニメ 機動戦士ガンダム
好きな漫画 機動戦士ガンダム
好きなゲーム 機動戦士ガンダム
好きな映画 機動戦士ガンダム
好きな音楽 機動戦士ガンダム
好きなキャラクター 機動戦士ガンダム
好きな武器 機動戦士ガンダム
好きな乗り物 機動戦士ガンダム
好きな場所 機動戦士ガンダム
好きな季節 機動戦士ガンダム
好きな色 機動戦士ガンダム
好きな数字 機動戦士ガンダム
好きな言葉 機動戦士ガンダム



◆自分自身の中に戦いの意義をみいだせなかったカデジナには、男たちの戦いの目的が自分にあると思えなかった



◆自身の価値を戦いの中でみいだそうとしたクロノクル。結局彼は運命に翻弄される無力な人の象徴でしかなかったのか？

FATEFUL FIGHT

ÜSO AGAINST CRONICLE AND TESTER

人々の渦巻く思念を飲み込みつづけながら
ついに崩壊を始めた要塞“エンジェル・ハイロウ”
狂気に取り憑かれたカテジナの見守るなか
天使の輪の上で繰り広げられる壮絶なるバトル
クロノクルとウッソ——2人の若き戦士の
最後の戦いが、いま始まろうとしていた！

暴走を続ける「エンジェル・ハイロウ」のシステムを抑えるため、再びその中心へと入り、折りはじめたシャクティの放つ思念の波動は、地球の大地と対応するかのようになり、無限の力となってエンジェル・ハイロウを上昇させる。そのエンジェル・ハイロウの上で繰り広げられるウッソとクロノクルとの最後の戦い。それを我利に取り憑かれたカテジナが見守る。

新型MS「リグ・コンティオ」の威力に苦戦を強いられながらも、ウッソは仲間たちの援護を得て、かろうじてクロノクルを倒すのだった。その闘いを見届けたカテジナは、ウッソの勝利をたたえるかのようにMSのコクピットを飛び出すと、Vのものとへと向かう。その姿に気を許したウッソを抱きしめたカテジナは、隠し持っていたナイフでウッソの背中を刺すと戦場から姿を消した。

そしてついに予想をはるかに超えたパワーを発揮し、上昇を続けるエンジェル・ハイロウは、制御不能となり崩壊をはじめた。その中を重傷を負いながらもシャクティを求めて進むウッソの前に、戦いに倒れていった仲間たちの幻影が現われ、キールームへと導いていく。そこには暖かい光に包まれて眠るシャクティの姿があった。

RIG-CONTIO

●リグ・コンティオ

重MS「コンティオ」の発展型で、コンティオ以上の高い機動性と強力な武装をもつ。推進機の大形化が図られ、推力が大幅に向上したほか、右肩には可変格納式の大形ビーム兵器「ヴァリアブルメカヒムランチャ」1基を装備する。

WE LIVE ON KASARERIA

それはただ、戦争を止めて、平和を望む人々の平安を願うシャブタイの祈り。戦場を駆ける多くの戦士たちの心へと響き、本当に守るべきものは何か、を思い出させた。そして少年たちもまた、自分を待つ故郷へと帰る……

「……さあ、今を思えよ。」「
「……おれは、年輩は悪やかにめ、り来る。その
「果を待つカサ、リアには、新たな生活を営むつ
「……カサ、そして水、の、
「……た。無いはじめた雪の中、
「……が静かに暮を降ろす……」



MOBILE SUIT OF ZANSCARE Part1

ついに開始されたザンスカール軍のモトラッド艦隊による地球侵攻作戦。それにともなって開発された新型MS支援機「アインラッド」の配備とともに、次々と実戦へと投入される「ゲドラフ」をはじめとするザンスカール帝国軍の誇る新型モビルスーツ軍団。その巨大な車輪によって母なる地球の大地を揺るがし、山を、街を、そして人々の生命を、轍の下に踏み砕きながら進むその姿は、死神たちの凱旋を思わせる

illustrated by JUNYA ISHIGAKI

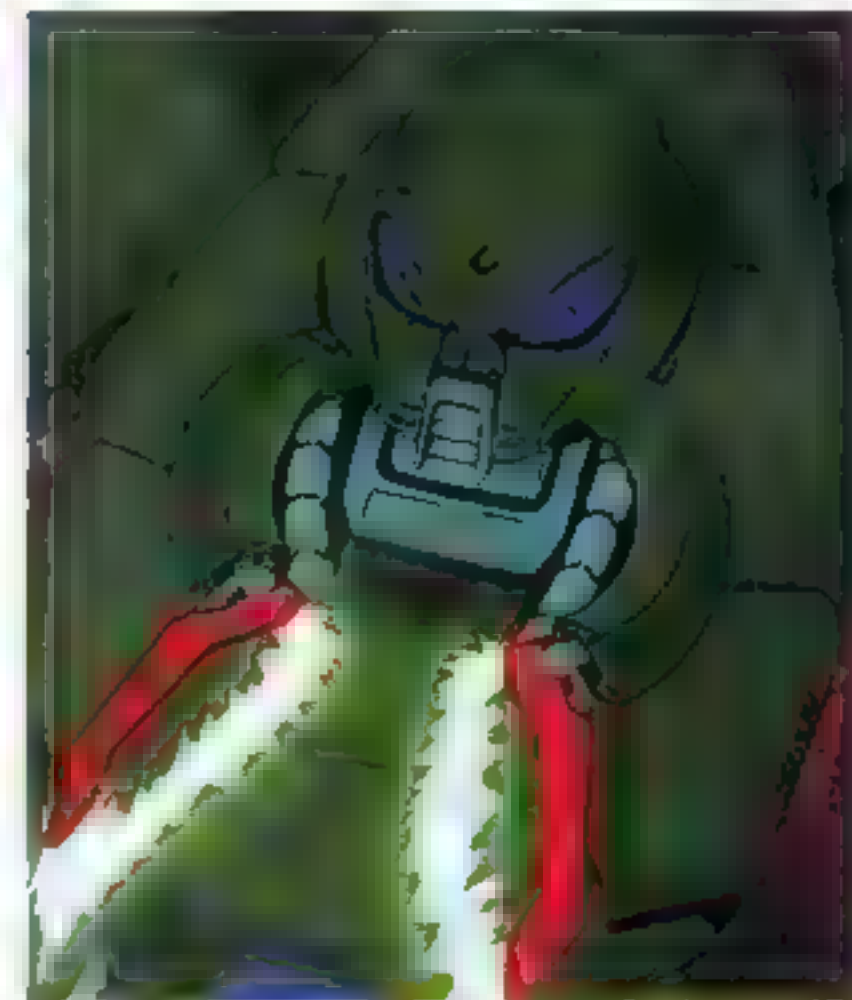


DOMUTTILIA

●ドムットリア
ドムットリアはトムリアットをベースに、より実戦的な改良が加えられた機体である。地球に降下したモトラッド艦隊にも多数配備されており、地上掃討作戦に投入されたが、「アインラッド」のような使い勝手のよいMS支援機の開発によって、変形の必要性は低下した

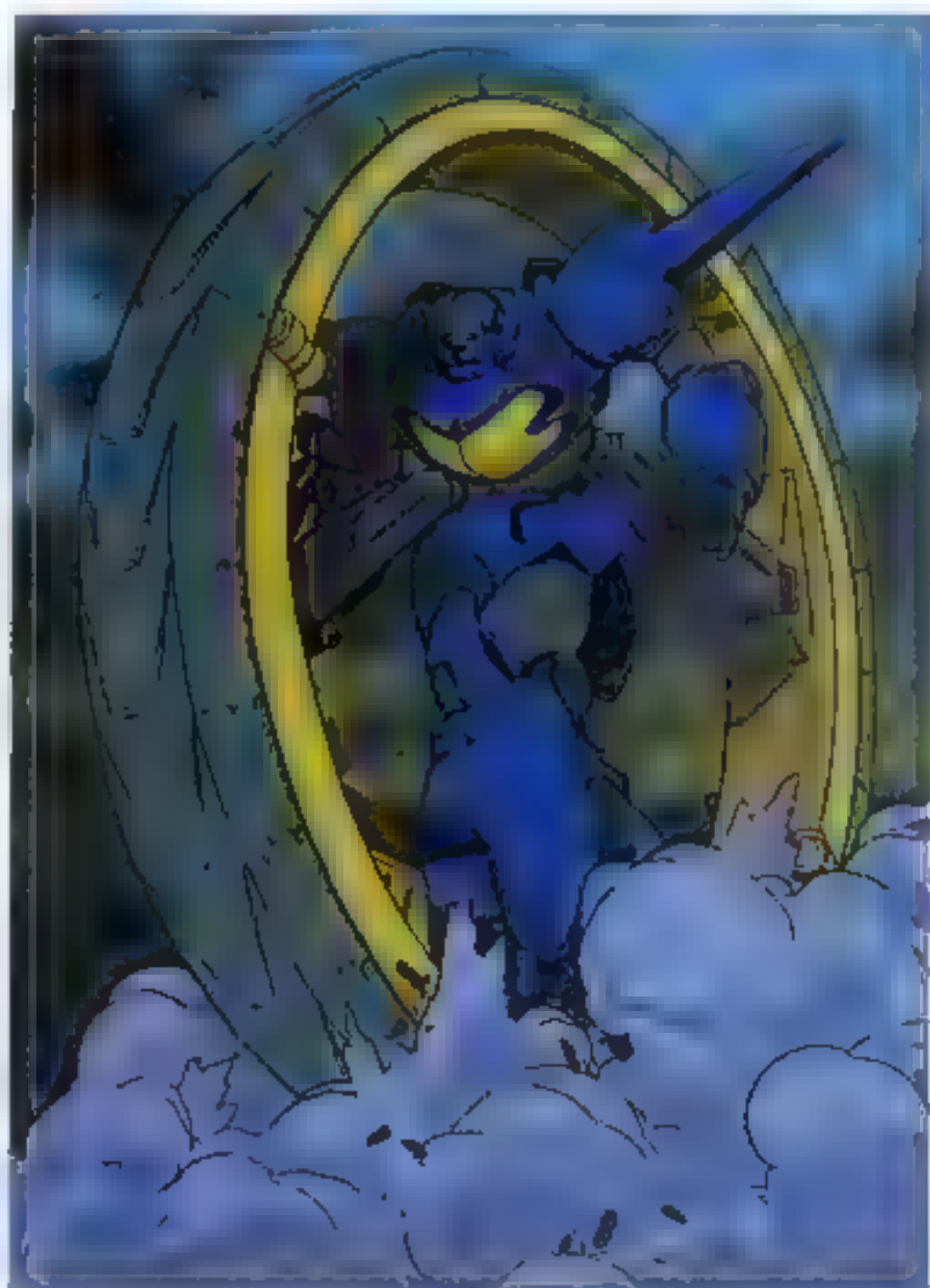
GEDLAV

●ゲドラフ
タイヤ型MS支援機「アインラッド」の配備にともない、その使用を前提として開発された小型MS。クロノクルの指揮するモトラッド艦隊の揮下のMS部隊「シュハツラット隊」の主力機である。小型な機体を生かした戦法で、ウッソたちを苦しめる



JABACO ●ジャバコ

特異な形状の装甲をもつこの機体は、接近戦を主眼において開発されたファイター型のMSである。陸戦において最も威力を発揮するその設計思想は、「バイク乗り」ドッカー・イクの部隊に似つかわしいといえる



BRUCKENG

●ブルッケング
タイヤ型MS支援機・アインラッドの思想をさらに推し進めた究極のアインラッドMS。背面に機体と一体となった可変収納式アインラッドを装備している。ビビニーデンの指揮するモトラッド艦「ラストオ」のMS部隊などに配備されており、ルベシノが出撃する際に使用していた



ZOLLIDIA

●ソリディア
モトラッド艦隊に配備された量産型MS。宇宙用機・ゾロアットの陸戦装備タイプであり、地上ではデットウェイトとなる装備の軽減と、装甲の強化が施されている。ウツソの母、ミューラを人質に取るという卑劣な作戦を実行したコズ・パールが使用していたのもこの機体である

V G

MOBILE SUIT
V-GUNDAM

MOBILE SUIT OF ZANSCARE Part2

それぞれの思いを胸に、戦いつづける戦士たち、ウツソを巡る女たちの情念が宇宙に渦巻く——戦場を駆け抜ける彗星となったファラの駆る、重モビルスーツ“ゲンガオゾ”が牙をむき、ウツソとクロノクルの戦いを、狂気に取り憑かれたカテジナの“ゴトラタン”が見守る……多くの人々の運命を巻き込んで、繰り広げられる壮絶なる＜ラストバトル＞が始まった！

GOTTRLATAN

●ゴトラタン
リグ・シャッコーにかわってカテジナが搭乗する試作MS。背部のブースターと一体となった大型のヒームキャノンを装備する。格闘戦時にはこれをブースターごと分離すること、遠距離攻撃タイプから近接戦タイプへと素早く変換することが可能となっている



GENGAOZO

●ゲンガオゾ
着脱可能なブースターをもつ試作MS。ウツソをつけ狙うファラの乗機として、機度となくV2の前に立ちふさがり、"マルチプルビームランチャー"。5基を装備したその火力は圧倒的で、多数の戦果を上げた



RIG-CONTIO

●リグ・コンティオ
崩壊するエンジェル・ハイロウの上で繰り広げられたウツソとの最後の戦いで使用されたクロノクルの搭乗機。コンティオの発展型だが、強力な"バリアブルビームランチャー"を装備するなど、むしろスペシャルバージョンと考えるのもいいような機体である



V G

MOBILE SUIT V-GUNDAM

ZANNECK

●ザンネック

死刑執行人の証である鈴を身につけたファラの駆る大型MS。けた外れな威力のビーム砲を装備する。両肩の三日月形の部品はそのための粒子加速器。その性能から「ミニ・カイラスキリー」の異名をもつ。軌道上からラクーナ基地に停泊するホワイトアークを狙撃した



RIG-SHOKEW

●リグ・シャッコー

クロノクルのテストしていた試作機シャッコーの量産モデル。ザンスカール軍に身を寄せたカテシナが、最初にウツソの前に現われたときに使用していたMS。また、近衛師団用に武装を若干変更したタイプ(写真左)もある



illustrated by JUNYA ISHIGAKI



MOBILE SUIT OF LEAGUE MILITAIRE

続々と迫るザンスカール軍の新型MS群攻勢に対し
V2ガンダムの戦力強化を計画するリガ・ミリティア
トマーシュとオデロ——2人の若きパイロットを
戦力に加え、ホワイトアークは最後の決戦へ備える



●ヴィクトリーガンダム VICTORY GUNDAM

伝説の1stガンダムを模した、リガ・ミリティアの象徴ともいえるMS、Vガンダム。V字型の頭部アンテナが特徴的なこの機体は、ウツツがV2に乗り換えてからはシュラク隊の隊長機としてマーヘットが使用していた



VICTORY DASH GUNDAM HEXA

●ヴィクトリーダッシュ・ガンダム・ヘキサ

ブースターシステムを装備したVのヘキサ・タイプ。シュラク隊の指揮官機として、オリファークが主に使用していたヘキサ・タイプの機体だったが、オリファークの亡きあとはシュラク隊の搭乗機として、編隊を組んで戦闘に参加することも多かった

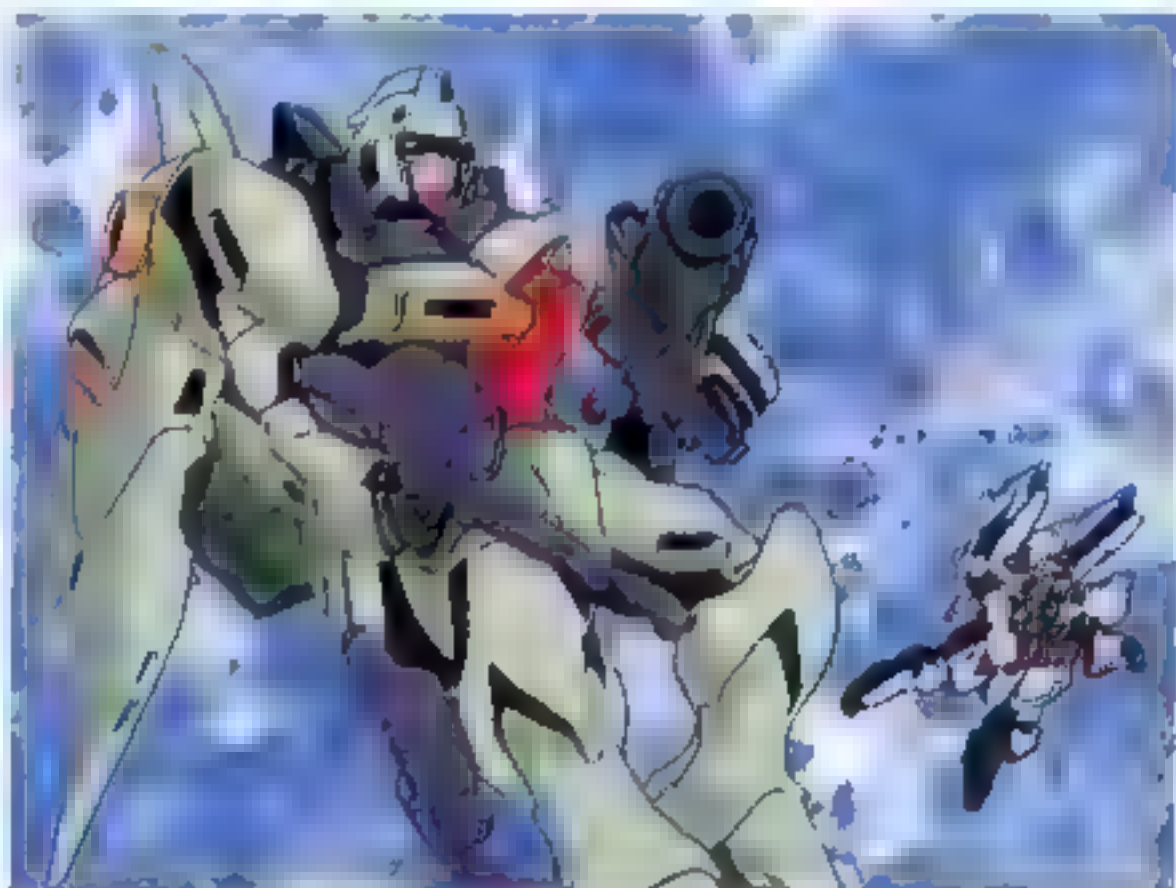


V2-BUSTER GUNDAM

●V2バスターガンダム

次々に投入されるザンスカール軍の新型MS群に対抗するために開発された2種のV2強化装備のひとつ。対艦戦での遠距離攻撃にもっとも威力を発揮するが、実際にそのような使われ方をすることは少なかった

MOBILE SUIT
V-GUNDAM



GUNBRASTER

●ガンブラスター

リカ・ミノティアの主力機・ガンイージを宇宙戦用に換装した機体。背部スラスターにブースターユニットを追加装備し、航続性能と空戦能力の向上が図られている。戦死したオリファの遺志を継ぎ、MSハイロッドとなったトマーシュとオデロの2人が搭乗、ウッソをサポートする



V2-ASSAULT GUNDAM

●V2アサルトガンダム

防御力の向上に力点を置いて開発されたV2ガンダムのオプション。ヒーム兵器による攻撃を無効化する1フィールド発生器と、対ヒームコーティングの施された増加装甲パーツを装備する。攻防一体となった新兵器「メカヒームシールド」をもち、タシロ艦隊との戦いにおいて初めてその威力を発揮した

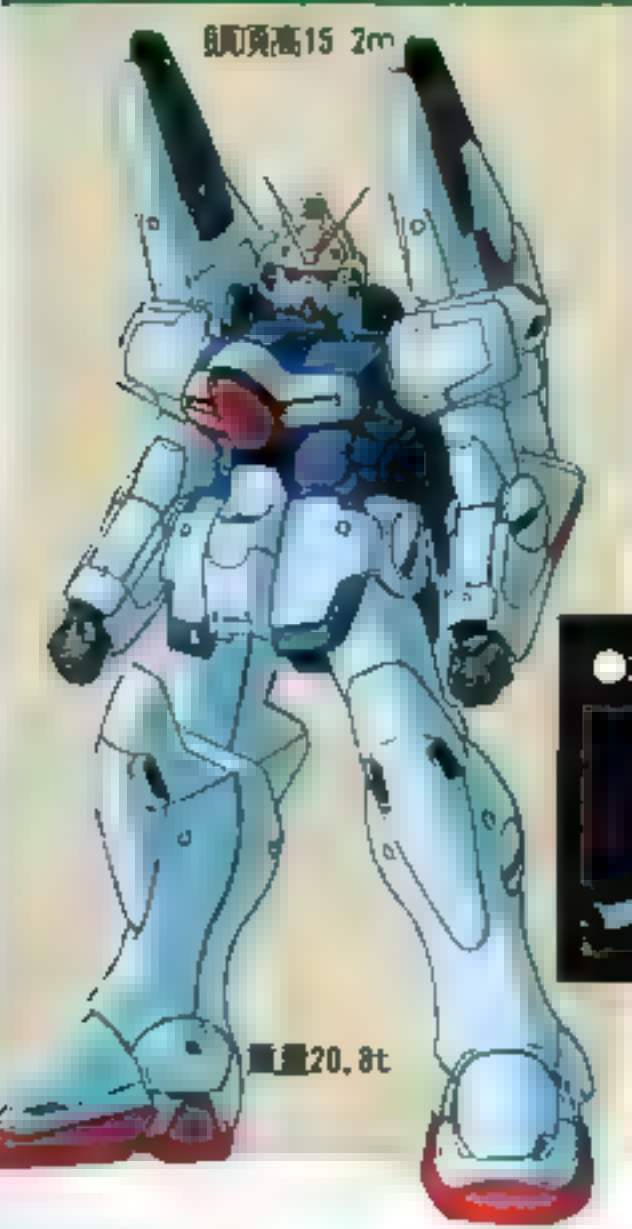
MOBILE SUIT GENEALOGY

民間組織であるリガ・ミリティアは、その低い資金力をカバーするため高性能機でありながら汎用性の高いMS(モビルスーツ)の開発をめざした。そこでMS開発において高い技術力を誇るSNRI(地球連邦海軍戦略研究所)の技術を取り入れ、当初めざした水準に達した性能をもつヴィクトリータイプの開発に成功。ザンスカール帝国のMSに対抗できるほどの性能をもったMSがここに完成したのだ



LEAGUE MILITAIRE & THE FORCE GOVERNMENTS OF EARTH

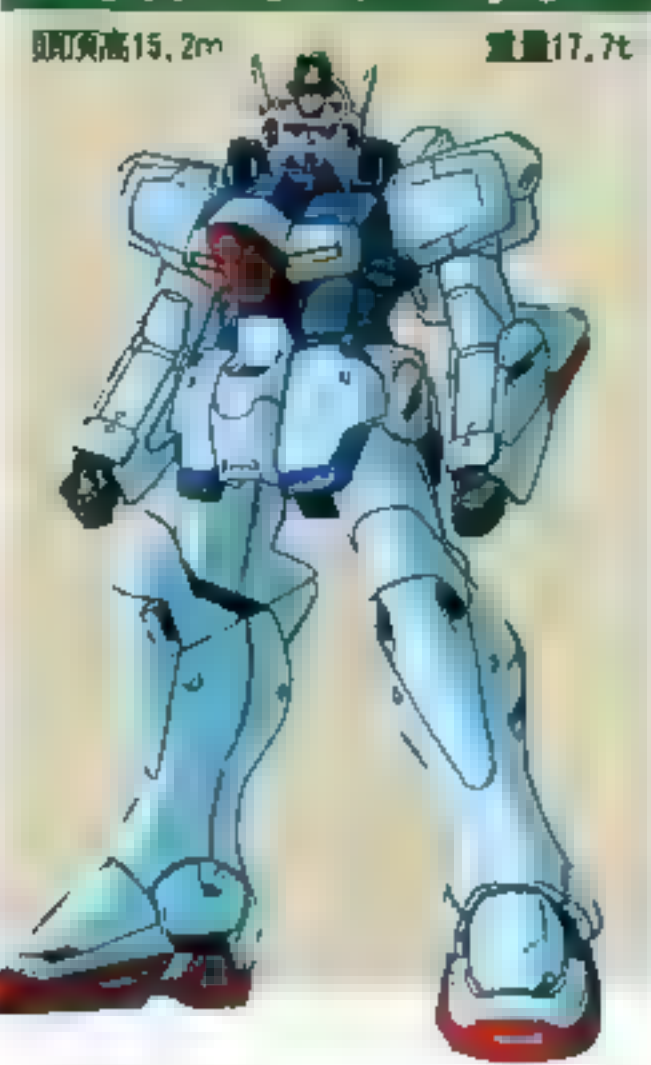
LM312V04+SD-VB03A
Vダッシュ・ガンダム



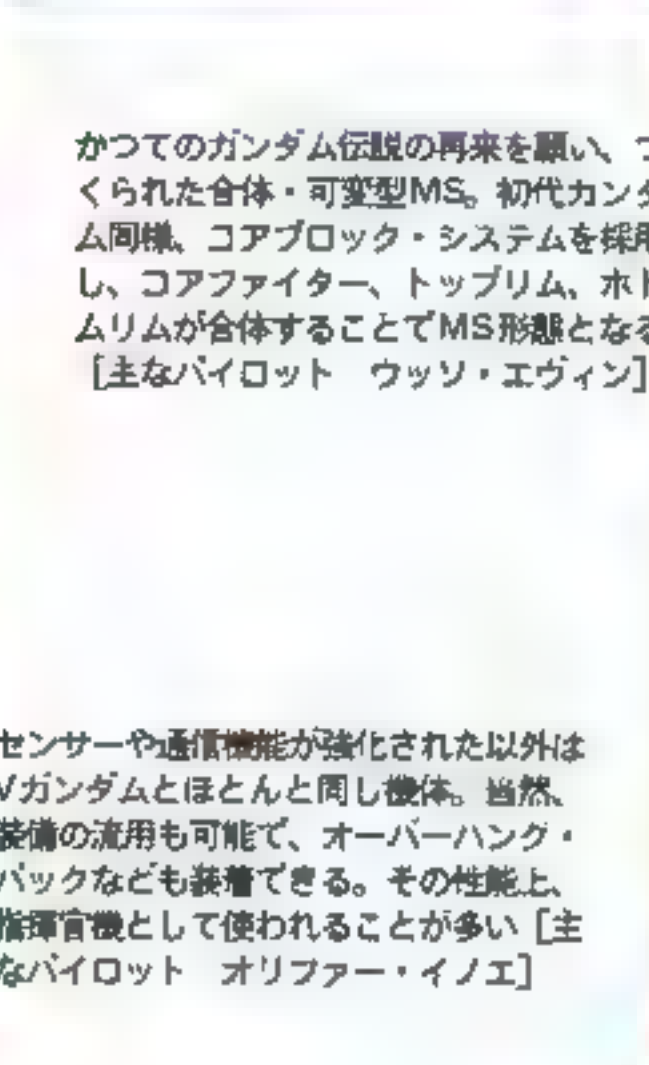
Vガンダムの強化パーツとして開発されたオーバーハング・バック。その威力は戦艦の主砲に匹敵するVガンダムの火力、機動力を飛躍的にアップさせる。また、Vタイプ以外の機体でも手持ちで使用できる [主なパイロット ウツソ・エヴィン]



LM312V06
Vガンダム・ヘキサ



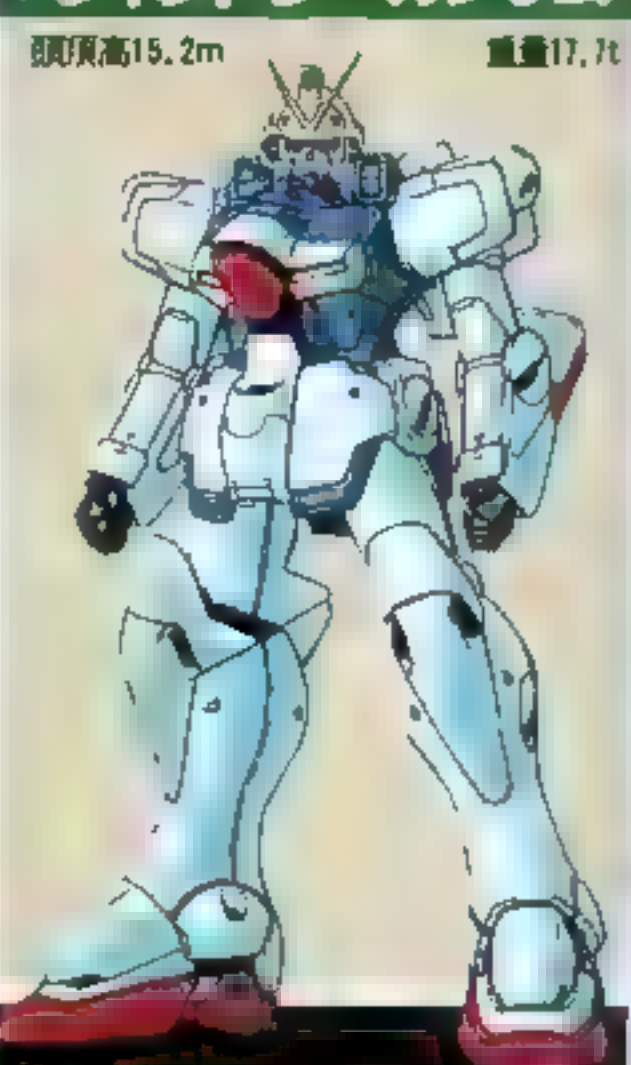
LM312V04
Vガンダム・ヘキサ



かつてのガンダム伝説の再来を願い、つくられた合体・可変型MS。初代ガンダム同様、コアブロック・システムを採用し、コアファイター、トップリム、ボトムリムが合体することでMS形態となる [主なパイロット ウツソ・エヴィン]

センサーや通信機能が強化された以外はVガンダムとほとんど同じ機体。当然、装備の流用も可能で、オーバーハング・バックなども装着できる。その性能上、指揮官機として使われることが多い [主なパイロット オリファ・イノエ]

LM312V04
Vガンダム・ヘキサ

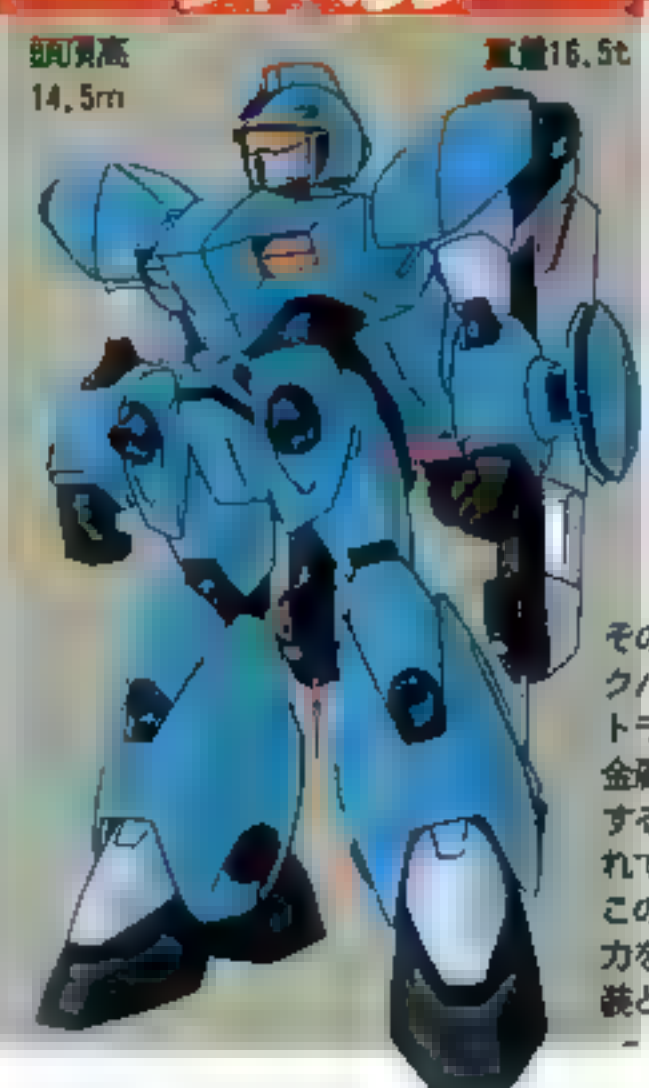


RGM-109-M5
ベビーガン



30年前に連邦軍で主力として使われていた機体で、現在でもサイド2のマケドニア軍では防衛用として配備されている。だが、今となっては最新技術を取り入れたベスパのMSに太刀打ちすることは難しくなっている

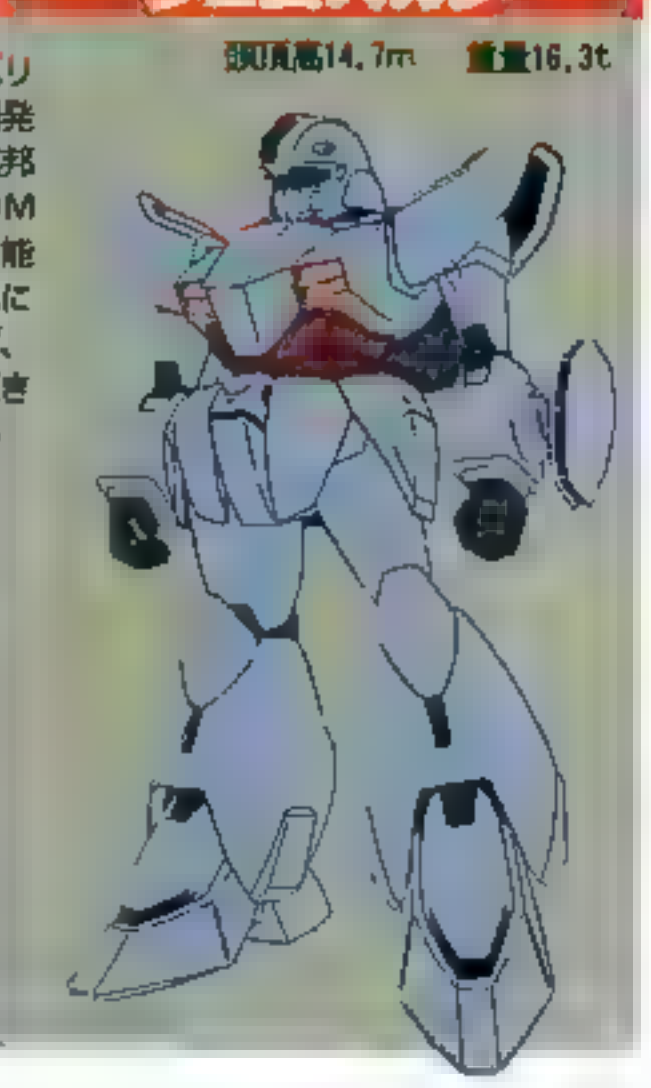
RGM-122
ジャベリン



宇宙用のシャペリンと同時期に開発された、地球連邦軍の地上用主力MS。その機体性能はベスパのそれには遠くおおよぼ、武装も特筆すべきものは少ない

その名の通りバックパックにショットランサーという金属製の槍を射出する兵器が装備されており、これはこの機体の低い出力を補う有効な武装といえる

RGM-119
ジェムスガン



地球連邦軍

現在、最大の軍事力をもつ地球連邦軍だが、長く続いた平和のためか、その主力であるMSの開発はほとんどなされていない。そのためザンスカル帝国やリガ・ミリティアのMSと比較してみると、かなり時代遅れの印象を受ける

MS形式番号解説講座

一見単なる数字の羅列としか映らない形式番号だが、それにもちゃんと意味があるのだ。しかも、各組織ごとにその表記の仕方が異なっており、内容も違う。例えば、リガ・ミリティアでは所属の後にMS分離時のユニット数が明記されているが、ザンスカル、連邦などではそういった内容は形式番号では表わされていないのである

リガ・ミリティア ex.Vdash GUNDAM

所属●リガ・ミリティア

ユニット数(本体分離時)
ジェネレーター数
主スラスターシステム数

SUPPORT DEVICE (付加機能)

タイプ表示

タイプ表示●V ヴィクトリー E イージー

タイプ表示●V:ヴィクトリー

用途表示●A アタック B ボンバー C クルーズ D レコン

形式ナンバー

ザンスカル帝国 ex.GOTTRLATAN

所属●ザンスカル帝国

MOBILE(機動兵器)
TEST(試験機のみ付く)

使用環境●S SPACE(宇宙用)
G GROUND(大気圏内用)
M MARINE(水中用)

開発番号

機体選別●S SUIT(モビルスーツ) A ARMOR(モビルアーマー)
D DUAL(デュアル) *ひとつの機体でMSとMAの機能を保有する

地球連邦 ex.JAVELIN

所属●地球連邦

開発番号

生産表示●GM 量産 X 試作

MOBILE SUIT GENEALOGY

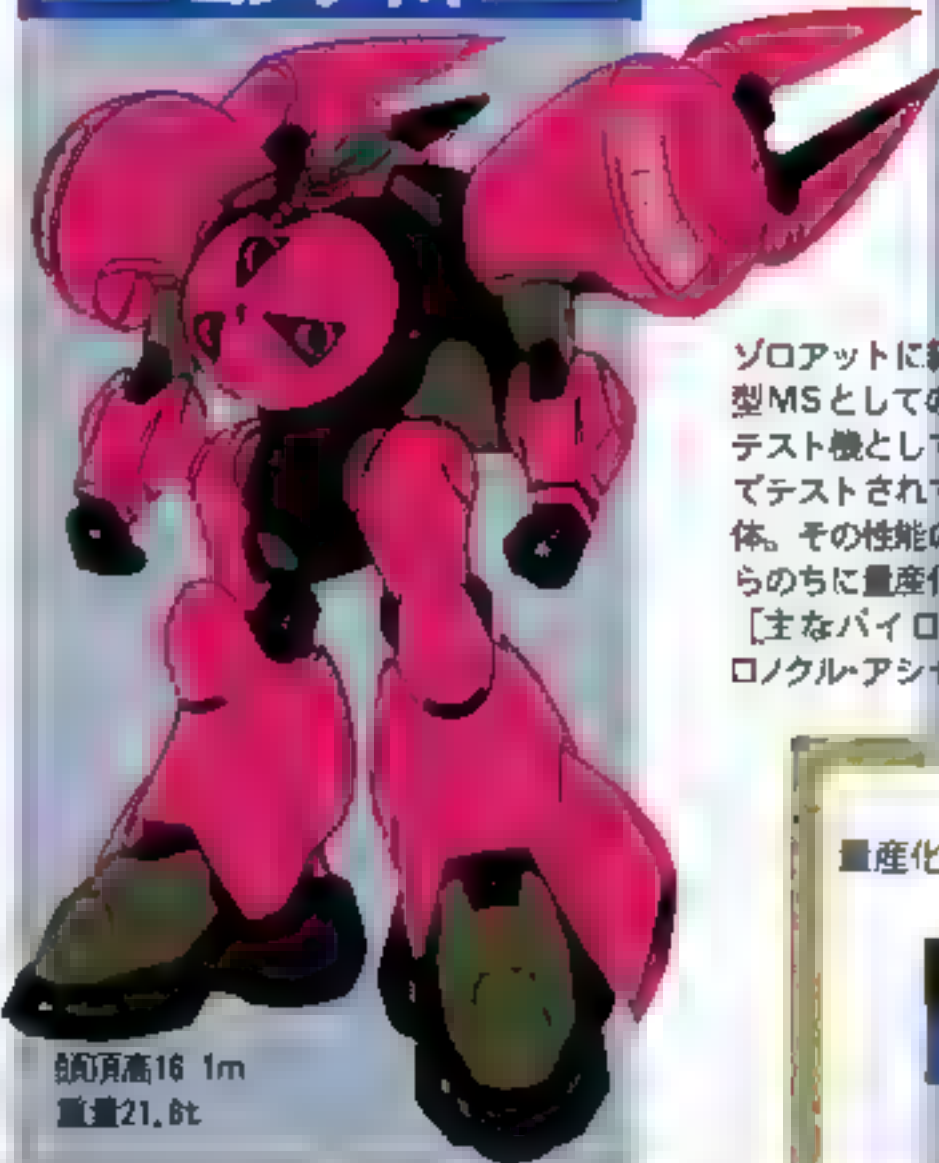
ザンスカール帝国のMSは独特の発展形態を見せ、その搭載兵器においても戦艦の主砲以上の火力をもつビームキャノンや、敵の動きを束縛するビームストリングスなど多種多様におよんでおり、その技術力の高さがうかがえる。また、そのほとんどの機体に採用されているデュアルマルチセンサーは、カメラ部分が複眼状の光学系センサーになっており、ザンスカールMS独特の外観を確立している



強化試作

胸部にビーム砲、肩には遠隔操作が可能なショットクローと呼ばれる兵器を装備しその戦闘能力は極めて高い。だがその反面、操作が難しく使いこなせるパイロットはごく少数に限られた [主なパイロット クロノクル・アシャー]

ZM-S20S
コンティオ



頭頂高16.1m
重量21.6t

ソロアットに続く量産型MSとしての開発用テスト機として、地上でテストされていた機体。その性能のよさからちに量産化される [主なパイロット クロノクル・アシャー]

ZMT-S12S
シャツコー



頭頂高14.7m

重量19.2t

量産化

ZM-S22S
リグ・シャツコー



頭頂高15.9m

重量18.5t

テスト機のシャツコーをもとに開発された機体だが、装甲素材やバックパック、武装などがかなり改良された。マリアの近衛師団機としても用いられていることからその性能の高さがわかる [主なパイロット カテナ・ルース]

発展

ZM-S21G
ブルッケンク



頭頂高14.1m
重量25.1t

アインラッドを体の一部としたゲトラフの発展機。発展したのは機体だけではなくアインラッド自体もビームシールド機能を持ち、それ自体を分解させることも可能 [主なパイロット ルベ・シノ]

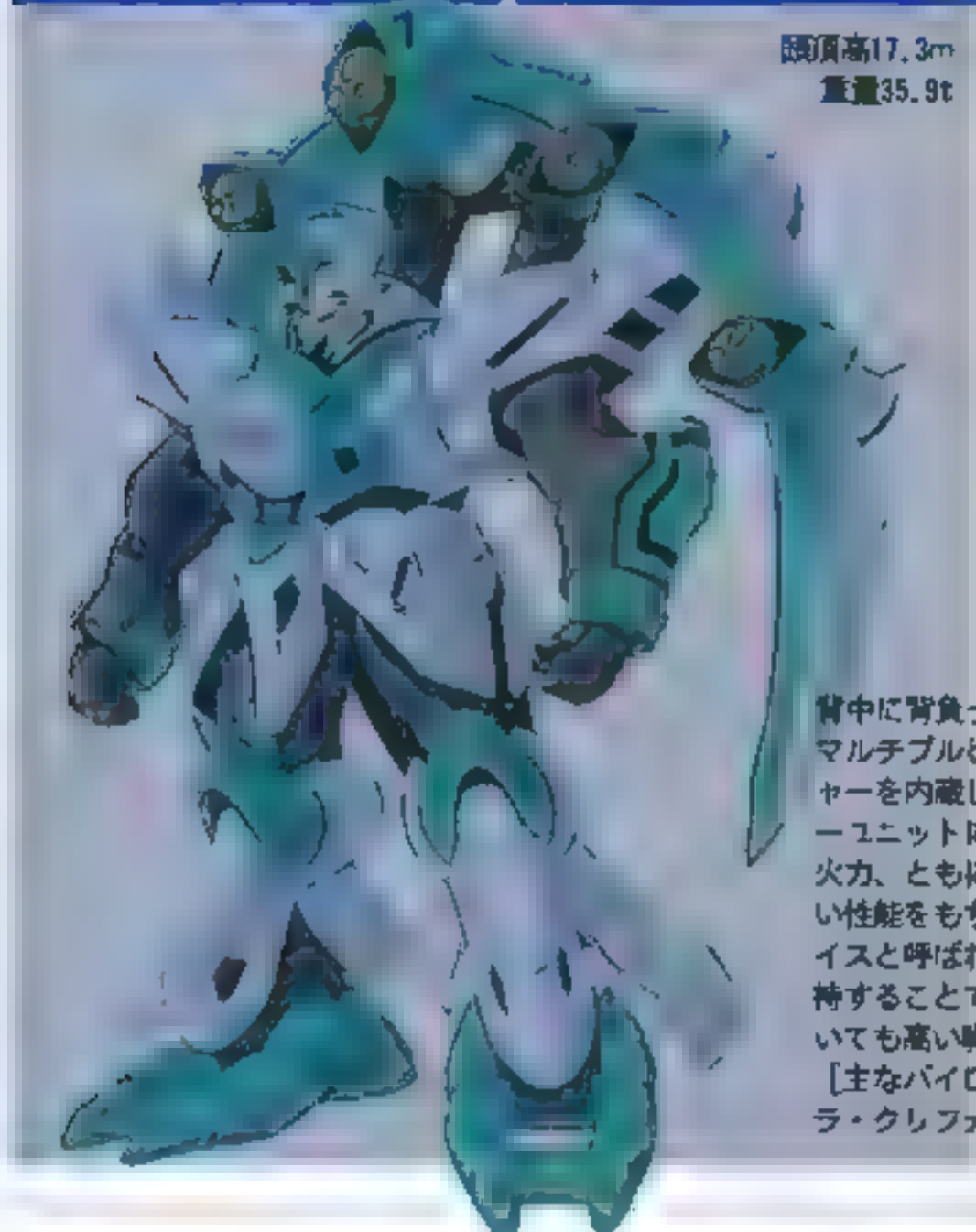
ZM-S24G
ジャバコ



頭頂高15.7m
重量18.2t

両腕にヒートロッドと呼ばれるムチ状の武器を装備し、白兵戦を重視した機体。その、見るものに威圧感を与える独特の外観は敵に対しての心理的効果を狙ったものだろう [主なパイロット トッカー・イク]

ZMT-S28S
ゲンガオン



頭頂高17.3m
重量35.9t

背中に背負った5門ものマルチプルビームランチャーを内蔵したブースターユニットにより機動性、火力、ともに申し分のない性能をもち、ビームメイスと呼ばれる武器を所持することで白兵戦においても高い戦闘力を持つ [主なパイロット ファラ・クリフォン]

両肩に装備している強型のメガ粒子加速器により強力なメガビームキャノンを発射できる。その火力からミニ・ビッグキャノンの異名をとリ、しかも機動性は高い [主なパイロット ファラ・グノフォン]

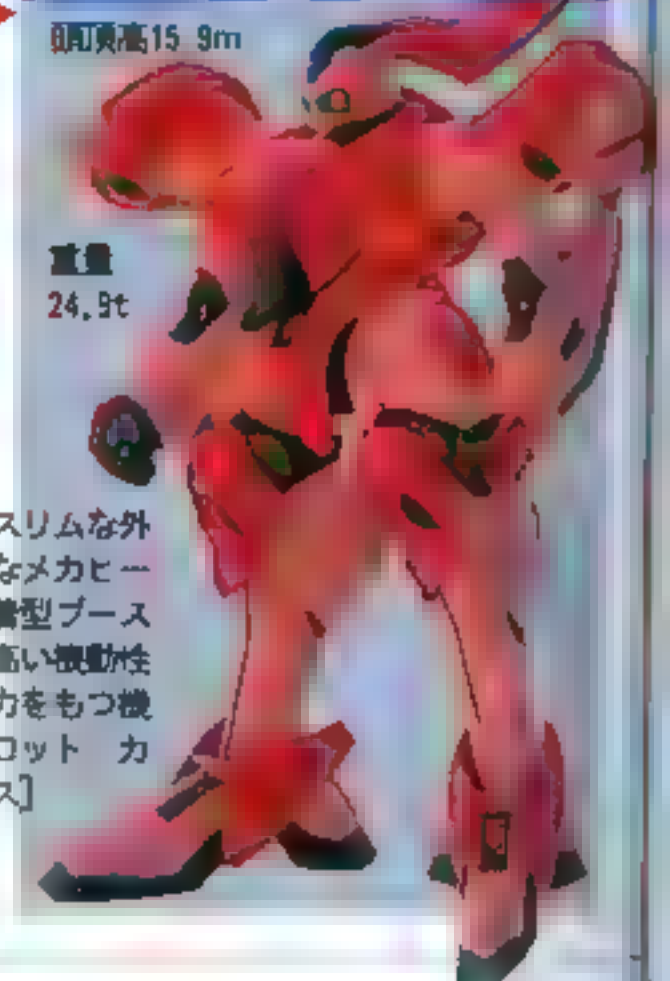
ZMT-S29
ザンネック



頭頂高19.4m
重量38.2t

発展

ZMT-S33S
ゴトラタン



頭頂高15.9m

重量24.9t

その特徴的なスリムな外観と脱着自在なメガビームキャノン装備型ブースターにより、高い機動性と脅威的な火力をもつ機体 [主なパイロット カテナ・ルース]

MOBILE SUIT GENEALOGY

ZANSCARE

ZMT-A03G

ガリクサン



全長16.5m 重量13.7t

モビルスーツ

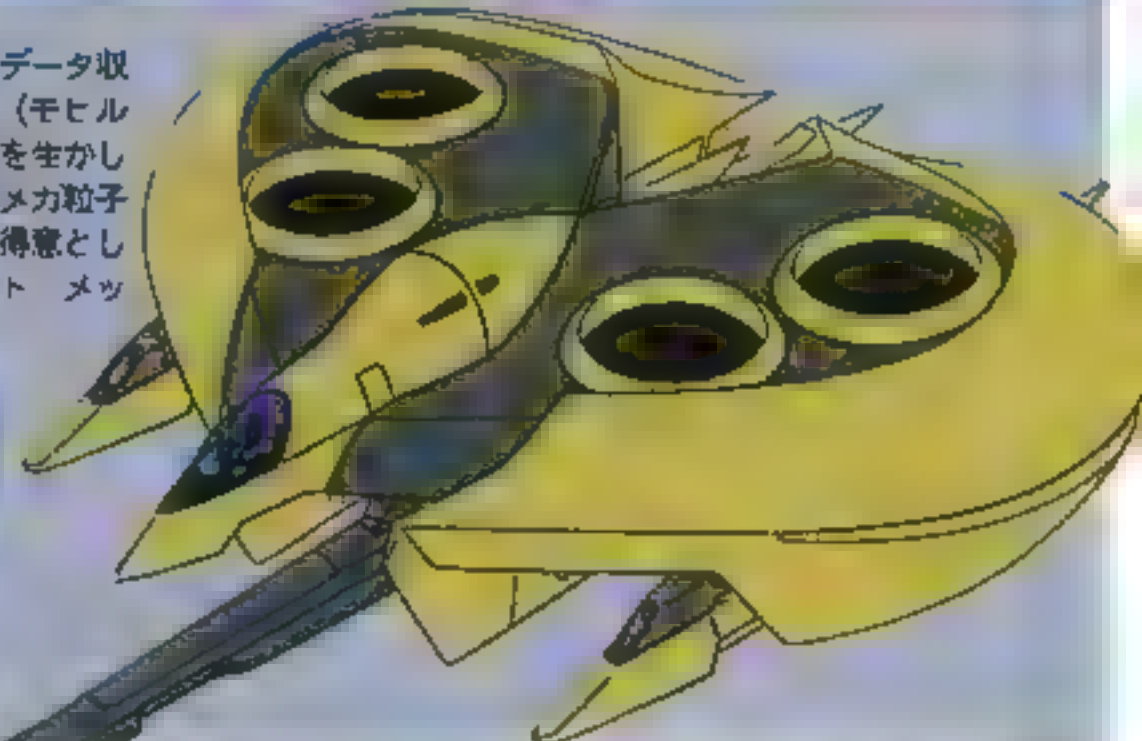
モトラッド艦の運用データ収集を目的につくられた大型戦闘バイク。機動力はきわめて高いものの戦闘能力においてはMSにはおよばない [主なパイロット ドッカー・イク]

ZM-A05G

リカル

ラグーンで戦闘指揮やデータ収集に使われていたMA (モビルアーマー)。その機動性を生かした遠距離からの大型のメカ粒子砲を使った後方支援も得意としていた [主なパイロット メッテ・ルーベンス]

全長50.6m
重量41.5t



アインラッド

ツインラッド



MS・ゲドラフで初めて用いられた攻撃支援メカ。のちにシシリー・フィッツィーネによって海上を走行するツインラッドが作られ、こちらはMS2機が搭乗できる

ZMT-D15M

ガルグイユ

頭頂高14.2m

重量26.2t



モビルアーマー形態

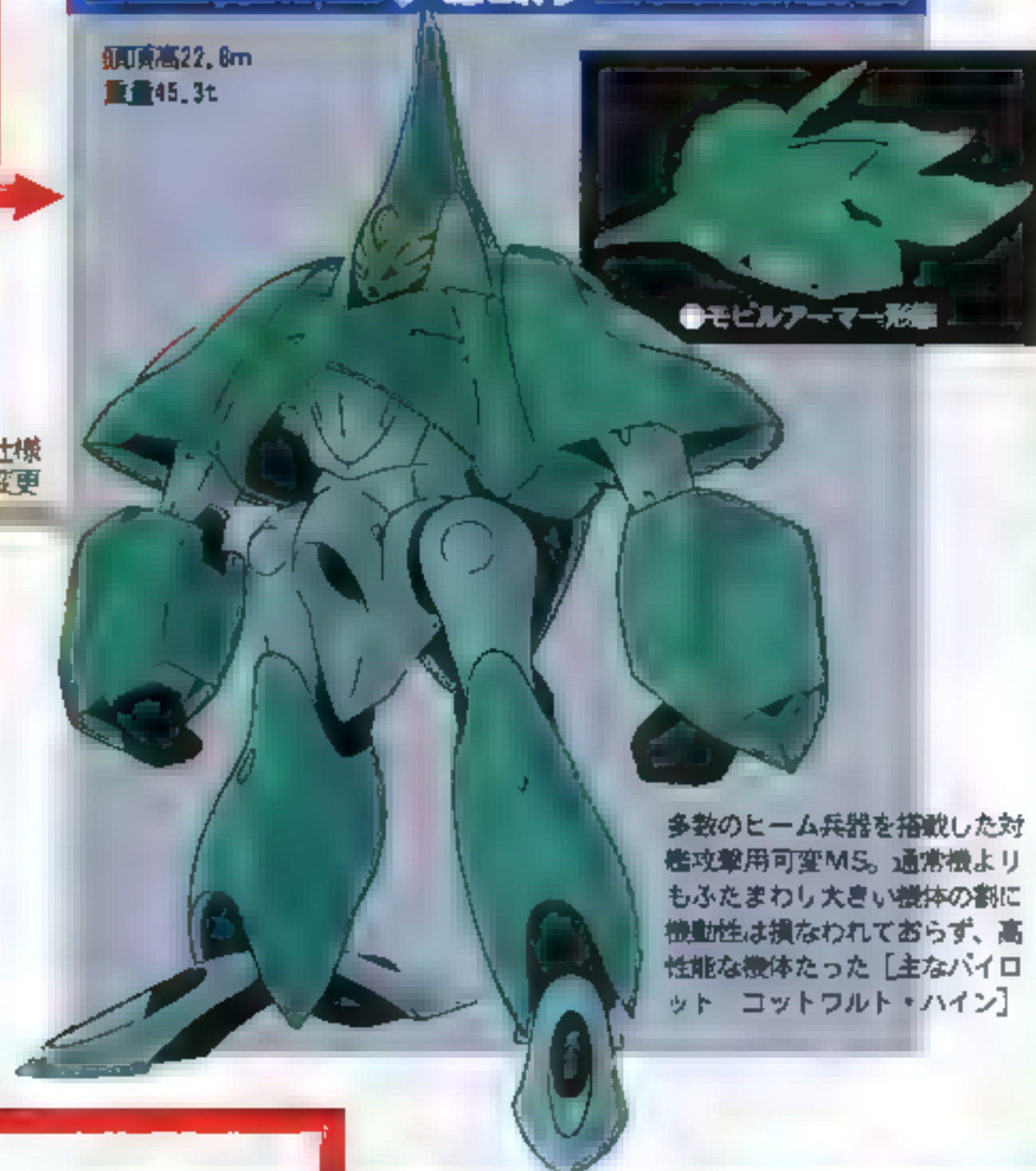


ZM-D11S

アビゴル

頭頂高22.8m

重量45.3t



モビルアーマー形態

多数のヒーム兵器を搭載した対艦攻撃用可変MS。通常機よりもふたまわり大きい機体の割に機動性は損なわれておらず、高性能な機体だった [主なパイロット コットフルト・ハイン]

モトラッド艦

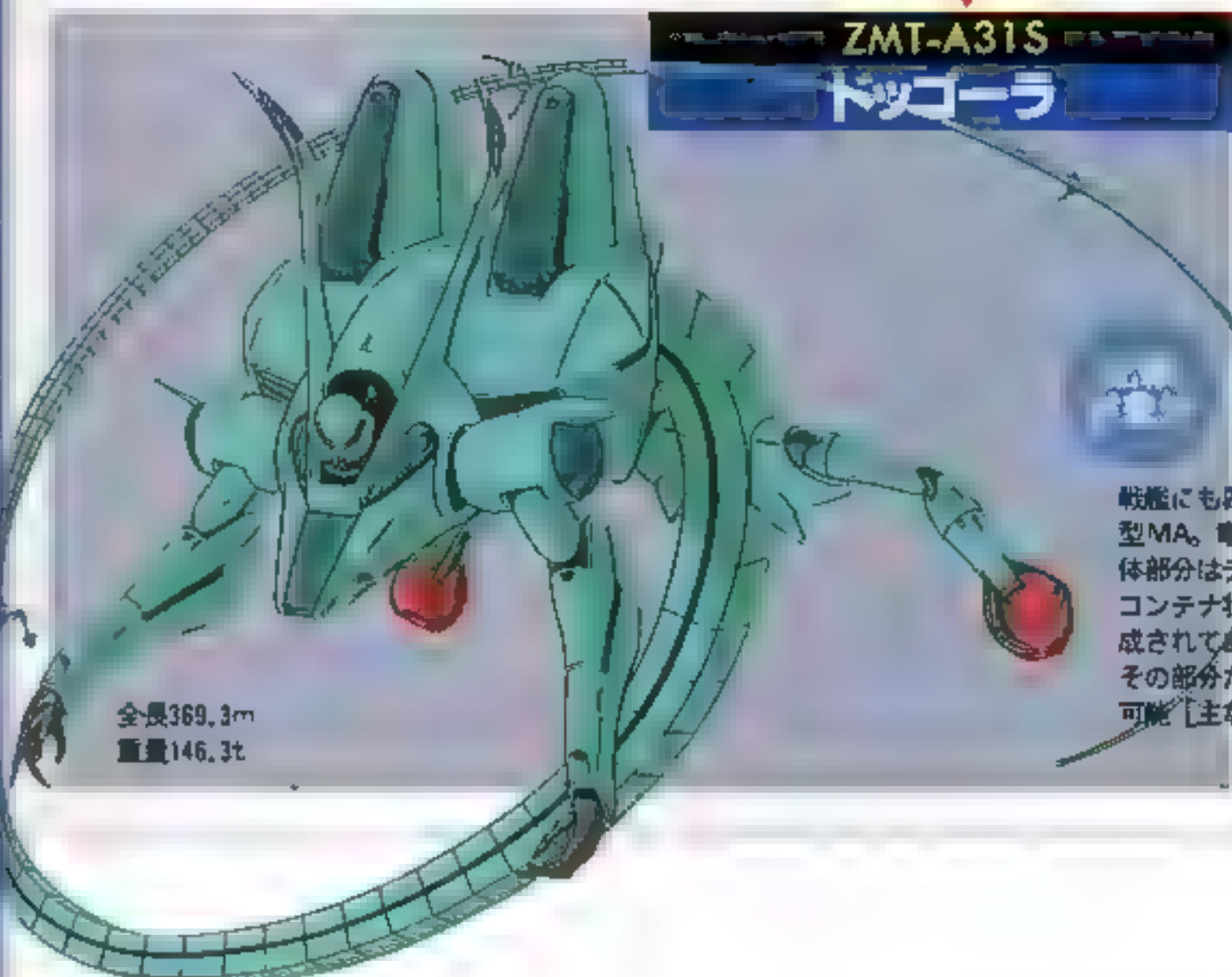
アドラステア級
全長128m
全幅98m

地球クローン作戦で用いられた戦艦。その巨大なタイヤを使って地上を走行する



ZMT-A31S

ドッゴラ



全長369.3m
重量146.3t

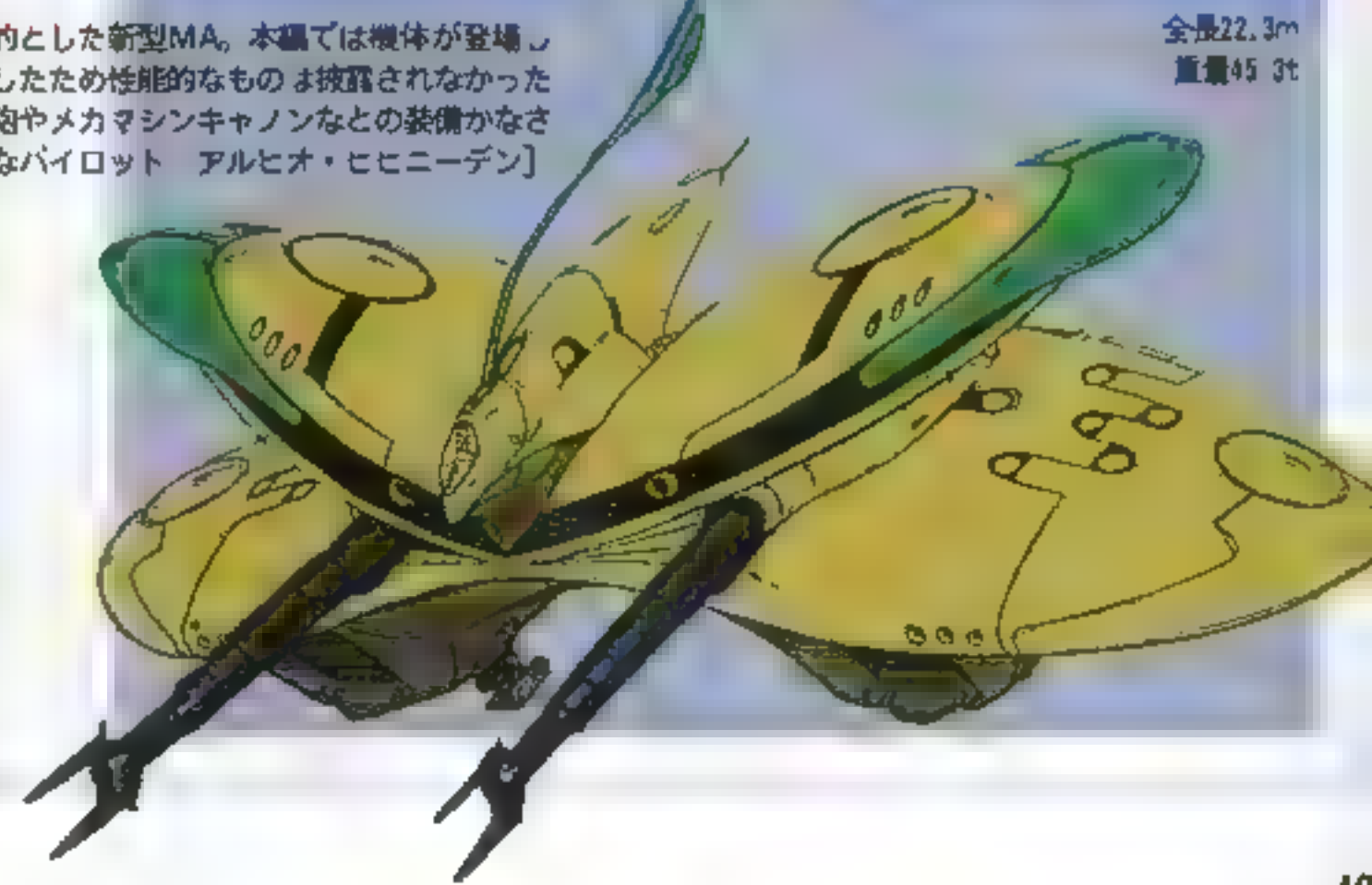
戦艦にも匹敵する全長をもつ超大型MA。竜を模した形状でその胴体部分はテールラッドと呼ばれるコンテナ状のパーツが連結して構成されており、一部が破損してもその部分だけを切り捨てることが可能 [主なパイロット ブロッホ]

ZMT-A30S

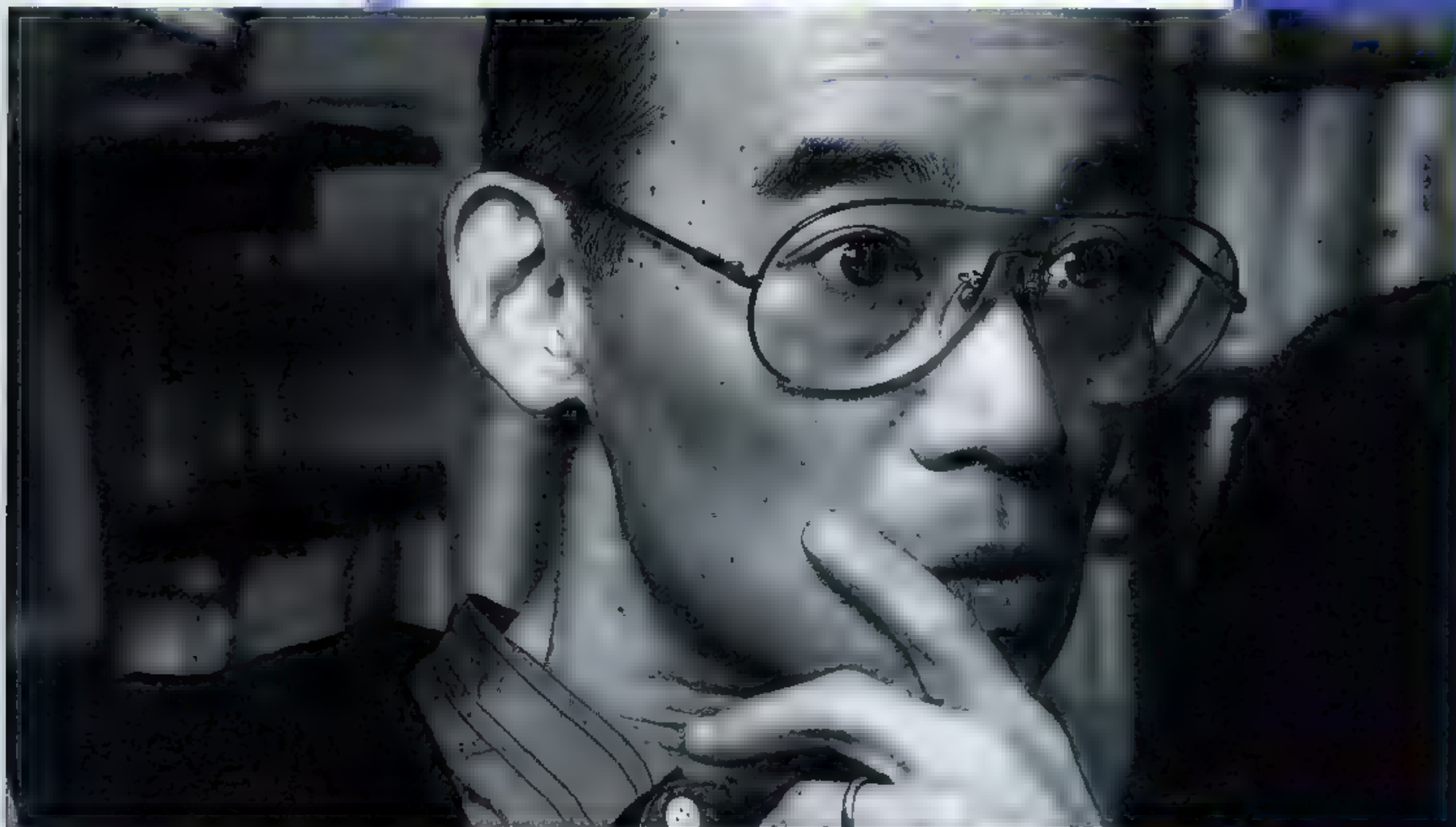
ビルケナウ

戦闘指揮を目的とした新型MA。本編では機体が登場した直後に爆発したため性能のなものは披露されなかったが、メカ粒子砲やメカマシンキャノンなどの装備がなされている [主なパイロット アルヒオ・ヒビニーデン]

全長22.3m
重量45.3t



FINAL INTERVIEW OF VICTORY GUNDAM MORE CLOSE TO Yoshiyuki Tomino



富野由悠季——Vガンダム

shot by KATSUMISA ŌTA
text by OSAMU NAGASHIMA

大人たちから見て「よい子」として育ったウツツ
彼の不幸は現代の子供がもつものなのである

——ウツツという少年は、これまでに富野監督が手がけてきた作品の主人公の中でも、格段に「よい子」であつたと思います。これは物語上の仕掛けでもあるとは思いますが、どのような意図があつたのでしょうか。

「そのことについては、彼が、なまじ大人から見れば聞き分けのよい子として育てられてしまったために、ガンダムに乗せさせられてしまつて、それは非常に不幸なことだつたのだ、ということを描くための仕掛けとしています。でも、僕としては、今の時代の子供たちが置かれている位置というのは、あまりよいものではないんじゃないか」ということを描きたいために、彼をあのようなキャラクターとしました」

——現代の子供の不幸な部分を、ということですか。

「というよりも、そこに至るまでの諸々の事柄を含めてです。僕は彼らのような子供に対して不信任感を抱いていたのですが、偏差値教育みたいなのを仕掛けてしまった大人社会と、外に遊ぶ場所ももたなくなった子供たちという現在の状況は、決してよいことだとは思えないからそれらのことすべてを、ウツツとその周囲の環境に映し出したのです。カサレリアという、人口が少なく自然の豊かな地に住んでいながら、彼はとても「よい子」として育つた……それが正しいことであらうはずがありません。生活の基礎となるべきものを習得せずに成長してしまうわけですし、絶対に子供の心の中にも満たされない思いがあるはずなんです。でも、現代の子供たち、特に都会の子は比較対象をもたないから、その思いが何であるか理解できない。一方、大人たちはどのような社会を構築して行くべきなのか、明確なビジョンをもたないまま、経済的な成長だけを達成しようとして、子供たちによくない環境をつくつてしまふ。……ウツツと周囲の環境を、あのよう描いたわけは、そういった事柄を描き出そうと考えたからなんです」

——本来あるべき子供の成長を、反面教師的に描いたと。

「理想論的な立場から、発言しているわけではありません。実際に子供を育ててきた親の立場から、話しているのです。……これまで大人たちは、やれ開発だ進歩だ、とがんばってきましたけれども、

93年4月から、1年にわたって富野由悠季監督が描きつづけた作品「機動戦士Vガンダム」。それは明らかに、これまでの「ガンダム」とは異なるものをめざしていた。はたしてそれは、いかなるものなのか？ 富野監督自身に、ウツツたちキャラクターに込められたものを語ってもらい、作品の内に込められたテーマに迫ってみた

Tomino's Image Board



▲カサレリアでのシーン。かたわらにシャクティの姿も見える



▲作品登場時と、ほぼイメージが合致するモットーラット



▲タイヤを内蔵し、特異なポーズで走行するアインラットMS

ウツソは決して気持ちのいい子供ではなかった

それらを含めて、我々がやってきたことはすべて重ねているのではないのか……とはいっても、それを非難はしません。我々には、これしかできなかったからです。重要なのは、そのような環境をつけたことによつて、人間を変えてしまったのではないのか、ということを考えなければならぬことなのです。「Vガンダム」という、

カガチをはじめとする老人キャラクターたち そして子供たちに対する大人たちの世代の責任

——今回の作品では、ニユング伯爵やカガチなど、対比する形で多くの老人が登場していますが、その理由は何なのでしょう。

「それは、今回の作品のストーリーテリングの基本を、年をとった僕が押さえてしまったことから来た弊害です。しかし、これまでのアニメではほとんどの場合、老人といえは無視されるか、ステロタイプな姿でしか描かれてこなかった。でも僕も年をとって、老人の気持ちかわかるようになってきた。そして現実問題として、我々の時代は老人の数が増えている。そう

作品を、このようにつくった目的は、その点をアピールしたかったからにはかなりません。ですから僕は、どうしてもこの物語を、お楽しみシリーズとして見る事ができなかったし、作り手としてウツソは決して気持ちのいい子供でもなかった。でも、シリーズを通して伝えたかったポイントが、なんとか描けたと思っています」

なると物語の中で、老人たちがカッチリとした色合いを出しても悲しいはずがない、いや出さざるを得ないと考えたのです。つまり、これもウツソを「よい子」にしたのと同様に、時代が要求したテーマだと思っています」

——監督自身は、カガチとニユングのどちらに近い見解を抱いているのでしょうか。

「どちらでもありませんし、どちらも構わないと思っています。なぜならカガチもニユングも、自分の人生をすべて肯定してしまうほど愚かではないし、その結果、



が、満足のいくものではないことも、知っているからです。その視点から緩やかな変革をめざそうという意見と、一気にご破算にして、すべてを一から築き直そうという考えが出てくるのは、当然と考えていますから」

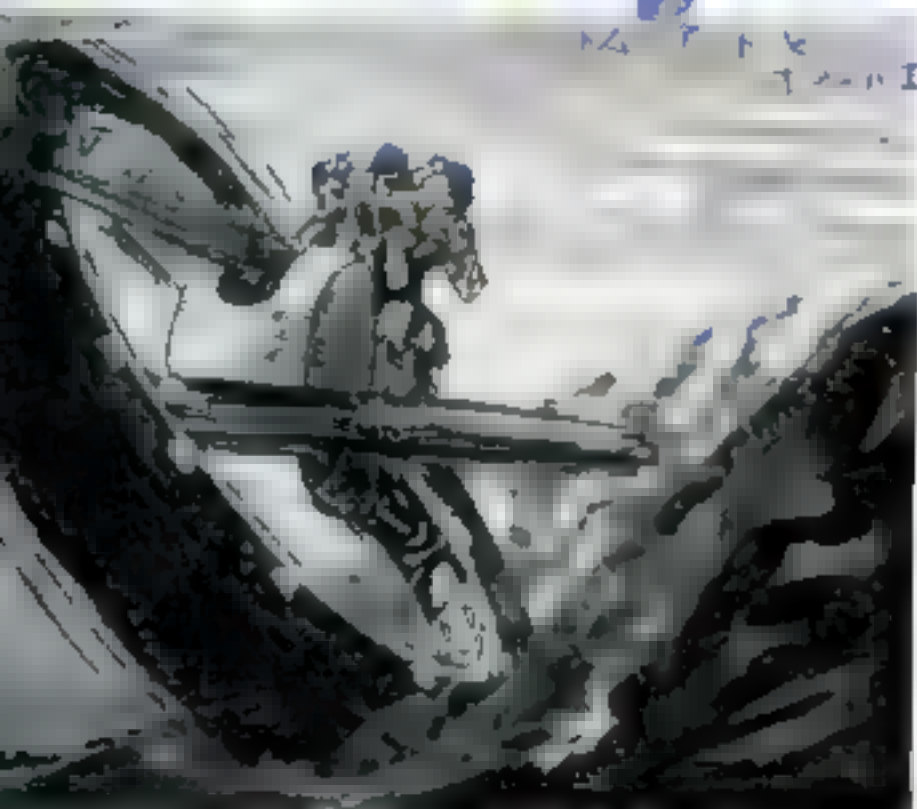
——甲乙つけるものではない、と。「もちろん、カガチのような、一度すべてを破壊してから、という意見は過激に思われるかもしれませんが、でも、どちらも当然の帰結なのです。ただ少し言わせてもら

うなら、僕はカガチという人物は、かなり理想的な老人なのではないか、と思っています。ちよつと見たときの外観は悪人にしてはありますが、介てが成功するわけがないと心のどこかで知りながら、あれほどまでに深くやってみせる。そして、彼がなぜそこまでやるのかといえは、こゝまでやれば、誰かわかってくれるよね」と信じているからなのです。僕はそんな彼が大好きです。あんな老人になりたい。現在の老人たちにも、この程度の気概はもってほしいと思

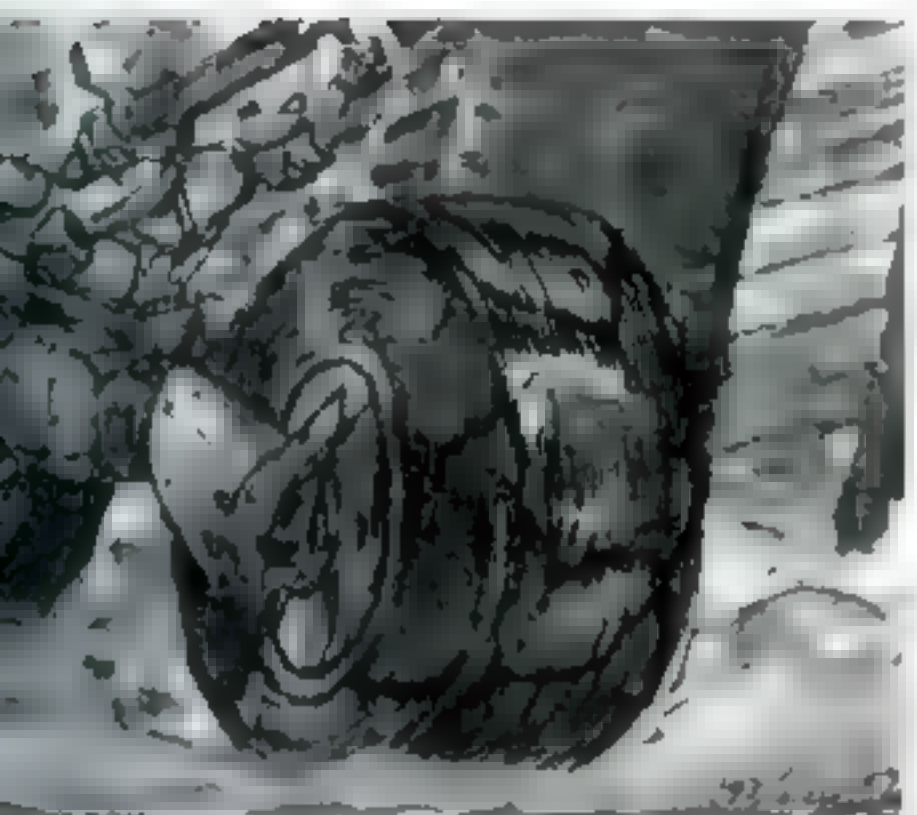
います」
——彼には、そんな願いとあこがれがこもっていたんですね。

「フィクションの世界であるなら、もつと彼のような主張や老人像を表面に出してよいのではないのでしょうか。しかしこの点も、さきほどのウツソのくだりと同じく、まさに時代が描かせたものなのです。『Vガンダム』が時代によつてつくられてしまった作品だという僕自身の実感……作品のすべてに作者の作意がおよんでいるわけではないのです。ただ、この種の僕の上張が作品のベースにあり過ぎたがために、『Vガンダム』はロボットアニメとしては失敗してしまいました。どう考えても、お楽しみ作品に似合ったテーマではないですものね。今の時代につくる作品の選択肢としては間違えていなかった、という自信はありますが、TV局やスポンサーの方たちには、本当にご迷惑をかけてしまいました。しかしそのおかげで、この作品はこれまで僕が手がけてきたガンダムシリーズをなぞったもので

FINAL INTERVIEW OF VICTORY GUNDAM MORE CLOSE TO Yoshiyuki Tomino



◆ケトラフなどのイメージに近いが、アインラットが巨大である



◆アインラット+カリクソンのイメージをもったタイヤ走行型MS



◆第37話に登場している、ツインラットの原型となったイメージ

もう、単一民族論で考えなくていい時代ではないでしょう

はない作品になりましたし、小説や普通の映画のストーリーテラーとしては、貴重な経験を積ませてもらえたと感じています」

——親子の関係についても、シリーズを通して描かれていましたが、「親と子供の関係を描きたいのではないのです。さきほど、老人の所で話したように、大人の世代がもつ責任と子供の世代の関係を、見せたかったのです。世の中の構造が根本から変革を遂げているのに、何十年も前の価値観と論理で社会を動かそうとしてはならない、ということですね。そして個々の、

親子の関係というのは、そのことと密接に結びついているのです。なぜなら、子供の問題というのは、すべて大人に原因がある。だから大人はよほど注意深く行動しなければならぬのに、大人は子供に對してあまりに不意な行動をとる過ぎた。そのうえ、大人が賢くなるためのわかりやすい方法論が見えない時代になってしまった。……つまり、そういう意味での親子の問題を見せたかったのです。ウツソの両親が彼に施した教育、あれなんか子供から見れば、たまったもんじゃありませんよ、とね」

——カサレリアを東ヨーロッパに硬直していた日本人の意識の変化の始まりについて

——カサレリアを東ヨーロッパに設定した理由というのは、何かあるのでしょうか。

「まずひとつは、日本人にとって一番苦手な場所だからです。そしてもうひとつの理由は、ヨーロッパとアジアの交差点だからです。後者のほうは、最近のユーゴ紛争などで、ようやく日本人にも理解されるようになってきましたが、し



のです。ただし、オリファー・イノ（ウ）エやジュンコ・ジェンコという名前のキャラクターを登場させたのは、彼らの血筋には日本人が混ざっているんだよ、ということであり、そのことから民族の広がりを感じてもらいたかった。だから厳密な意味で、日本を完全に排除してしまっただけではない。僕個人としては、このキャラクターの問題は非常にうまく描けたと自負しています」

——日本人の意識が、変わりは、

——今回の物語の基本的背景であった宇宙戦国時代多数の民族が交錯するそこには宗教があるはずだ

——宇宙戦国時代とは、どのような状態なのでしょうか。

「現在世界の各地で繰り広げられている、民族紛争に近いものと考えてくださればよろしいのですが、このような受け答えをしなければならなくなったのは、宇宙戦国時代というものを考えたときに、ある種の自己規制を設けたからなのです。もし戦乱の背景描写に時間をかけると、作品の大前提であるロボットものにならなくなってしまうので、

じめているのでしょうか。ようやく、わずかながら変化してきたようです。最初の『ガンダム』のときに、僕はリュウ・ホセイを黒人にしたかった。だが、局や代理店からクレーム——これこそ、さきほどの大人がもつ古い価値観のいい例です——が付いたために、変更せざるを得なかったのですが、今回は、まったくクレームが来ていません。これは、ほんの少しではあるが、意識が変わりはじめている証でしょう」

——やはり、膨大な描写が必要になるのでしょうか。

「個々の人物による描写はもちろんですが、そのような状況を描くためには、それに加えてどうしても宗教を抜きにしてしまうわけにはいかないのです。これが、宇宙

戦国時代を大々的に描くことを避けた、第2の理由でもあります。ただし、宗教を描くことそのものが悪い、といっているわけではありません。気づかぬうちにタブーに触れてしまったり、偏見をもった描写をしてしまうことは絶対に望ましいことではありませんし、対応する両者を完全にイーブンに描くことも難しく、TVのロボットものにはそぐわないと判断したからなのです。

——宗教の難しき、ですね。

「現在の日本人は、その大部分が、宗教からほとんど無縁の社会で生活しています。そのために信仰の深い方たちの考え方や行動を完全に理解する素養が、根本的に不足してしまっているのです。ただ、

ウツンがカサレリアに帰るというラストシーンは納得感をもって、迎えていただけたのではないかな

——地球連邦政府についてお聞きしたいのですが。

「彼らについてはもうサジを投げています。だいたい、民主主義という機構自体が劇的に欠け、ロ

のアニメ作品の監督でしかないうえに、その素養をもっていい僕が、容易に触れることができるような問題ではありません。でも、もしも宗教と宇宙戦国時代というものを、カッチリはめることができたなら、きっと多民族の雰囲気や紛争のディテールなどが、桁違いの現実感をもって描けたに違いありません」

——民族を知るためには、宗教を知らなければならぬという……。

「実はマリア主義という架空の宗教を登場させたのも、それを通じて少しでも、らしさを描けないか、と考えたからなのです。で、本音をいえば、あれも本当は現存するいずれかの宗教にしたかったのです」

ポットアニメという題材にそぐわないんですよ。たとえば、現在の連立政権のゴタゴタを見ていただければわかるのですが、結局のところ、あの手のものを描くしかな

くなってしまうのです。それでも確かに、その中のひとりを集中して描けば少しはなんとかなるのではないか、という思いはあります。が、やはり組織論になってしまいうざったいだけなので、勘弁してください。僕が彼らについて詳しく描くことは、きっとこの先においてもないはずですよ」

——個人的には、最初に「Vガンダム」が制作される、という話を聞いたときに、完全に連邦を敵に回した物語にまでしてしまうのではないかと、とも思ったのですが。「いつかは、そこまでやりたいのですけれど……、まだ、それだけのパワーはなかったな。もしかしたら、今回の物語がいまひとつパツとしなかったのも、そのあたりに理由があるのかもしれないね。……そういう意味では、チョット悔しいな」

——最後に、ラストシーンについてお尋ねしたいのですが。

「普通の映画のように、終わらせなつもりでいます。『F91』とは違

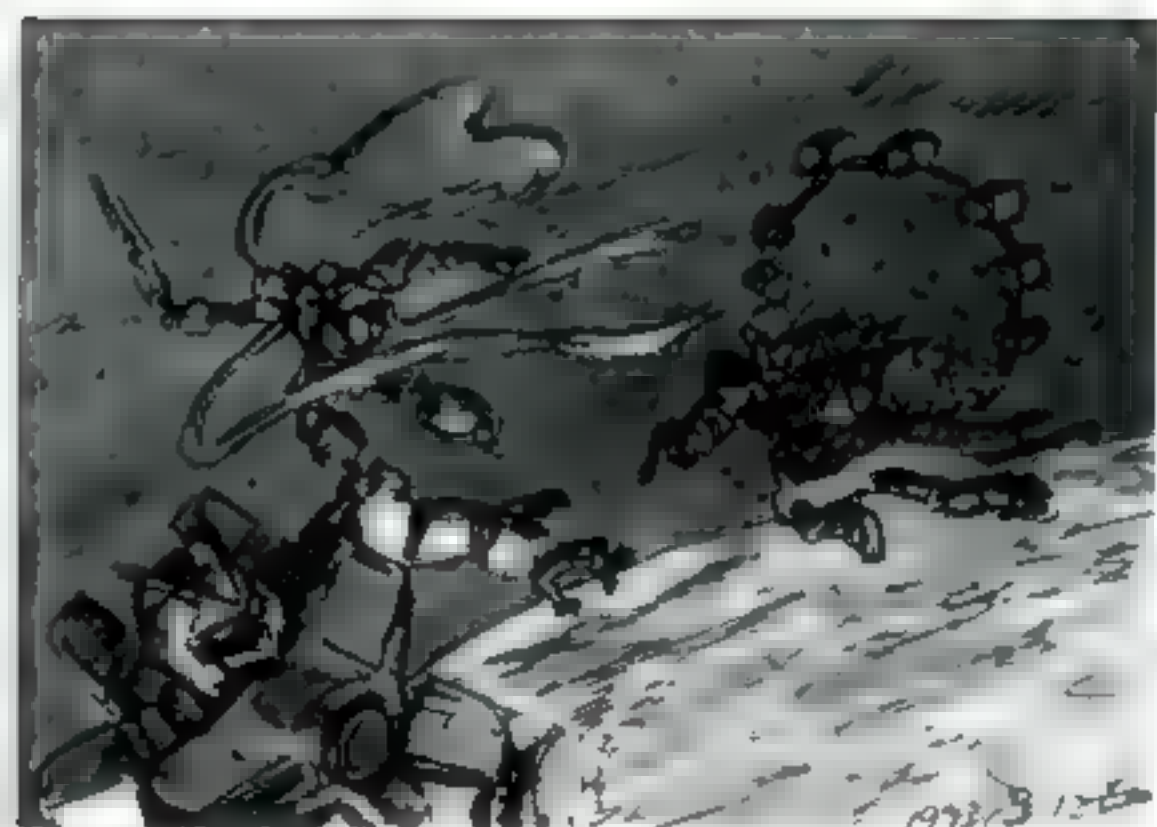
い……いやあれも普通かな。とにかく『逆襲のシャア』のように終わらなかつた、ということでは、なぜそのようにしたかという、最初に答えたように、ウツンがガンダムで戦ってしまうような、不幸な子供だったからです。つまり、彼は子供として満たされていなかった。そして、それを補うためには、再びカサレリアに帰るしかなかった。その納得感というのは、あのラストシーンを

見てくださった方なら、わかっていただけたのではないのでしょうか。——これまでとは、かなり趣が異なっているように思えたのですが。いろいろな要素が絡み合って、あのようになりました。その理由のひとつとしては、敵方のクロノクルやカテジナのポルテージが、シリーズ中盤で落ちってしまったことがあげられます。でも、その結果として生まれたあのラストは、十分に満足のいくものであった、と思っています。特にあのわかりやすさ、というのはね」

とみの・よしゆき●1941年11月5日、神奈川県小田原出身。日大芸術学部を卒業後、虫プロダクションに入社。「鉄腕アトム」の脚本・演出を手がけた後にフリーになり、数多くのTVアニメ・シリーズに監督・演出・絵コンテなどで参加。主な著書には「オーラバトラー戦記」や「リンの翼」など。血液型はAB



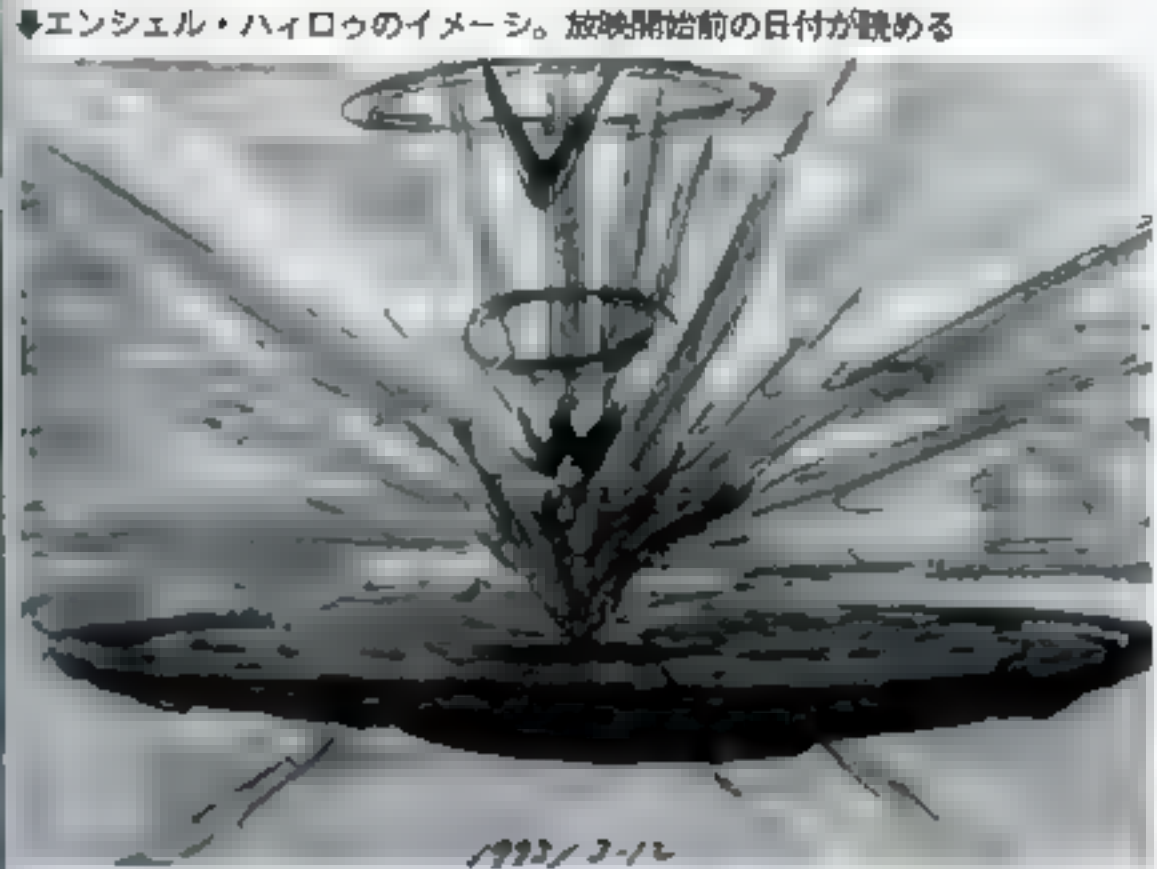
Vガンダム』でやつたことは、かつてのガンダムをなぞつたものではない



●ゲンカメゾのもとになった。風神&雷神をモチーフとしたMS



●分割された状態のエンシェル・ハイロウを前にしたVガンダム

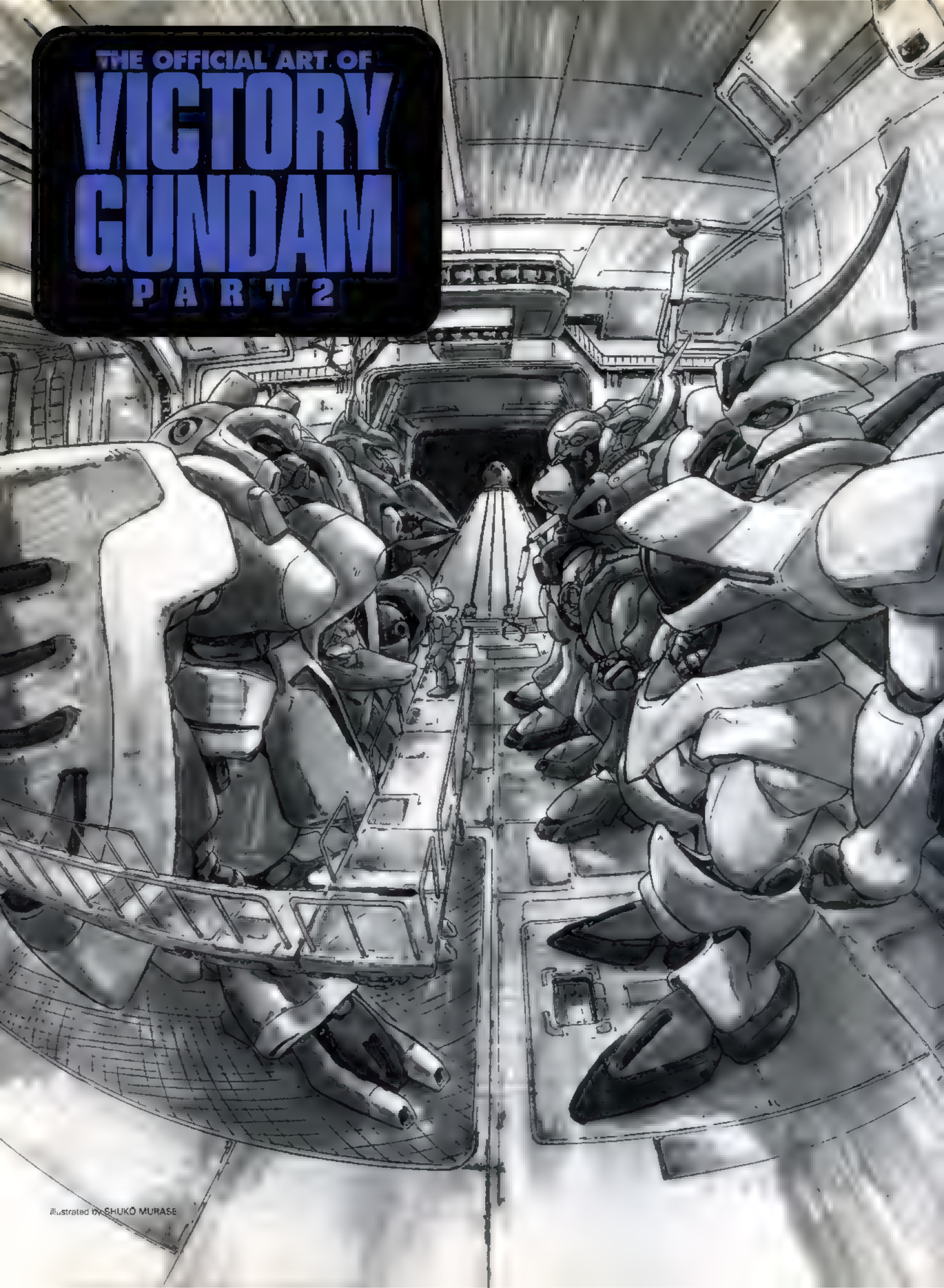


●エンシェル・ハイロウのイメージ。放映開始前の日付が読める

FINAL INTERVIEW OF
VICTORY GUNDAM
MORE CLOSE TO

Yoshiyuki Tomino

THE OFFICIAL ART OF
**VICTORY
GUNDAM**
PART 2



V2-ASSAULT GUNDAM

V2アサルトガンダム

Designed by KASUMI KATOU

LM314V24

頭頂高	15.5m
本体重量	12.3t
全備重量	19.1t
装甲材質	カンダリウム合金スーパーセラミック複合材
ジェネレーター出力	7510kw
主推進機	ミノフスキードライブ2基
サブスラスター推力	16700kg×2、4770kg×7
アホシモーター数	46

武装	頭部バルカン砲×2 ヒームサーヘル×2(2) ヒームシールド×2 メカヒームライフル×1 メカヒームシールド×1 ヴェスパー×2 フィールド発生器×2 ハートポイント×10
----	---

V2ガンダムに与えられた 攻防両用の金色の衣

名前の「アサルト」が指し示すように、突撃・白兵戦用のオプションを装備したV2ガンダム。両腰に装着されているのは、可動式ビーム兵器VBSR(Variable Speed Beam Rifle=ヴェスパー)で、取り外しての使用も可能だが、遠隔操作による攻撃も可能との説もある。また増加装甲パーツは、実体弾に対しては通常の2次装甲板と同じ役割を果たすが、ビームの直撃を受けた場合には、融解してエネルギーを分散、一般的に使われている装甲よりも、さらに機体内部への被害を食い止める機構が採用されている。ビーム偏向場発生器である1フィールド・ジェネレーターも備えており、まさに最終決戦にふさわしい装備といえよう。(49〜50話)

with FULL OPTION

アサルトパーツ装着時のフルオプション状態。メガビームライフル、メカビームシールドとも多大なエネルギーを消費するため、よほど出力に余裕のあるジェネレーターを搭載していなければ、行動不能に陥ってしまう

ボトムファイター-のとき等の装着位置

射撃センサー

コントロールユニット

舊段は右側へ装着してます

MEGA BEAM RIFLE

特にアサルトパーツとの併用を前提としたものではないが、高出力のビーム発生器と長大な銃身(ビーム加速部)によって、それまでのものよりも格段の破壊力を与えられたライフル。不使用時は分割して機体に装着する

射撃センサー 向こう側に開く

ヒームシールドユニットを溶かしてエネルギーを供給する

グリップ開き切る

加熱フィン開く

同様のVBSRこんな形です

砲身平行に割れてビームを発生させる

メガビームライフル射撃フォーム

黒いスリットは射撃時に光ります

左右の脚に分離して移行してる2つのユニットを展開、組み立てると射撃形態になる

パレルユニット

ふたは左側へ装着してます

上面カバー開閉

砲身は前後にスライド

左側ふくらばずに取り付け、曲面同士がフィットします

V2-BUSTER GUNDAM

V2バスターガンダム

Designed by KATSUMI KATON

LM314V23

頭身長	15.5m
本体重量	13.8t
全機重量	19.9t
装甲材質	ガンダリウム合金スーパーセラミック複合材
ジェネレーター出力	7510kw
主推進機	ミノフスキードライブ2基
サブスラスター推力	16700kg×2, 4770kg×7
アホシモーター数	46
武装	頭部バルカン砲×2 ヒームサーベル×2、2) ヒームシールド×2 メガヒームキャノン×1 スプレーヒームボット×1 マイクロミサイルボット×6 ハートポイント×8

長大な“槍”を携えた 重攻撃型V2ガンダム

ロングレンジ用ヒームキャノンや近接防御用のスプレーヒームボット、そしてマイクロミサイルを備えたオーバーハング・バックを装着した、中・長距離攻撃に比重を置いたV2。コンセプト的には、Vダッシュの発展型といえるが、V用のものとは異なっており、補助推進システムを内蔵していない。これは、V2のミノフスキー・ドライブの推力に多大な余裕があるため、多少の推力アップをはかるよりは、火力の向上に重点を置くべきだと判断されたためである。形式番号が示すように、アサルトパーツよりもわずかに早く開発されたが、下図が示すように両者を併用しても、互いに干渉して機体の動きを妨げることがないように設計されている。(46～49話)

MEGA BEAM SHIELD

バリア・ビットが4方向へ展開し、艦船に備えられたシールド発生装置並みのヒーム被膜を展開することが可能なオプション・シールド。これにより、ウツソはさらに幅の広い戦法をとることができるようになった

＝バリア・ビット＝

展開
黒い穴はハーニア
この部分がシールドを展開する
表面

V2-ASSAULT-BUSTER

アサルトとバスターの、すべてのパーツを装着した状態。本編では第49話にて披露された。巡洋艦並みの打撃力と優れた運動性の2つを両方に備えたこの形態は、まさに最強である

HAJIME KATOKI'S DESIGN WORKS

未公開設定資料集

Part 1

カトキハジメ

Vガンダムは主人公メカであるため、そのデザインにあたっては、映像的な見栄えだけでなく、玩具にしたときの充実感も強く要求される。このページでは、その両者をうまく融合するために尽力した、カトキ氏の努力がうかがえるラフ・デザインを中心に掲載した

ASSAULT OPTION

サイコミュ的な兵装として考案

企画時は、サイコミュ的な兵装として考えられたアサルト・オプション。両腕のVSRを、有線攻撃兵器にする、というアイデアもあったらしい。腕のミサイル・ホッドは、コストの関係からプラモ化できず、画面にも登場しなかった

BUSTER OPTION

V2用のダッシュ・パーツ

当初はV2ダッシュと名づけられていた、ハスター・オプション装備形態のラフ・デザイン。アニメ用の設定では描かれていなかった、オプション単体の図もみることが出来る。右端は右肩のロングレンジキャノンで、断面図が付け加えられているのは、玩具化するときに、バンダイの担当者から構造の説明を求められたためである

各部にアイデア満載のV

上の図は、ヘキサの登場とあわせて考案されたオプション兵装。プラモデルとしては、後に登場した、追加兵器を集めたセットにて発売。左はシールド・ユニットの内部構造だが、この案の場合、シールドとサーベルの同時使用に制限が発生するため、物語上では用いられていなかった

V-GUNDAM

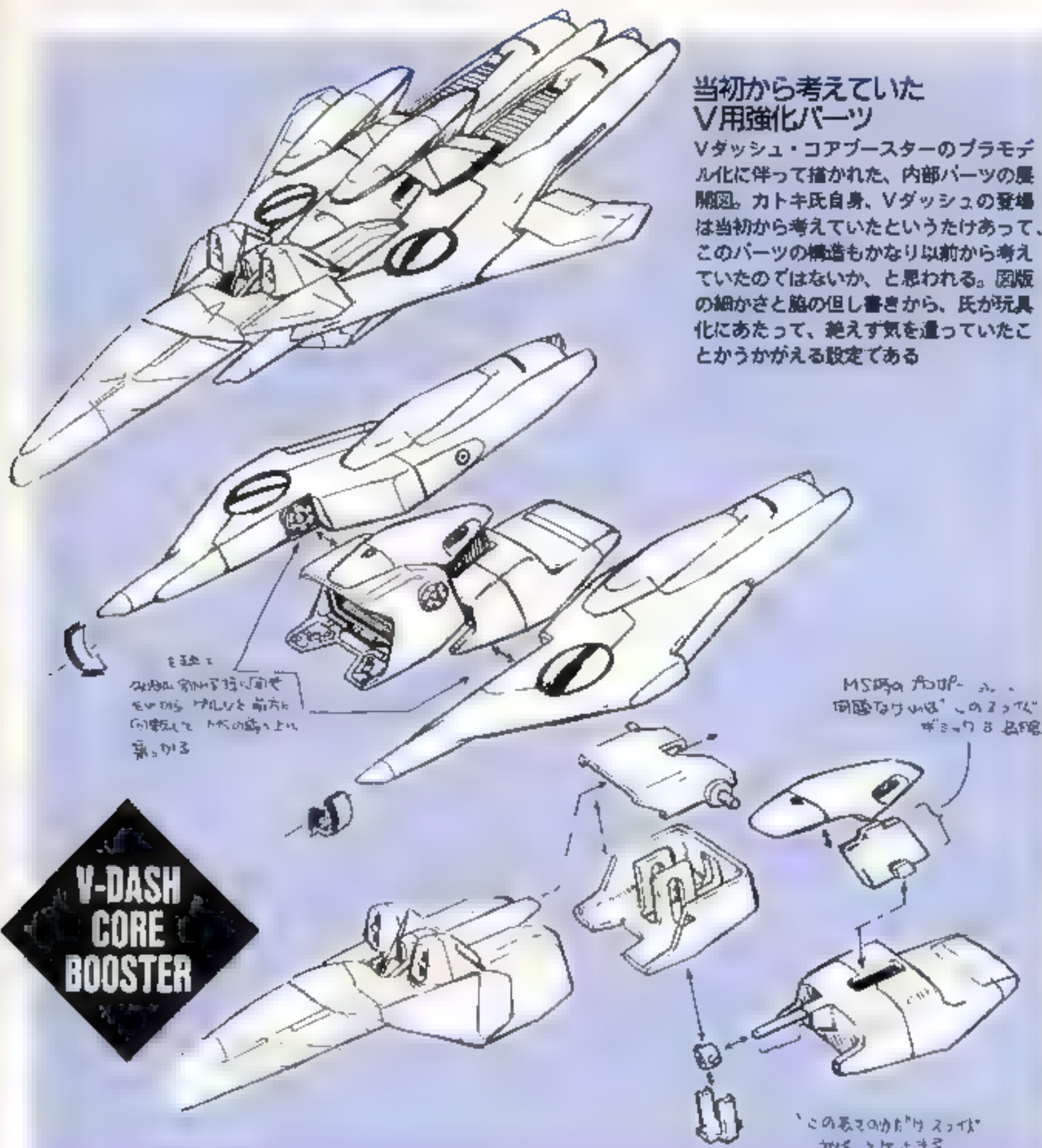
—VとV2の両主人公のMSと、その強化パーツ類を中心にデザインなさったわけですが、それらを描くにあたって特に留意した点はどのような部分でしょうか。

「玩具としてのポイントを中心に話をすると、V2というのは、Vをリファインした結果として生まれたものなのです。たとえば、Vのプラモデルは直立させるためのクリアランスを確保する必要から、足首のパーツが膨らみすぎて、機体全体のバランスが崩れてしまっていた。そこでV2では、そのような形にならずとも、クリアランスが確保できるようにした、などのようにです」
—そうすると、バンダイとかなり細かい打ち合わせをしたわけですね。
「担当していたのが本当に熱心な方たちだったので、かなり頻繁に意見の交換をしました。そして、省略されてしまうかな？と思って描いたパーツ類もほとんど組み込んでありましたし、こちらがこういう構造になっている、と説明すると、そのとおりにつくってくださいました」
—デザインの具体化は、そこまで進んでいると……。

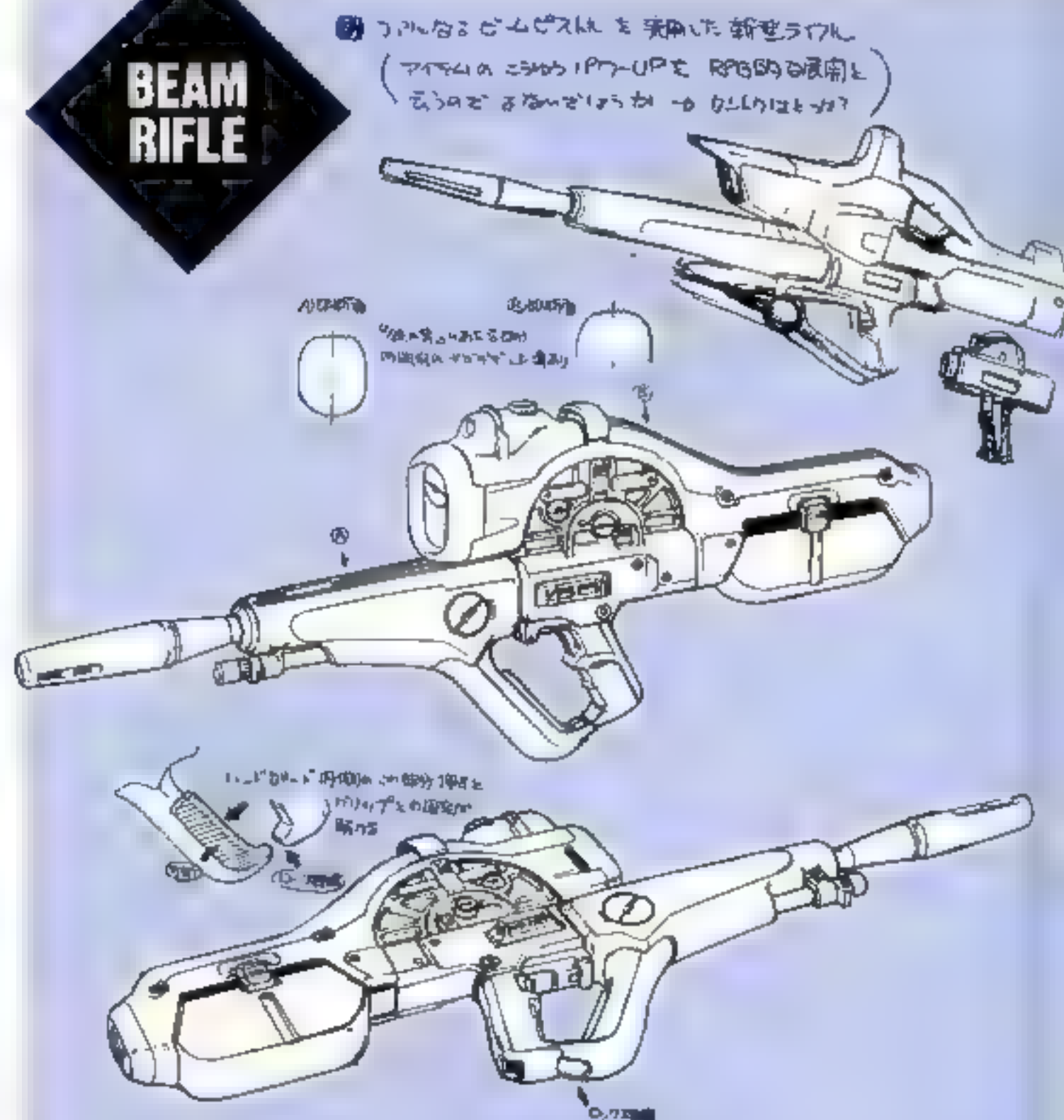
「もちろんコスト的な限界はあります。でも、ポリキャップなどが用いられるようになったので、今のガンダム・プラモは信じられないくらいに進歩しています。たとえば関節にしても、現在ではほとんど人間に近いポーズがとれるほどにまで進んでいて、デザインするうえで設けられた装甲板などによって、動きが制限されてしまうまでになっています」
—難しいものですね。

「でも今回の作品では、その種のことをいろいろ勉強できましたので、いい経験になったと思っています。これからもそれを生かしたデザインを描いていくつもりですので、ぜひみなさん、よろしくお願いします」

Vの問題点をリファインした結果としてV2が生まれました



BEAM RIFLE

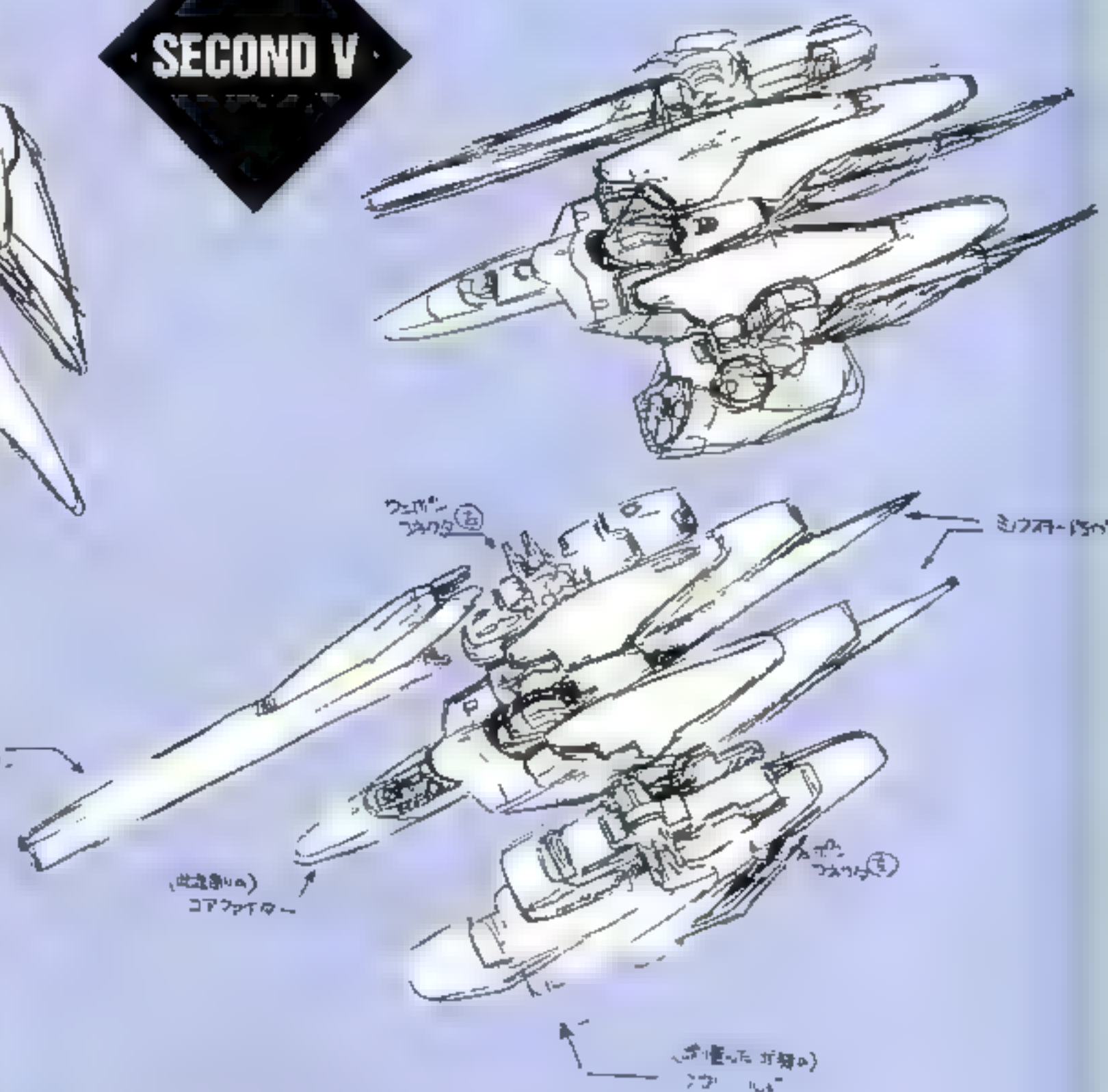


大型玩具も発売された「ガンダム」の主力兵装

Vのヒームライフルは、1/100程度のスケールの玩具が発売されたが、中と下の2点の図版は、その玩具のための設定。また上の図版はV2用のもののラフ・デザインで、より鋭角的なデザインが施されている。なお当初、Vカンダムをアイアムなどによって、徐々に強化するというアイデアがあり、それが傍らに書かれている「RPG的な展開」ということばに表われている。



SECOND V

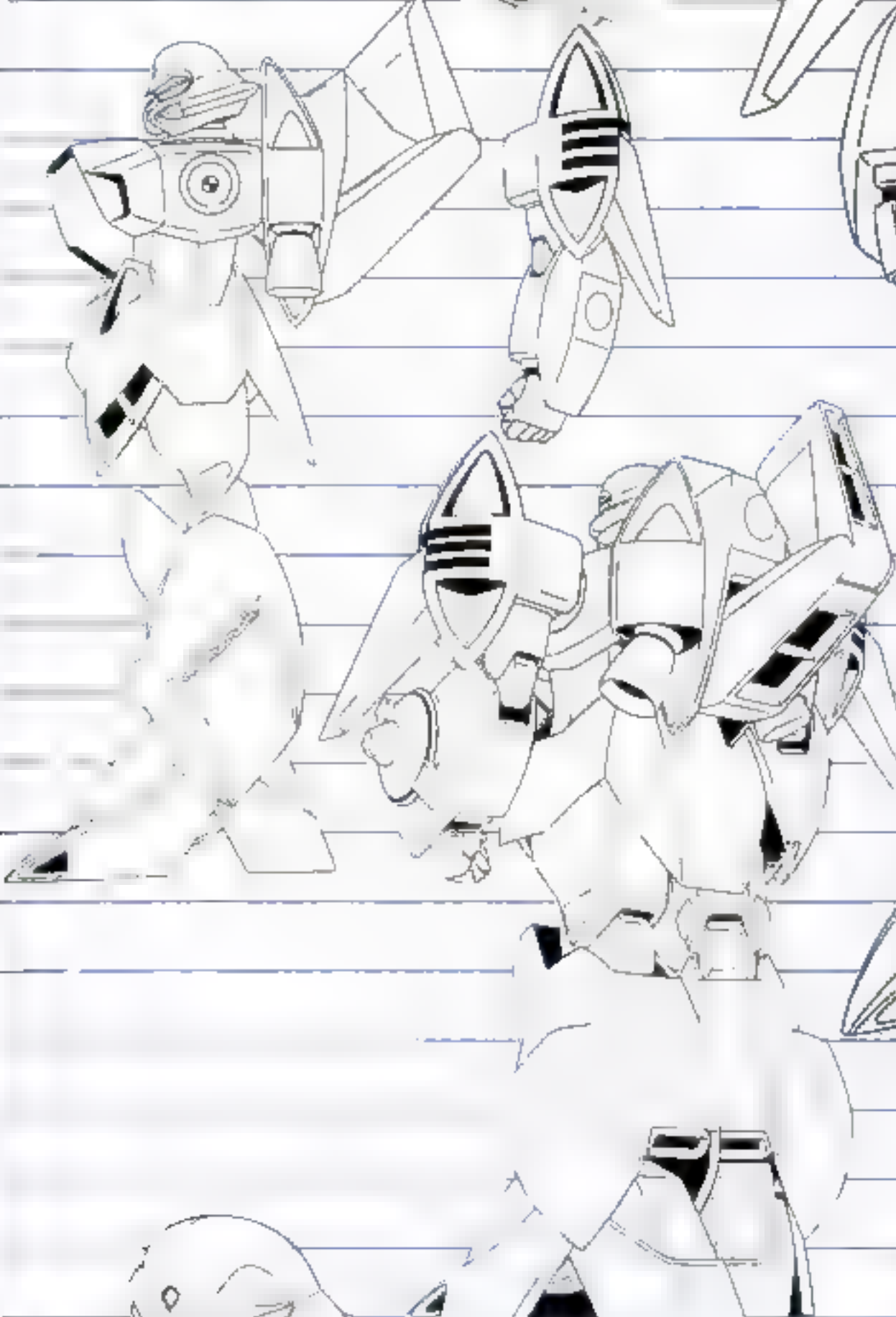
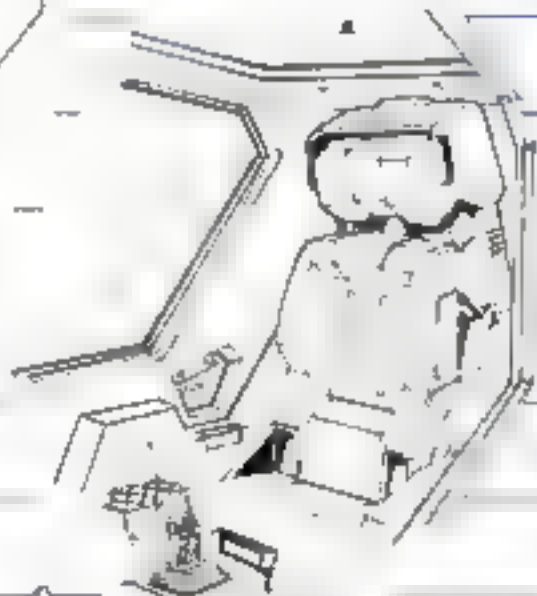
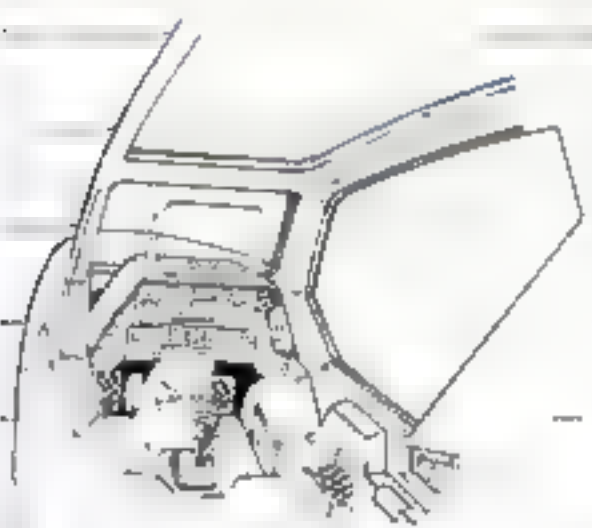


小説版オリジナルの発展型Vガンダム

富野監督がみずからつづる、小説版「機動戦士Vガンダム」に登場しているVの後継型MS。メガビームシールド(小説においては、ミノフスキーシールドと呼称されている)やミノフスキードライブなどは装備されているが、アニメ版のV2ほどまでには完成してはおらず、VとV2の中間的なイメージの強い機体になっている。肩にオプション兵装用の大型ハードポイントが設けられており、トップファイター時にも装着した兵器が使用可能になっている。

COCKPIT

コクピットに関しては、トムリアットのものがそのまま流用されているが、これも開発・生産のコストと時間を、たとわずかも少なくしようと考えたためである。変形時には、内部でシートとパネルが90度回転する



マルチランチャー

DOMUTTRIA

ドムットリア

Designed by JUNYA ISHIGAKI

ZM-S27G

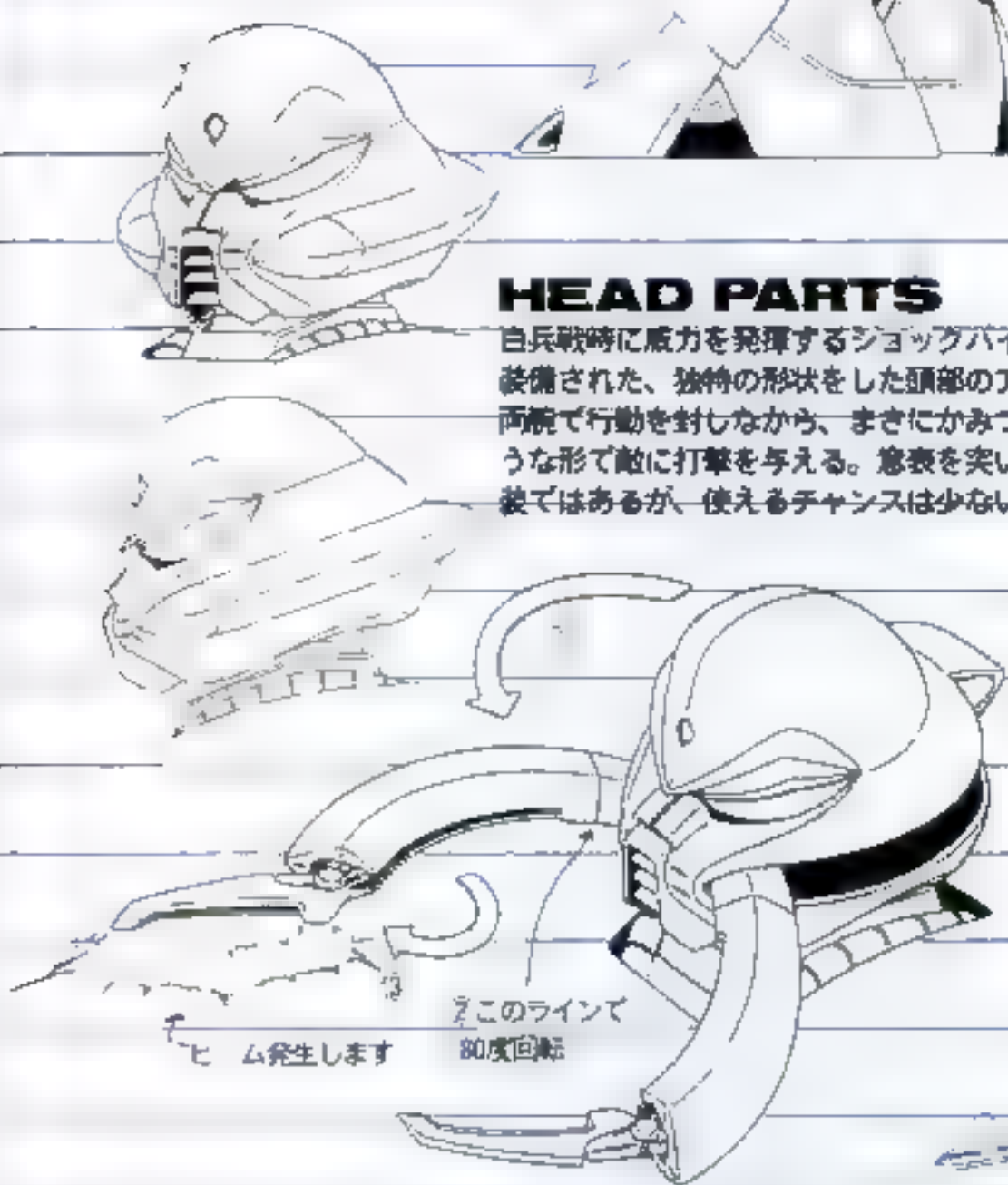
頭頂高	14.8m
本体重量	8.2t
全備重量	19.8t
装甲材質	ハイチタン合金ネオセラミック複合材
ジェネレーター出力	5960kw
スラスター推力	11370kg×2、10540kg×2、8000kg×4
アブシモーター数	31
武装	頭部ショックバイト×2 ヒームトマホーク×2 ビームローター×1 ビームライフル×1 4連マルチボット×2

トムリアットの後継機として開発された可変飛行型MS

ゾロ、トムリアットの系統に属する、ザンスカールの可変飛行型MS。モトラッド艦隊による、地球クリーン作戦に合わせて、戦線に投入された。一見するとトムリアットをマイナー・バージョンアップした機体であるかのような印象を受けるが、実際はかなりの部分の設計が見直されており、ゾロのパーツを多数流用して設計されたトムリアットよりはあらゆる点において、格段に優れた性能を得るまでになっている。なお、このドムットリアを境として、ザンスカール軍が投入する地上戦闘用のMSは、アインラッドとの連携を考慮したタイプのものへとシフトしたため、この機がヘリコプター形態への変形システムをもつ最後のMSになった。(37話～)

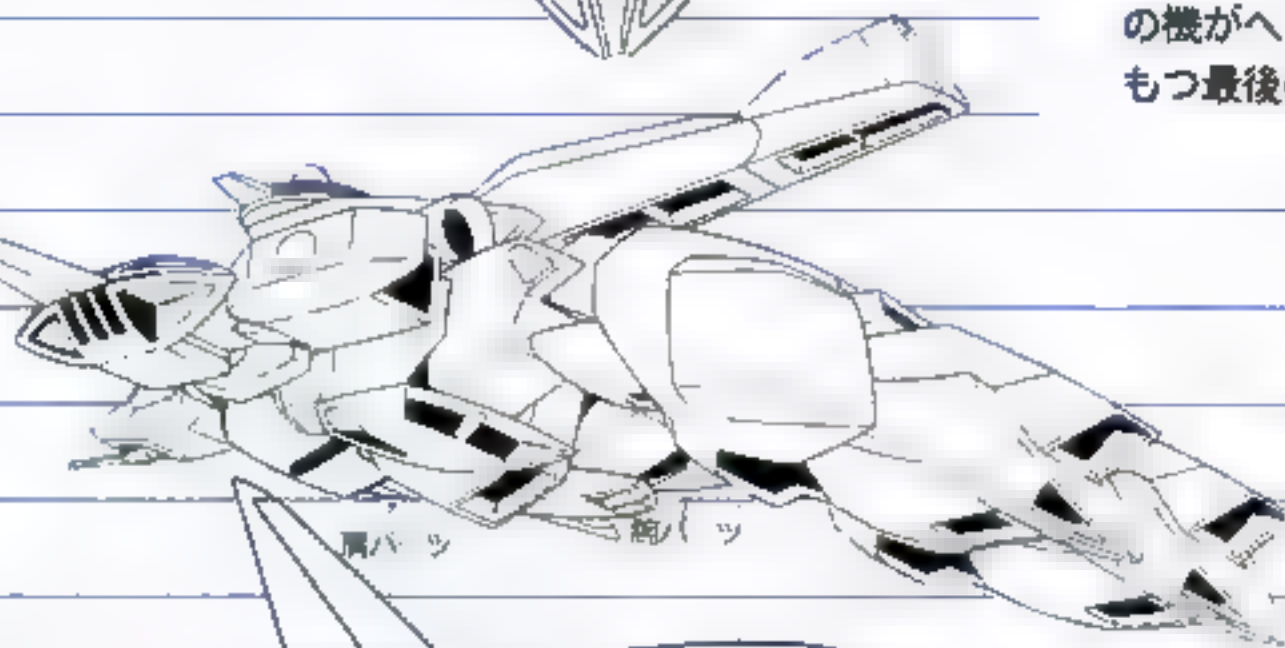
HEAD PARTS

白兵戦時に威力を発揮するショックバイトが装備された、独特の形状をした頭部のアップ。両腕で行動を封じながら、まさにかみつくような形で敵に打撃を与える。意表を突いた兵装ではあるが、使えるチャンスは少ない



対比

両腕・パーツは省略してます



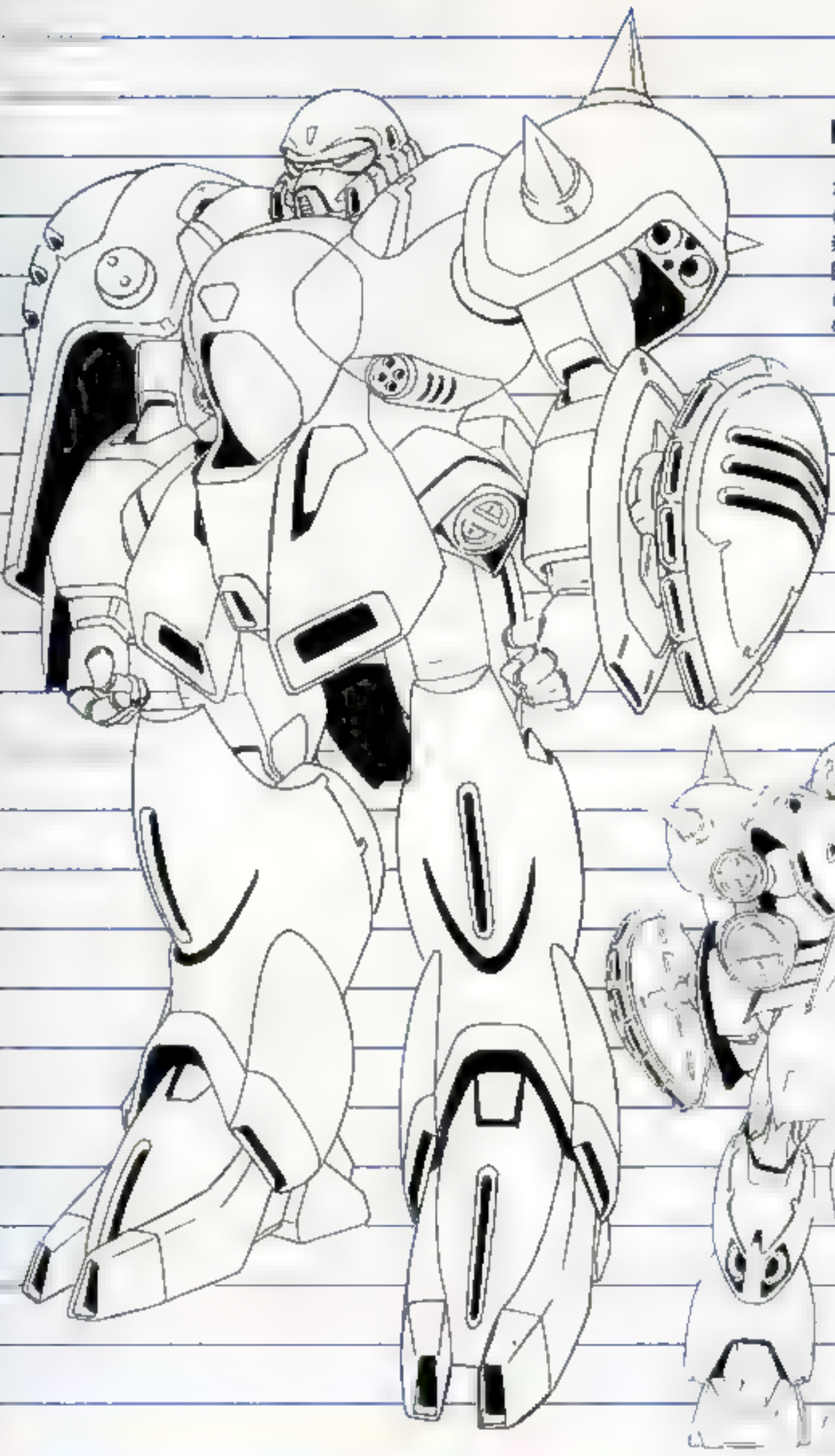
肩パツ

腕パツ

飛行時の水平ライン

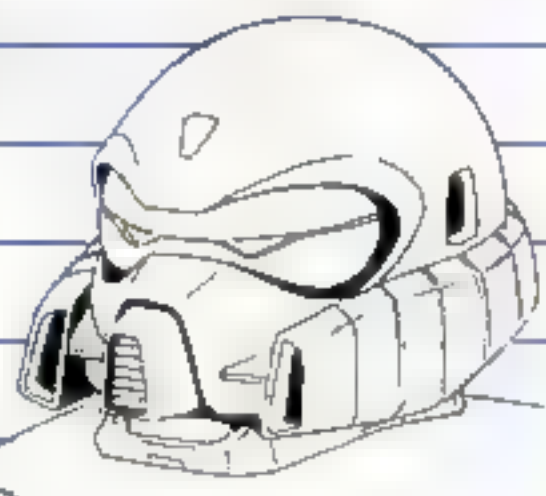
HELICOPTER MODE

飛行形態時には、バックパック部分に折り畳まれていたテール・スラスターが伸張される。これこそがトムリアットとの最大の相違点であり、このメカニズムの搭載によって、この機体はさらに優れた運動性能を与えられた



HEAD PARTS

プロアットやツッコー、プロアットなどに搭載されていた、複眼状のツインセンサーとは異なる新型の探知システムを装備した頭部。顔の部分のタクトも機外にはわせる形になったため、その印象はかなり変わっている



BEAM SHIELD

ソロアットの系列に属していることを示すデザインを施されたビームシールド。ソロアットにおいては左肩に装備されていたが、右側からの攻撃に対しモ対応しづらいという欠点があったため、腕部に移設された



ZOLLIDIA

ゾリディア

Designed by JUNYA OKAGAKI

ZM-S06G

頭頂高	14.7m
本体重量	9.8t
全備重量	20.9t
装甲材質	チタン合金ネオセラミック複合材
ジェネレーター出力	5440kw
スラスター推力	60800kg×1, 20170kg×1
アポジモーター数	35
武装	ヒームサーベル×2 ビームシールド×1 ビームライフル×1 ハートポイント×2

好評を博したソロアットの重力下戦闘用モデル

ザンスカールに開戦を決意させる要因のひとつとなったと語られる、宇宙用MSソロアットの重力下戦闘用モデル。通常、この種の機体は同一の形式番号を与えられ、その派生型として扱われることが多い。だがこの場合は、ベースモデルであるソロアットの登場からかなりの時間を経ており、相当量の改善をはからなければ能力的不足が予想されたため、機体の一部に新たなアーキテクチャーを投入することが決定、その結果としてまったく新しい番号が付与されることになった。なお、ビームローターを装備していないが、これはモトラッド艦隊の編成とともに実戦に配備されたため、アインラッドを用いての戦闘が前提になっていたからであろう。(35話～)

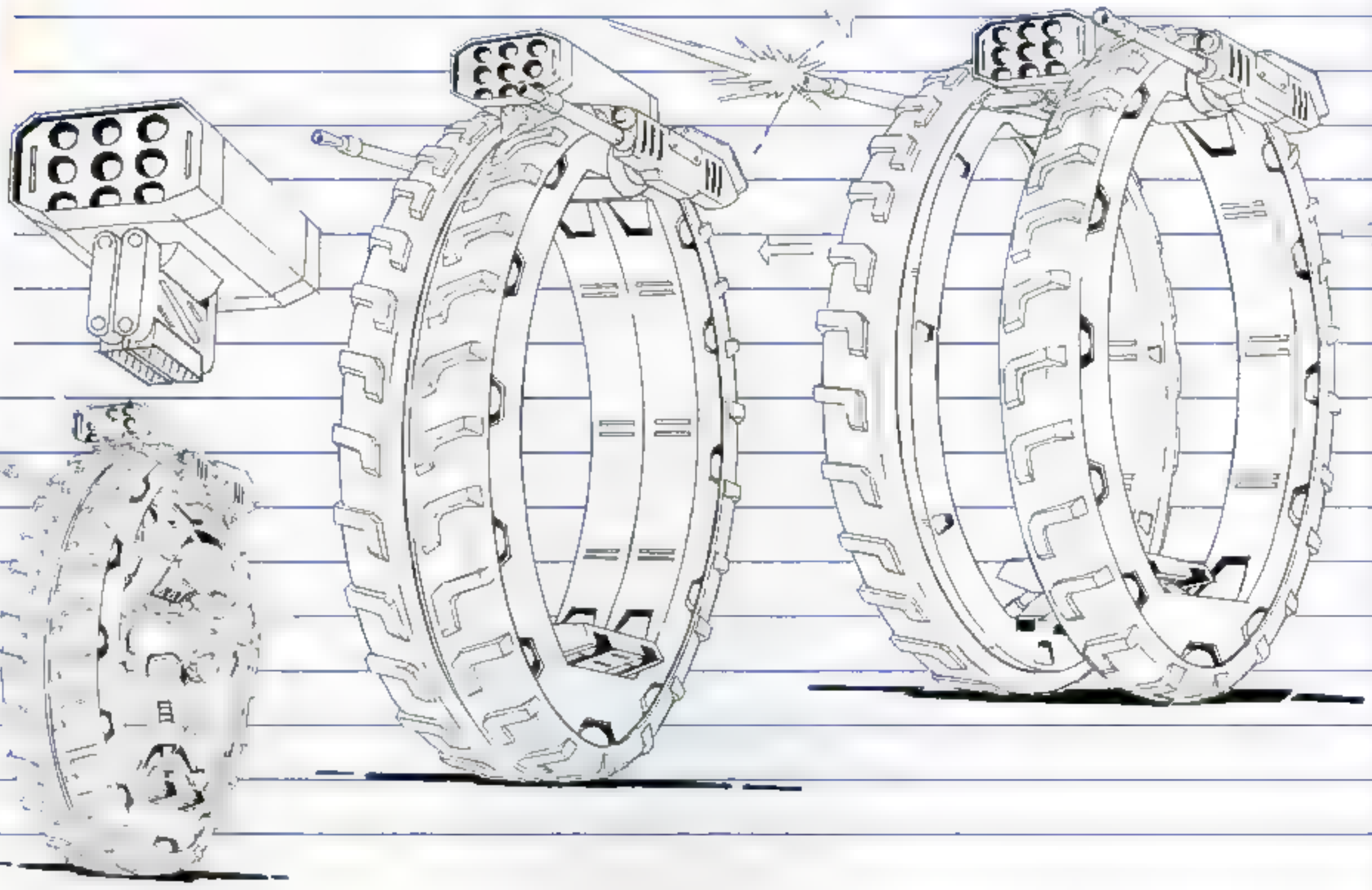
EINERAD

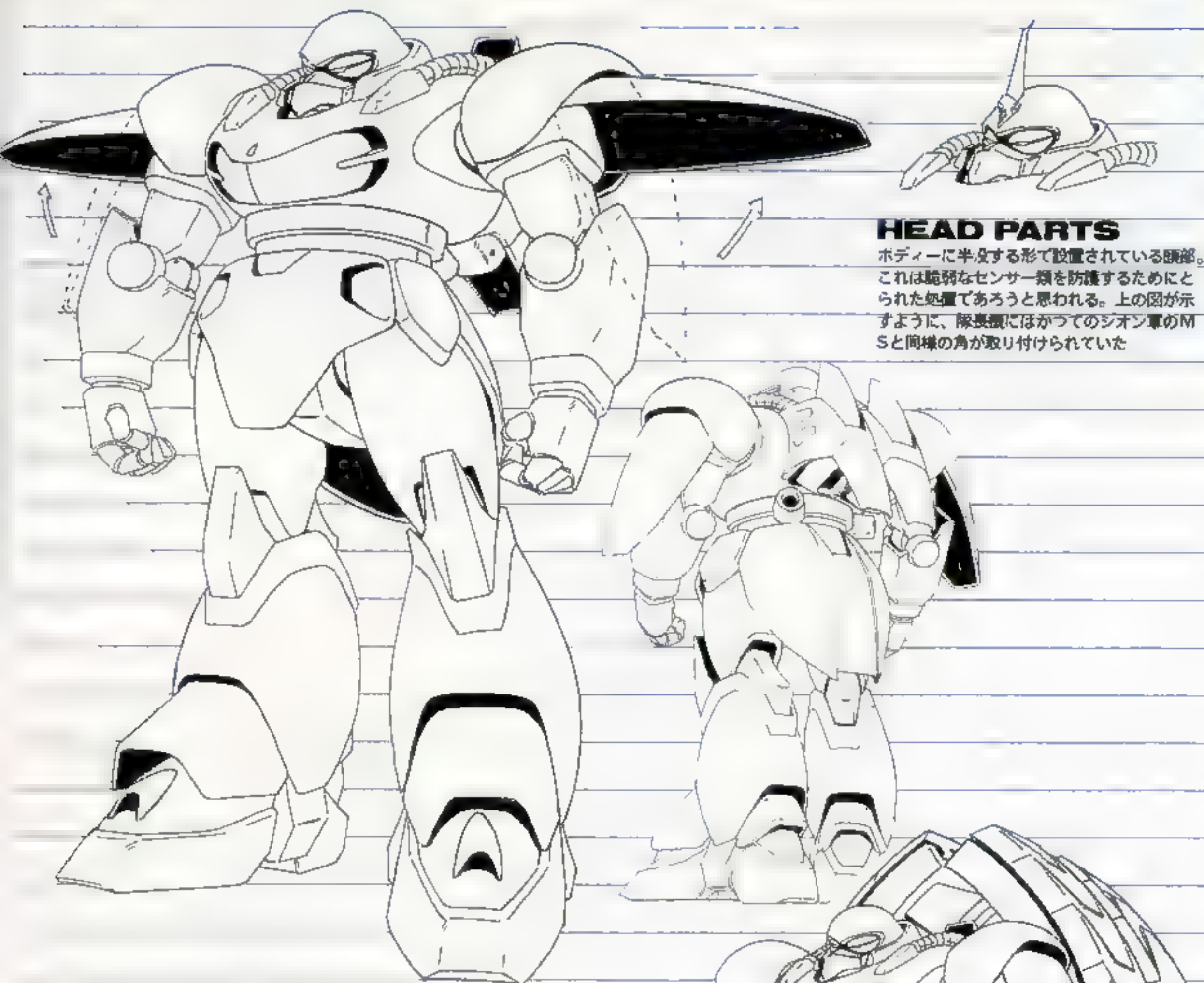
アインラッド

Designed by KUNIO OKAWARA

多用途対応の戦闘支援メカ

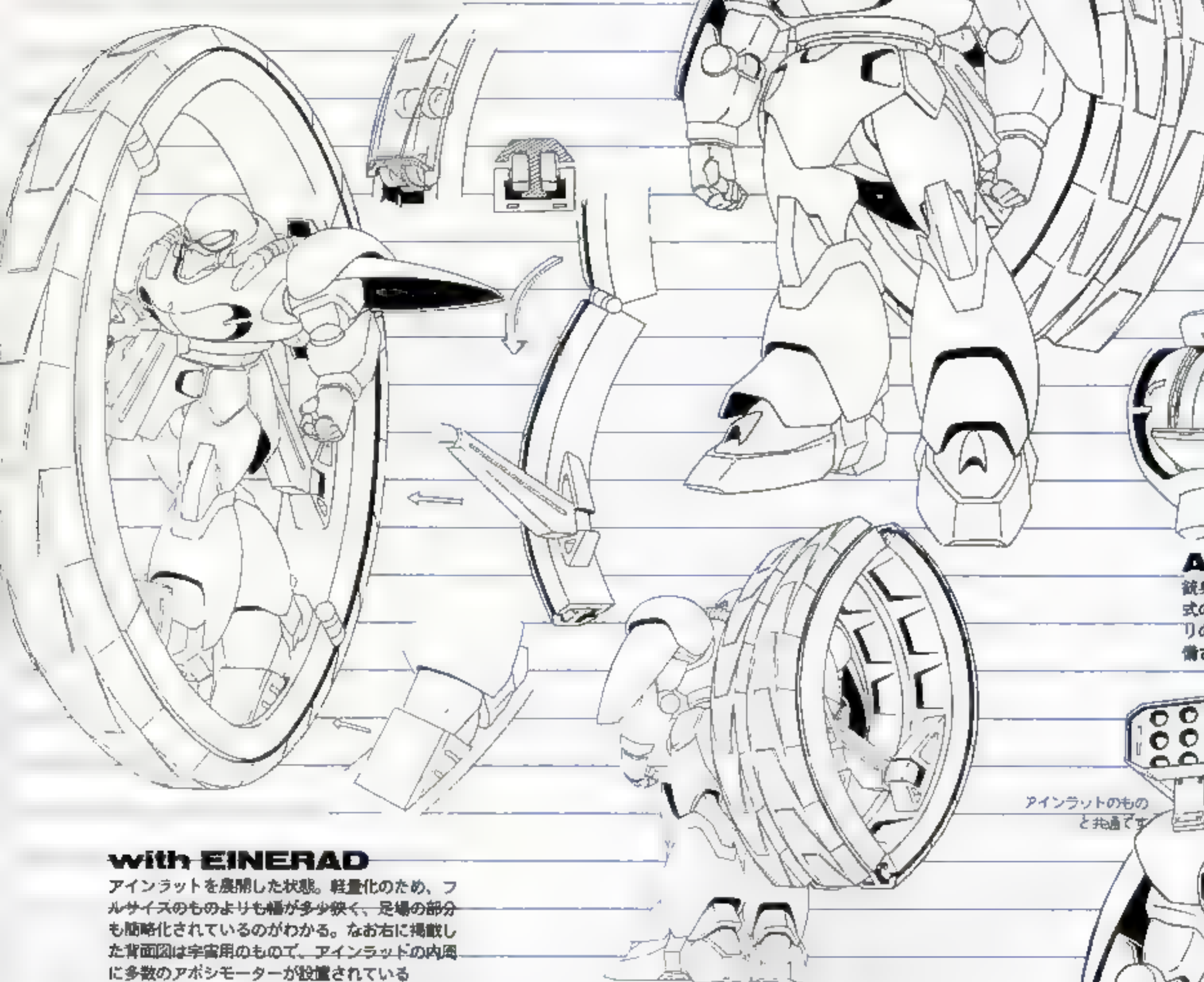
ザンスカール帝国がモトラッド艦とあわせて開発した、まったく新しいコンセプトに基づくMS支援メカニク。移動時の足となるのはもちろんのこと、攻防両用の兵器として使用できるため、パイロットと上層部の双方から非常に高い評価が与えられ、戦乱の後期にはかなりの数が用いられていた。(28話～)





HEAD PARTS

ボディに半没する形で設置されている頭部。これは脆弱なセンサー類を防護するためにとられた処置であろうと思われる。上の図が示すように、隊長機にほかつてのジオン軍のMSと同様の角が取り付けられていた



with EINERAD

アインラッドを展開した状態。軽量化のため、フルサイズのものよりも幅が多少狭く、足場の部分も簡略化されているのがわかる。なお右に掲載した背面図は宇宙用のもので、アインラッドの内周に多数のアボシモーターが設置されている

BRUCKENG

ブルッケング

designed by KUNIO OKAWARA

ZM-S21G

頭頂高	14.1m
本体重量	13.9t
全備重量	25.1t
装甲材質	ハイチタン合金ネオセラミック複合材
ジェネレーター出力	5570kw
スラスター推力	27040kg×2
アボシモーター数	15
武装	ビームサーベル×2 ビームライフル×1 アインラッド×1 ビームシールド×2 (アインラッドに機能あり) ハードポイント×2

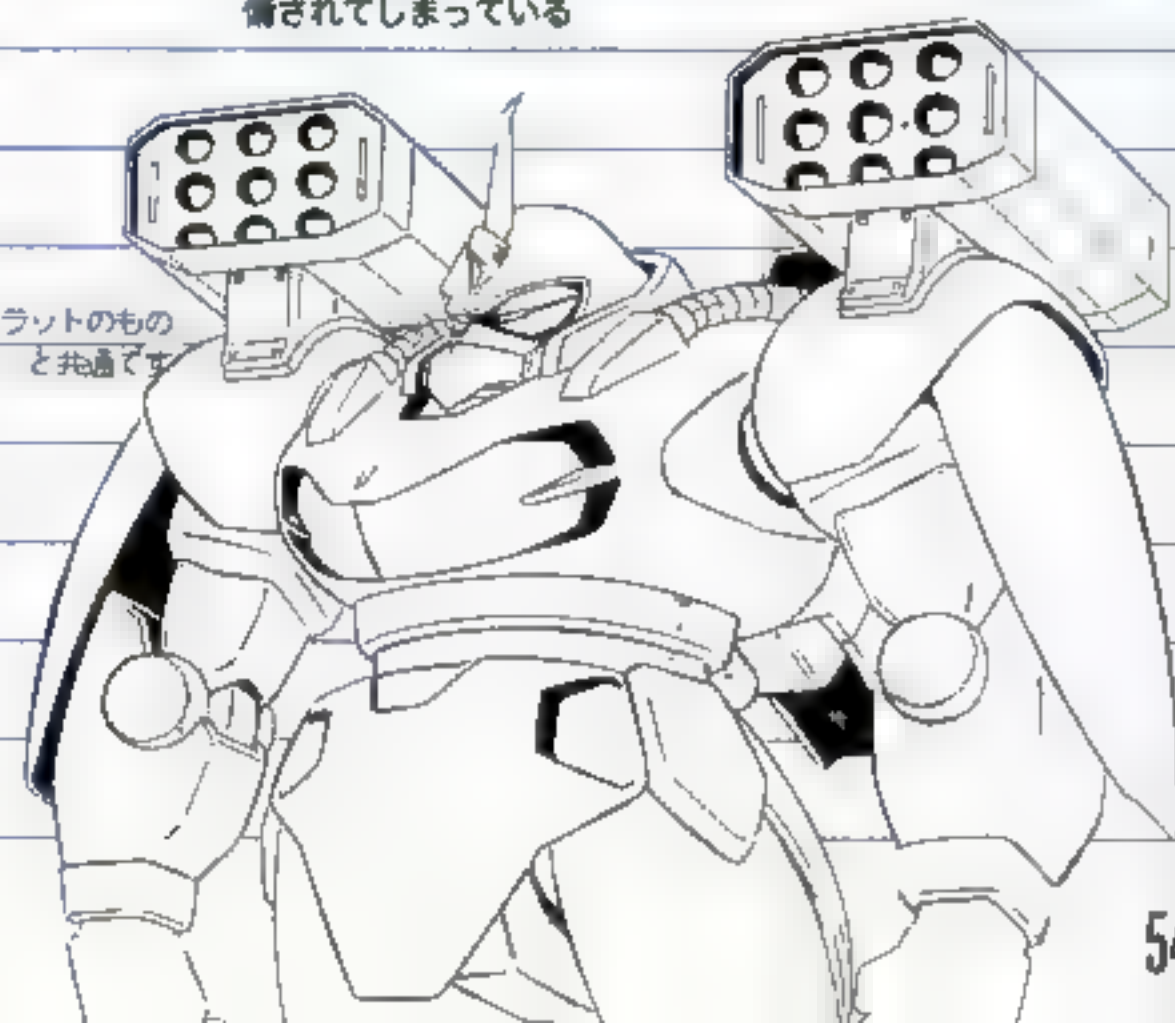
アインラッドとの連携を強化した一体型MS

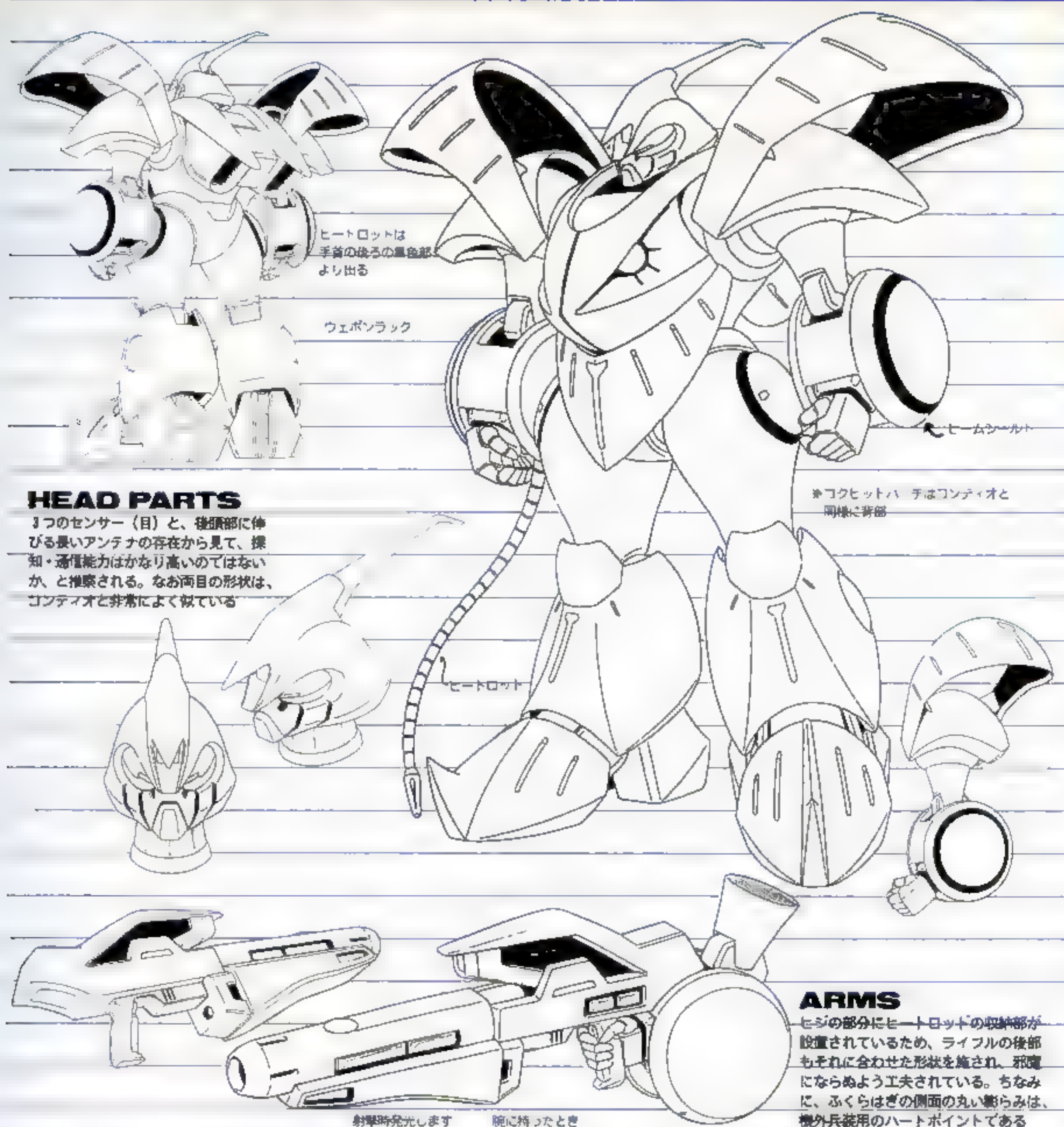
アインラッドは予想を上回る有効性を示した。だが、しょせんは無人のメカであるため、一度連携を崩されてしまうと、再び親機であるMSのもとに戻る間に、いとも簡単に破壊されてしまったり、最悪の場合には敵に奪われてしまう、という欠点をもっていた。それを補うために開発されたのが、専用のアインラッドを腰のジョイントによって保持した、このブルッケングである。しかし、確かにこの方式は有効ではあったが、フルサイズのアインラッドは、あまりにも重い。結果として軽量化したものが装備されたのだが、すると今度は破壊力が劣ってしまった……。新たな技術の導入がいかに困難なことなのか、うかがい知ることができよう。(41話～)

ARMS

銃身がグリップよりも後部に置かれていたブルバップ方式のライフルや、標準タイプのサーベルなど、ひと通りの兵装は備えているが、シールドはアインラッドに装備されている

アインラッドのものと共通です





HEAD PARTS

3つのセンサー（目）と、後頭部に伸びる長いアンテナの存在から見て、探知・通信能力はかなり高いのではないかと推察される。なお両目の形状は、コンティオと非常によく似ている

ヒートロッドは
手首の後ろの黒色部
より出る

ウェポンラック

※コクヒットハッチはコンティオと
同様に背部

ヒートロッド

射撃時発光します 腕に持ったとき

ARMS

ヒンジの部分にヒートロッドの収納部が設置されているため、ライフルの後部もそれに合わせた形状を施され、邪魔にならぬよう工夫されている。ちなみに、ふくらはぎの側面の丸い影は、機外兵装用のハートポイントである

JABACO

ジャバコ

designed by JUNYA ISHIGAKI

ZM-S20S

頭高	15.7m
本体重量	9.9t
全備重量	18.2t
装甲材質	ハイチタン合金ネオセラミック複合材
シネレーター出力	4990kw
スラスター推力	37460kg×2
アボシモーター数	28
武装	ヒートロッド×2 ヒームサーベル×2 ヒームシールド×2 ビームライフル×1 ハートポイント×2

ヒートロッドを装備した 接近戦を得意とするMS

ライフルやサーベルに加えてヒートロッドを標準装備する、接近戦を主体としたMS。もちろんアインラッドの使用も可能である。ドゥカー・イクが率いるリシテア級巡洋艦における運用が最初の登場で、その後も再び戦線が宇宙に移動した際にも姿を現わしていた。しかし多量に生産された気配はうかがえなかったため、何か問題が発生したか、もしくは実験的な性格が強い機体ではなかったのかと想像される。外観上の特徴としては、コクヒットハッチが機体の後部、首の付け根あたりに設置されている点があげられるが、これはコンティオで採用されていた方式なので、一部のパーツについては多少手を加えた形で流用されている可能性もある。(37話～)

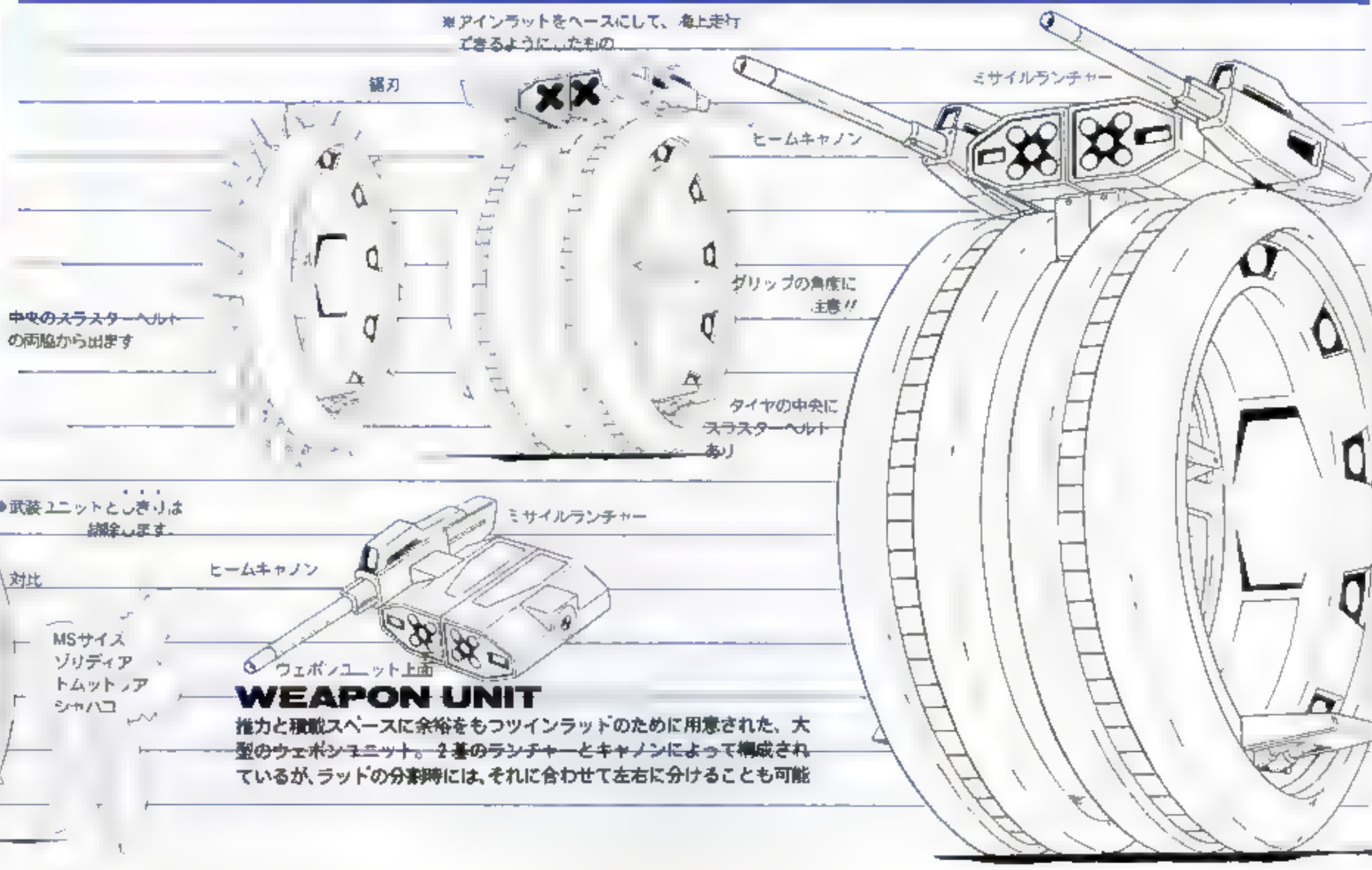
TWINRAD

ツインラッド

designed by JUNYA ISHIGAKI

連結式の改造アインラッド

海面上での行動力増大を目的として、ドゥカー・イクの指揮する艦において作製された、特製のアインラッド。外周部には引き込み式のブレードが装備されており、敵におよぼすダメージの増大までもがはかられている。(37話)



※アインラッドをベースにして、海上走行できるようにしたもの

鋸刃

ミサイルランチャー

ヒームキャノン

グリップの角度に
注意!!

タイヤの中央に
スラスターペイント
あり

中央のスラスターペイント
の両脇から出ます

※武装ユニットと向きは
逆転します

ミサイルランチャー

ヒームキャノン

ウェポンユニット上面

WEAPON UNIT

推力と積載スペースに余裕をもつツインラッドのために用意された、大型のウェポンユニット。2基のランチャーとキャノンによって構成されているが、ラッドの分離時には、それに合わせて左右に分けることも可能

MSサイズ
ソリティア
トムットノア
ジャバコ

対比

リアバース

フロントバース

HEAD PARTS

戦艦型を思わせる頭部デザイン。用途の特殊性と巨大さゆえ、スペシャルメードのパーツが多用されているが、目はコンティオなど同じタイプのものが使われている

MEGA BEAM ACCELERATOR

通常は背中折りたたまれ、使用時には両肩に展開される粒子加速器。その駆動しているさまを見たものは、突如として天空に満月が出現したかのように思うという

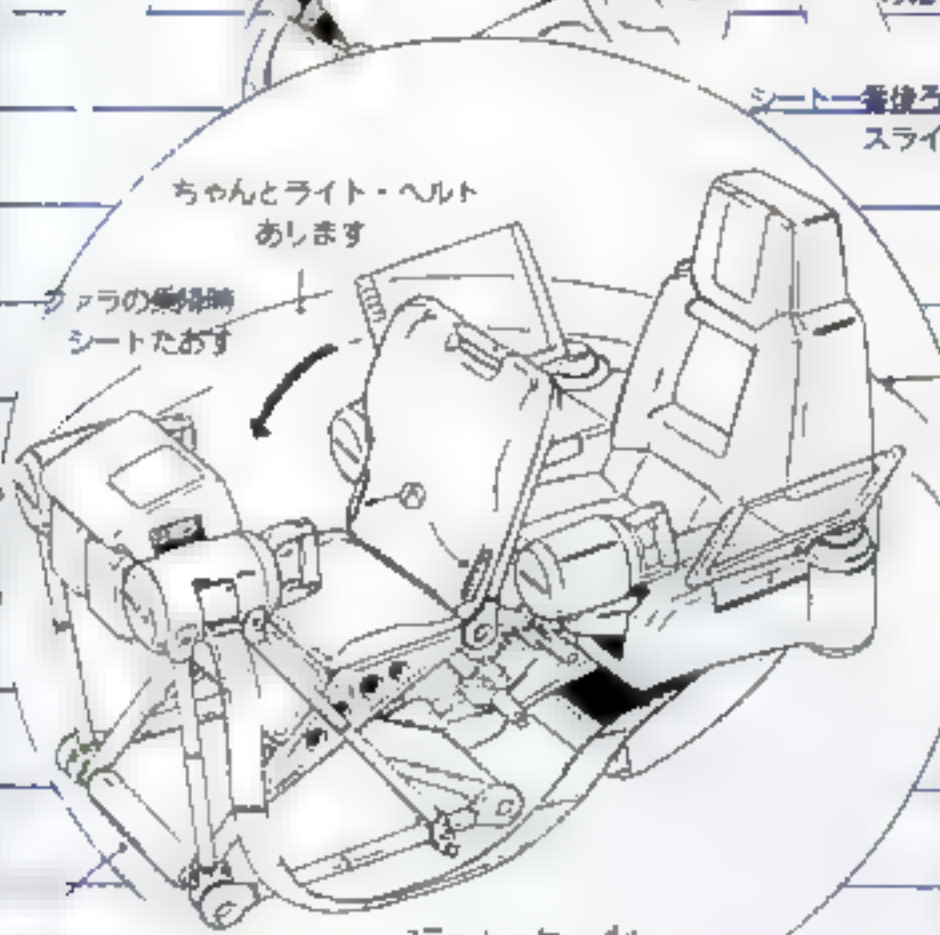
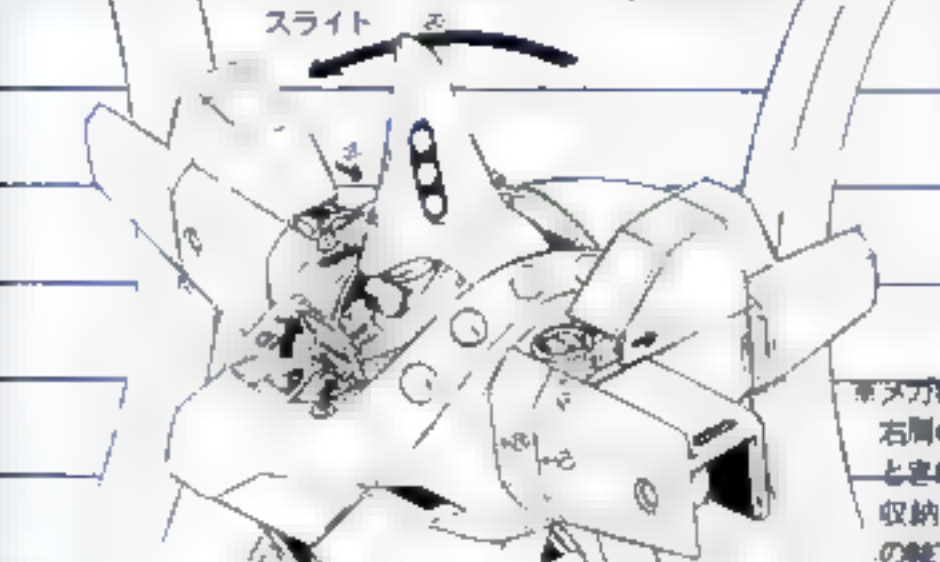
ZANNECK CANNON

戦艦の主砲並みの破壊力をもつ、大型の加電粒子ビームランチャー。全長20mにもおよぶ巨大さと、その破壊力ゆえに、ライフルではなくキャノンと呼ばれる

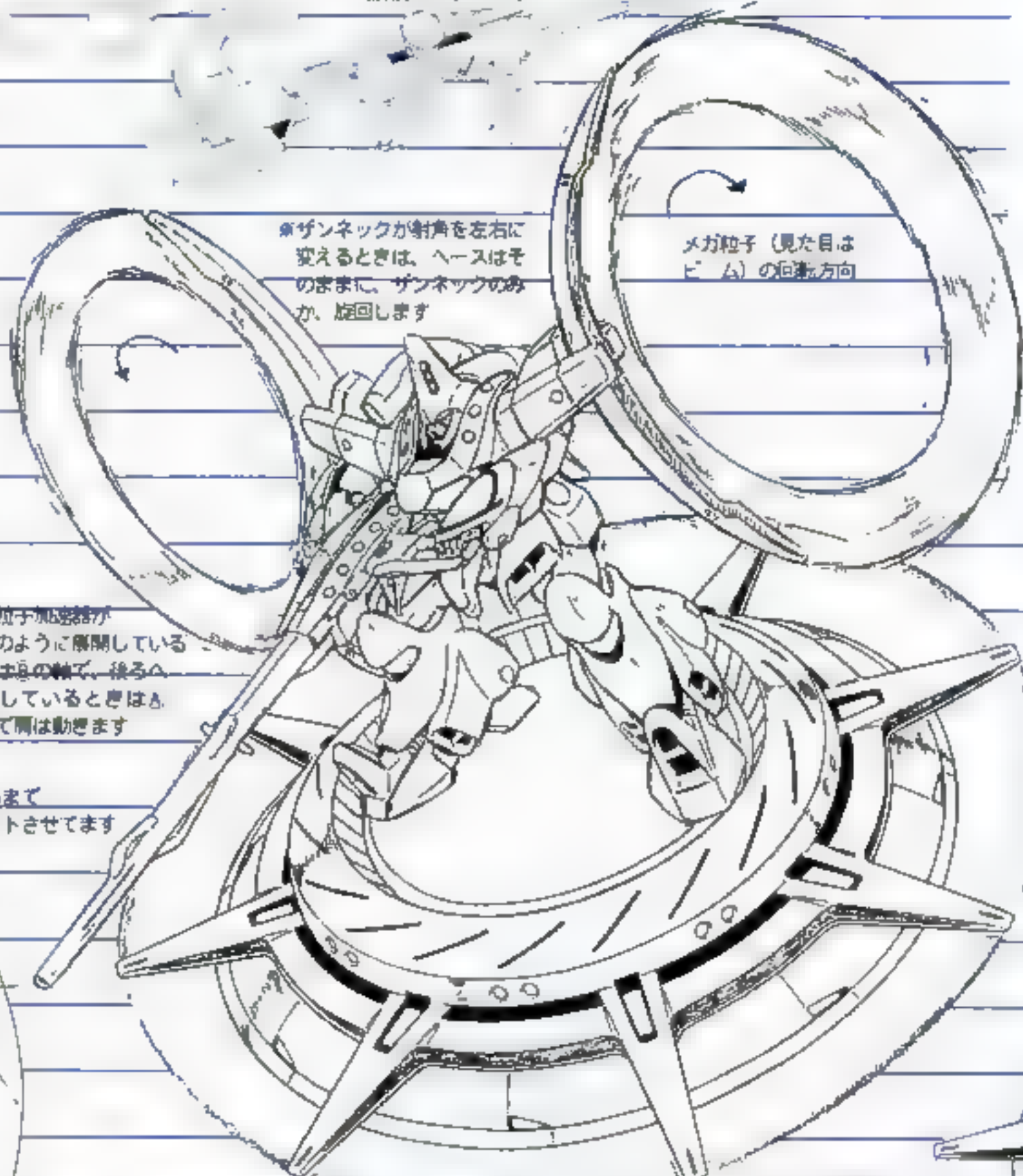
COCKPIT

全天球スクリーンが装備されたコックピット。その水平方向に走る光の帯が、このMSが通常のものではないことをうかがわせている。下の増設シートは、第43話のもの

コックピットハッチの開き方 メガ粒子加速器は、軸を中心に展開します。可動のグリッドアームを、トップ・カバーから上方へ開くを得るために、スライト・システムも、ミサイル・カバーから上方へ使用します



ちゃんとライト・ヘルトあします
ファラの乗降時シートたおす
プラットフォーム
Aよりニア・ヘルト出ます



メガ粒子加速器が右肩のように展開しているときは、この軸で、後ろの収納しているときは、この軸で回ります

右腕はこのハッチをつかみます(前後にスライト可)

メガ粒子(見た目はビーム)の回転方向

リング状に発光しています

リング状に発光しています

リング状に発光しています

ZANNECK

ザンネック

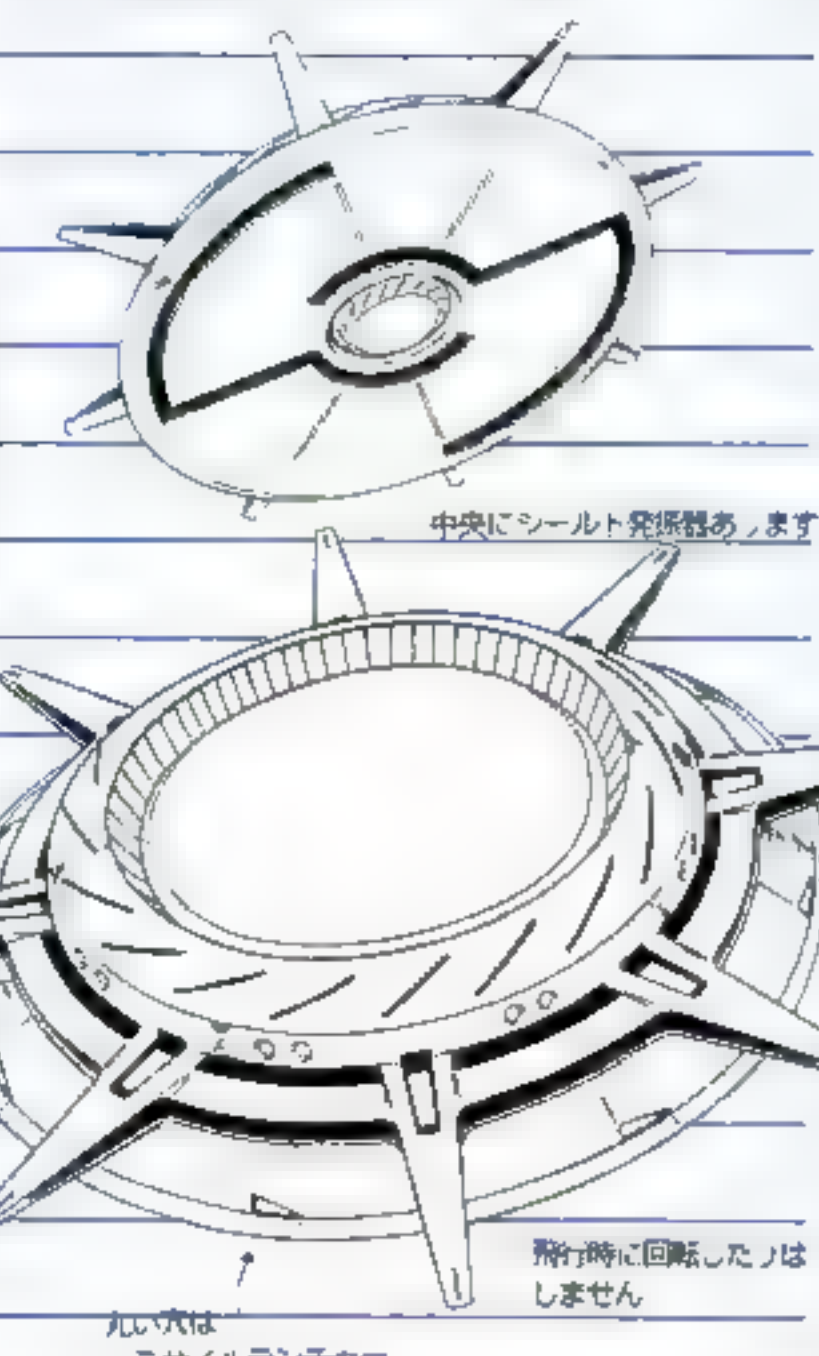
Designed by JUNYA SHIGAKI

ZMT-S29

全高	19.4m
本体重量	18.7t
全備重量	38.2t
装甲材質	ハイテク合金ネオセラミック複合材
ジェネレーター出力	5570kw×2
スラスター推力	41060kg×2, 30780kg×2, 10270kg×2
アポシモーター数	52
武装	胸部ミサイルランチャー メガビームキャノン×1 ヒームサーベル×2 ビームシールド×2 ハートポイント×2

鈴の音とともに来襲する 驚異の長距離攻撃用MS

2基の粒子加速器と、それを利用した大型の加電粒子ビーム砲を備えた、重攻撃型のMS。主砲のザンネック・キャノン発射時における機動性の低下を補うため、専用の円盤形フライト・サポート・システムと連携しながら用いられるが、その様はまさに移動砲台とも呼ぶべきもので、秘められた破壊力のすさまじさは、たった1機による大気圏上層部からの攻撃であるにもかかわらず、ラゲーンの街を文字どおり火の海に変じてみせたことなどで証明していた。ミノフスキー粒子散布下で、超長距離に位置する敵を単機で探知する必要があることから、特殊なセンサーを搭載しているが、そこから発振されるウェーブは人の脳に直接作用し、探知エリア内に位置する者に鈴の音の幻聴をおよぼしていた。この事実とパイロットのファラの言動から察するに、多分そのシステムには、サイコミュもしくはそれに類するバイオ・センサーなどが用いられていたであろう。(40~43話)



中央にシールド発生器あ、ます
飛行時に回転したノはしません
小さい穴はミサイルランチャー

with FULL OPTION

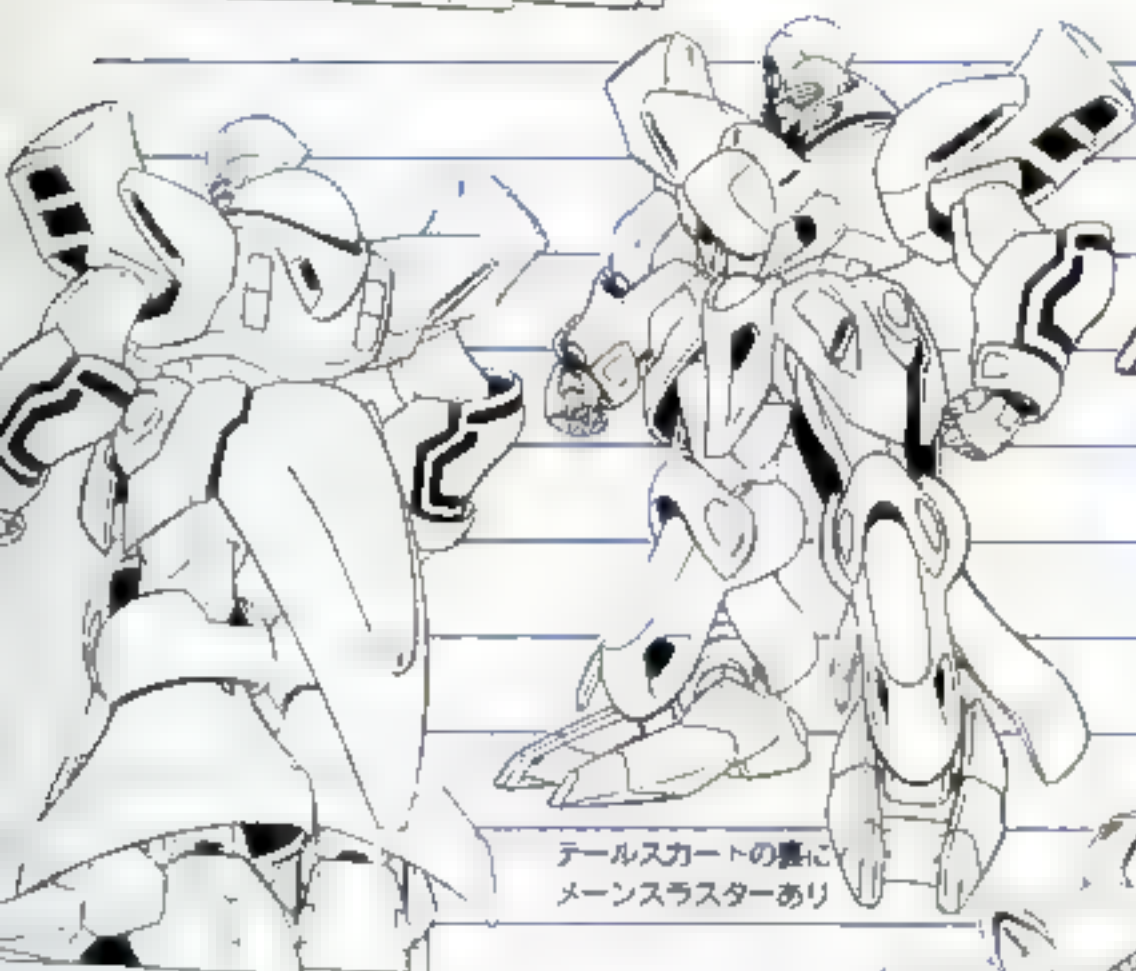
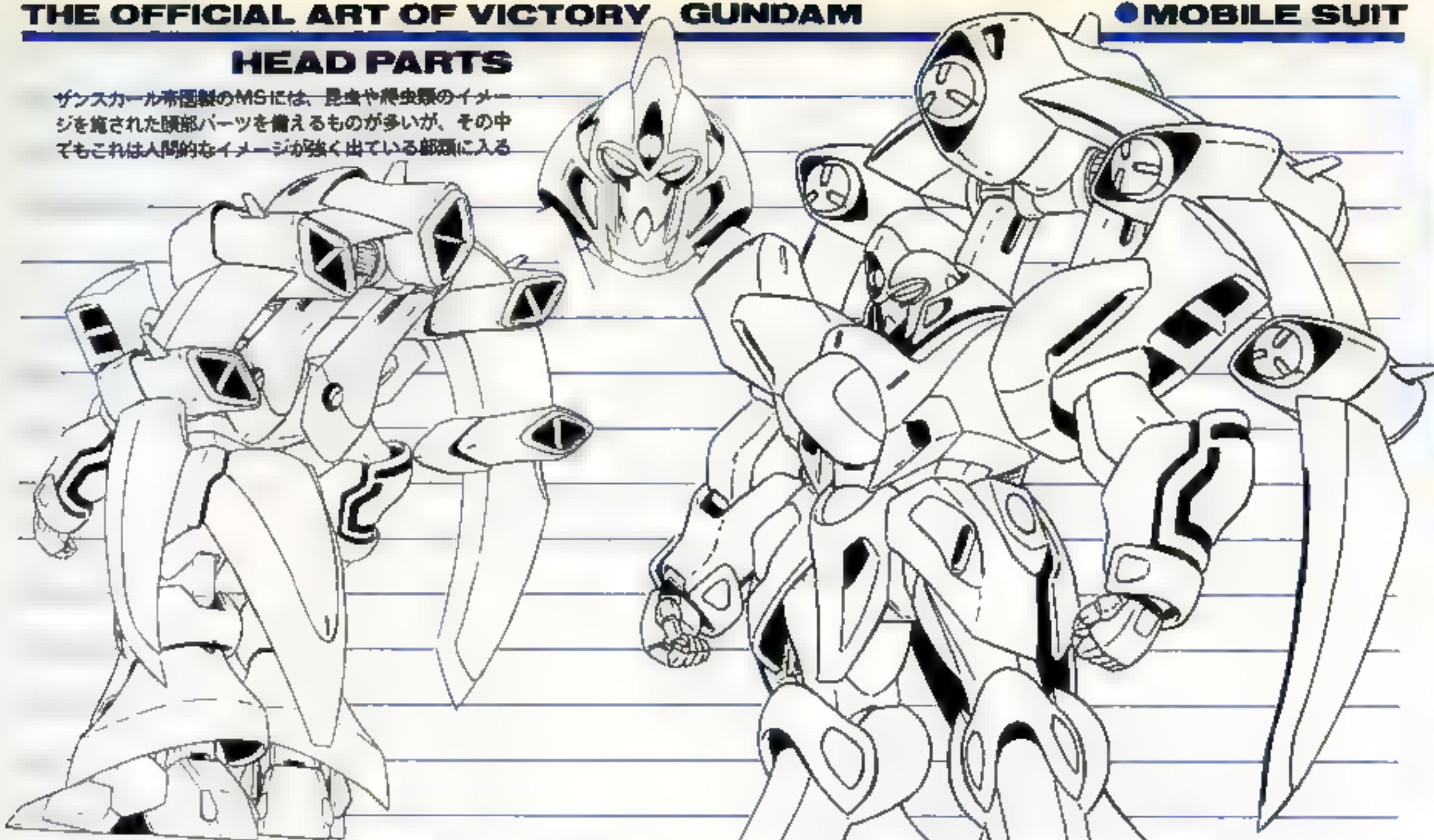
両肩の加速器を起動させ、ザンネック・ベース上から、いままさに敵を狙い撃たんとするザンネック。一撃で相手を轟くその破壊力は、首切り役人の血筋を自認するファラにとって、望ましいものだったのだろうか?

ZANNECK BASE

大型MSであるザンネックを、宇宙から成層圏まで降下させ、再び軌道まで上昇させる力をもつ、円形のフライト・サポート・システム。狙撃されるのを防ぐため、底面にはビームシールド発生器が備えられている

HEAD PARTS

ザンスカール帝国製のMSには、昆虫や爬虫類のイメージを寓された頭部パーツを備えるものが多いが、その中でもこれは人間的なイメージが強く出ている部類に入る



バック・エンジン・ユニット

単独攻撃時のフォーム



テールスカート裏に
メインスラスターあり

BACK ENGINE UNIT

このゲンガオゾの最大の特徴を成している5基のマルチプルビームランチャーをもった、外部装飾型の飛行ユニット。本体と分離したときには、遠隔操縦によってパイロットの意のままに敵に襲いかかり、これを破壊する

BEAM RIFLE & SABEL

バック・エンジン・ユニットをもつため、ライフルは通常の破壊力程度のものが装備されているが、サーベルは2段階に伸縮し、状況によってはビームメイス（トゲつき棍棒）としても使用可能な代物である

ビームメイス

アイティング時には（？）
ビームが状況に応じて

ビームサーベル

ビームサーベルはこの
状態でも使用できます

ゲンガオゾの手

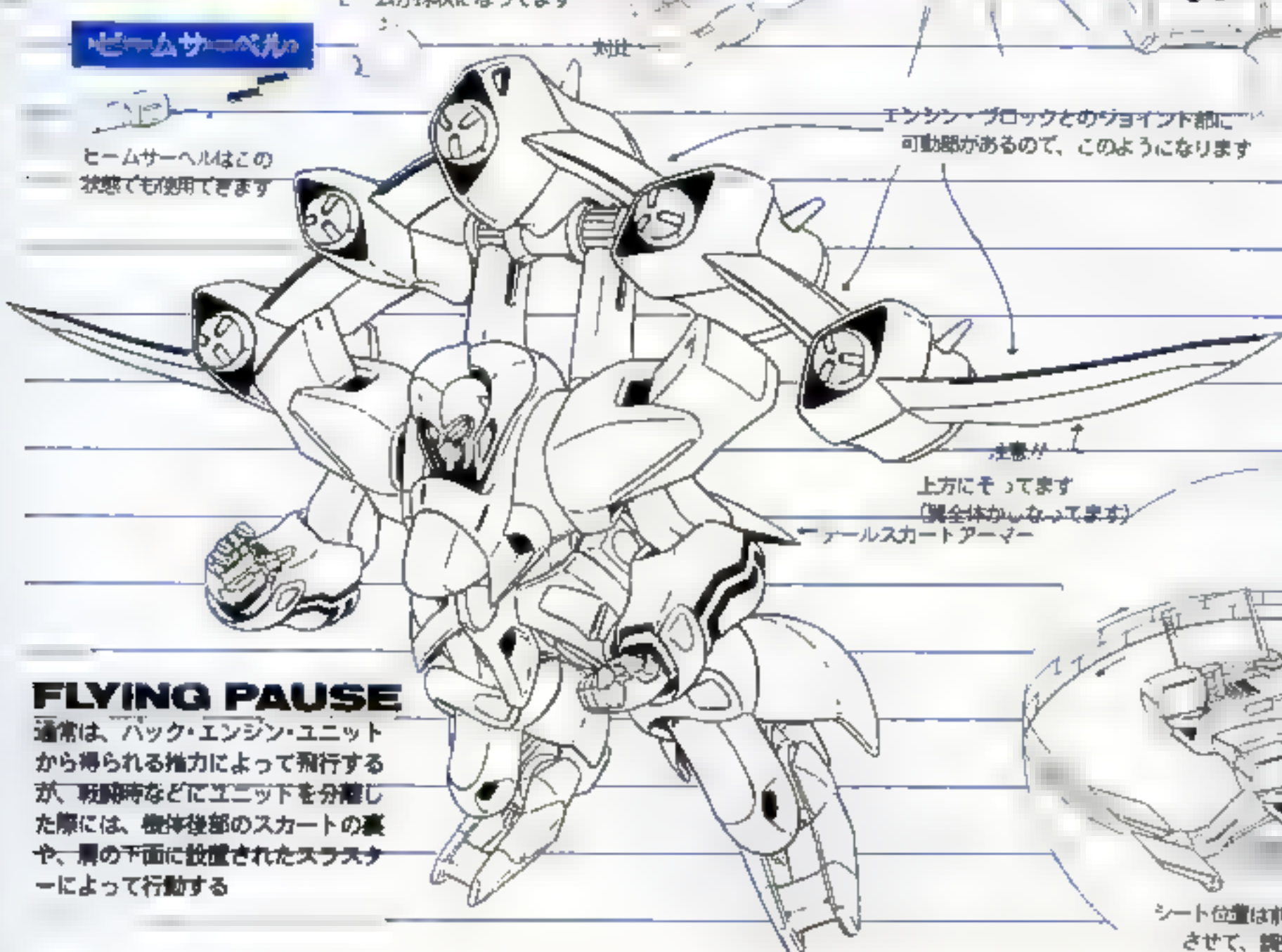
対比

エンジン・ブロックとのジョイント部に
可動部があるので、このようになります

注意が
上方にそってます
（翼全体はかたまってます）
テールスカートアーマー

FLYING PAUSE

通常は、バック・エンジン・ユニットから得られる推力によって飛行するが、戦闘時などにユニットを分離した際には、機体後部のスカートの裏や、翼の下面に設置されたスラスターによって行動する



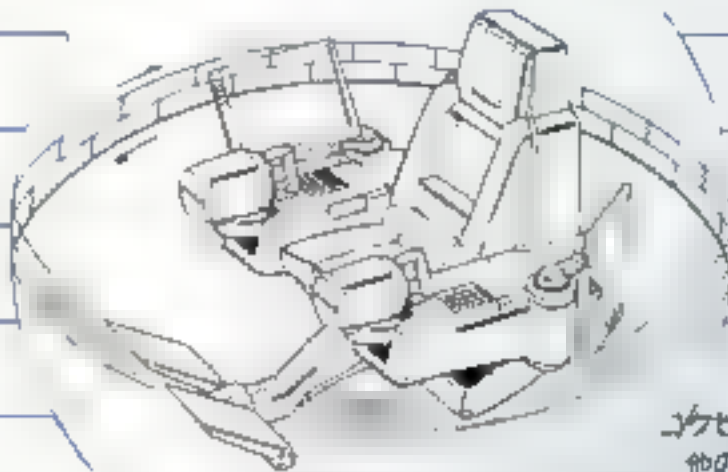
センサー



対比

コックピットハッチ

A ハッチ開閉バントル（管段はカバーでかくれている）
B 乗降用ラインインチB9X



シート位置は前後にスライド
させて、調整できます

コックピットカバーは
他のMSのものより大きいです
シートは全米でのものと同じです

COCKPIT

上の図は、胸の部分に設置されたコックピットハッチの開閉パターン。内部の扉が、脱出力ブザーを兼ねた全天候シートである。なお、内部はザンネックのものと完全に同一

GENGAOZO

ゲンガオゾ

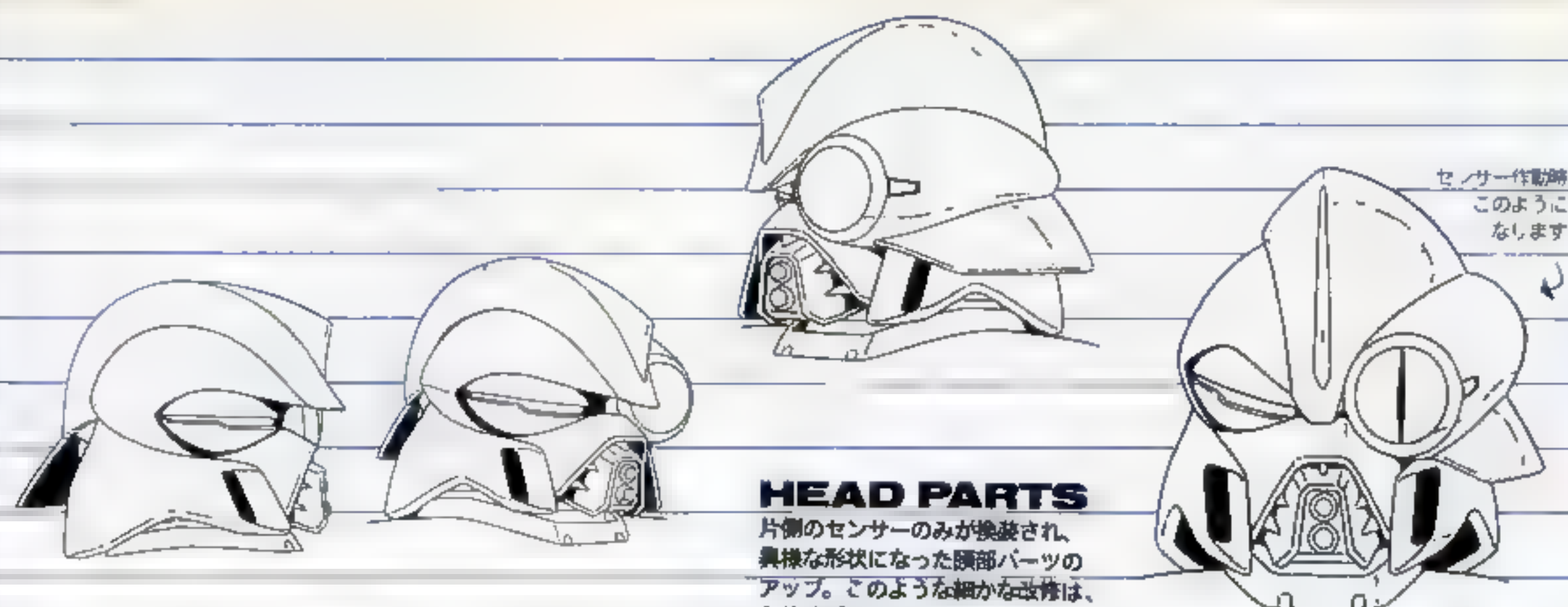
Designed by JAPPA ©GSI&U

ZMT-S28S

総高	17.3m
本体重量	14.3t
全備重量	35.9t
装甲材質	ハイチタン合金シオセラミック複合材
ジェネレーター出力	6310kw
スラスター推力	41990kg×2, 17800kg×1, 12250kg×4
アポシモーター数	40
武装	ビームメイス×2 ビームサーベル×2 ビームライフル×1 マルチプルビームランチャー×5

オールレンジ攻撃を行なう
復活したファラの第2の乗機

タシロの隠し駒として復活したファラが、ザンネックに続いて用いた機体。バック・エンジン・ユニットと呼ばれる、5基のビーム砲を備えた遠隔誘導メカを備えており、これとの連携によって敵を破壊するのを得意としている。このシステムの正体についてはさまざまな憶測があるが、電波誘導はいうにおよばず、レーザービームによるコントロールも困難なミノフスキー粒子散布下の白兵戦の中でも平然と用いられていたことや、ザンネックと同じ特異なコックピット、そして相変わらず周囲の者の脳に鈴の音を響かせていたことなどからみて、やはりサイコミュに類したものの遠隔操縦であろう、と思われる。……ベスバの前身は連邦のSNRIであり、本来は機密だったそのノウハウを、手に入れることが可能な立場であったし、カガチは以前からエンジェル・ハローの建設に着手していた。それをMSに搭載したい、と考えるのは、当然のことではないだろうか。（44～47話）



HEAD PARTS

片側のセンサーのみが換装され、異様な形状になった頭部パーツのアップ。このような細かな改修は、各基地で頻繁に行なわれていた

ZOLO

Mazis type

ゾロ改

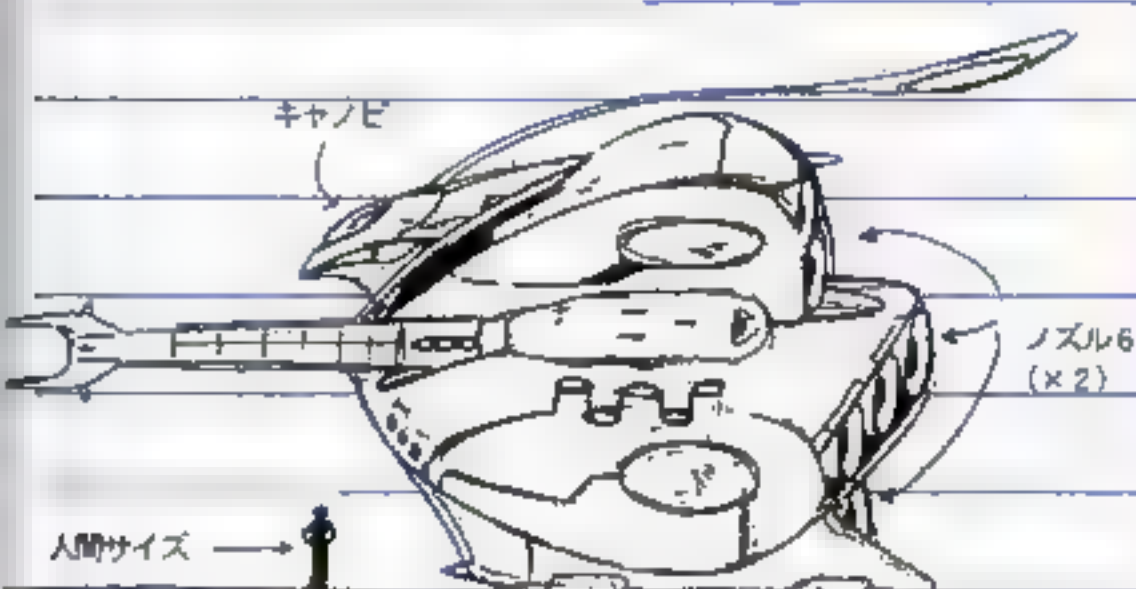
original designed by KUNIO OKAWARA
adapted designed by JUNYA ISHIGAKI

ZM-S08GC

頭頂高	14.8m
本体重量	8.9t
全備重量	21.2t
装甲材質	チタン合金ネオセラミック複合材
ジェネレーター出力	5120kw
スラスター推力	11890kg×2, 7630kg×2
アポジモーター数	30
武装	ビームサーベル×2 ビームローター×1 バルカン砲×1(分離時のみ) ビームライフル×1 その他携帯火器 ・ビームバズーカ ・マルチバズーカ ・ガトリングガン

マチス・ワーカーが用いた旧型機のセンサー強化型

戦場で生命をかけて戦う兵士としての意地と、家族が平和に暮らせる土地を求めて、部下とともにみずからが所属していたラゲーン基地を脱走し、ごくわずかな戦力でホワイトオーク部隊に特攻を敢行したマチス・ワーカーの部隊が使用していたMS。頭部センサーを換装して、探知能力の拡大をはかっているものの、機体の基本スペックは従来のゾロと変わらない。しかし、戦場での勝敗は機体の性能だけで決するものではなく、マチスは身をもってそのことを証明していた。(39話)



BIRKNAU

ビルケナウ

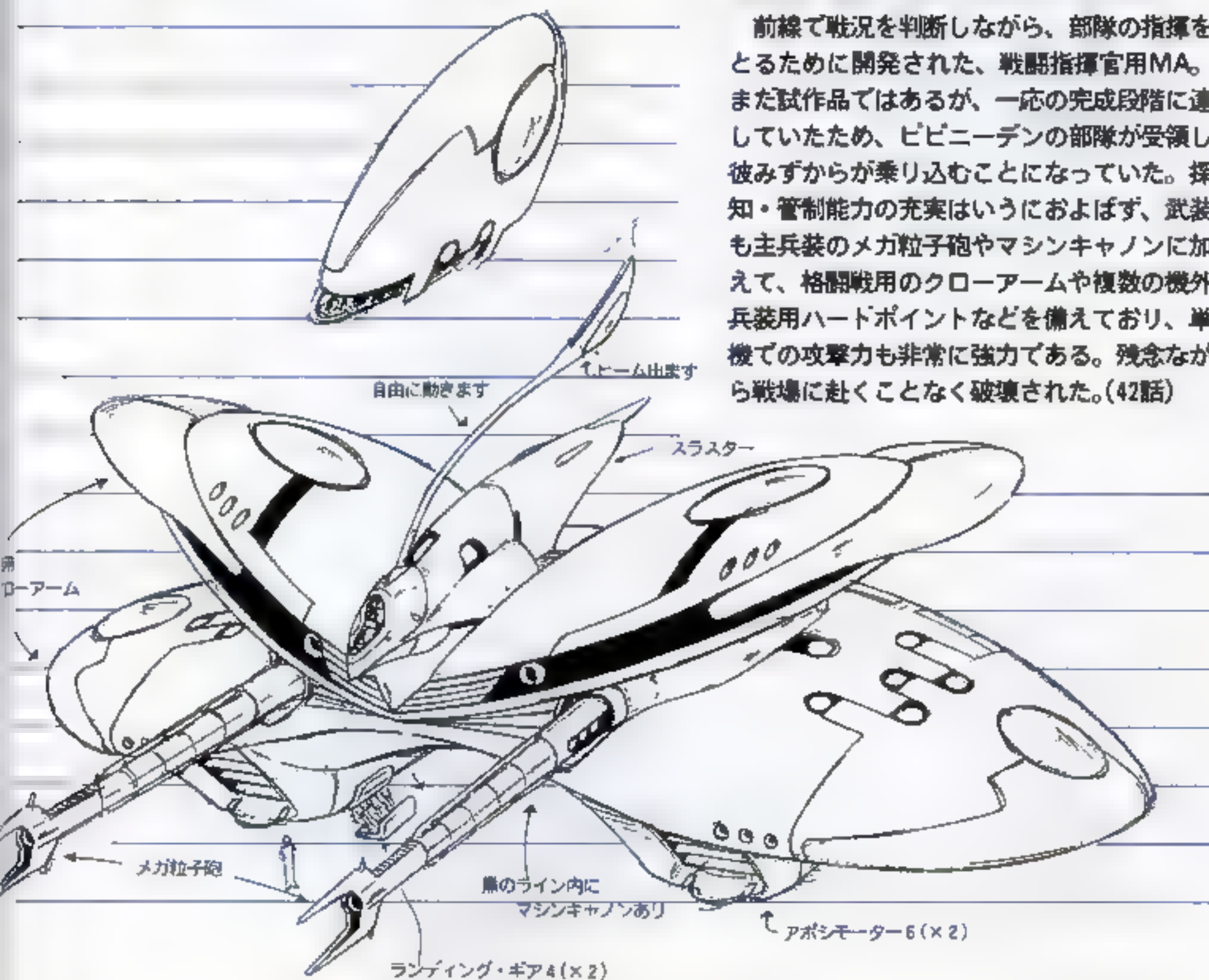
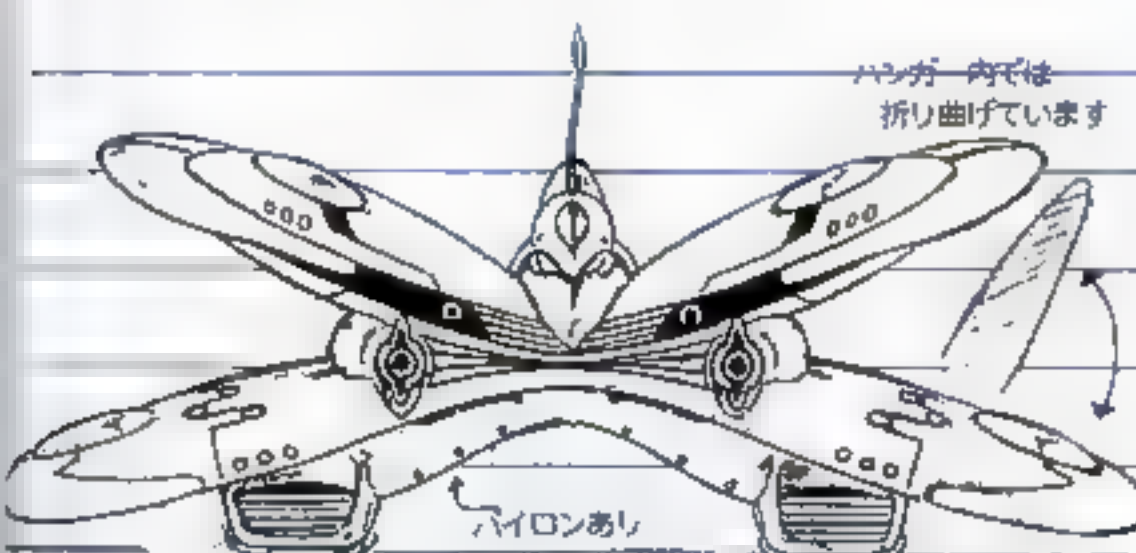
designed by JUNYA ISHIGAKI

ZMT-A30S

全長	22.3m
本体重量	25.9t
全備重量	45.3t
装甲材質	ハイチタン合金ジオセラミック複合材
ジェネレーター出力	5960kw×2
スラスター推力	17800kg×6, 12250kg×7
アポジモーター数	28
武装	メガ粒子砲×2 メガマシンキャノン×2 クローアーム×4 ハードポイント×6

指揮・管制用に開発された戦闘指揮官用重攻撃MA

前線で戦況を判断しながら、部隊の指揮をとるために開発された、戦闘指揮官用MA。また試作品ではあるが、一応の完成段階に達していたため、ビビニーデンの部隊が受領し、彼みずからが乗り込むことになっていた。探知・管制能力の充実はいうにおよばず、武装も主兵装のメガ粒子砲やマシンキャノンに加えて、格闘戦用のクローアームや複数の機外兵装用ハードポイントなどを備えており、単機での攻撃力も非常に強力である。残念ながら戦場に赴くことなく破壊された。(42話)



PRODUCER INTERVIEW

小泉美明

(テレビ朝日プロデューサー)

——ガンダムの名が付くTV作品では、初めて局側の制作がテレビ朝日になったわけですね。

「ええ。でも、僕がプロデューサーとして引っぱり出されたときには、すでに3話分のラッシュフィルムも完成していましたし、物語の展開もおおかた決まっていたんです。これ話をすると言い訳になってしまうのだけれども、そんな状態で途中から局プロが口を出しても現場が混乱するだけなので、多少の例外を除いて、ほとんどストーリーの決定には関与しませんでした。本当は、うちの局の場合、伝統的に制作の立ち上げから深く関与していくのが通例なので、かなり変則的な形なんですけどね」

——放映されたものを見ての感想は？

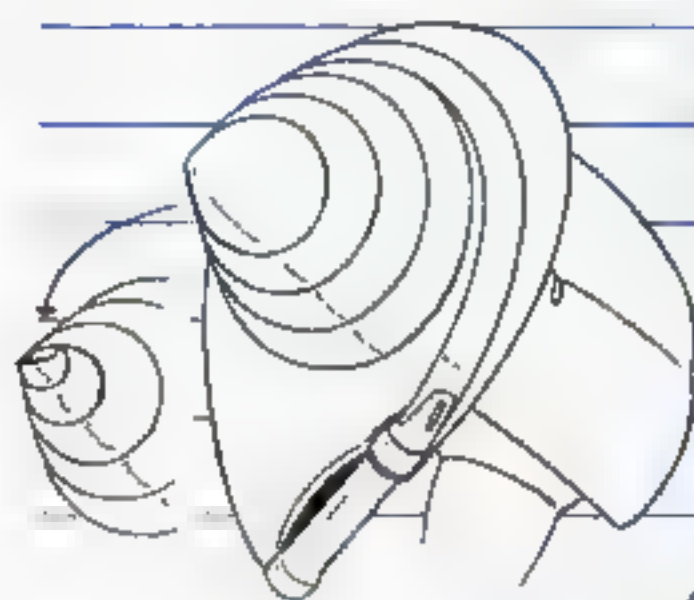
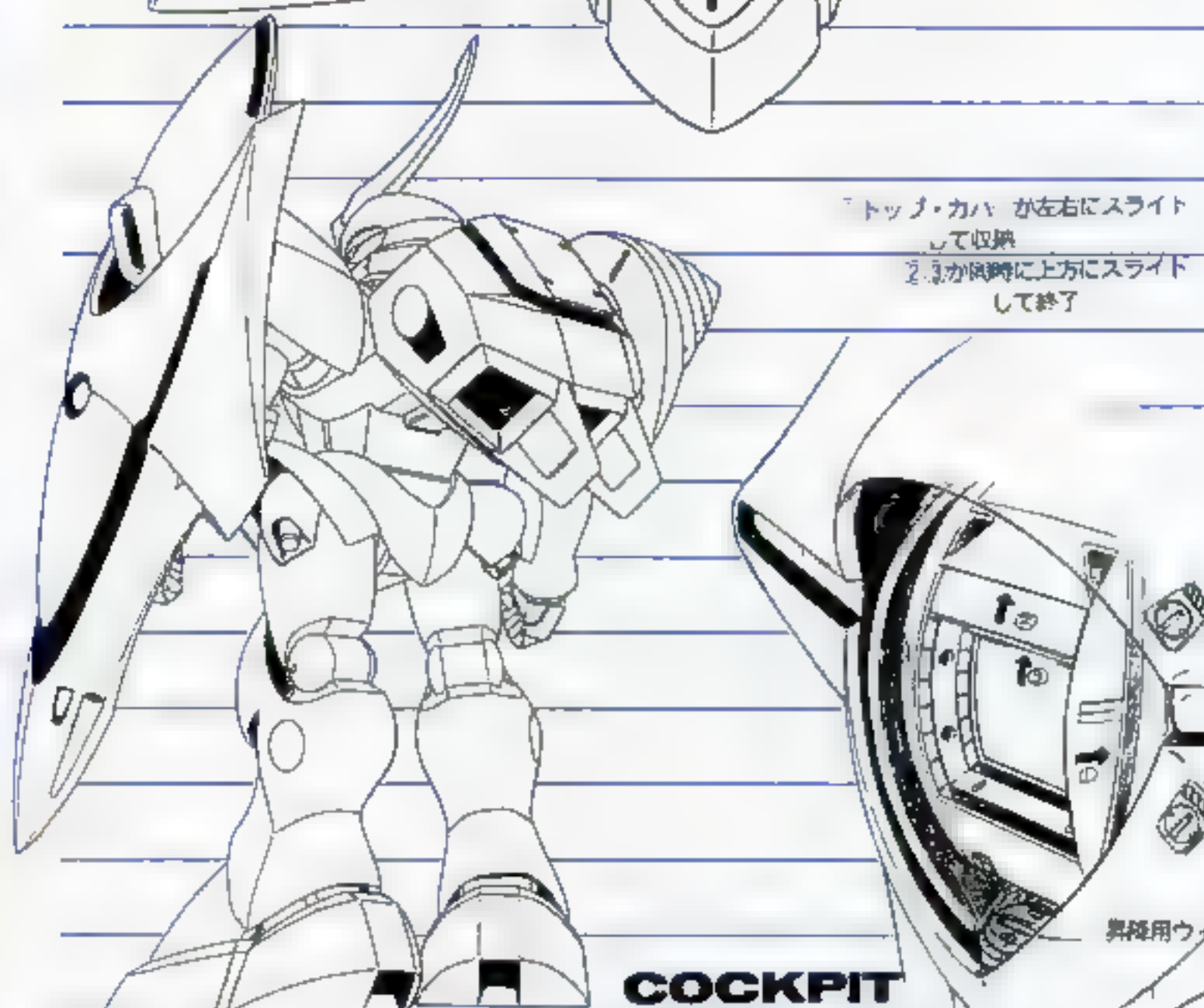
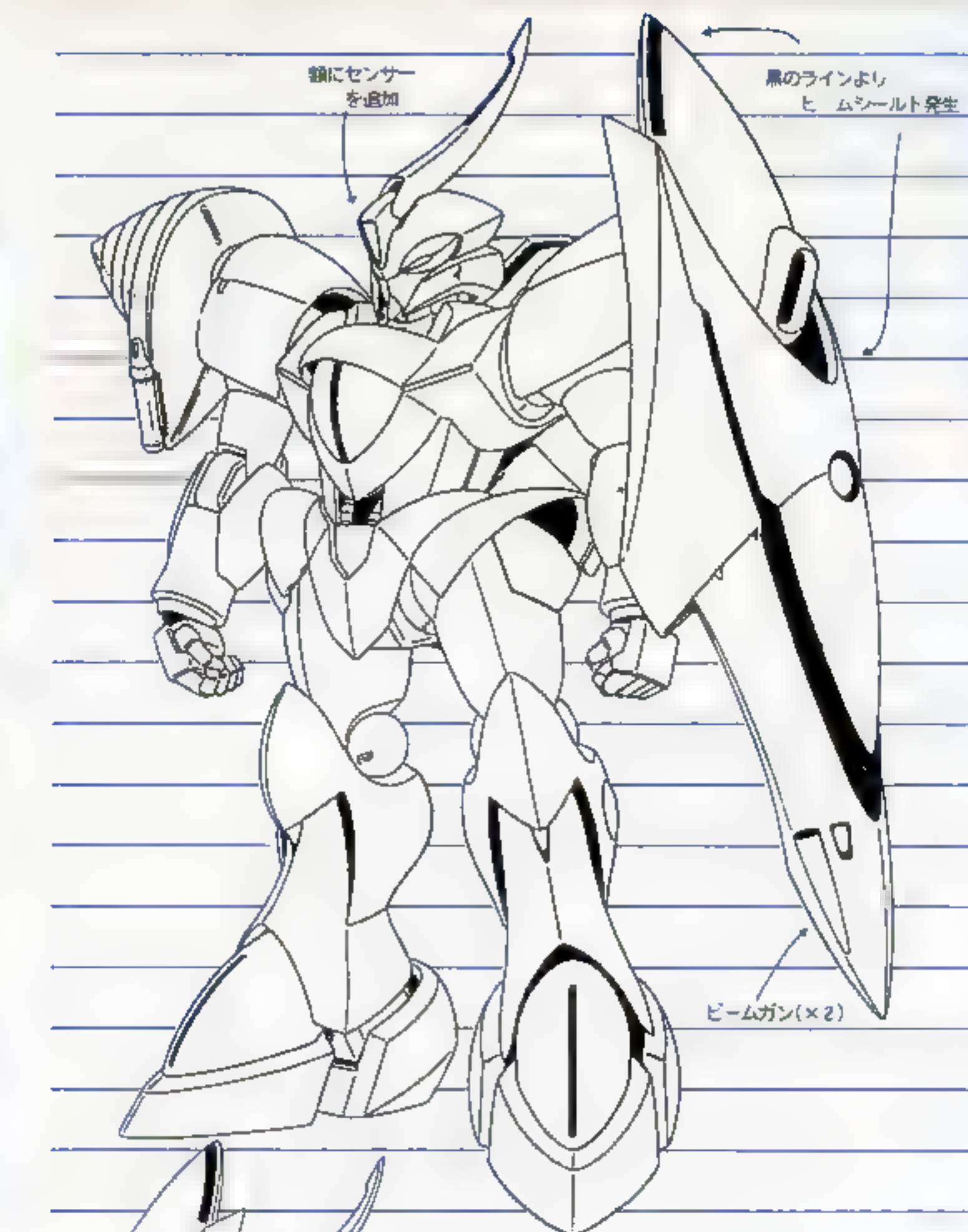
「非常によくできているな、とは思いました。富野監督自身が原作者ですから、物語もうまく構成されていましたね。でも『よい作品』と『よい番組』は、必ずしもイコールではないのです。放映時間帯と内容がターゲットと合致したときに、初めてそれは『よい番組』になるのです。それを管理するのが、われわれ局側のプロデューサーなのですが、この作品の場合には、すでに制作が相当進んでしまっていたため、もうすでに何も言えなかった。そのあたりに、まず問題があったようにも思います」

——ロボット・アニメの場合、玩具などのマーチャンダイジングも重要な要素になりますよね。

「もちろんです。でもそれは、本質的には局プロもかかわるべきですが、実際には製作会社とスポンサーの間で語られていることです。……けれども、個人的に言うならば、マーチャンというのはいよい番組が好評を得てから発動するべきものだ、と思っています。とはいえ、鶏と卵のように、どちらが先とも言えない関係のものですから、今回もスポンサーさんの押しが強すぎる場合には、出ていってもよいと考えていたのですが、サンライズさんとしても局に頼るわけにもいかないですから、結局そういうことはありませんでしたね(笑)」

1936年、東京都生まれ。テレビ朝日に入社後、子供番組のプロデューサーとなり、数多くのアニメおよび特撮番組を担当する。これまでに手掛けた作品は「トラえもん」や「キャプテン・ハーロック」など多数

放映時間帯・内容・ターゲットの3つが合致して、いよいよ番組になるのです



COCKPIT

基本的には量産機と変わらないコックピット。内部のシートやスクリーンも同様だが、これは機体転換時のパイロットへの負担軽減と、見えない部分に余計なコストをかけたくなかったためであろう

SHIELD UNIT

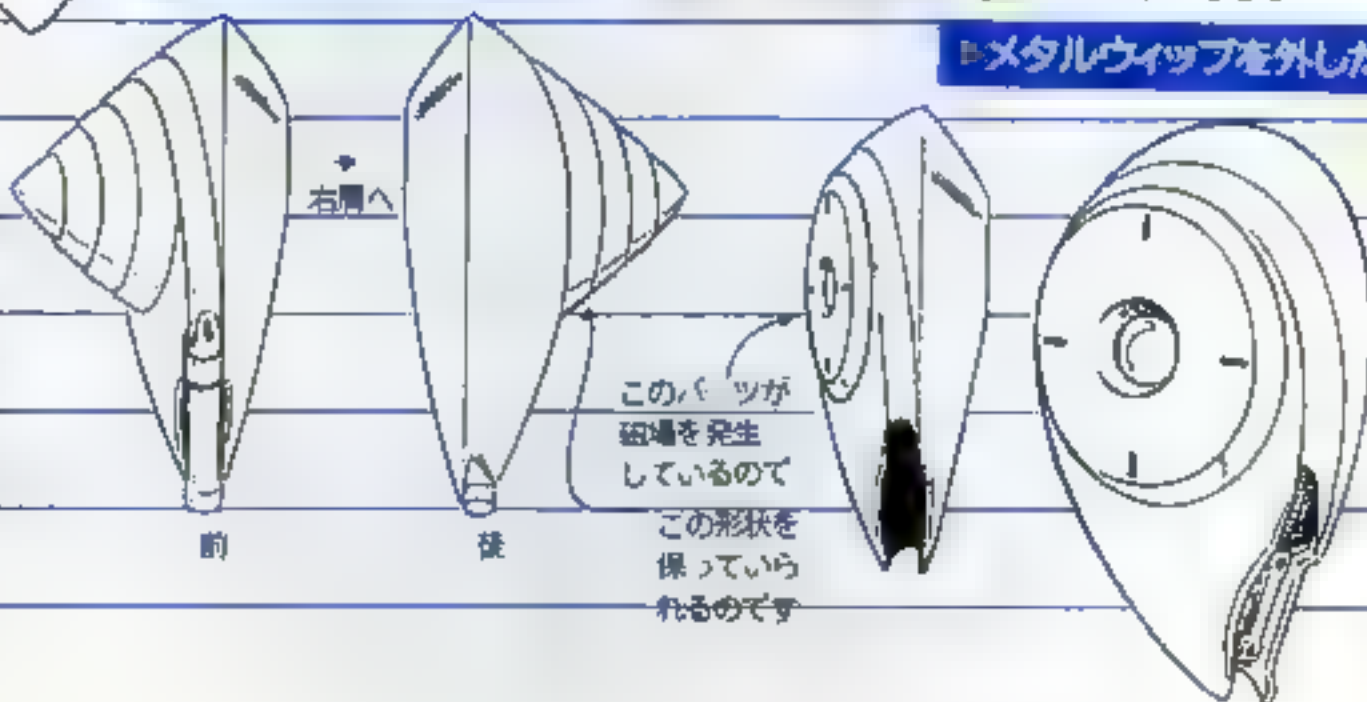
表面にビームシールド発生器を組み込んだ、実体型のシールド。攻防両用の兵器ではあるが、あえてこのような形状にこだわったのは、国民への心理的影響を考慮したためであろう

↑メタルウィップ装着時

↑メタルウィップを外した時

METAL WHIP

右肩に備えられている、金属のムチ。収納時には機械的に固定されているわけではなく、磁力によって渦巻状に保持されている。ビーム兵器の使用が極端に制限されるコロニー内部の空間などでは、非常に有効な武装といえる



RIG-SHOKEW

for Imperial guard

近衛師団用リグ・シャッコ

Designed by JANYA E292AN

ZM-S22SC

頭高	15.9m
本体重量	8.2t
全備重量	18.5t
装甲材質	ハイチタン合金ネオセラミック複合材
ジェネレーター出力	5960kw
スラスター推力	15540kg×3, 7770kg×4
アポジモーター数	22
武装	ビームサーベル×2 ビームライフル×1 ビームシールド×1 ハンドビームガン×2 ビームファン×2 ビームストリングス×3 ハードポイント×4 メタルウィップ×1

悲劇の2人が用いていた
改造型リグ・シャッコ

女王マリアのためならば、生命を捨てるのもいとわない近衛師団用に製造された、カスタムタイプのリグ・シャッコ。基本的なスペックはノーマル・モデルに準じるが、電撃攻撃も可能なメタルウィップと、この時代には珍しい実体型のシールドを装備し、さらに、額の部分にはセンサーをも追加している。さすがにその性能は高いようだが、師団の兵士すべてが使用していたわけではなく、どちらかというとも象徴的な意味の強い機体だったのではないかと、と思われる。(44話)

シールドユニットの裏面

↑別パーツです

ふたはカバーで隠れている

ハッチ開閉ハンドル

異機用ウインチあり

左肩へ

HEAD PARTS

模写された頭部デザイン。しかし、束ねた長い髪にも見えるツノ状のものは、接近戦用のビームカッターで、格闘戦時に予想外の一撃を与えることが出来る。

大型ビームサーベル

ビームトンファー

「トンファーの取り出し方法」
この図のままで
トンファーの
ビーム使用可

2. トンファーを保持したパーツが、
トンファーを引き出しながら下方へ
引き出されたトンファーは
カバッと落ちるように出る

BEAM TONFER

ビームサーベルにかわって両腕に備え付けら
れている、白兵戦用の主力兵器。長い刃を照
射することはできないものの、取り回しの点
ではサーベルよりも格段に優れている

3. 要に下方へ回転しながら、
グリップが起きた
トンファーを
手もとまで持つ

このパーツは1の
状態へもどる

※この図のままで
トンファーのビーム
使用可

BEAM RIFLE

長距離・対艦戦用のキャノン・ユ
ニットを標準で備えているため、
ビームライフルはこれといった特
徴のない、ショートレンジ用のも
のが用意されている

TRANSFORMATION

キャノン・ユニットの展開・格納パターン。折り畳まれ
ていた前部パーツ（総身部分）が、覆い被さるようにス
イングする。見た目のアクションは大きいですが、変形に要
する時間は1秒、もしくはそれ以下である

CANNON FORM

ユニットを展開し、いままでに迫
り来る敵を狙い撃とうとする状態。
モーメント・バランスの確保と、
照準の微調整のため、総身にまで
アポジモーターが装備されている。
両肩部分のミサイルポッドは、接
近する敵への牽制に用いる

GOTTRLATAN

ゴトラタン

DESIGNED BY JAYA ISHIOKA

ZMT-S33A

頭頂高	15.9m
本体重量	11.1t
全備重量	24.9t
装甲材質	ハイチタン合金シオセラミック複合材
ジェネレーター出力	6170kw
スラスター推力	10270kg×2, 7770kg×5, 5370kg×8
アポジモーター数	17
武装	頭部ビームカッター ビームトンファー×2 ビームシールド×2 メガビームキャノン 6連マイクロミサイルポッド×2 ハードポイント×2

ボディを彩る深紅の塗装 それはカテジナの狂気の色

最終決戦時に、カテジナが乗り込んでいた
長距離ビームランチャー装備の試作MSで、
これは、ザンネックに装備されていた加粒子
（メガ）ビーム砲には劣るものの、V2のメガ
ビームライフルに匹敵する破壊力を秘めてい
る。特徴としては、そのキャノン・ユニット
を必要に応じて展開・収納させることが可能
で、これにより長距離狙撃任務だけでなく、
白兵戦にも十分にたえるだけの能力を得た点
が挙げられる。もちろんそのためには、かな
りの重量になるキャノン・ユニットを装備し
た機体を制御するだけの推力が必要になるが、
機体の各部に高出力のスラスターを設置、さ
らにはユニット自身にも推進システムを内蔵
させて、高い機動性を確保するのに成功して
いる。カテジナ機のみしか確認されていない
が、深紅に彩られたその機体は、コニーをは
じめとしたシュラク隊の生き残りをすべて血の
海に沈めてしまうなど、まさに鬼神のごとき
働きをしていた。(49～51話)

with CANNON UNIT

キャノン・ユニットを装備した状
態のゴトラタン。ユニットがメー
ン・スラスターとして機能してい
るのがわかる。接近戦時や不使用
時には、このように背部に折り畳
まれるが、パイロットの判断によ
っては切り離されることもある

1
キャノンがアームの基部
を軸に、ドーンと後方
へ移動する

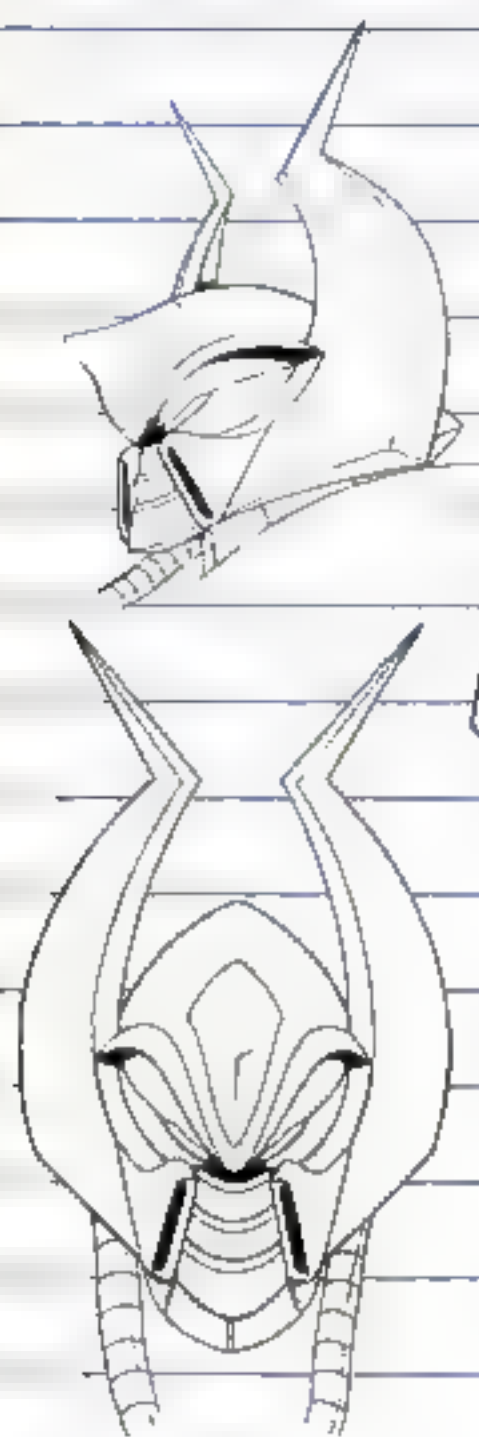
2
アームも
折れた

3
アームが更に下方へ回転
しながら、キャノンもスラ
イトして、グリップの位置
を前方へ移動させる

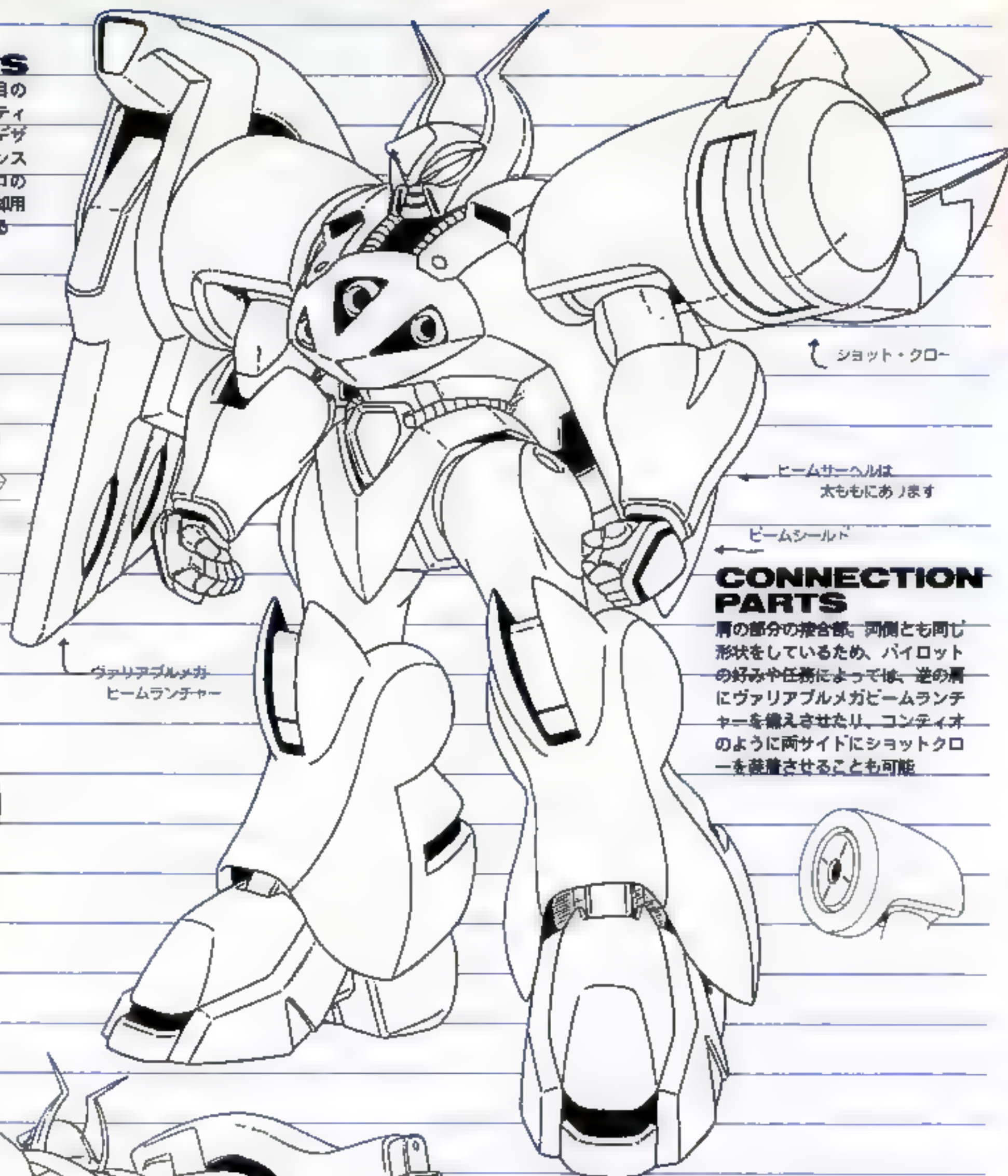
4
キャノンが納まって
変形終了

HEAD PARTS

折れ曲がったツノの装飾や、目の形状の変化などにより、コンティオよりも悪魔的なイメージのデザインになった頭部。なお、ザンスガール型MSに多く見られる口の両側の開口部は、内部機器冷却用のダクトではないかと思われる



ヴァリアブルメガ
ビームランチャー



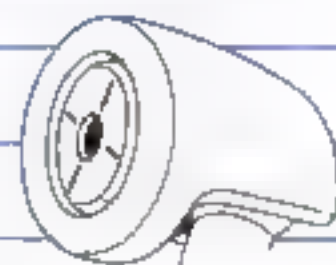
ショット・クロウ

ビームサーベルは
太ももにあひます

ビームシールド

CONNECTION PARTS

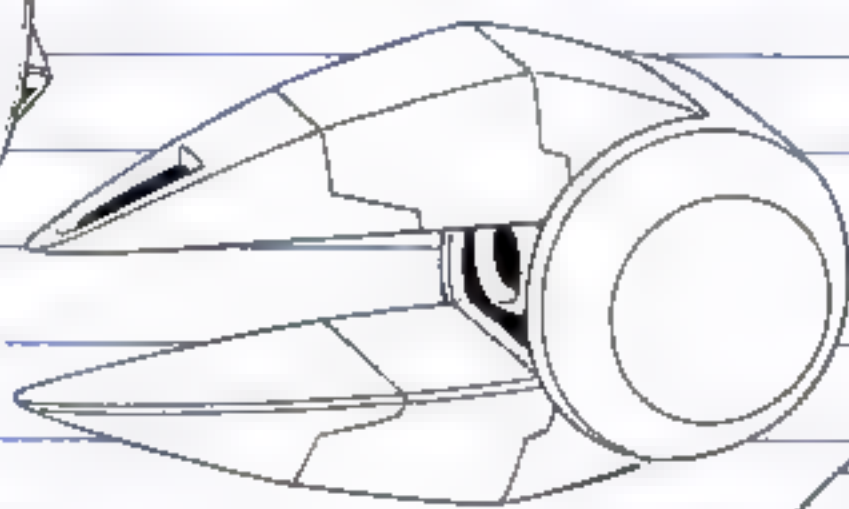
肩の部分の接合部。両側とも同じ形状をしているため、パイロットの好みや任務によっては、逆の肩にヴァリアブルメガビームランチャーを備えさせたり、コンティオのように両サイドにショットクロウを装着させることも可能



SHOT-CLAW

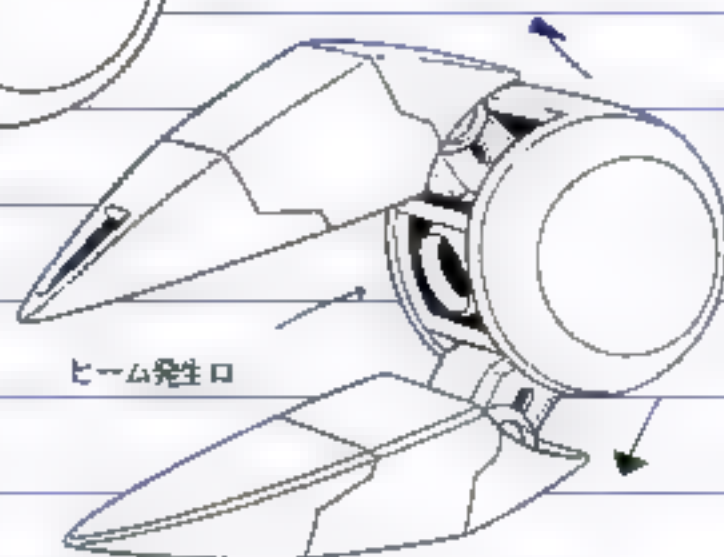
より破壊力を増した、有線誘導式のオールレンジ攻撃用兵器。しかし、サイコミュによってコントロールされているのか否かは不明。ビットやファンネルよりも大きい分だけ、航続時間は長く、ビームの破壊力も高い

コンティオ同様に、このフォームで巨大なビームライフル&サーベルになります（射撃しているときも可）



1

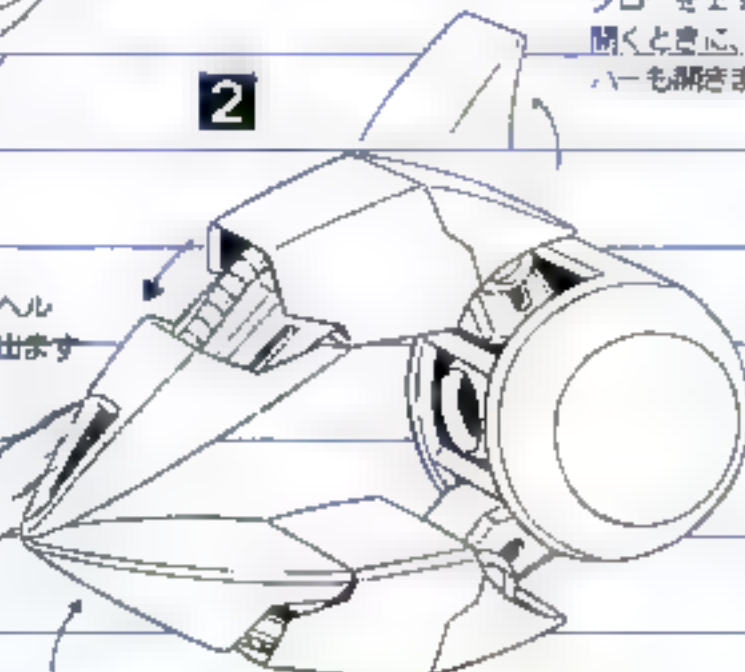
この状態でもビームライフル
&サーベル使用できます



ビーム発生口

2

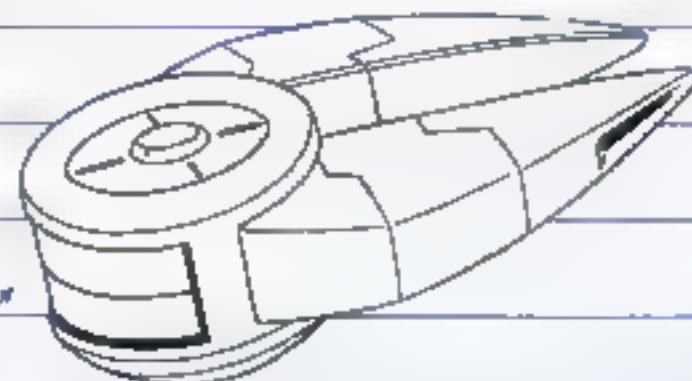
クロウを下に
開くときに、カ
バーも開きます



ここからもビームサーベル
出ます

こちらにも、サーベル発生口
あります

こちらのシャッターが開いてスラスター
となります（アクションとして見せな
くてはいけません）



VARIABLE MEGA BEAM LUNCHER & SABEL

通常タイプのビームサーベルと、肩に装備されている折り畳み式の大型ビームランチャー。V2アサルトの腰などに据え付けられているウェスパーと同様、目標に合わせて、射出するビームの質を自在にコントロールできる



外側の円は、軽いふくらみがあります

RIG-CONTIO

リグ・コンティオ

Designed by JUNYA ISHIGAKI

ZMT-S34S

頭高	16.3m
本体重量	10.7t
全重量	21.4t
装甲材質	ハイテク合金ジオセラミック複合材
シネレーター出力	6500kw
スラスター推力	32330kg×3
アポジモーター数	24
武装	ビーム内蔵式ショットクロウ×2 胸部ビーム砲×3 ビームシールド×2 ビームサーベル×2 ヴァリアブルビームランチャー

コンティオを発展させた
対MS戦用攻撃型MS

実戦で高い評価を得たコンティオの発展型として開発された機体。しかし胸の3連メカ粒子砲や、肩に装備されたショットクロウにその面影はうかがえるものの、全体から得られる印象は、まるでまったく新たに開発されたマシンではないかと思えるほど、凶悪かつ力強いものになっている。右のゴトラタンなどと同じく、形式番号中の「T」が指し示すように、また開発途中の機体であるため、最後のエンジェル・ハイロウ防衛戦時には、クロノクルが使用した機体のみしか配備されていなかった。しかしその火力や機動性には目を見張るものがあり、もしも量産されていたならば、リガ・ミリティアにとって大きな脅威となっただけに違いない。もっとも、ベースモデルであるコンティオにおいても、その性能を十分に発揮できるパイロットが極めて限られていたことを思えば、さらに性能アップしたこの機体を存分に操れる者が、どれだけいるかは不明だが……。 (50～51話)

リグ・コンティオのショットクロウ

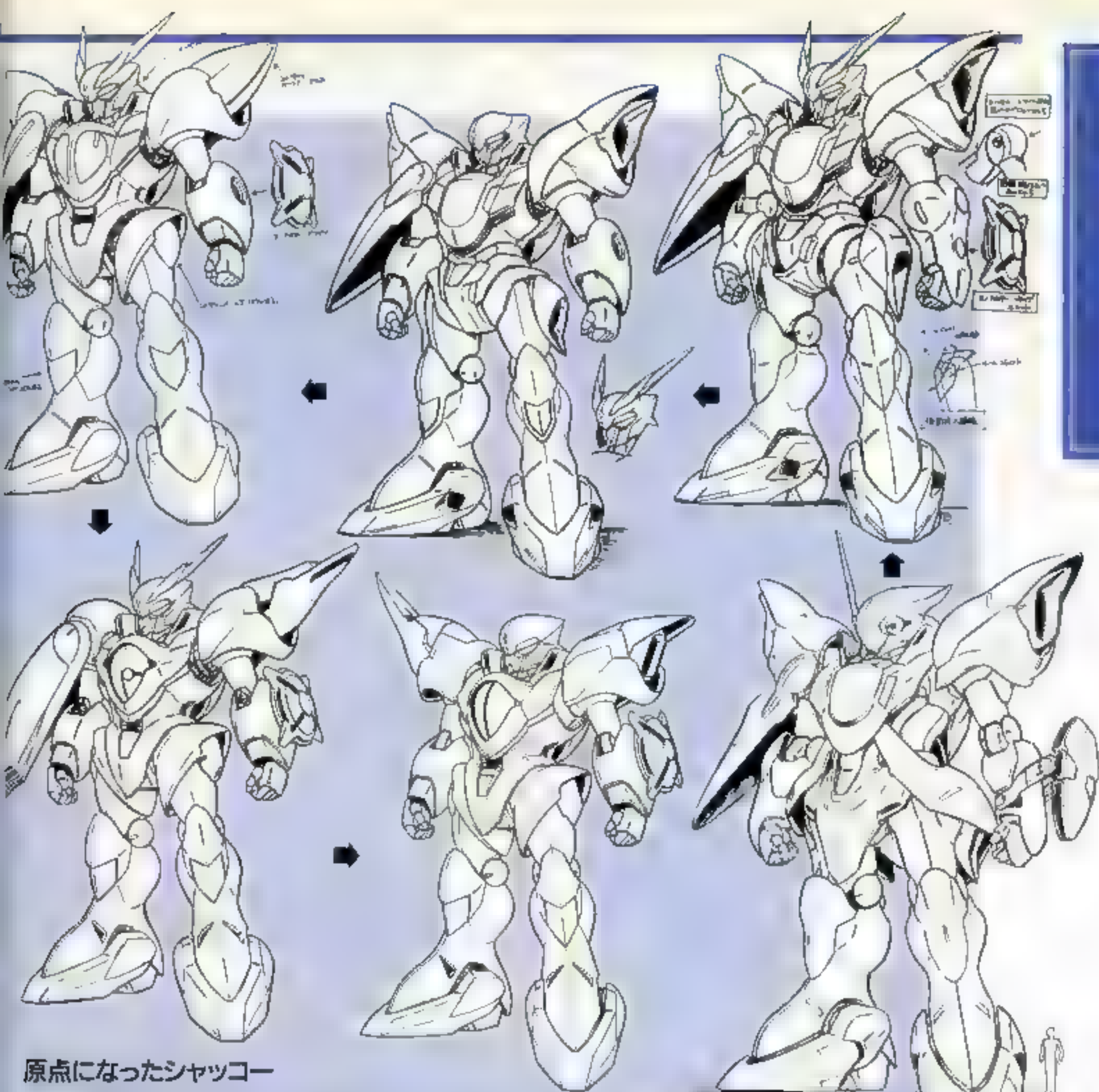
JUNYA ISHIGAKI'S DESIGN WORKS

未公開設定資料集

Part 2

石垣純哉

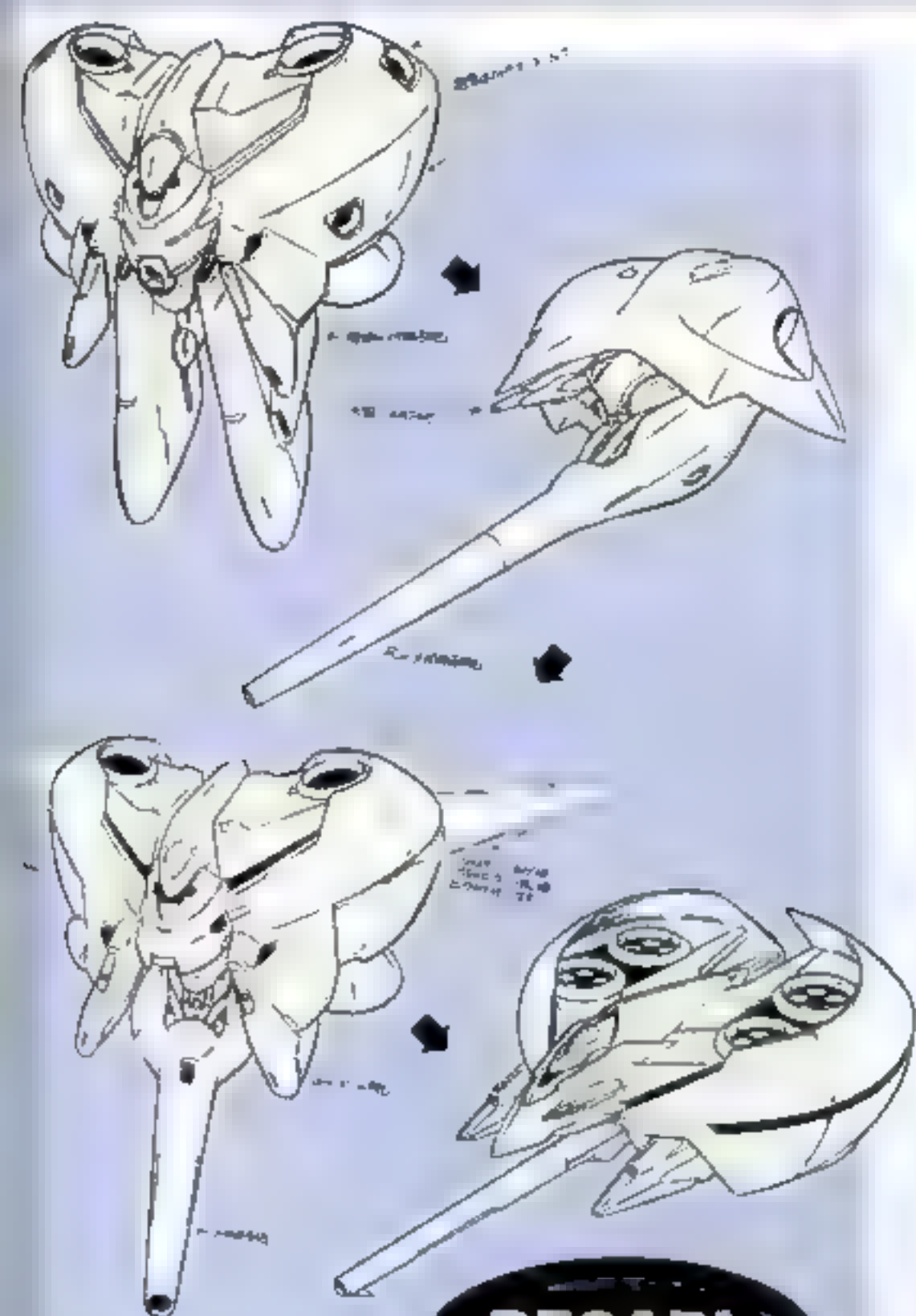
ザンスカール側を中心にMS・MAを総計で25体以上、そしてそのほかに無数の艦船や小道具などを描き、「Vガンダム」のメカ・デザインを支えた石垣氏。そんな彼が描くメカニクは、決定稿に至るまでに、いくつもの過程を経ているが、ここではその変遷のようすを追ってみた



SHOKEW

原点になったシャッコー

ウッソが最初に乗り込むMSということが決まっていたため、いちばん多くのラフ・デザインが描かれた機体。ここに掲載した以外にも、また何枚かのラフ画が残っている。腰・胸・肩などさまざまなアイデアが試されており、苦労の跡がしのばれる。しかし、力を注いだだけに、描いたMSの中では最も思い入れが強いとのこと

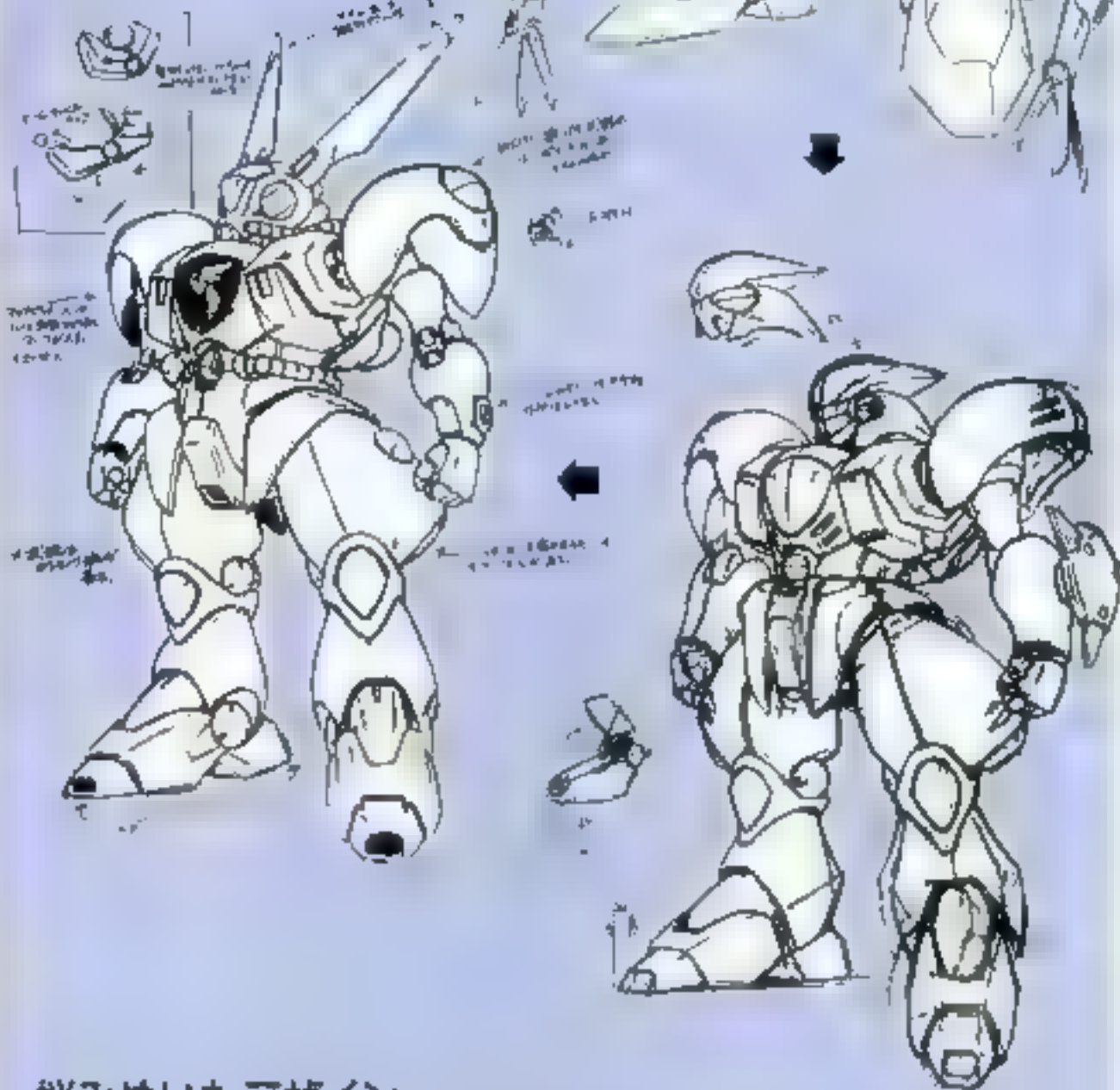


RECARL

ザク的なMAをめざして

「空飛ぶ戦車」のイメージで発注を受けたリカル。最初は砲身が機体内部に収納されているものや、蜂・ペスバ、をモチーフにしたデザインなども描かれている。石垣氏が語るには、今にしてみれば少々複雑にしすぎてしまったように思える、とのことであった

GODZORLA



悩みぬいたデザイン

右上の図は、幻になってしまった忍者的な機能をもったMS。ゴッソーラへは、頭部のデザインのみが使用された。その後、胴体部分を中心にさまざまな試行錯誤が行なわれたが、シャッコーで苦戦した直後の作業になってしまっただけに、どうしても似てしまうため、かなり苦しみながらのデザインになったという

——かなりの量のデザインを描かれましたね。

「番組の立ち上げ時から入ると約2年になりますが、そのころにともかく描いてみてくれ、と言われて作業したものまで含めると、自分でもどの程度描いたのかわからないくらいやっています。番組に登場することなく、幻のデザインになってしまったものも、相当量ありましたし」

——MS・MAのデザインを描くにあたって、全体的に気を遣った点というのはありますか？

「僕は新人みたいなものですから、結果として何を言われてもイヤ、と聞き直してやったつもりでいます。だから、細かい部分ではいくつか注意しながら描いたところがありますが、全体的にはかなり好きかってに、作業させてもらいました。でも、あえていうならば、メカ的にどうしたというものではなくて、小さな子供たちが見てくれたときに、興味を抱いてくれるようなデザインを描くように心がけたつもりでいます」

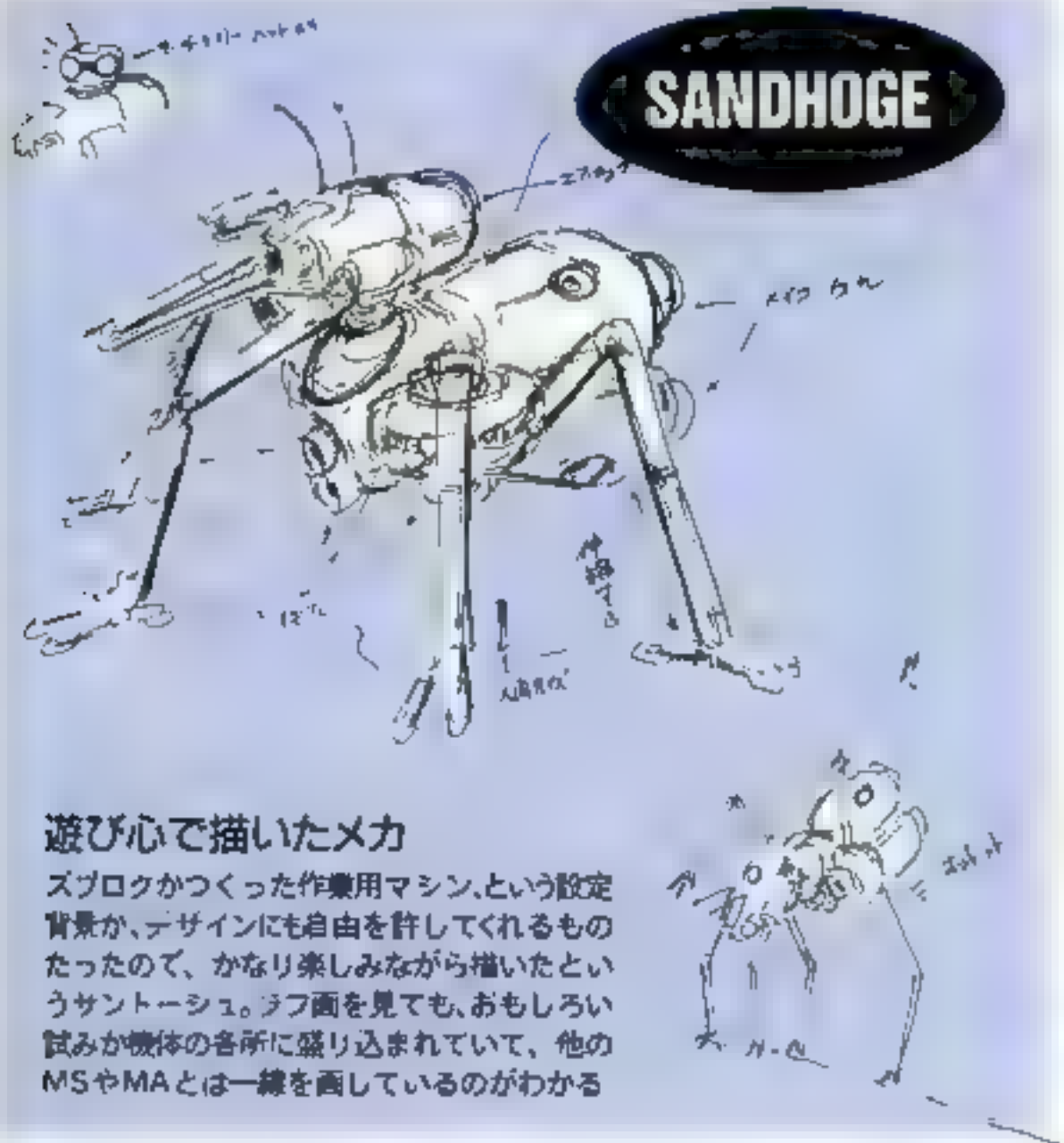
——細かな部分というのは、どのような箇所ですか？

「たとえば、最初に監督から『絵のイメージが大河原さんのものに近いね』と言われたので、故意に遠えようとしたとか、などです。せっかくメカ・デザインを3人で分担することになったのに、同じような雰囲気のものを描いてしまったら、おもしろ味が減ってしまいますからね」

——登場しなかったデザインの中には、どのようなMSがありましたか。「忍者のような働きをするものとか、ドリルを装備した地底MS、それからゲンガオゾなどに一部イメージが残っている、風神と雷神をモチーフにしたマシンなどがあります。結構気に入っているものも多いので、機会があるならば、いつかどこかで画面に登場させたいですね。」

子供が見て興味を抱いてくれるようなデザインを心がけたつもりです

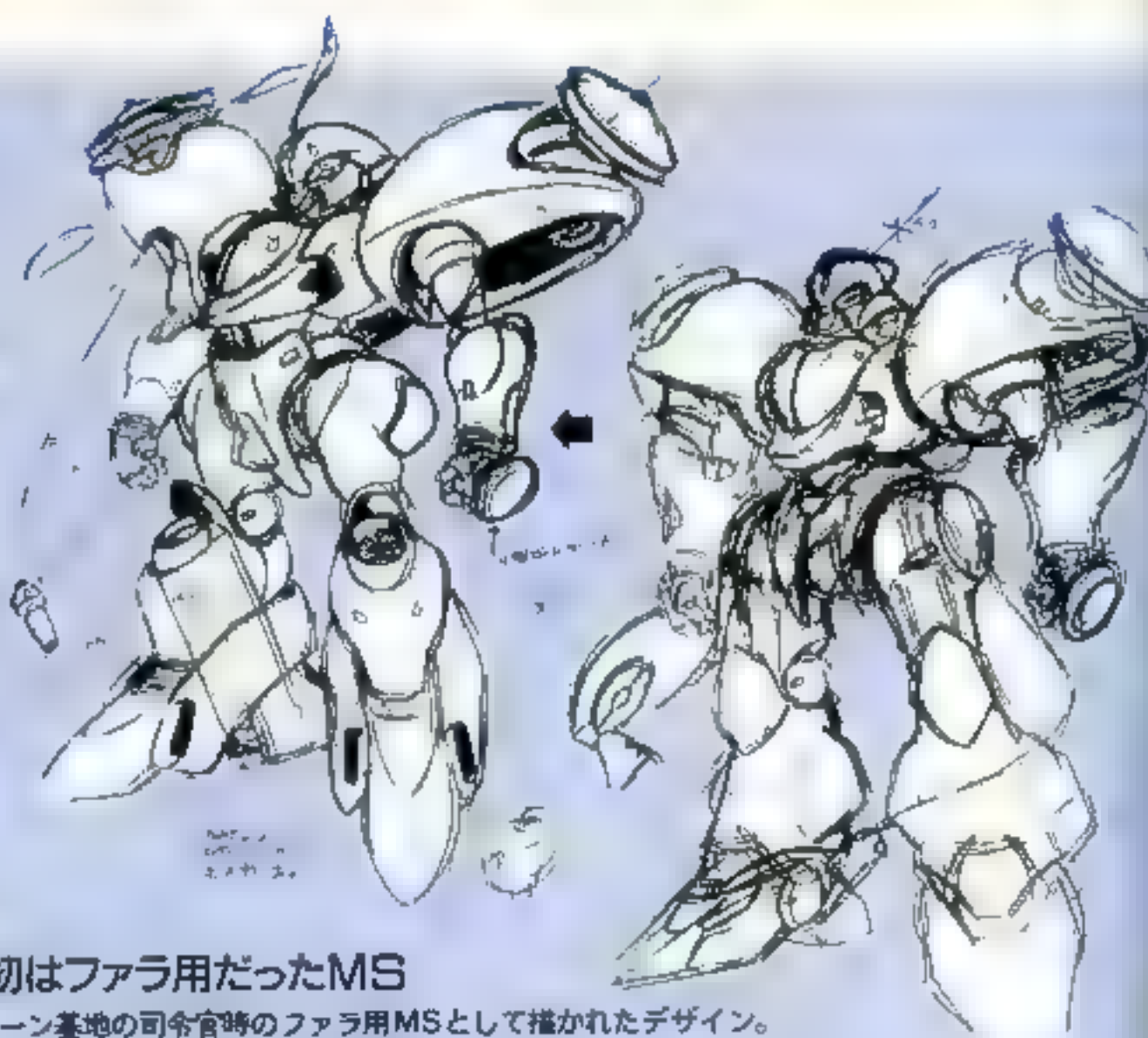
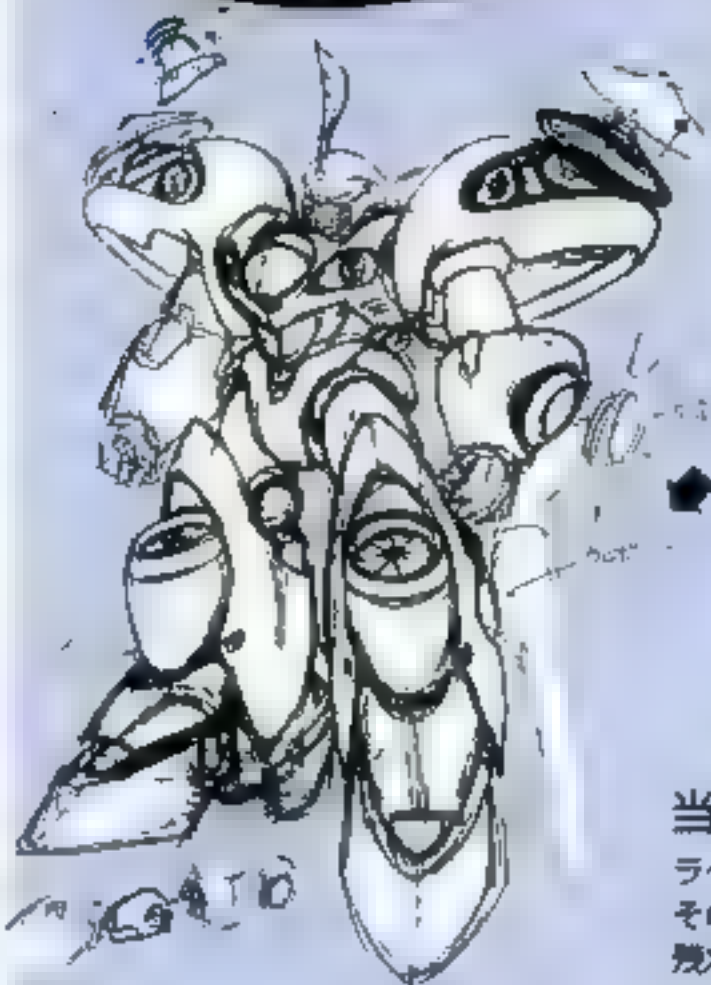
SANDHOGE



遊び心で描いたメカ

ズブロクかつくった作業用マシン、という設定背景が、デザインにも自由を許してくれるものだったので、かなり楽しみながら描いたというサントーシュ。3D面を見ても、おもしろい試みが機体の各所に盛り込まれていて、他のMSやMAとは一線を画しているのがわかる

MEMEDORZA

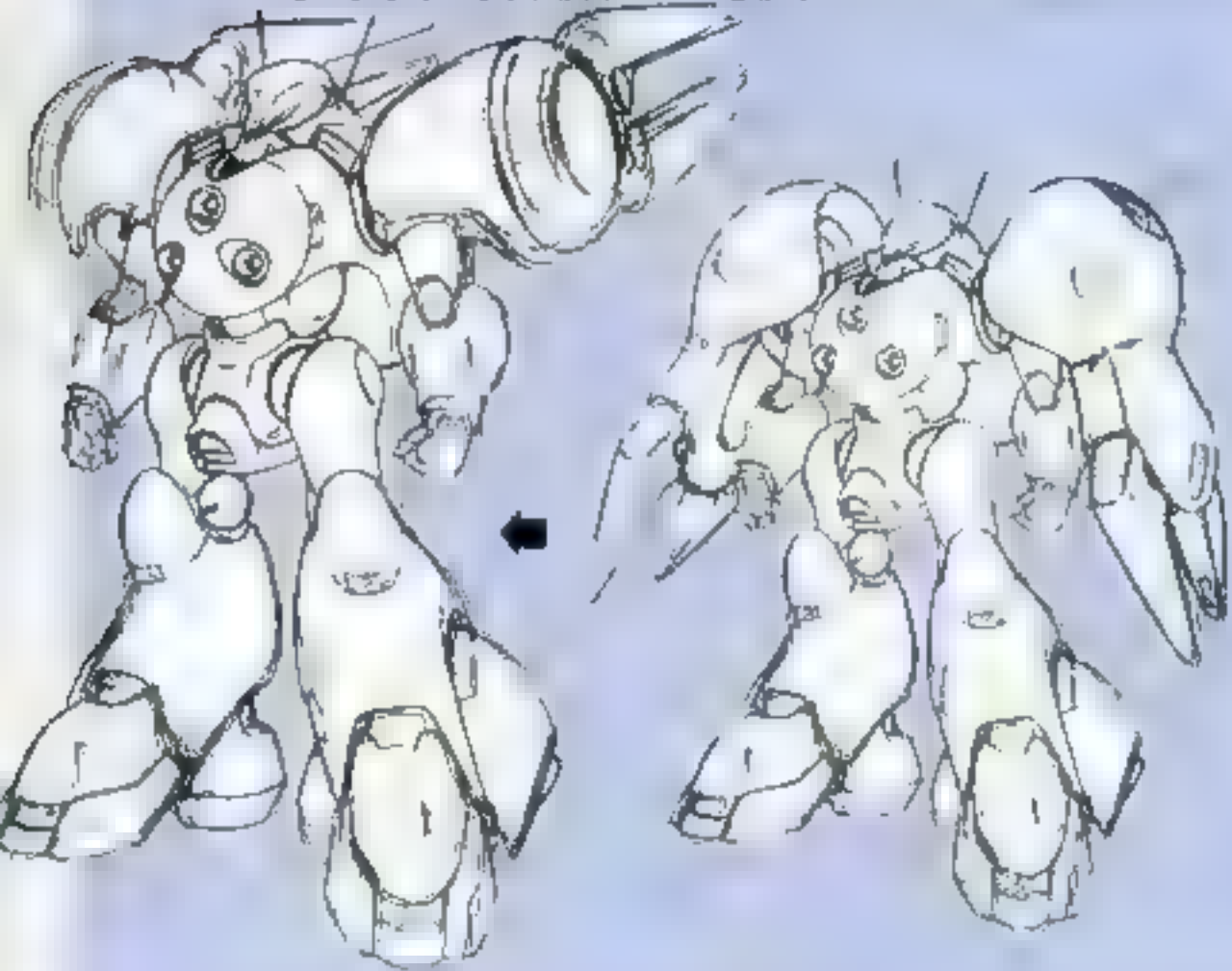


当初はファラ用だったMS

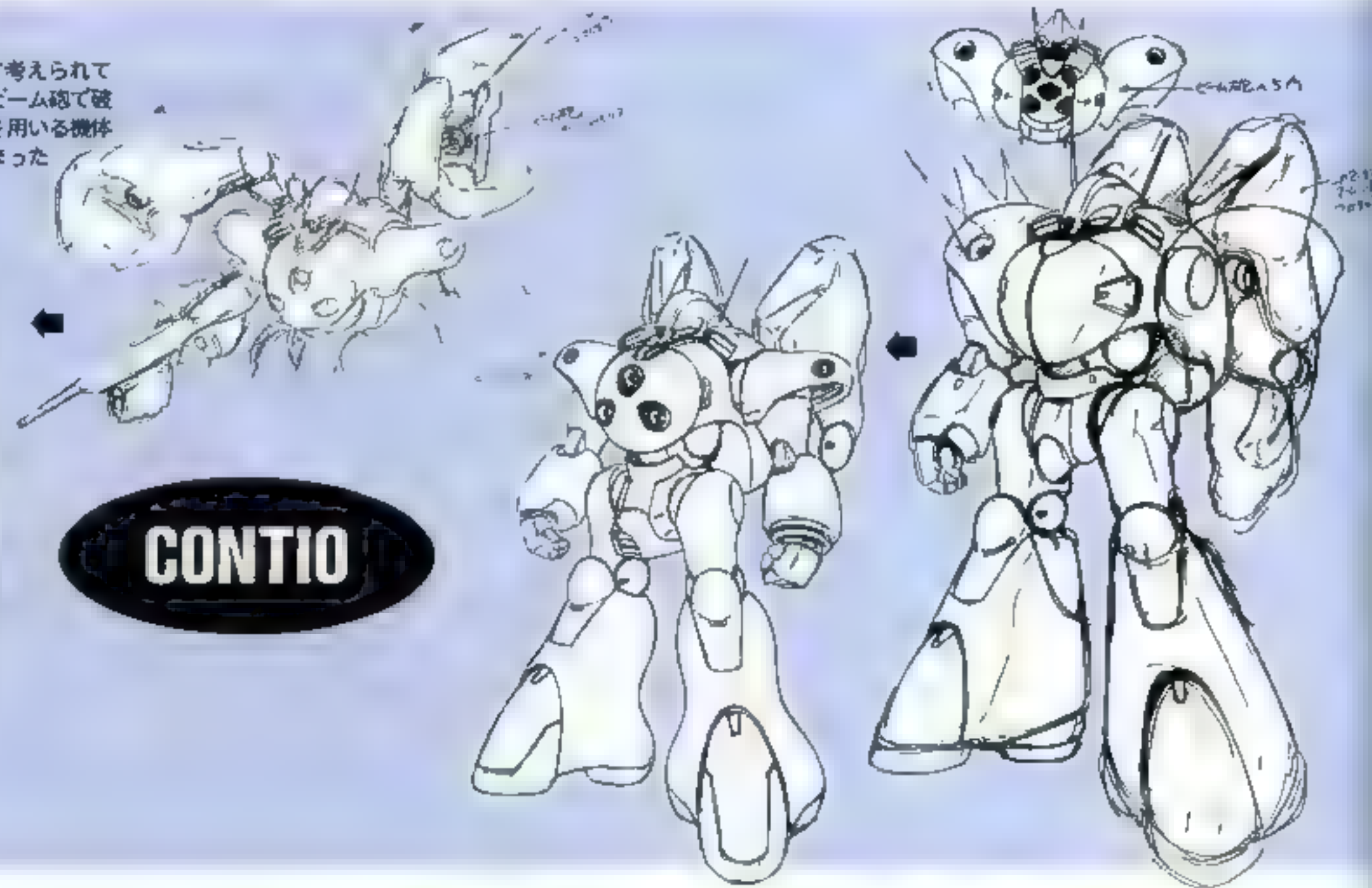
ラゲーン基地の司令官時のファラ用MSとして描かれたデザイン。そのため、とことなく女性的な雰囲気が漂っている。物語の展開上、残念ながら地球滞在時の彼女は、リカル以外に乗らないことになってしまったため、代わりにクワン・リーが操縦することになった

4本腕だった初期案

当初の案では爪の打ち出しは考慮されておらず、4本腕のMSとして考えられていた。これは追加された腕で的確な捕捉、動きを封じたところを胸のビーム砲で破壊する、というアイデアからきていたのだが、サイコミュ的な戦法を用いる機体ということになり、胸のビーム砲を残してアイデア自体が消えてしまった



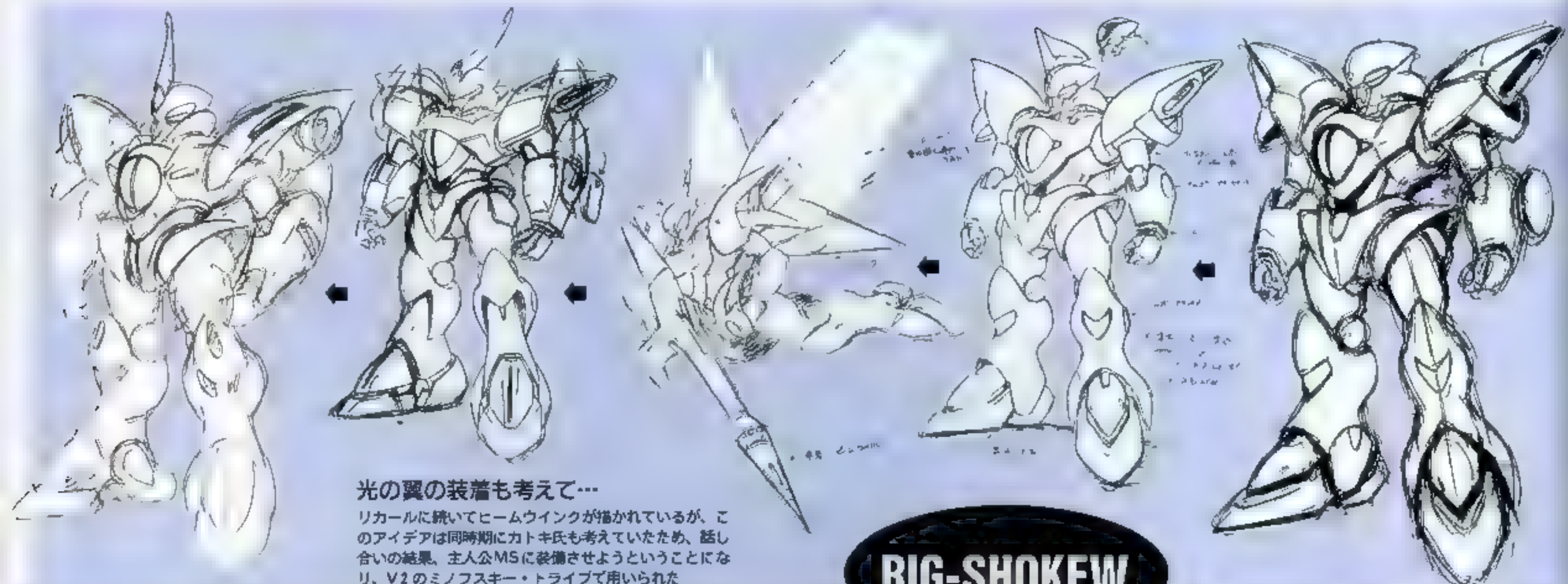
CONTIO



光の翼の装着も考えて...

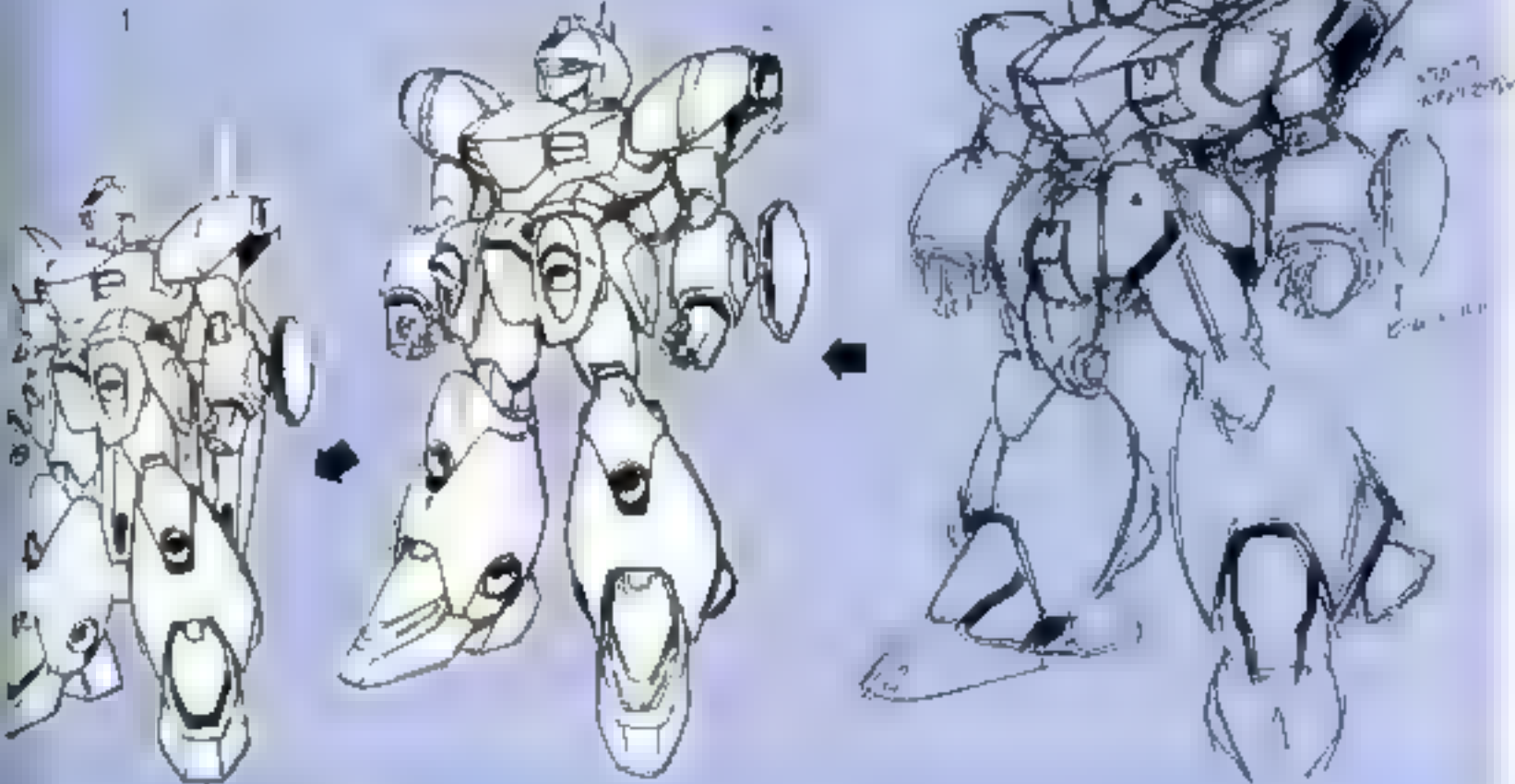
リカルに続いてヒームウイングが描かれているが、このアイデアは同時期にカトキ氏も考えていたため、話し合いの結果、主人公MSに装備させようということになり、V2のミノフスキー・ドライブで用いられた

RIG-SHOKEW

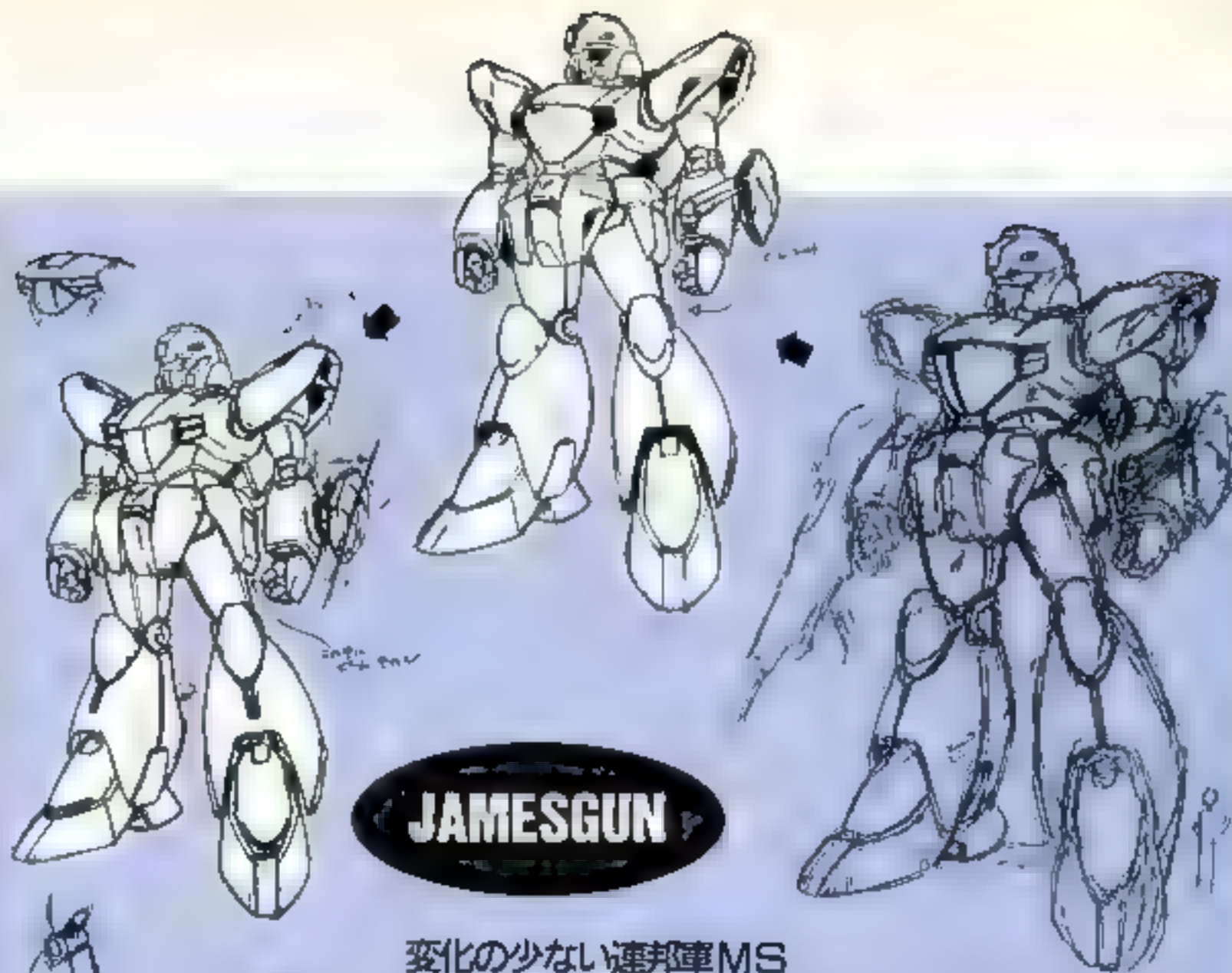


アドバイスから生まれたジャベリン

当初はオーバーハング・キャノンを装備していた、連邦軍の主力宇宙戦艦用MS。ジャベリン・ユニットは、シルエットが当たり前のものになってしまうのに苦慮していたとき、監督のアトハイスによって生まれたという



JAVELIN



JAMESGUN

変化の少ない連邦軍MS

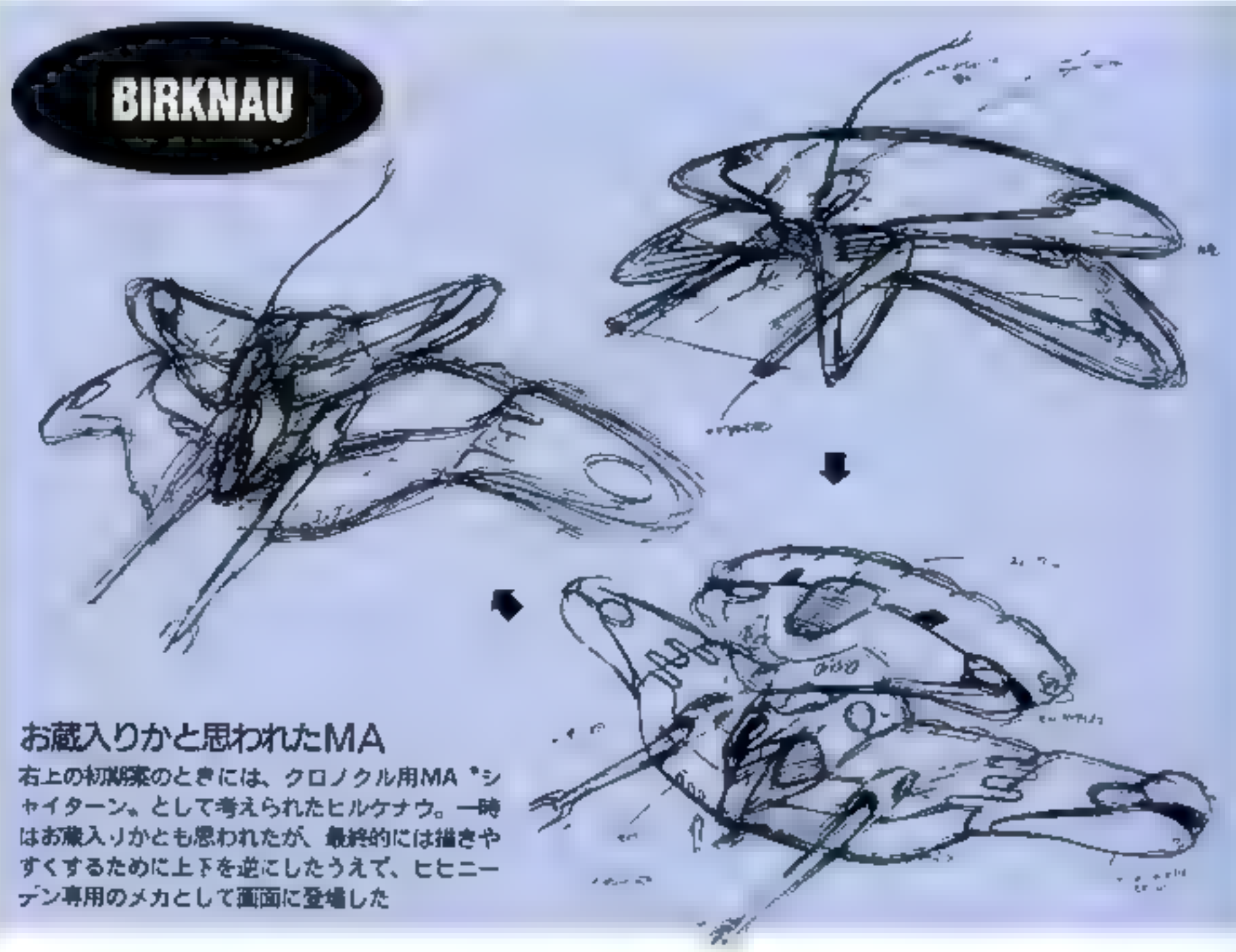
イメージが固まっていたため、極端な変化がなかったシェムズカン。やはり連邦のMSというのは、印象が固着化してしまっているうえに見せ場も少ないので、これまでは全然異なったデザインのもので登場させるのが難しいのたろうか。なお、連邦軍の重戦車型MSというものも、考えられていたようである



ABIGOL & GALGUYU

同じラフから生まれた2体

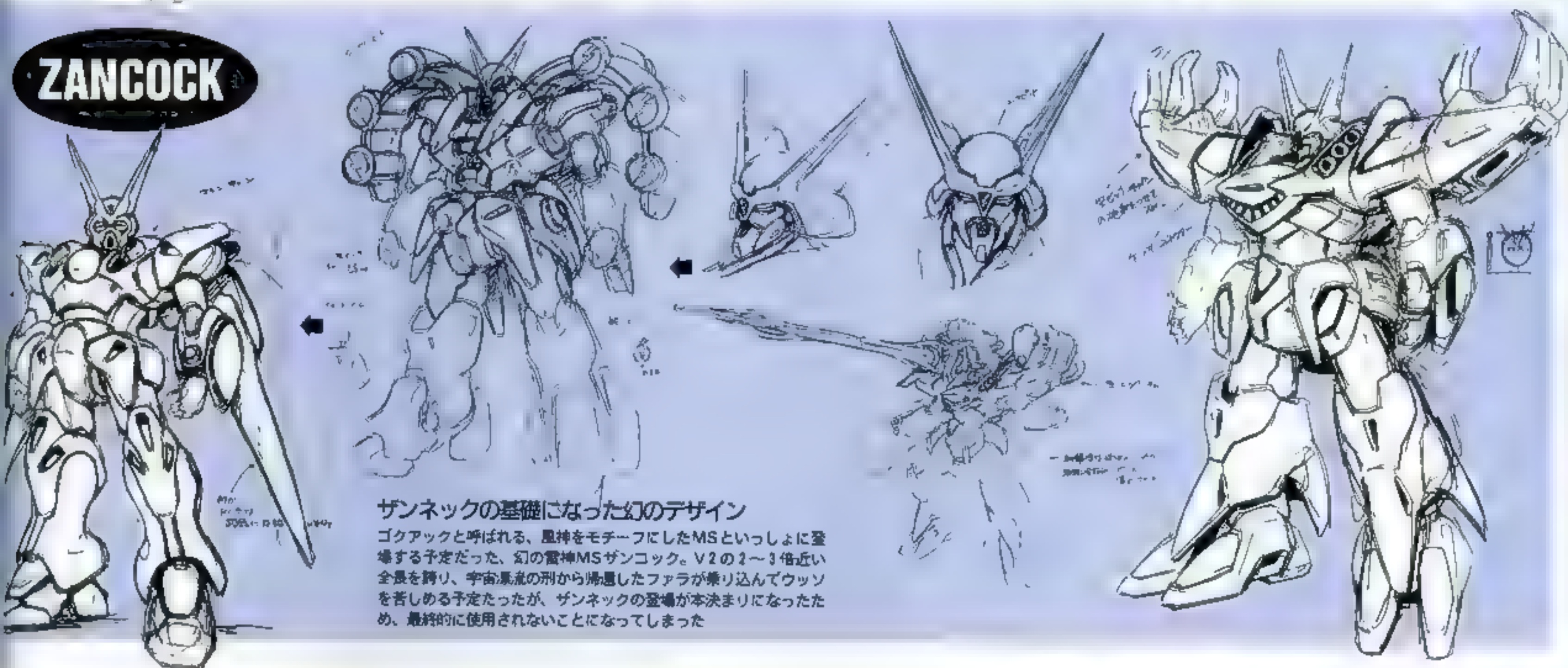
かつてシオン軍の水中用MSとして登場した、リッグを彷彿させるデザイン。その1枚のラフから誕生したのが、アヒゴルとカルグイスの2体である。この後、アヒゴルはゾロのような分離型メカとして考えられていた時期もあった



BIRKNAU

お蔵入りかと思われたMA

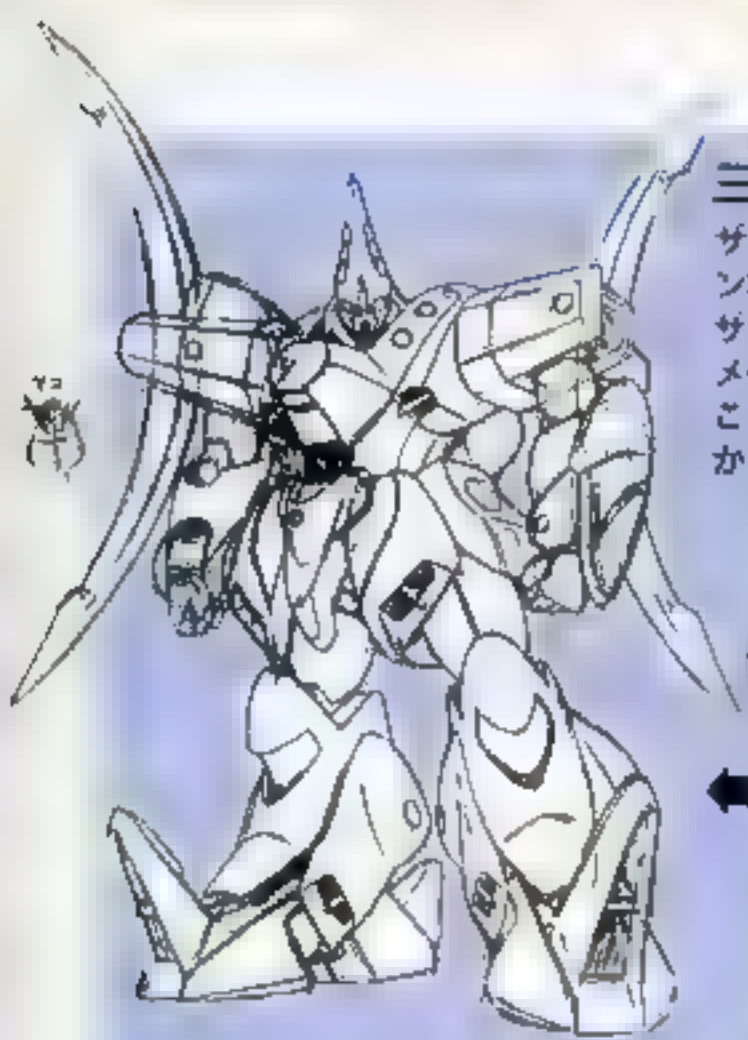
右上の初期案のときには、クロノクル用MA「シャイターン」として考えられたヒルケナウ。一時はお蔵入りかとも思われたが、最終的には描きやすくするために上下を逆にしながら、ヒビニーデン専用のメカとして画面に登場した



ZANCOCK

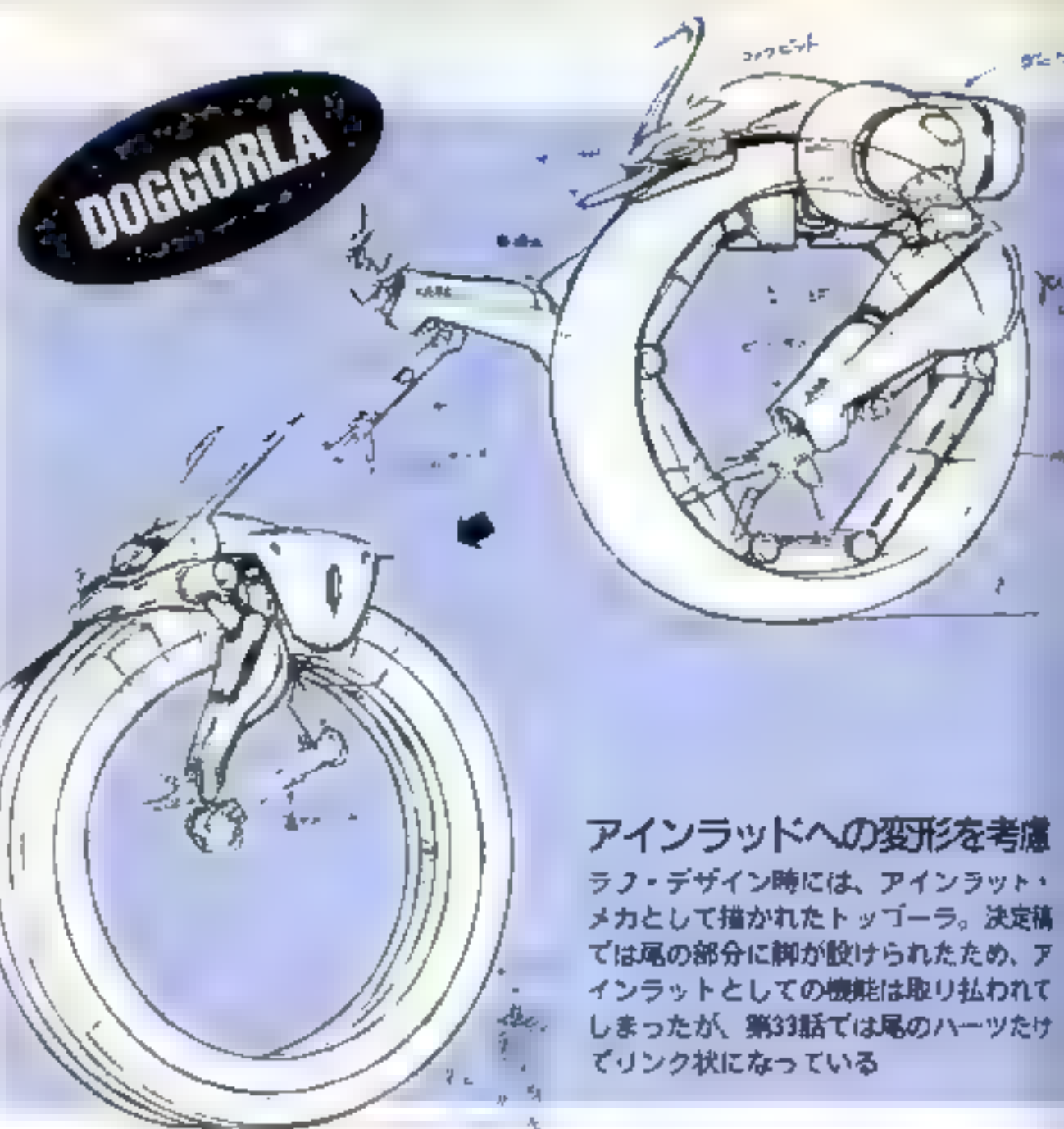
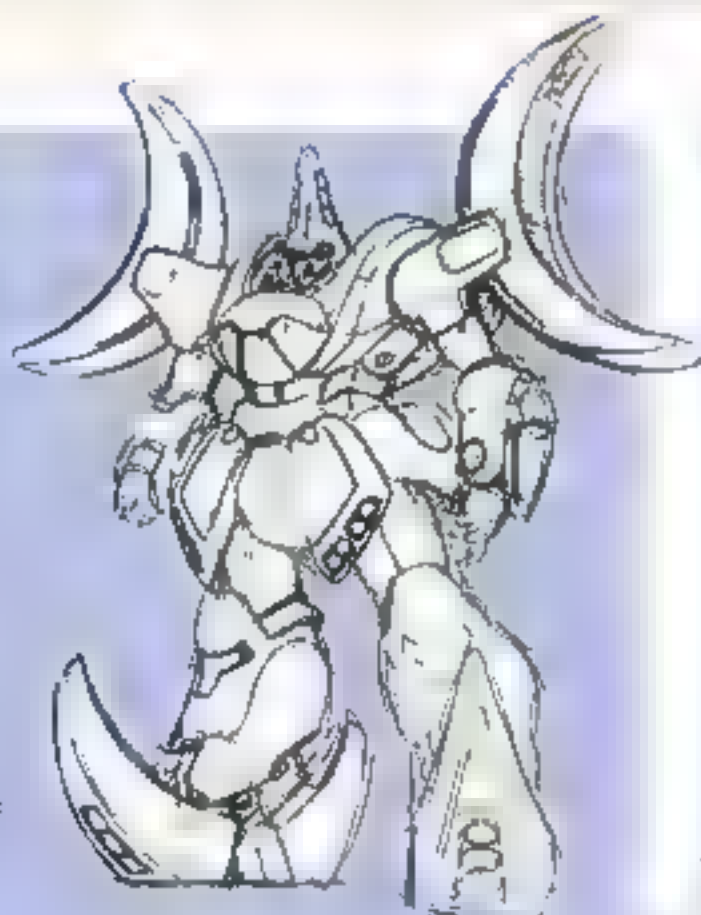
ザンネックの基礎になった幻のデザイン

ゴクアックと呼ばれる、鬼神をモチーフにしたMSといっしょに登場する予定だった、幻の雷神MSザンコック。V2の2〜3倍近い全長を誇り、宇宙漂流の刑から帰還したファラが乗り込んでウツを苦しめる予定だったが、ザンネックの登場が本決まりになったため、最終的に使用されないことになってしまった



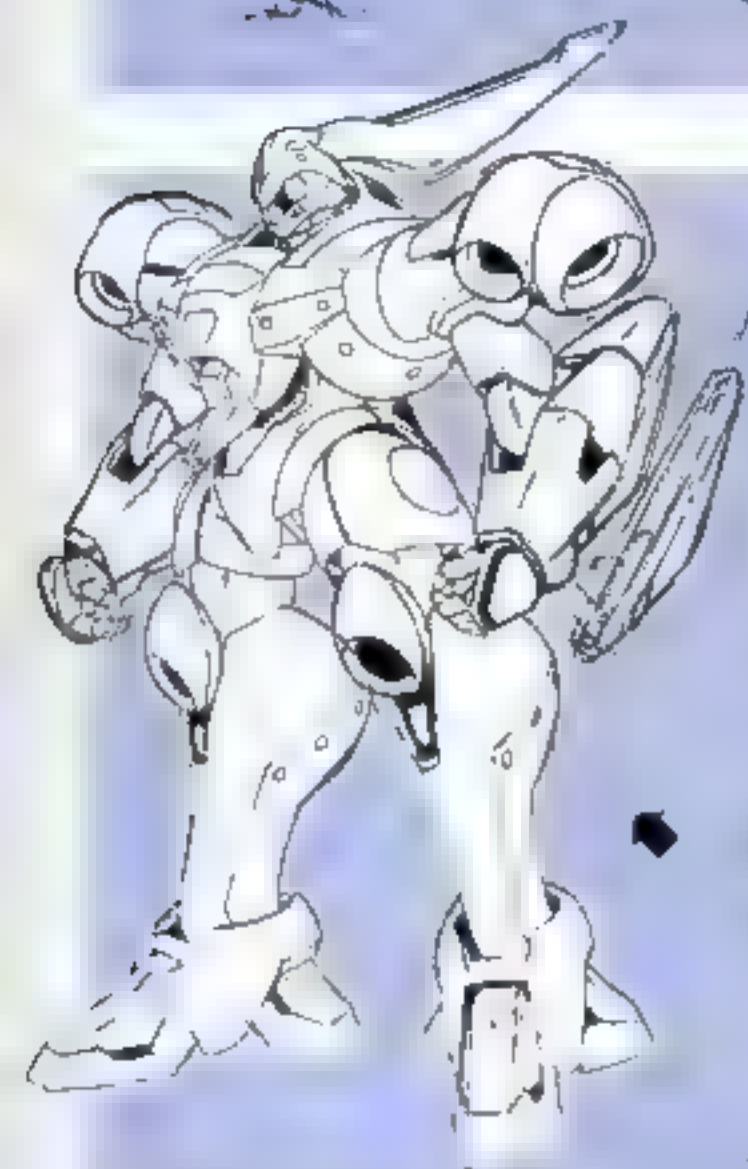
三日月のイメージをもとにして
ザンコックが備えていた、小型ヒッグキャノ
ンなどのアイデアを取り入れる形で描かれた
ザンネック。右の図にあるように、最初のイ
メージでは脚も二日月状になっていたが、そ
こまでやる必要はない、という監督のことが
から、比較的ノーマルなものに変更された

ZANNECK



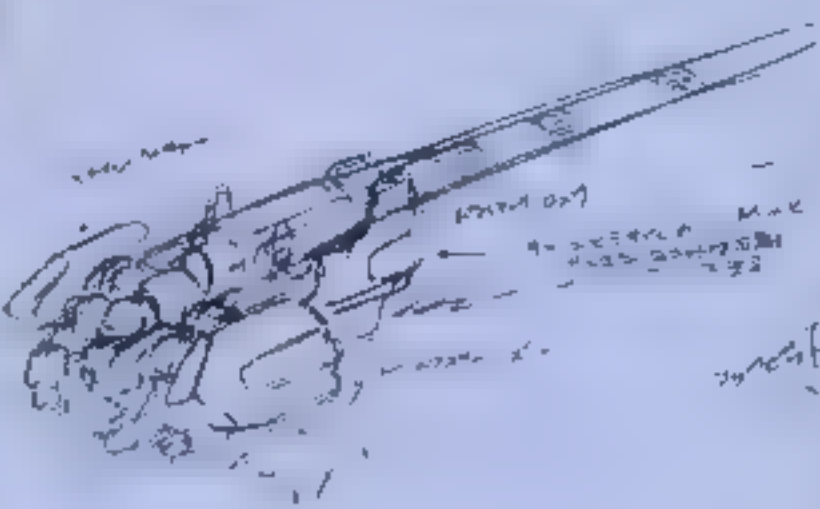
DOGGORLA

アインラッドへの変形を考慮
ラフ・デザイン時には、アインラッド・
メカとして描かれたトッソーラ。決定稿
では尾の部分に脚が設けられたため、ア
インラッドとしての機能は取り払われて
しまったが、第33話では尾のハーツだけ
でリンク状になっている

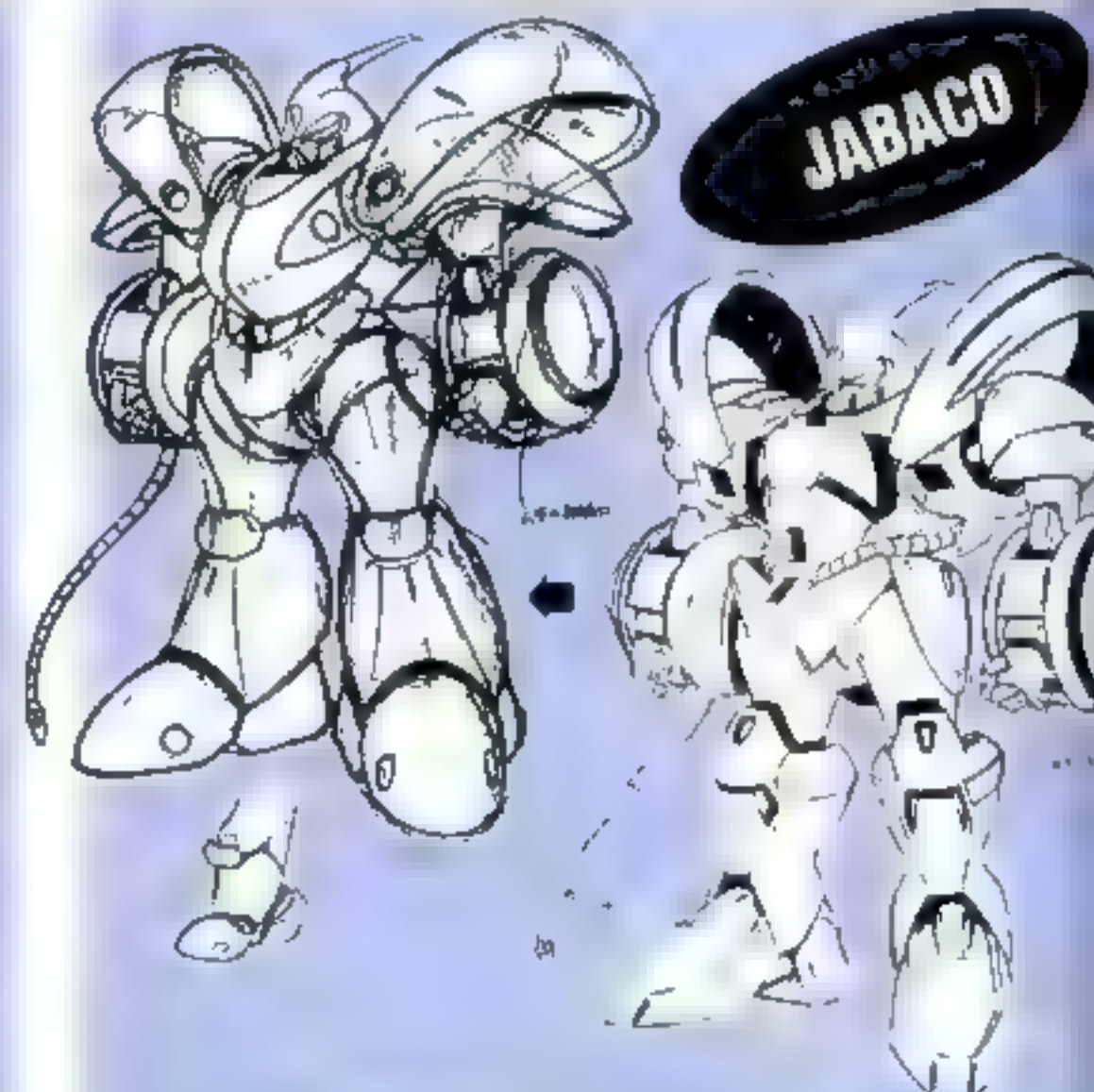


最後のカテジナ用デザイン

最終決戦時にカテジナが乗り込む機体としては、もう1
機種用意が進んでいたが、結局そのデザインは幻となり、
このゴトラタンが用いられることになった。石垣氏は大
きなバックパックがあまり好きではないので、キャノン
バックが外れてしまうこの機体が気に入っているらしい



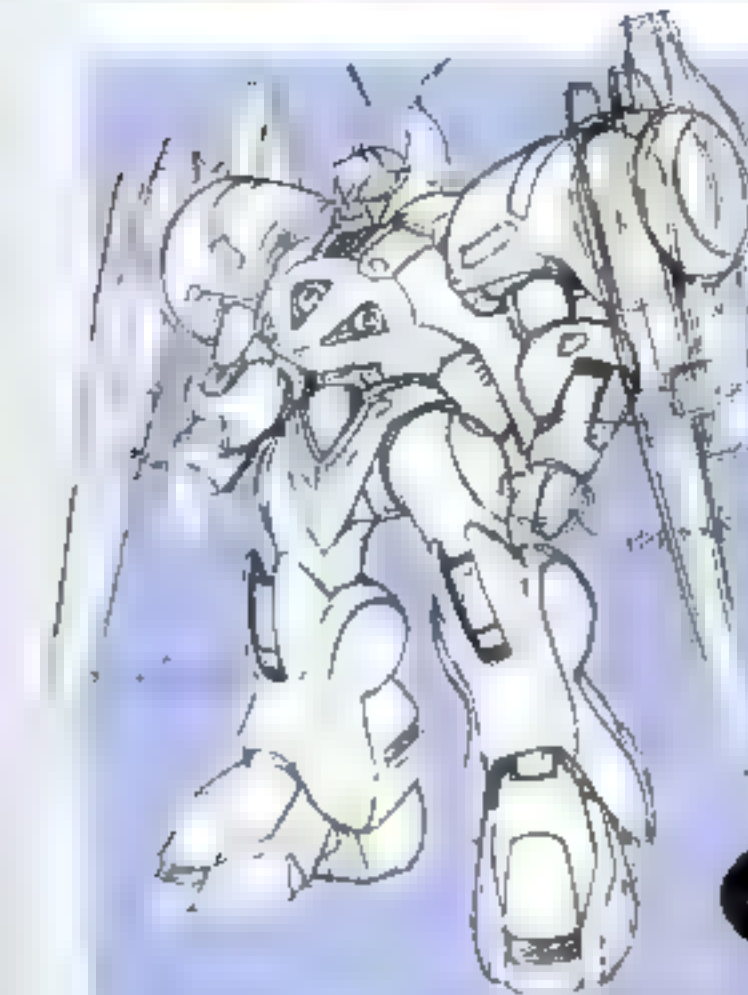
GOTTRLATAN



JABACO

ゲドラフの後継機のイメージ

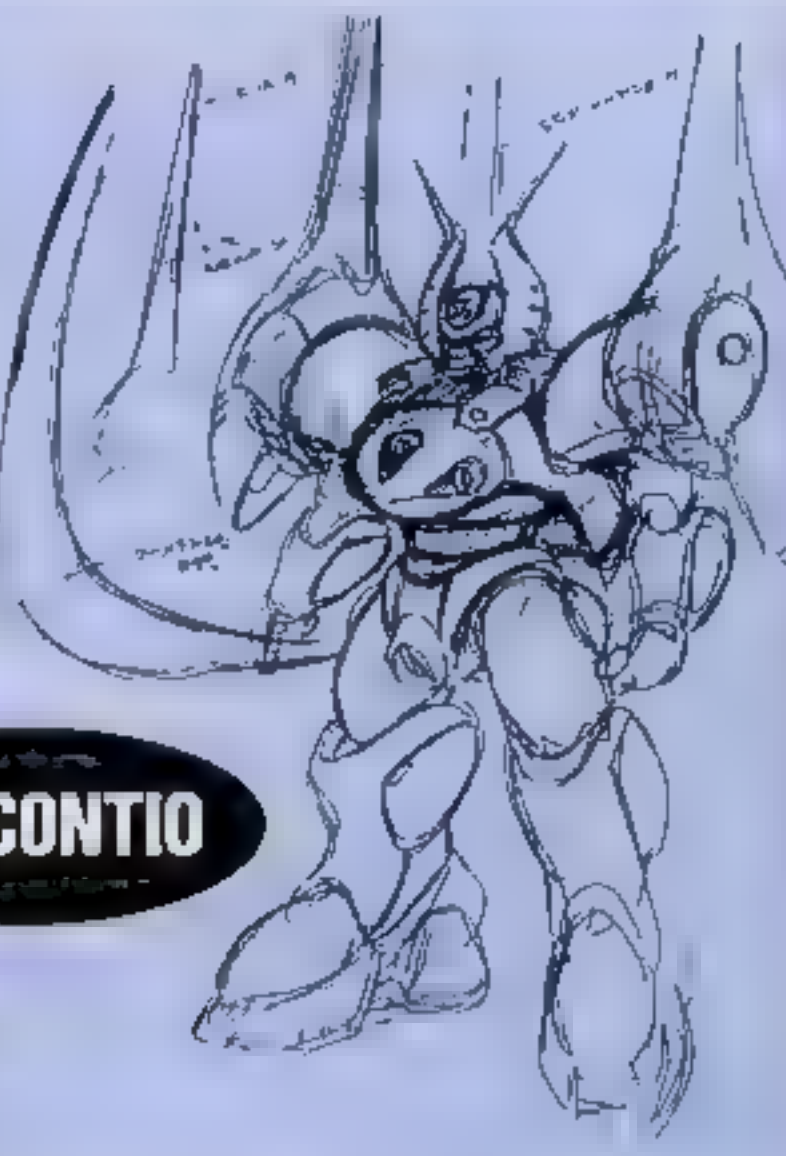
最初のころはゲールグと呼ばれ、ゲドラフのハワーア
ップ版メカとしてイメージされていたシャハコ。ツインラ
ットといっしょに登場したのはそのため。なお、特徴に
なっている両肩のついた装甲板は、当初ブーメラン状の
兵器を装備させようと考えていたことの名残である



RIG-CONTIO

V2の対抗機種だった最後のMS

最終MSになったリグ・コンティオのラフ。これまでア
イデアだけは出していたものの、使う機会を逃していたブ
ーメラン状兵器のほかに、V2に対抗してつくられたザ
ンスカール版ミノフスキードライブなどが見受けられる



風神のイメージから...

ザン11の機体でも記述した、風神MS 11ク
アックが変化して描かれたもの。しかし石垣
氏いわく、バック・エンジン・ユニットを無
人攻撃機にしたら、雷神のようなイメージに
なってしまった、とのこと



GENGAOZO

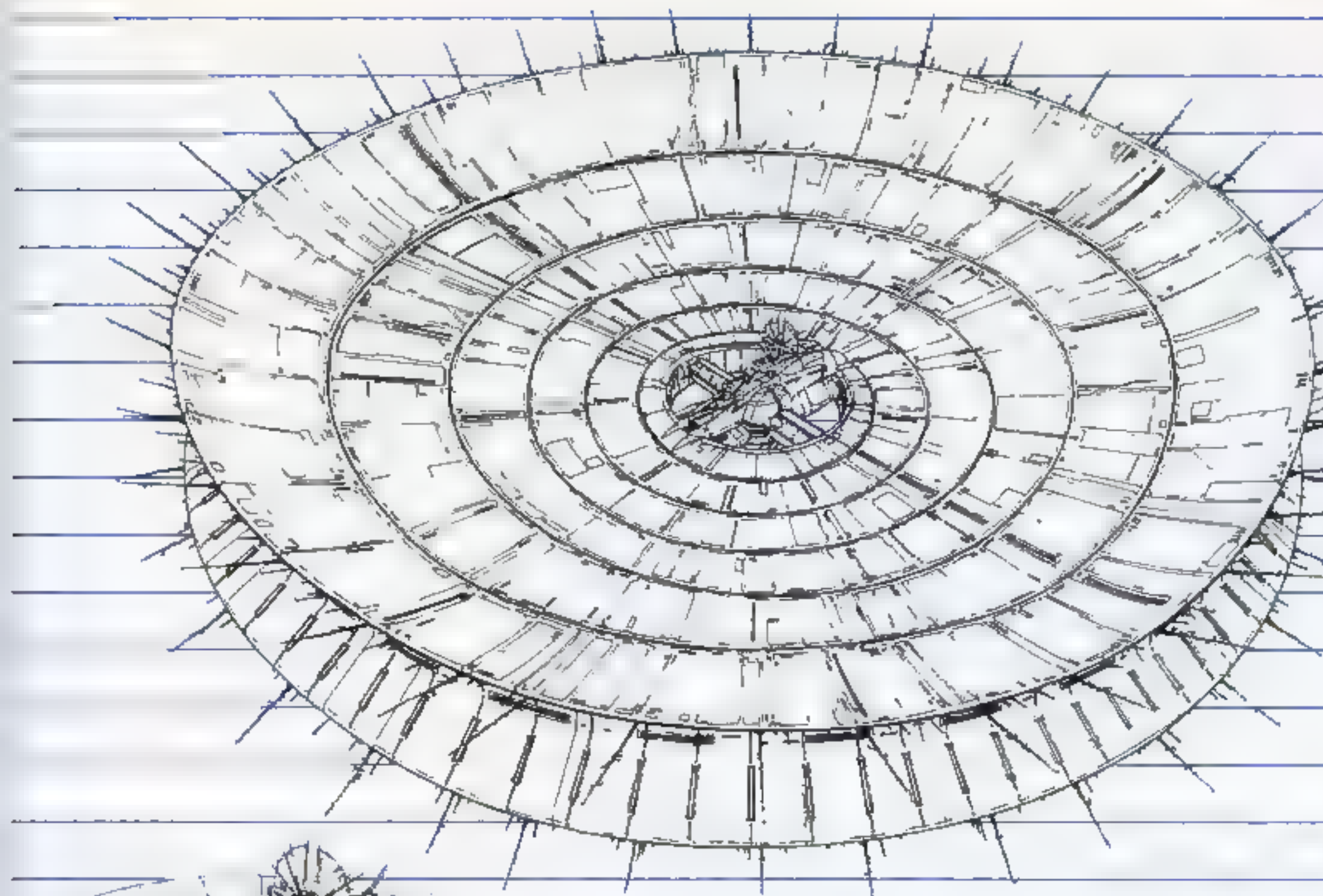
ANGEL HALO

エンジェル・ハロウ

DESIGNER BY JUNYA OKADA
Illustrated by SHINJI KIDA

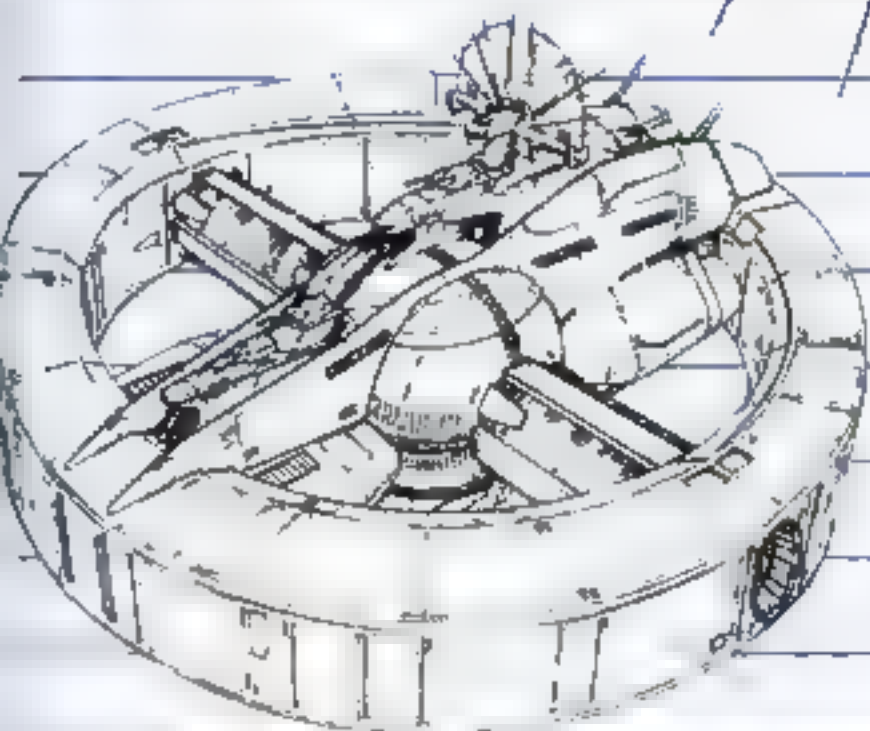
カガチの切り札になった 超大型スーパーサイコミュ

地球圏のエネルギーを掌握する、非政府組織(NGO)木星船団公社。その性質から、コロニー公社をしのぐ力を手にしていた彼らが、地球軌道外でひそかに建造してカガチに与えたと思われるのが、この超巨大サイコミュ要塞、エンジェル・ハロウである。直径はなんと約20kmにもおよび、5重のリングと艦船にも似たセンターサークルから構成されているが、その能力を発揮するためには、2万人からの精神感应能力者と、彼らの思念を集約させる優れたニュータイプが要求された。だが、このマシンがおよぼす影響については、いまだ不明な点も多く、公社の人々がどのような意図からこれだけの建造物をつくりあげたのか、その真意を知ることとはできない。(41~51話)



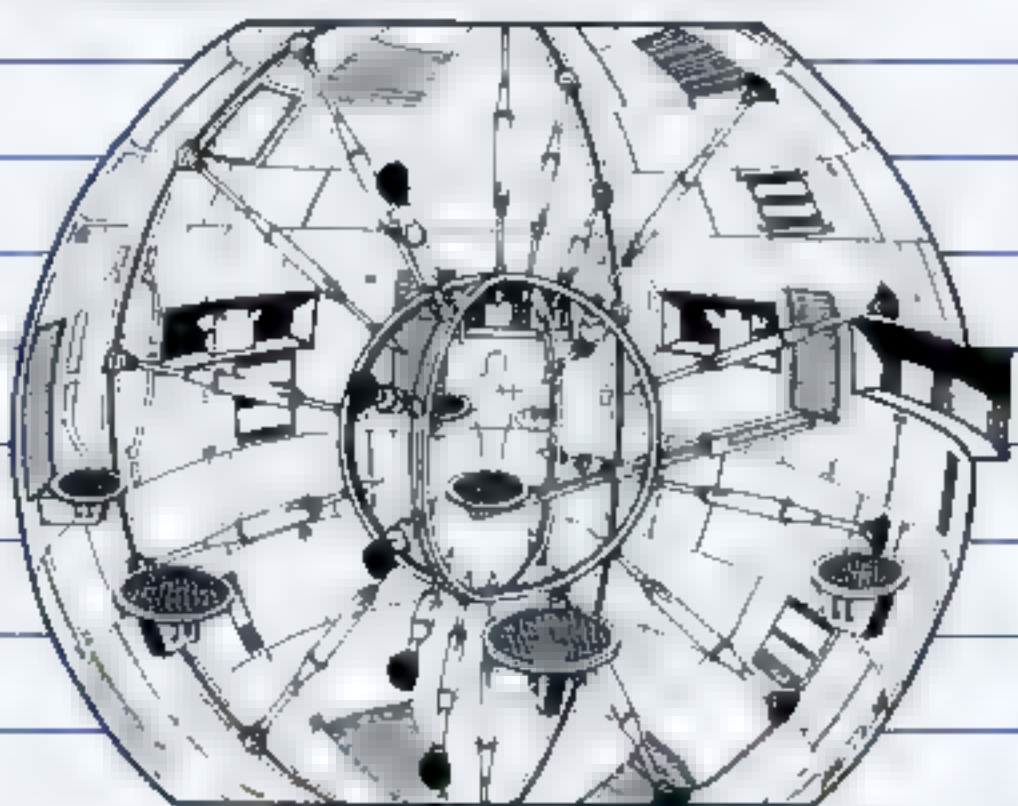
CENTER CIRCLE

エンジェル・ハロウのすべてをコントロールするセンター・ブロック。戦艦の中心部を切り取ってはり付けたような形状をしており、上下対称である。カテジナのコトラタンとV2の最後の戦いは、左右を貫くパイプの中で行われた



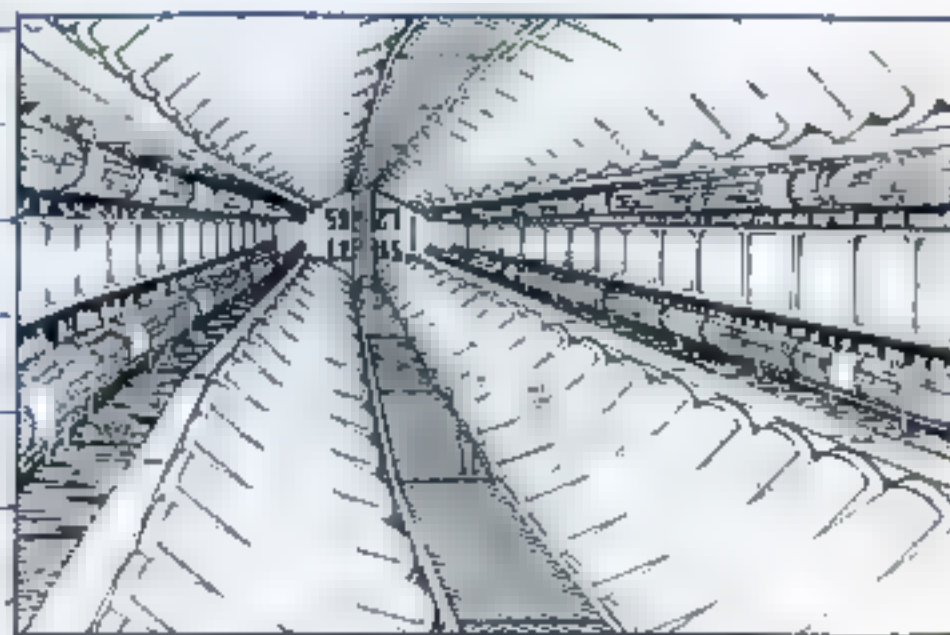
KEY ROOM

サイキッカーたちの意志を束ねるためにつくられた、エンジェル・ハロウの中枢。周囲に制御ルームが設けられていて、ガチ覚員によって運営されていたが、ついに彼らも、その祈りの内容まで知ることはできなかった



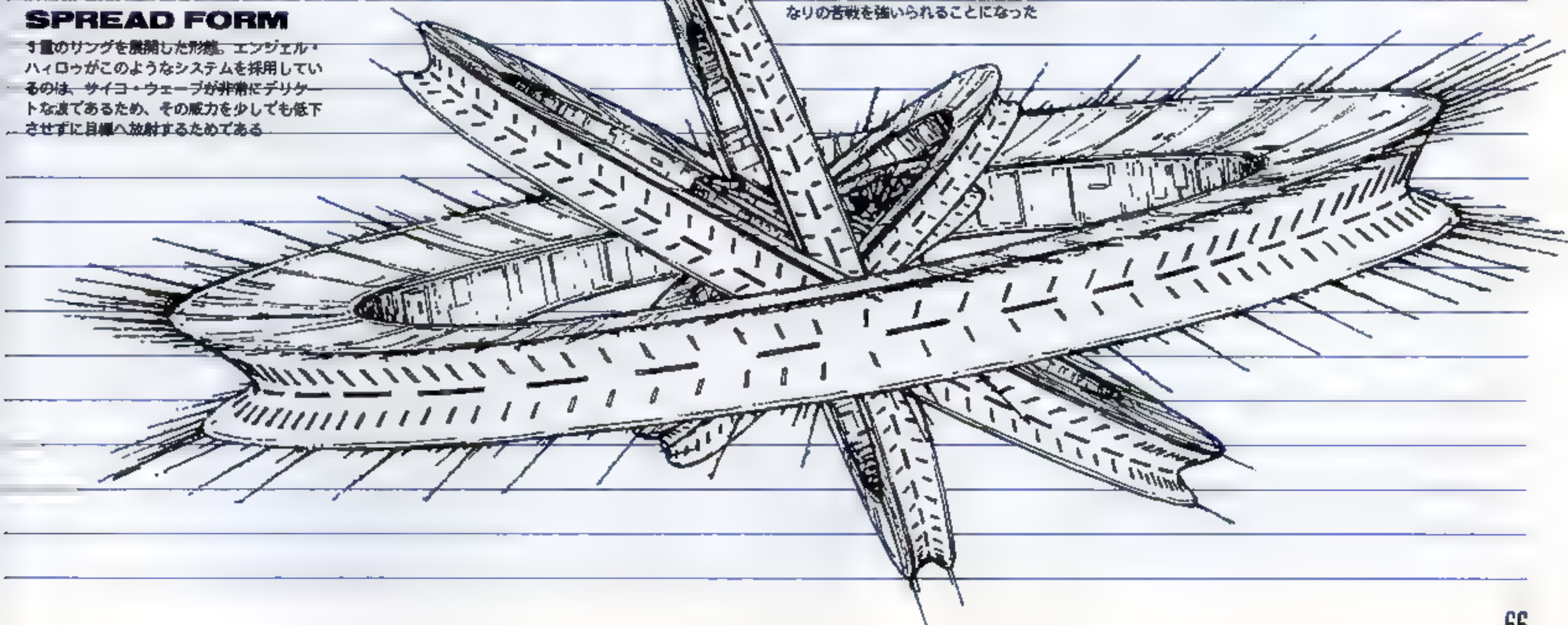
PSYKICKER ROOM

リング内部のいたる所に設置されている、サイキッカーたちの眠る部屋。すべてのチューブに人間が詰められており、攻撃は彼らの死を意味してしまうため、ウツソたちがミリアディアの戦闘部隊はかなりの苦戦を強いられることになった



SPREAD FORM

5重のリングを展開した形態。エンジェル・ハロウがこのようなシステムを採用しているのは、サイコ・ウェーブが非常にデリケートな波であるため、その威力を少しでも低下させずに目標へ放射するためである



DIRECTOR INTERVIEW

西森章

(演出・絵コンテ)

——シリーズの6以上の絵コンテを手掛けていらっしゃいますね。

「僕は自分でも、ずいぶんいろいろなジャンルの作品の監督や演出を務めてきたつもりでいます。でも『愛の楔』という作品を監督したときに、このままだと俺ってダメになっちゃうよ、誰かに鍛えなおしてもらわないとな、と思っていたのです。そこへタイミングよく『Vガンダム』に参加しないか、という話がありまして、監督はどなたですか、と聞いたところ、富野監督だということで、もっけの幸いと参加させてもらうことにしたわけです。富野監督といえば、実績もあり、業界の実情にも詳しい人ですから、その下で勉強させてもらえるのならば、こんなにうれしいことはありませんものね。で、監督に嫌がられるくらい食らいついてみよう、と思ってやっていたら、いつの間にか18本も担当していたわけです」

——やはり得られたものは大きかったですか？

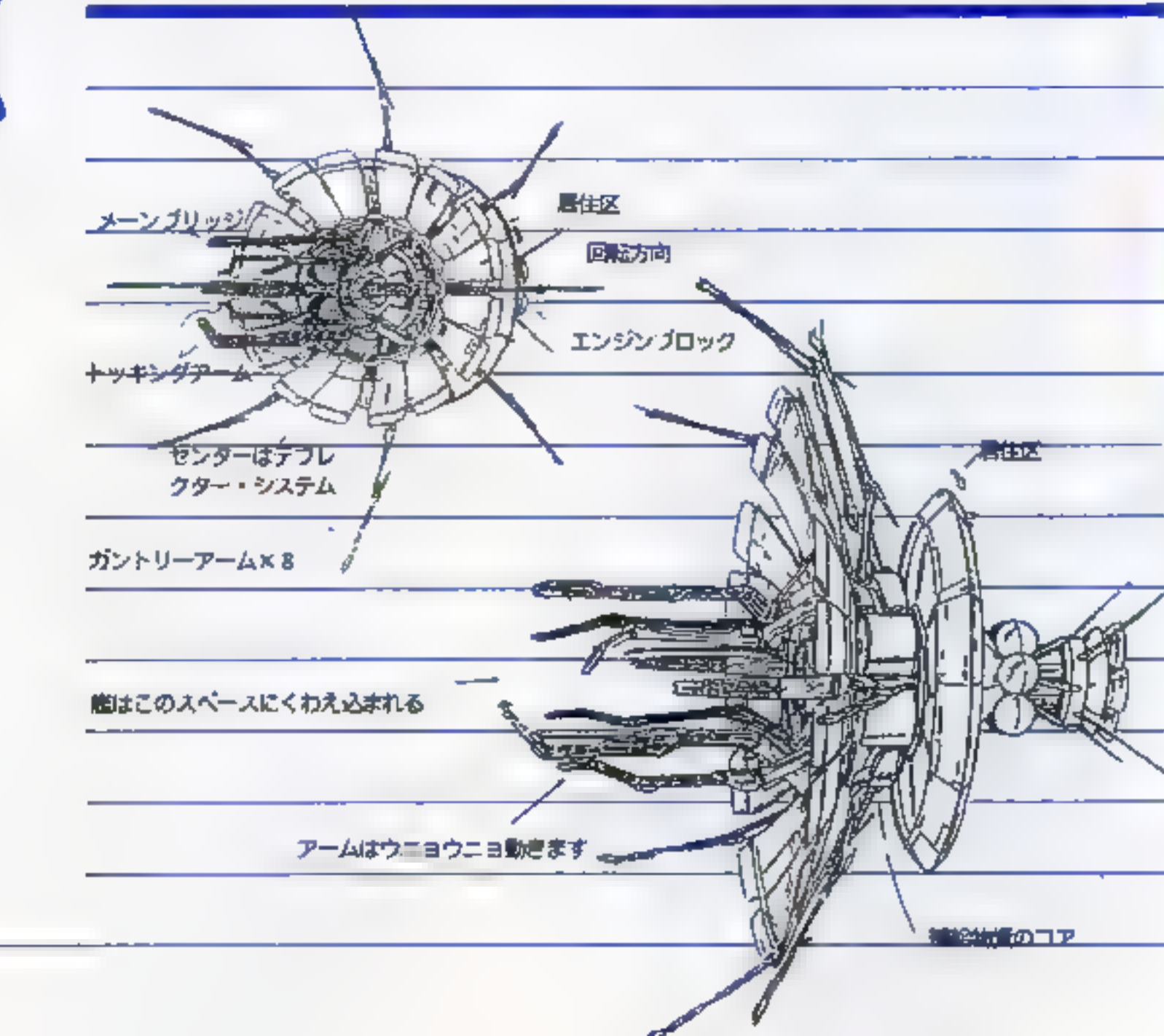
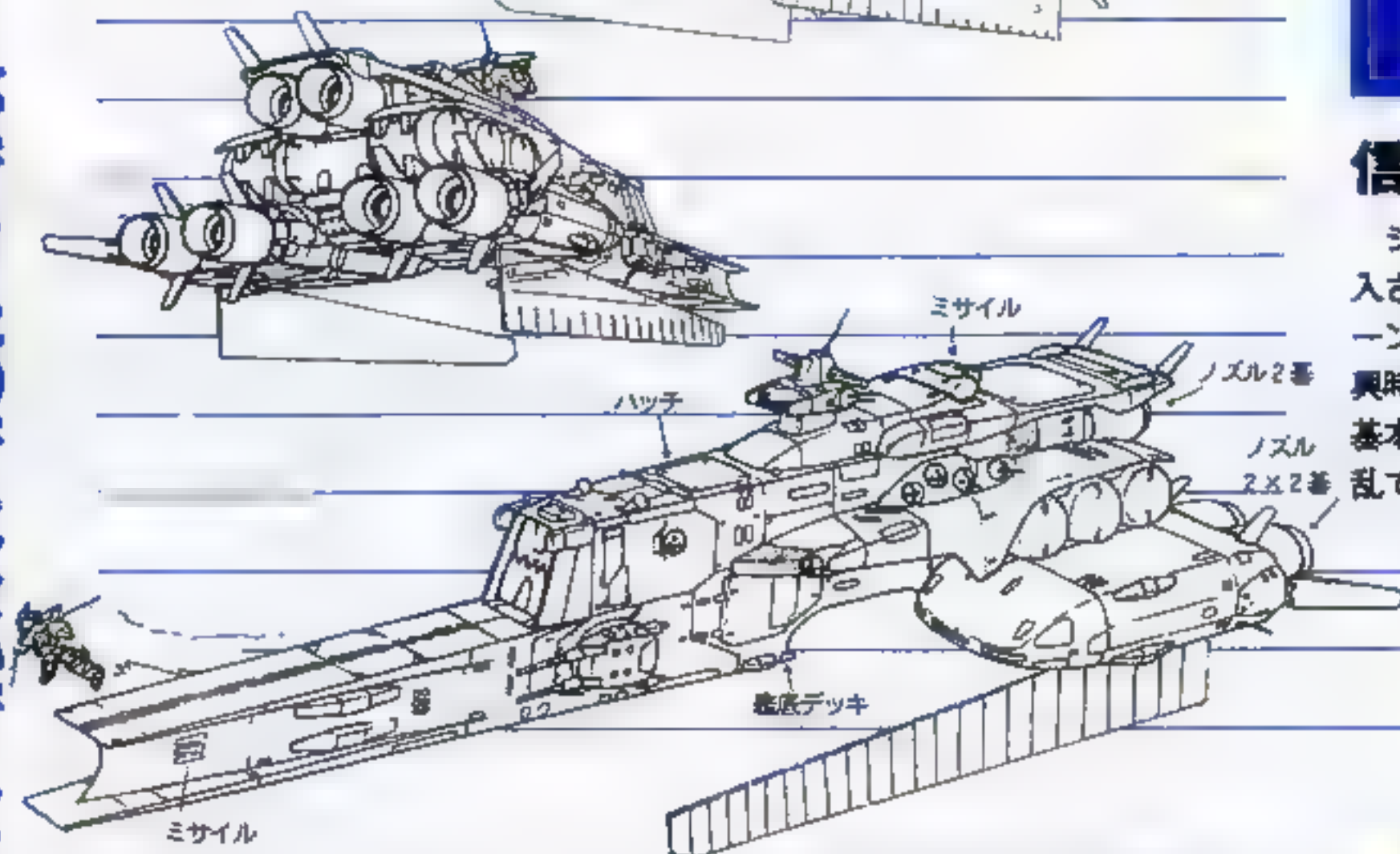
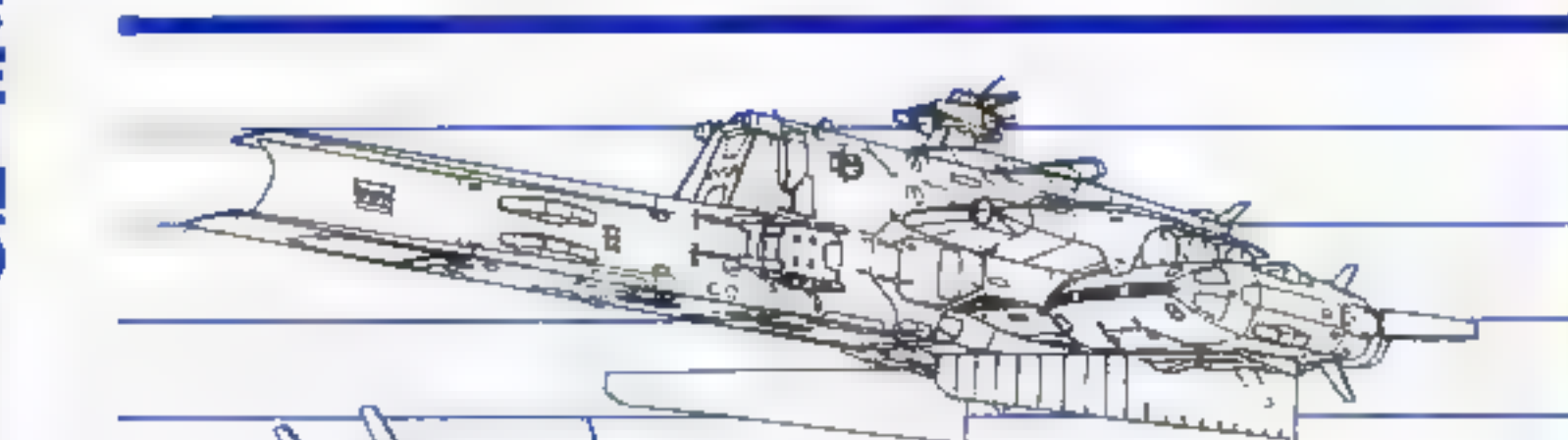
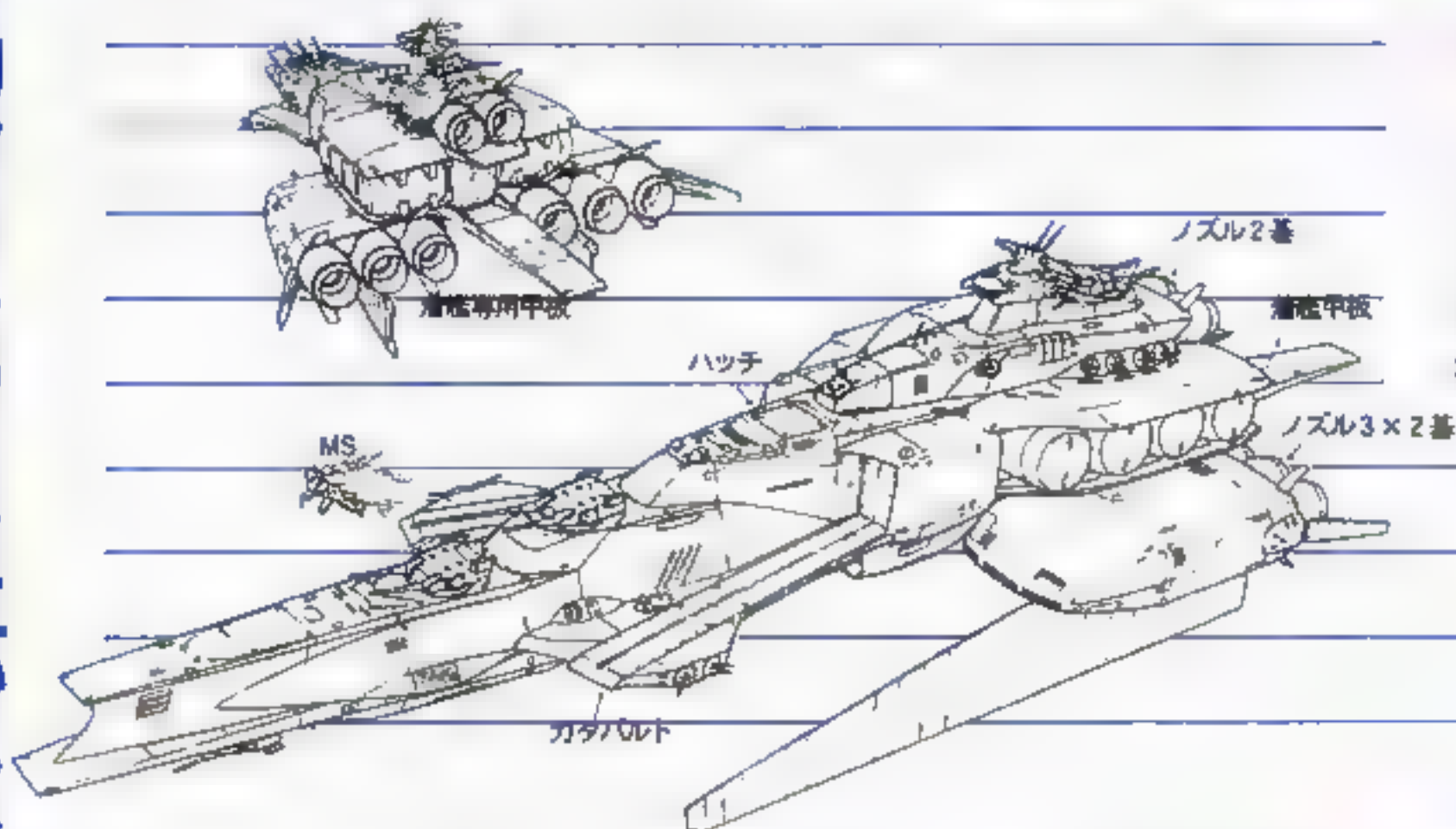
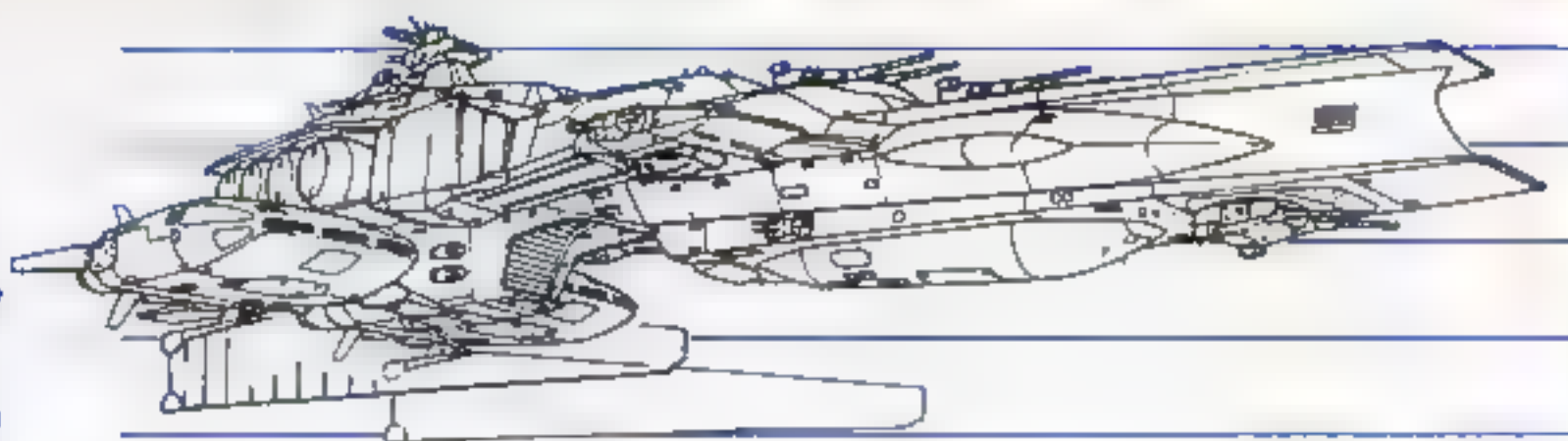
「まだ自分のここが変わった、という実感はありませんけれど、とても大きかったです。特に映画に対する考え方、という点ではとても重要なことを教えてもらったのではないのでしょうか。僕も映画が好きでしたから、以前から自分なりの映画というもののアニメーション的表現を描いてきたつもりだったのですが、それ以上に、アニメーションを使ってもっと映画にするためにはどのようにしたらいいのか、という方法論について富野監督は非常に深く考えていたのです。このことについて学べただけでも、本当に大きかったですね」

——そして、それが作品に反映されていったわけですか。

「以前から、これは実写でやったほうがいいんじゃない？ということはやっていました。でも学べたお陰で、きちんとアニメーションとしてのおもしろさを生かしながら、映画・映像をつくれたのではないかと感じています。だから僕は絵コンテを切っているときも、子供たちが何かしでかしてくれると、本当に楽しかったです」

1961年、宮崎県生まれ。大阪芸大に在籍した後、「マクロス」(TV版)でアニメの世界に入り、「オーガス」の第1話で演出デビュー。「アーバンスクウェア」「ADポリス」などさまざまな作品を手がけ現在に至る

アニメのおもしろさを生かした作品づくりができたのではないのでしょうか



JEANNE D'ARC

RA-CAILUM CLASS

ジャンヌ・ダルク(ラー・ガイラム級)

from CHAR'S COUNTERATTACK

ムバラク提督艦隊の旗艦

ハンゲルグとムバラク提督が乗り込んでいた、全長487mの戦艦。細かな仕様変更はあるものの、基本的にはシャアの反乱時にアムロたちが乗り込んでいたものと同じである。設計から60年以上を経てはいるが、いまだ連邦軍の中核を成していた。(41〜51話)

CRUISER

CLOP CLASS

連邦軍巡洋艦

from CHAR'S COUNTERATTACK

信頼性の高い中型戦闘艦

ジャンヌ・ダルク同様、シャアの反乱時に導入された連邦の標準的な巡洋艦。改装前のリールホースや、クロスボーン・バンガード勃興時に用いられた練習艦スペースアークも、基本的にはこのタイプの艦である。今回の戦乱でも多数が登場した。全長292m(16話〜)

LA VIE EN ROSE IV

ラビアンローズIV

from 2 GUNDAM

連邦の大型整備・補給艦

60年以上前のアクシズ戦役時に就役していた宇宙ドック艦、ラビアンローズの4代目。外観は初代のものと同一だが、内部の機器はかなり改善されているのではないかと推察されており、ザンスカールのメリリンと比較しても、性能的な遜色はない。(21〜22話)

WHITE ARC

ホワイトアーク

Designed by JUNYA ISHIGAKI

子供たちの家になった 小型の万能戦闘艇

おもにウッソをはじめとする子供たちとマーベットが乗り込んでいた、全長32mの小型の大気圏内外両用艇。連邦軍からの貸与品なのか、それともリガ・ミリティアが独自開発したものなのかは不明だが、小さな船体であるにもかかわらずメガ粒子砲やミサイルランチャーなどの武装と、十分な航行支援システムを備え、そのうえさらに単独での大気圏突入も可能な、性能的には「艦」と呼んでも差し支えない、万能戦闘艇である。そのサイズ上、格納スペースはもたないが、翼の上に4機のMSを連結させて運用が可能な構造になっている。しかし、徹底的な分解・整備は困難であり、MSの破損が激しい場合には、他の大型艦艇で修理せねばならず、それが運用上の限界になっている。(29話~51話)

BRIDGE

当初はエリシャたちの親によって運用されていたが、彼らが降りてからは、トマーシュやカレルが操縦にあっていた。なお、重力下での運用が考慮されているため、天井面にシートは備えられていない

BATTLE FORM

艦首のメガ粒子砲を展開し、ブリッジとMS用クリップを格納したホワイトアークの戦闘形態。ブリッジの格納は、過去の艦艇に多く見られたが、この時代の船では珍しい

with BOOSTER

接收したラゲーン基地で調達した、大気圏脱出用ブースターを装着したホワイトアーク。連邦もザンスカールも、基本的な機器の規格は同一であるため、使用が可能だったのだと考えられる。第40話にて登場した

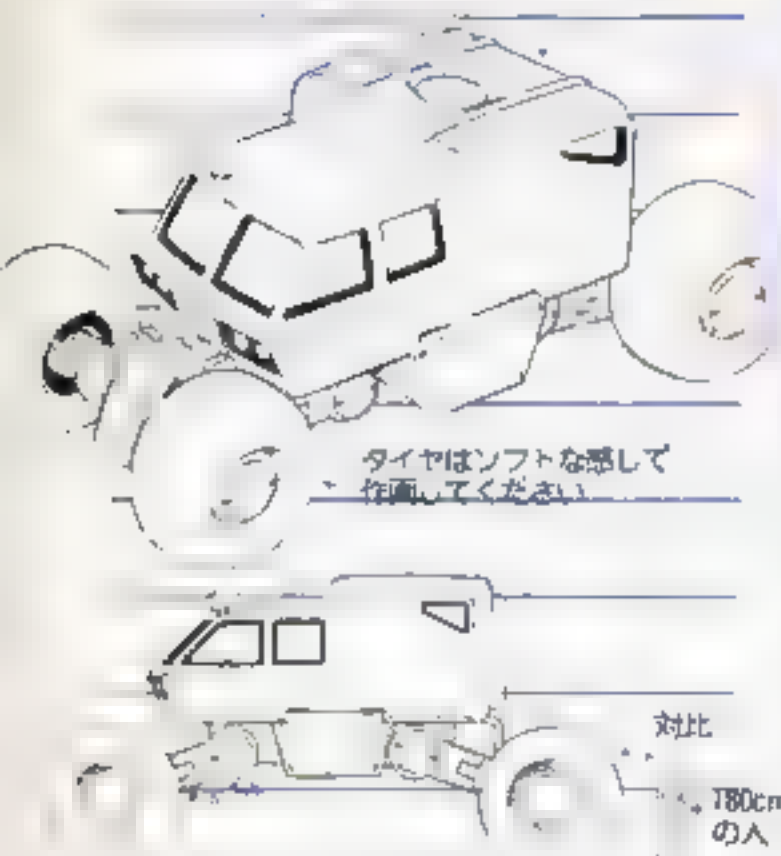
ENGINE ROOM

中部デッキに面したハッチから見たエンジンルーム内部。他の艦艇の支援を受けずに航行するため、4基ものエンジンが備えられている。なお、空いているスペースは、補充品用の倉庫としても用いられていた

MISSILE ROOM

ブリッジの真下に備えられている、4連装×2基のミサイルランチャーを管制する部屋。当初はMSのパイロットにならなかったオデロや、マルチナたちが担当していた。ブリッジと同様、天井は低く、マーベットなど背の高い大人では、頭がつかえるほどである

上面にもハッチあります



タイヤはソフトな感じで
作画してください

対比
180cm
の人

サスペンション・アームはA軸の可動とB点
の傾斜により、ショックを吸収します
サスペンション・アームが水平になるときは、
ショック吸収時くらいです（基本ベース参照）

MOON BUGGY

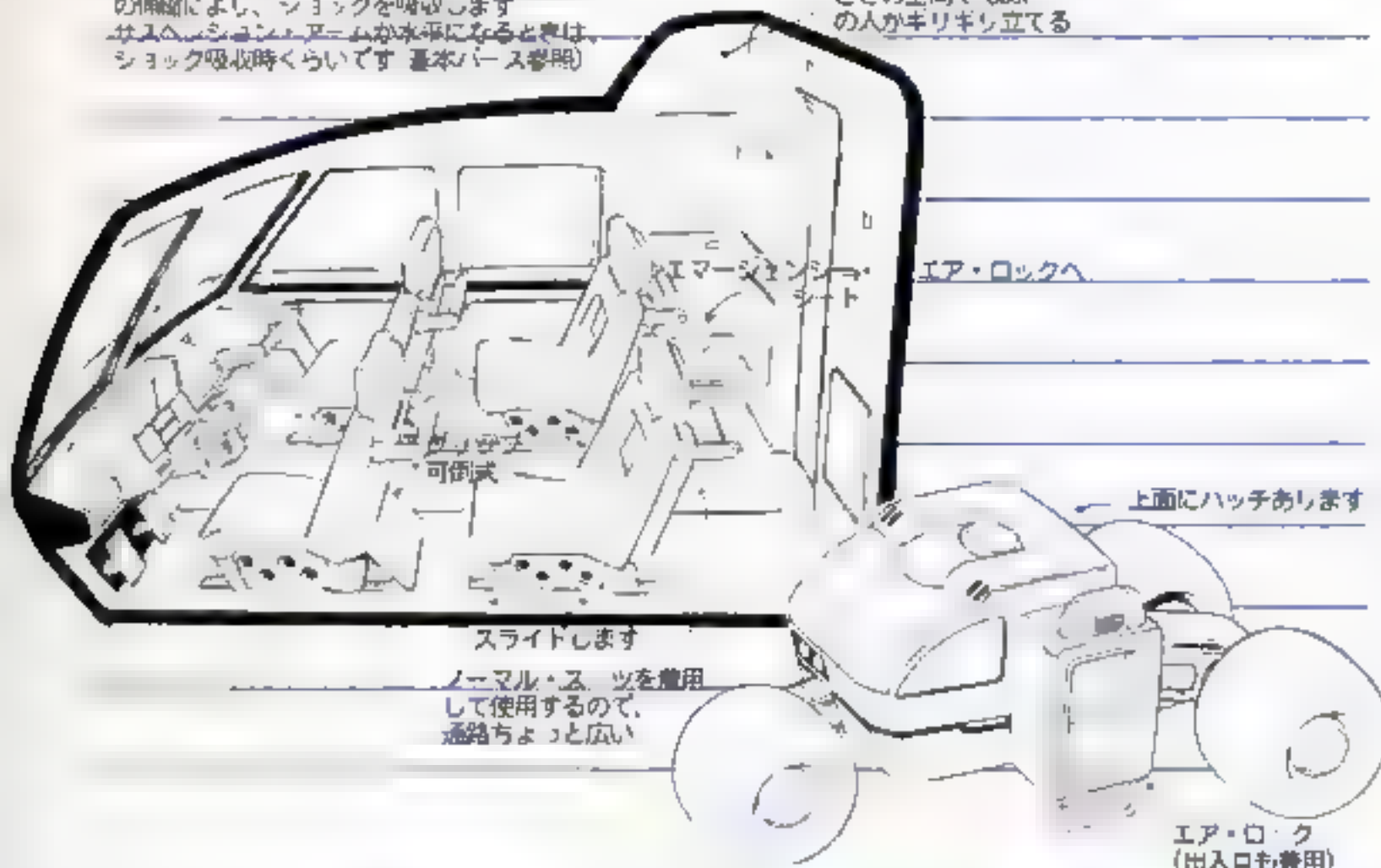
月面バギー

Designed by JUNYA ISHIGAKI

民間用の月面移動用車両

低重力・未舗装の月面を移動するための車
両。極めて一般的に利用されているもので、
本編でも2種類が登場した。低圧タイヤと、
それを支える大型のサスペンション・アーム
が特徴。車種によっては、短距離飛行用のス
ラスタースタも装備している。(30~31話)

ここの空間で 80cm
の人がギリギリ立てる



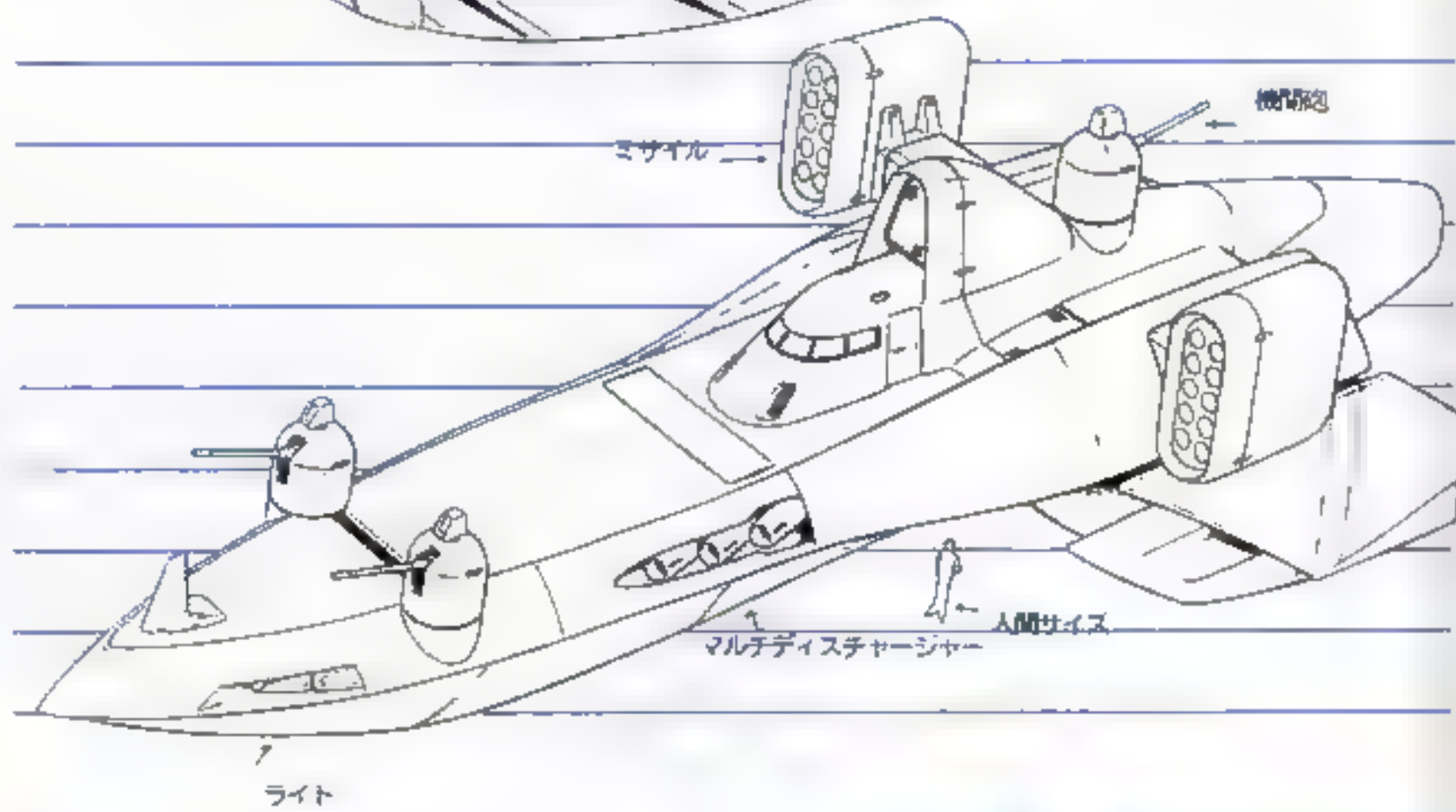
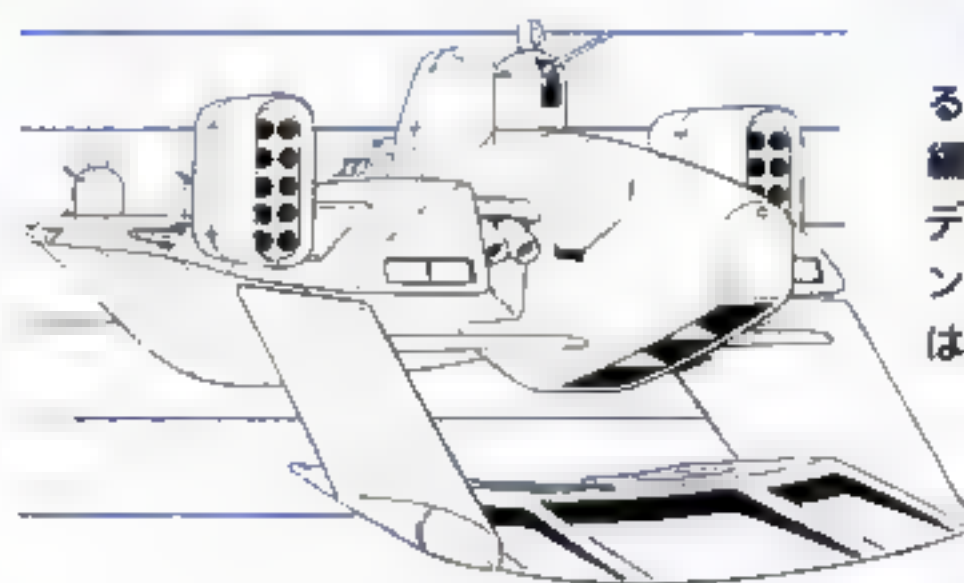
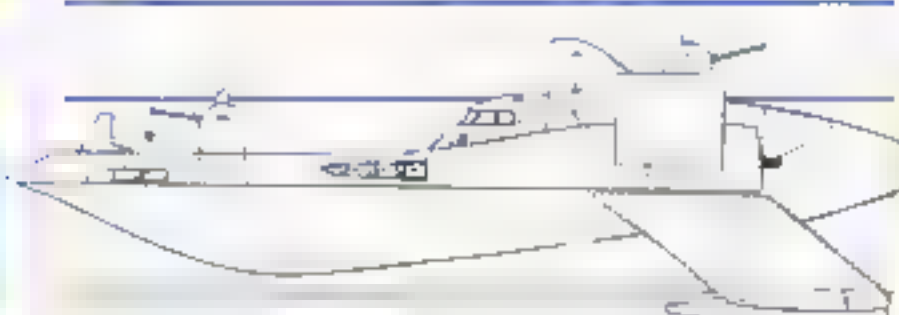
BATTLE BOAT

戦闘高速艇

Designed by JUNYA ISHIGAKI

一撃離脱戦用の水上ボート

地球上に配備されている連邦軍が用いてい
る、一撃離脱戦を得意とする水上ボート。本
編では、ゴメス艦長の要請を受けたロンドン
デリー駐留軍のものが登場した。ミサイルラン
チャーなどで武装しており、高速航行時に
は後部の翼が下方にスイングする。(37話)



CROAKING

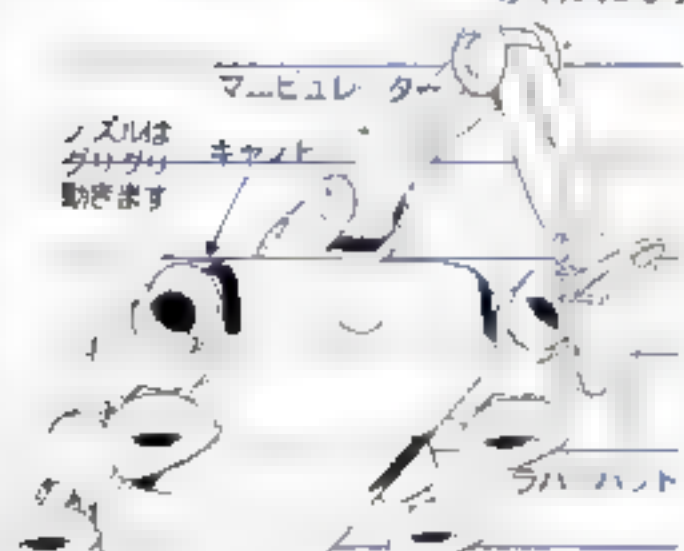
クロウキング

Designed by JUNYA ISHIGAKI

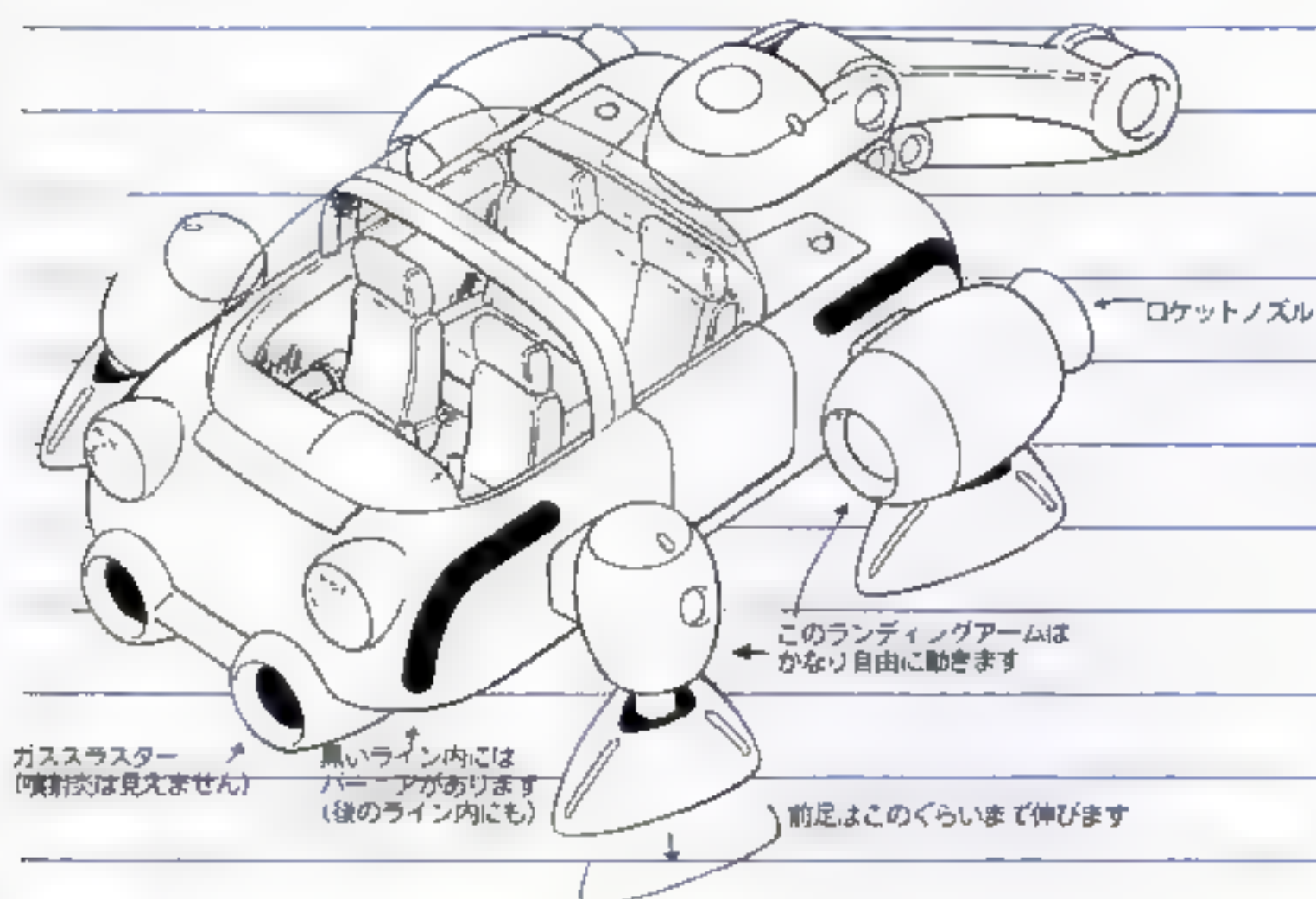
カガチが用いた小型ランチ

ダルマシアンと改名したスクイード2から、
ようすのおかしいエンジェル・ハイロウに移動
するために、カガチが使用した4~5人乗りの
小型ランチ。後部には折り畳み式のアーム
を備えていることから、作業用としての機能
も保持していると思われる。(51話)

もうひとつ関節、
かくれています



足の裏にも、カススラスタースタがあります



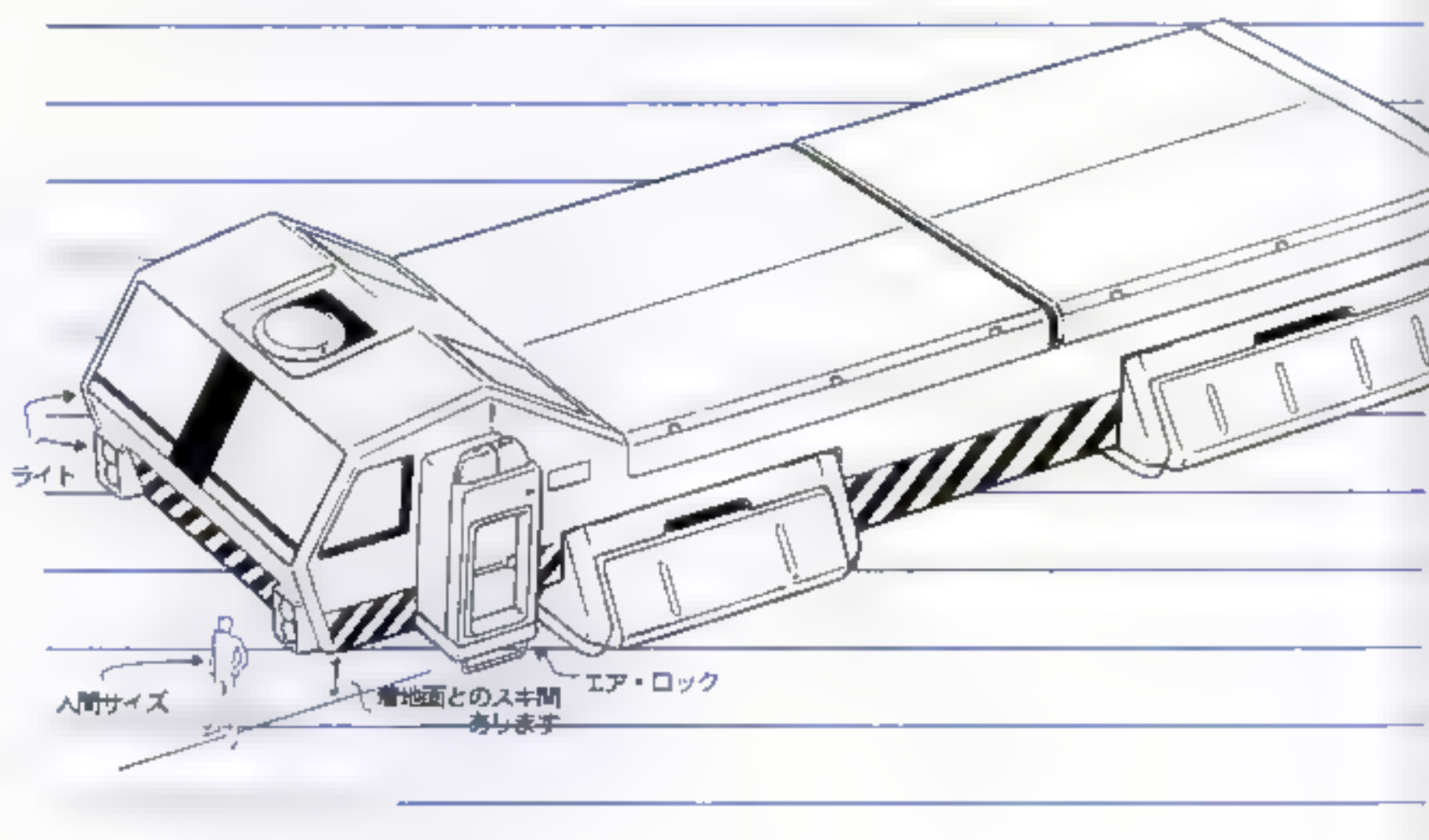
HOVER CARRIER

ホバーキャリアー

Designed by JUNYA ISHIGAKI

浮上式の大型トレーラー

月面のセント・ジョセフ市内で用いられて
いた、大型の輸送用トレーラー。一般的な資
材は言うに及ばず、MSの移送も可能な代物
である。重力の小さい月面ならではの車両だ
が、慣性質量はどのような重力下でも変化が
ないため、操縦には慎重を要する。(31話)



SQUID

LEAGUE MILITAIRE

VICTORY GUNDAM SPACE FLEETS COMPARISON

戦艦対比図

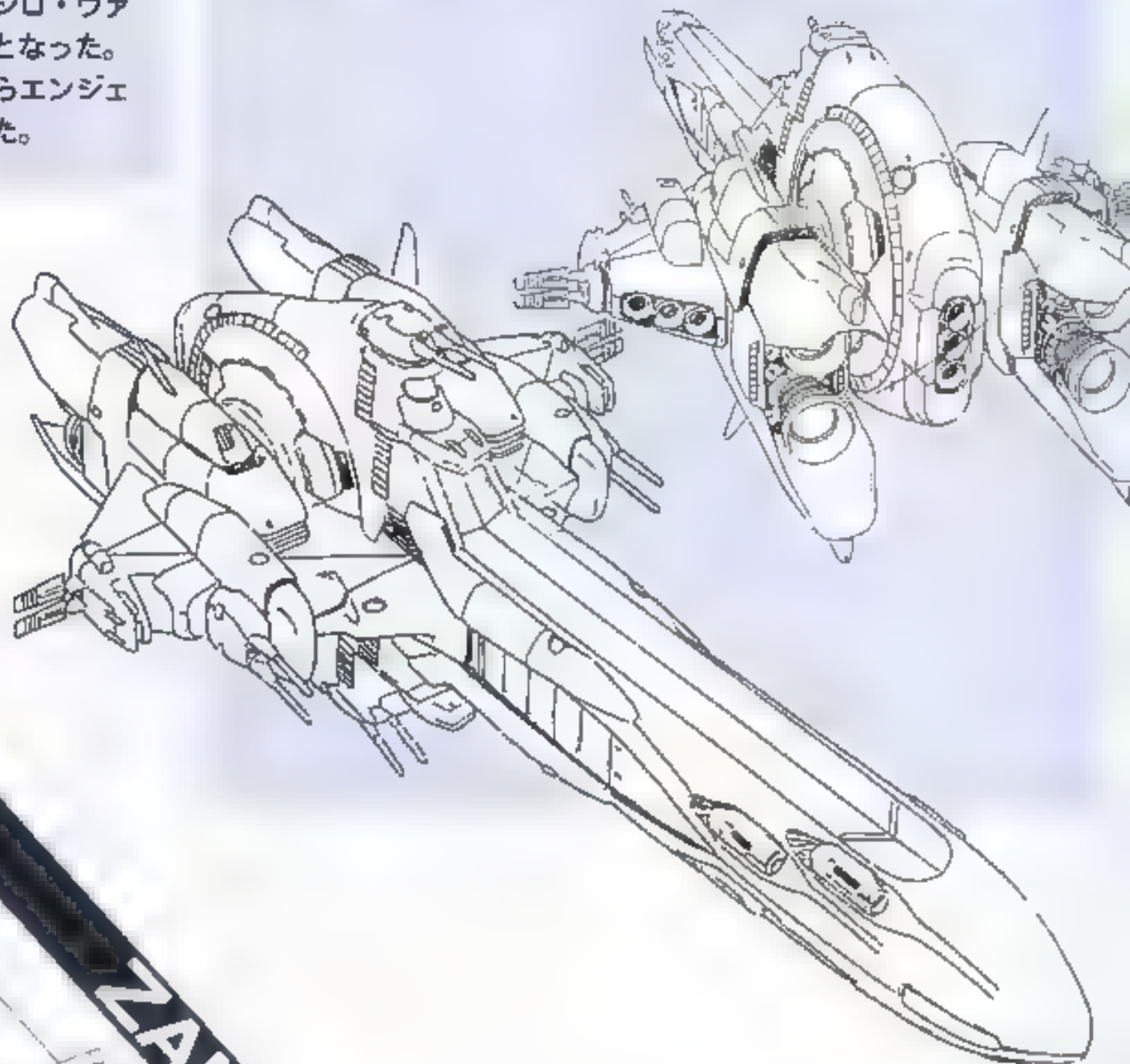
「Vガンダム」に登場する、リガ・ミリティアの、ザンスカールの、そして地球連邦軍の艦船たち。その主なモノを、同一スケールで集合させた。ひと目で大きさがわかるだけでなく、最新スペックもわかるVガンダム・ワールドの宇宙艦隊の早わかり。これぞ、完璧版だ！

AMALTHEA

ザンスカール帝国軍の主力宇宙戦艦として、多数が建造・配備された。同型艦がムッターマ・ズガン艦隊の旗艦を務めていたこともある。一般的な塗装は真紅であるが、唯一、赤紫に塗装された戦艦シュバッテンは、タシロ艦隊の旗艦として配備された。しかし、タシロ・ヴァゴの、そして女王マリア最後の乗艦ともなった。

カイルスギリイ作戦の中核を担うべく設計、建造された大型戦艦。しかし作戦は失敗し、スクイード1はリガ・ミリティアの手によって拿捕された。一方スクイード2は、タシロ・ヴァ

ゴ失脚後、ムッターマ・ズガン艦隊の旗艦となった。また、女王マリアがザンスカール本国からエンジェル・ハイロウへ向かうときにも使用された。



アマルテア級

■全長 462m
■全幅 151m

カリスト級

■全長 310m
■全幅 72m

アドラステア級

■全長 426m
■全幅 98m

リシテア級

■全長 227m
■全幅 63m

シノーベ級

■全長 30m
■全幅 11m

アインラッド

■全高 約18m

ZANSCARE

GAUNLAND

基本は、宇宙世紀0080年代に設計・建造されたアレキサンドリア級。ただ、長い年月の間に、改装を繰り返しており、アレキサンドリア級とは異なる艦種となっている、と考えて差し支えない。かつての、大型MSを運用するように設計されているため、格納庫やカタパルトなどは現在の艦より余裕がある。カイラスグリー作戦時に使用。

REINFORCE

カミオン隊のメンバーが宇宙に上がるために、地球連邦軍のロンドンデリー部隊が用意してくれた宇宙巡洋艦。ネームシップの確認がなされていないため、クラスは不明。かつては、一時代を築いたとまでいわれたこの艦も、宇宙世紀0153年の現在においては旧式艦と化している。

REINFORCE Jr.

リガ・ミリティアが、大破したリーンホースと拿捕したスクイード1を継ぎ合わせて急造した戦艦。それに伴って、艦首にビーム衝角を兼ねたビームシールドを装備した。エンジェル・ハイロウ戦において、このビーム衝角を初めて使用。クロノクル艦隊旗艦、アドラスデアに特攻を仕掛け、クロノクル艦隊を壊滅させるのに成功する。

WHITE ARK

艦首にミサイルランチャーを装備するほか、メガ粒子砲とビームシールドを内蔵。連合宇宙艦隊において、巡洋艦扱いとされた高性能の小型宇宙艇。フライトサポートシステム的にも、宇宙艦的にも運用する一種の万能艦であった。なお、艦長はマーベットだが、パーツラフだったこともある。

ガウンランド

■全長 354m
■全幅 98m

MS

■全高 約15m

ホワイトアーク

■全長 32m
■全幅 15m

リーンホース

■全長 249m
■全幅 88m

クラブ級(連邦巡洋艦)

■全長 292m
■全幅 133m

ラー・カイラム級(ジャンヌ・ダルク)

■全長 487m
■全幅 165m

RA-CAILUM

同世代に建造された、クラブ級巡洋艦とともにベスパとの戦いに参加。特に戦艦ジャンヌ・ダルクはムバラク將軍、ならびにジン・ジャハナムの下、地球連邦軍とリガ・ミリティアの連合宇宙艦隊の旗艦となる。また、かつてネームシップがロンド・ベル隊の旗艦となったのも有名。

リーンホースJr.

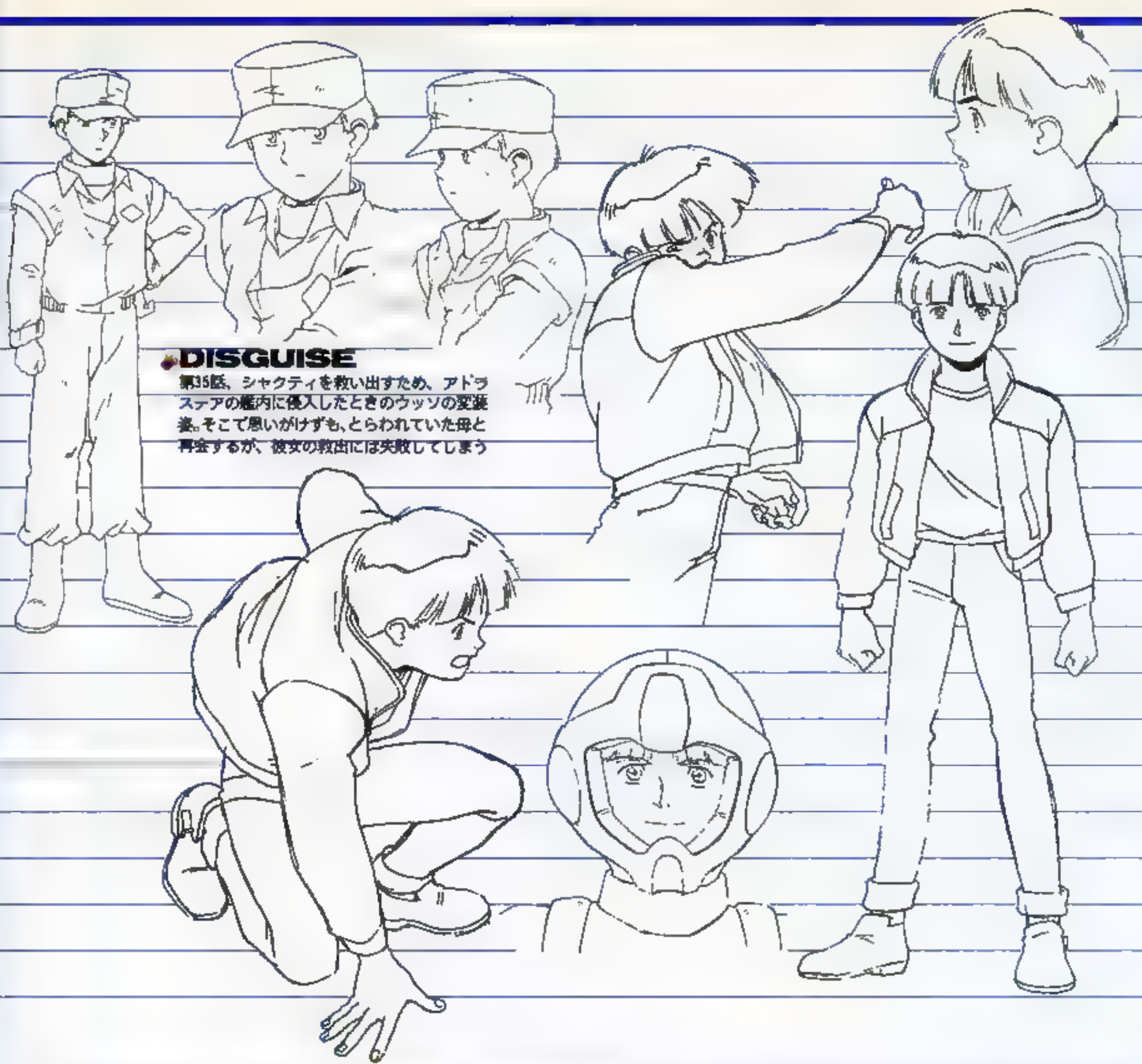
■全長 502m
■全幅 148m

スクイード級

■全長 656m
■全幅 173m

MOTORAD

地球クリーン作戦のために開発されたアドラスデア級戦艦と、リシデア級巡洋艦の総称。アドラスデアはモトラッド艦隊の旗艦であり、直衛艦隊をアドラスデア艦隊と称する。また、その内部にあって、たびたび単独で行動をしていたビビニーデン艦隊の指揮艦はアドラスデア級のラストオであった。設計者はドッカー・イク。



DISGUISE

第35話、シャクティを救い出すため、アドゥステアの艦内に侵入したときのウツソの変装姿。そこで思いがけずも、とらわれていた母と再会するが、彼女の救出には失敗してしまう

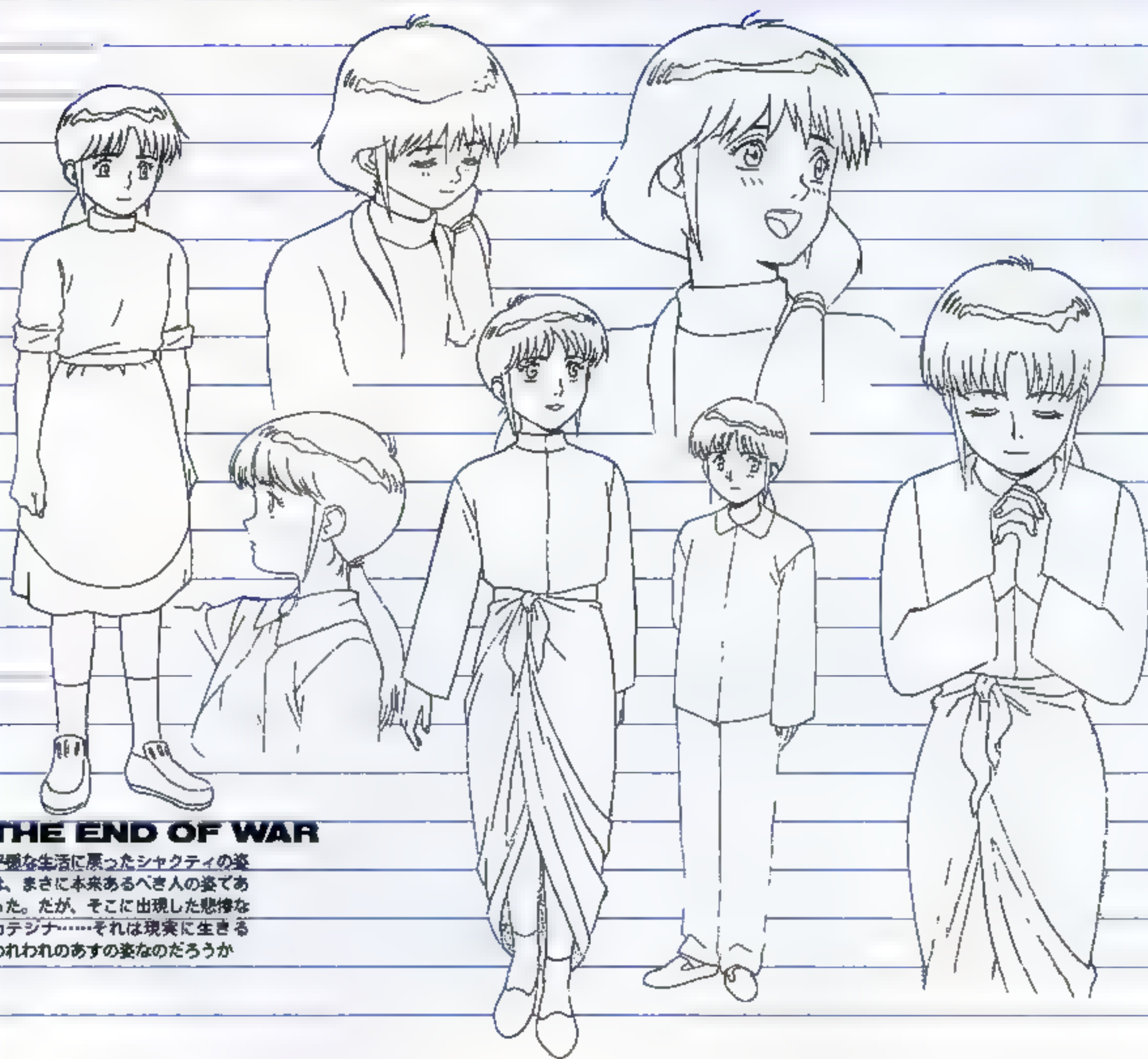
ÜSO EWIN

ウツソ・エヴィン

age 13

彼が指し示したものは それはニュータイプへの道

父母の教育により、大人にとって都合のいい子供として成長し、ガンダムで戦いつづけた少年。しかし、彼は最後まで戦場の狂気にとらわれず、勝つためではなく、あくまでも友や隣人、そして人が生きつづけるための場を得るために戦った。それは、かつてニュータイプと呼ばれたパイロットたちが成し得なかったことであり、より真の意味でのニュータイプとして開花したということである。だが、それにしても彼が戦場で得た*人の意識、や、思考は、13歳という身には重すぎるものだった。彼が戦乱の終結後、再びカサレリアに帰る道を選択したのは、そんな自分が得られなかったものを手にするためであったに違いあるまい……。 (1~51話、CV=阪口大助)



THE END OF WAR

平穏な生活に戻ったシャクティの姿は、まさに本来あるべき人の姿であった。だが、そこに出現した悲惨なカテシナ……それは現実に生きるわれわれのあすの姿なのだろうか

SHAKTI KAREEN

シャクティ・カリン

age 11

戦いのない歴史をつくるため 彼女の祈りは果てしなく……

戦争を終結せんがため、みずからキールームに立つことを望んだ少女。それは幼い子供にとってあまりにも過酷なことではあったが、彼女には母のマリアとは異なる点があった。人は必ず地球という存在を物質以上のものとして自分の中に取り込んでいるが、彼女は地球で育ったがゆえに、より明確にそれを内包していたのである。……人は戦いのない歴史を求めるべきだ。そんな彼女の意志を、どれだけの人々が理解したかはわからない。だが、少なくとも彼女と心をひとつにしたサイキッカーたちはそのことを理解し、それを実現させようとしていた。この事実が、全人類が真のニュータイプへと目覚めはじめた証なのかもしれない。 (1~51話、CV=黒田由美)

CHARACTER VOICE INTERVIEW

阪口大助

(ウッソ・エヴィン)

——デビュー作がいきなり憧れのガンダムの主人公。うれしい反面、苦勞も多かったのでは。



「ガンダムに關しては、ファーストガンダムからすべて見ていたので、選ばれたときはさすがにすごくうれしかったですね。同時に今までのガンダムの影響を受けすぎて、変な色に染まらないようにすごく気を遣いました」

——演じるにあたって、富野監督から何か注文はありましたか。

「明るく元気な少年を。」と言われただけで、特に具体的なことは示されなかったです。監督はどちらかというとシャクティやカテジナさんといった女性キャラに思い入れが深かったし(笑)。ただ、僕やシャクティ、オデロといった経験の浅い人たちに關しては、アフレコの前に毎回集まり練習をさせていたみたいです」

——役どころは13歳の明るい少年。とはいえ人が死ぬ場面では、当然感情的になることも求められたのでは。「オーディションでも声を震わせたり、泣くといった演技は要求されなかったの、少し不安はありました。ただ実際現場に入ると、思ったより表現できたかなと自分でもちょっと意外な感じでした」

——先の読めないストーリー展開。Vガンダムのラストを自分なりに考えたりしたことは?

「いつも考えてましたね。監督は収録日に台本を渡すまで、ストーリーの内容を話してくれませんでしたから。でも最終話近くなったとき、ひょっとしたらウッソは死んじゃうのかなと思って、監督にそれとなく話をしたことがあるんです。そのとき監督は中田君(オデロ)のほうをちらっと見て、「誰とは言わないけど、ひとり死ぬよ。ってなにげなく話をしてくれたので、もしかしたらオデロは最後に…という予感はしていたんですけどね(笑)」

10月11日新潟県生まれ。青二塾東京校第12期卒業。現青二プロダクション所属。
「機動戦士Vガンダム」ウッソ・エヴィン役。主な出演作に「ママレード・ボーイ」「蒼き伝説シュートン」「銀河戦国群雄伝ライ」など

監督にラストをたずねたときひとり死ぬよってオデロのほうを見たんです

SURVIVED FRIENDS

カサレノアで生きることを望んだ、生き残った仲間たち。新たな日々が始まり、平和な家庭が築かれていく……。彼らこそならば、必ずシャクティが示した人の道を、具現化してくれるに違いない



COMRADE

仲間たち

人がもつ優しさを示しつつけた大切な友

戦いの中でも、決して人がもつ愛情を忘れたかったウッソの仲間たち。彼らの存在があったからこそ、ウッソは戦争の歯車にならずに、真のニュータイプへの道を歩むことができた。シャクティは戦いを終結させる祈りをできる少女でありつづけられた。だがそれは、彼らだから可能だったのではない。人が入ることを見失いさえしなければ、誰にでもできることなのである。人は皆、ひとりきりでは生きていけないのだ……。

ODELO HENRIK

子供たちの中で、唯一の死亡者となってしまったオデロ。エンジェル・ハイロウの爆撃の中で彼が最後に見たものは自分のことを構っていたと思っていた、両親の姿であった

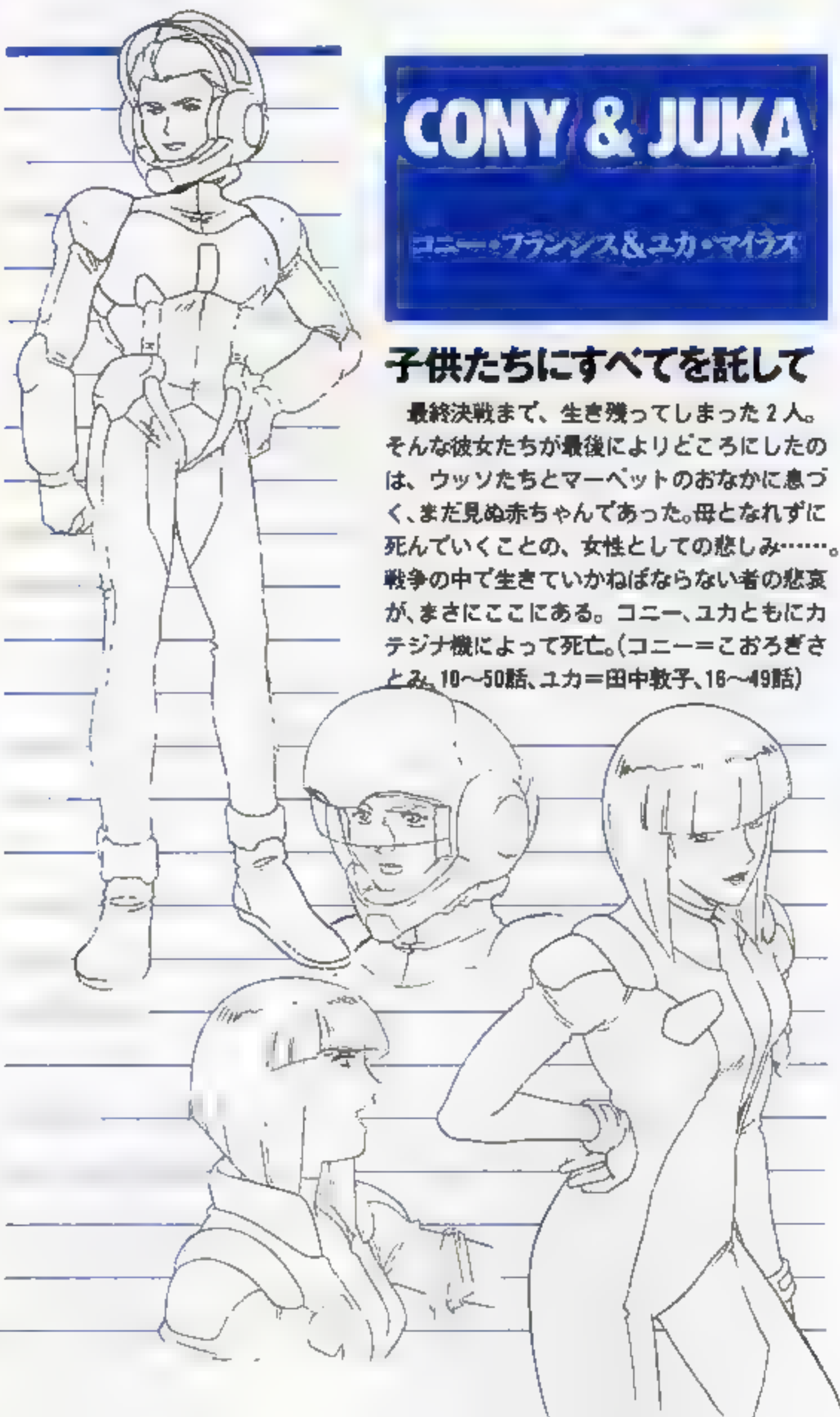


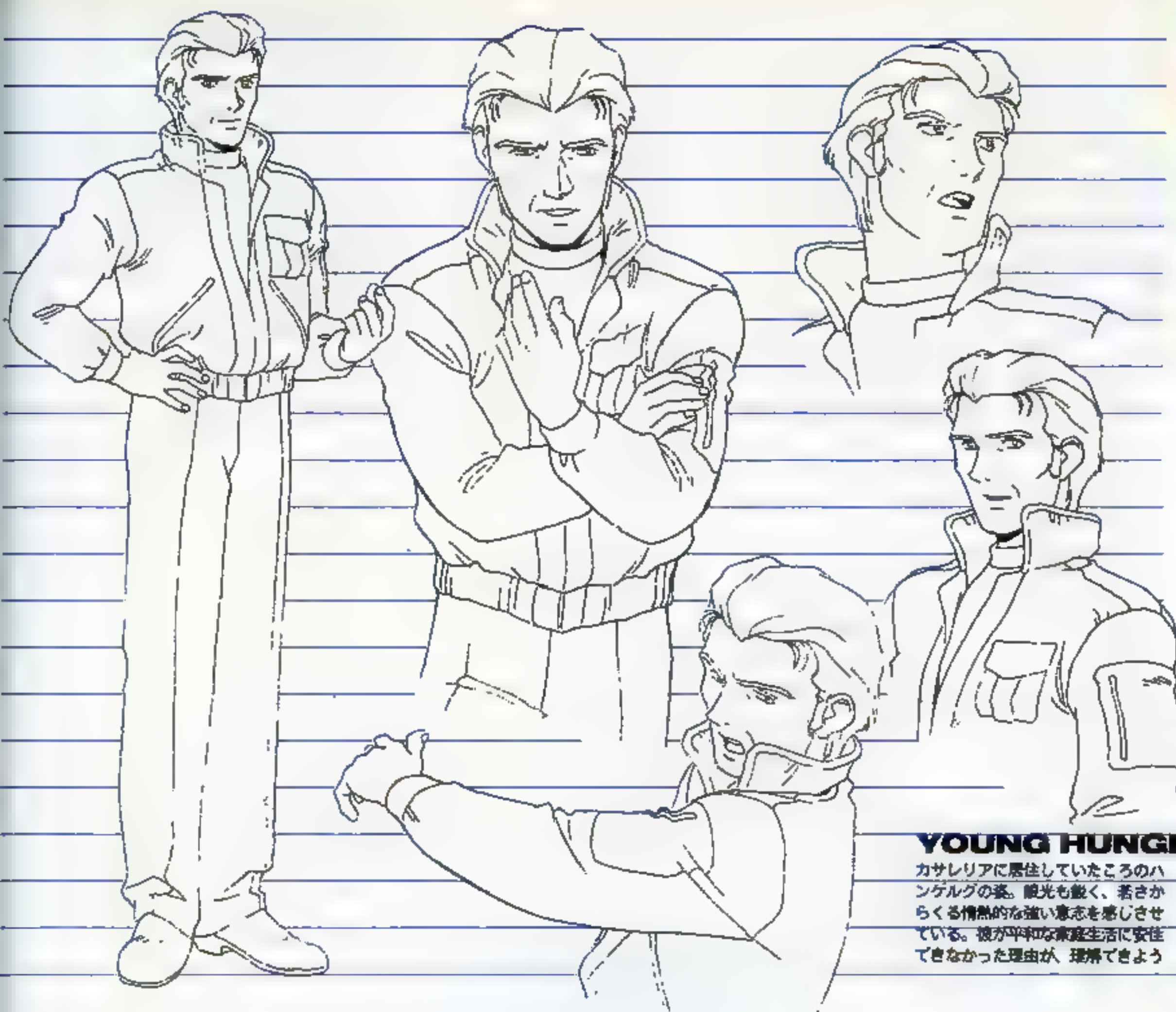
CONY & JUKA

コニー・フランシス&ユカ・マイラス

子供たちにすべてを託して

最終決戦まで、生き残ってしまった2人。そんな彼女たちが最後によりどころにしたのは、ウッソたちとマーベットののおなかに息づく、まだ見ぬ赤ちゃんであった。母となれずに死んでいくことの、女性としての悲しみ……。戦争の中で生きていかねばならない者の悲哀が、まさにここにある。コニー、ユカともにカテジナ機によって死亡。(コニー=こおろぎさとし、10~50話、ユカ=田中敦子、16~49話)





HANGERG EWIN

ハンゲルグ・エウィン

絶えず戦いの中に身を置く 戦士の道を選んだ父親

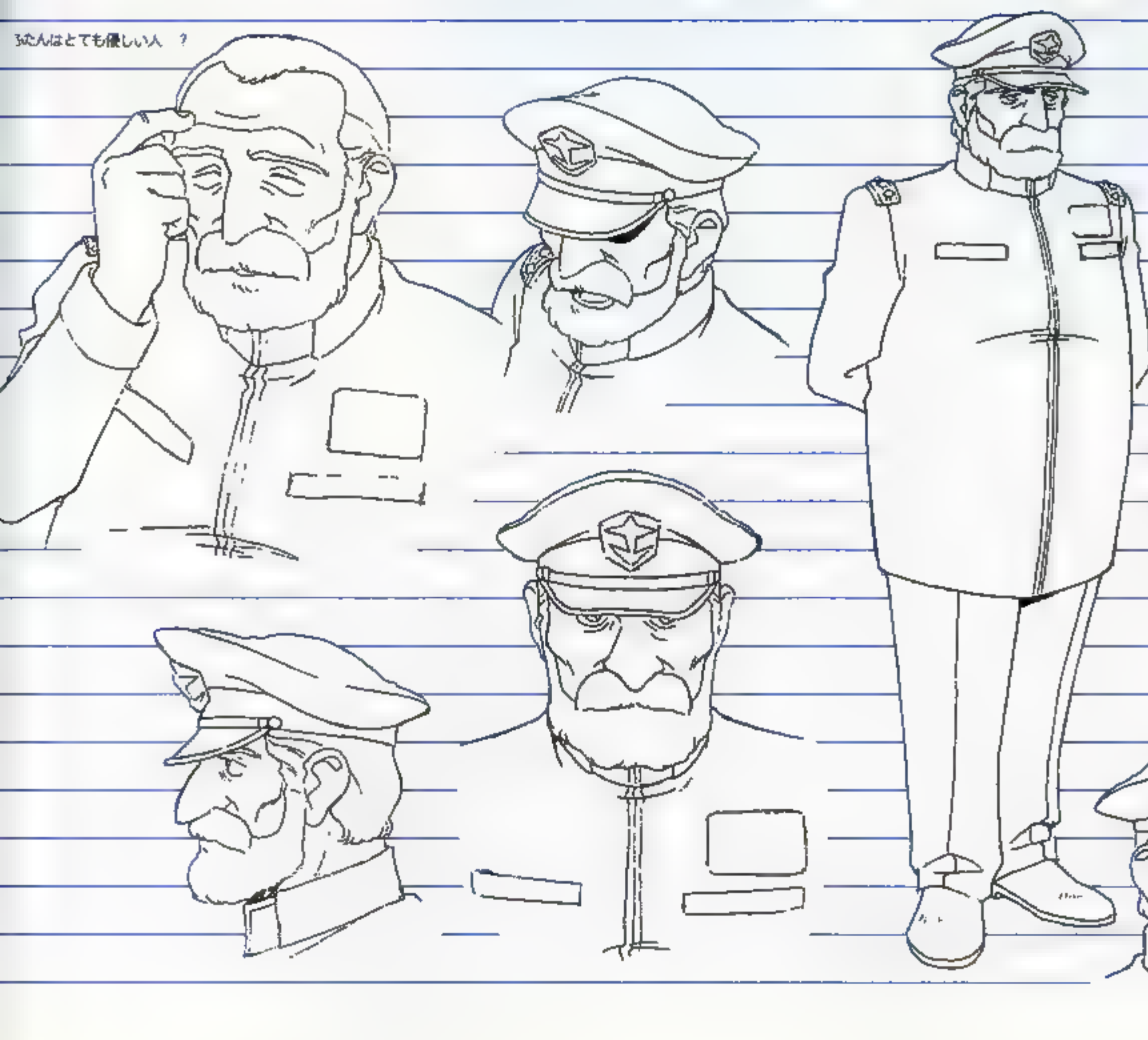
真のジン・ジャハナムにして、ウツソの父親。リガ・ミリティアには創設当初からかかわっていたようで、対ザンスカール作戦の軍事責任者を務める立場に立っていた。ウツソを大人の道具になってしまうような子供に育ててしまったことへの後悔、そしてすでに自分のような父親は不要であろうという思いを抱いており、ジャンヌ・ダルクのムバラク提督とともに特攻を敢行した。だが、エンジェル・ハイロウを建設した木星船団公社を内紛に導くために脱出したとも語られており、その生死は不明である。(41話〜、CV=堀内賢雄)

YOUNG HUNGERG

カサレリアに居住していたころのハンゲルグの姿。眼光も鋭く、若さからくる情熱的な強い意志を感じさせている。彼が平和な家庭生活に安住できなかった理由が、理解できよう



ふだんはとても優しい人 ?



MUBARAC STARN

ムバラク・スターン

ザンスカールに戦いを挑む 連邦軍の老獪な提督

地球連邦軍の中でも最大の規模を誇る、ジャンヌ・ダルク艦隊を指揮する提督で、将兵からの信頼も厚い。みずからの生命を捨てる覚悟でリガ・ミリティアに協力を申し出たようだが、このような人物が保守化した組織の中で歓迎されるはずはなく、軍内部でも孤立していたのではないかと想像される。天性の戦略家であり、ザンスカール軍を相手に対等以上の戦いを見せていたが、ふだんは人のいいおじいさんといった風情で、子供たちに対しても優しく接していた。ダルマシアンに特攻を敢行し、死亡。(41〜50話、CV=藤代裕士)

CHARACTER VOICE INTERVIEW

黒田由美

(シャクティ・カノン)

——ウッソ役の阪口さんの話だと、監督は女性キャラにはずいぶん厳しい指導をなさったという話ですが…。

「ふだんの監督はとても優しい人でしたから、それは少しオーバーかなとも思いますけど、ただ男性キャラの方と比べると熱の入れ方が違ったのは確かです。シャクティに関しては、ウッソといっしょにいるときは少女のイメージ、カルルマンをあやしているようなときは母親のようなイメージでと何度も念を押されました。シャクティ自身あまり自分からは動かないキャラですし、放映の前半と後半では性格も微妙に変わってくるのでその点でも気をつかいました」

——声優として初の仕事。女性という点からも、ガンダムという世界は縁がなかったのではありませんか？

「ええ。だから決まってからは、昔のガンダムを何度もビデオで見ました。でもわたしだけではなくて、ガンダムはほかのアニメに比べると設定が複雑なので、声優さんは皆さん苦労されてたみたいです(笑)。毎週アフレコの前にみんなで集まって、台本を見ながらガンダムワールドを推測しあった後、よくわからないところは監督に“こういう考え方でいいのでしょうか？”と“おうかかい”していたりもしたんですよ」

——お話を聞いていると声優さんは皆さんとても仲がよかった？

「はい。1年という短い期間でしたけれど、本当に大勢の人と知り合いになりました。特に仲がよかったのは松本梨香さん。家にも何回も遊びにいったこともあるんです」

——シャクティといえばファンは「見てくださーいっ!」の印象がとっても強いと思いますが、ご自身は？

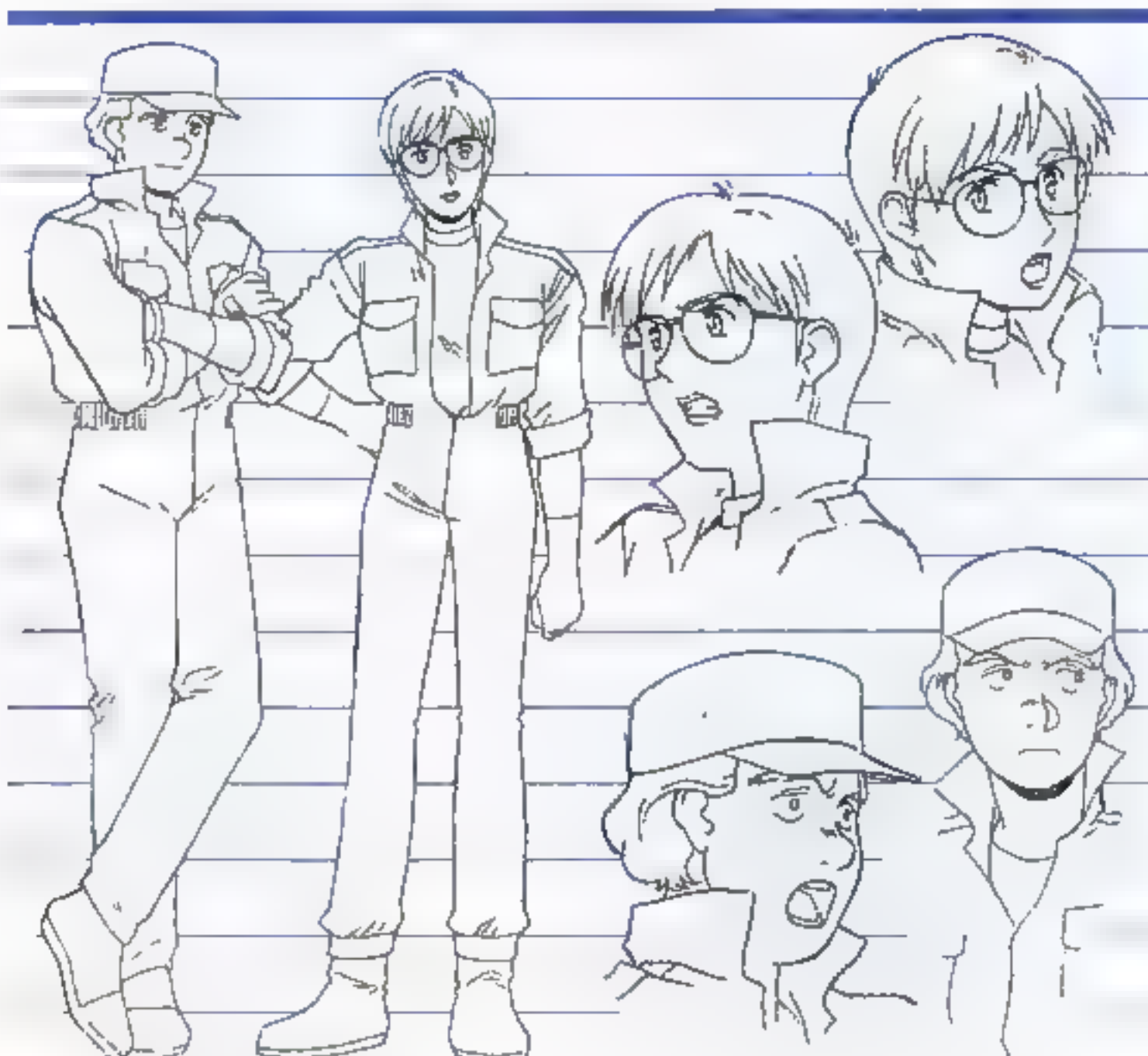
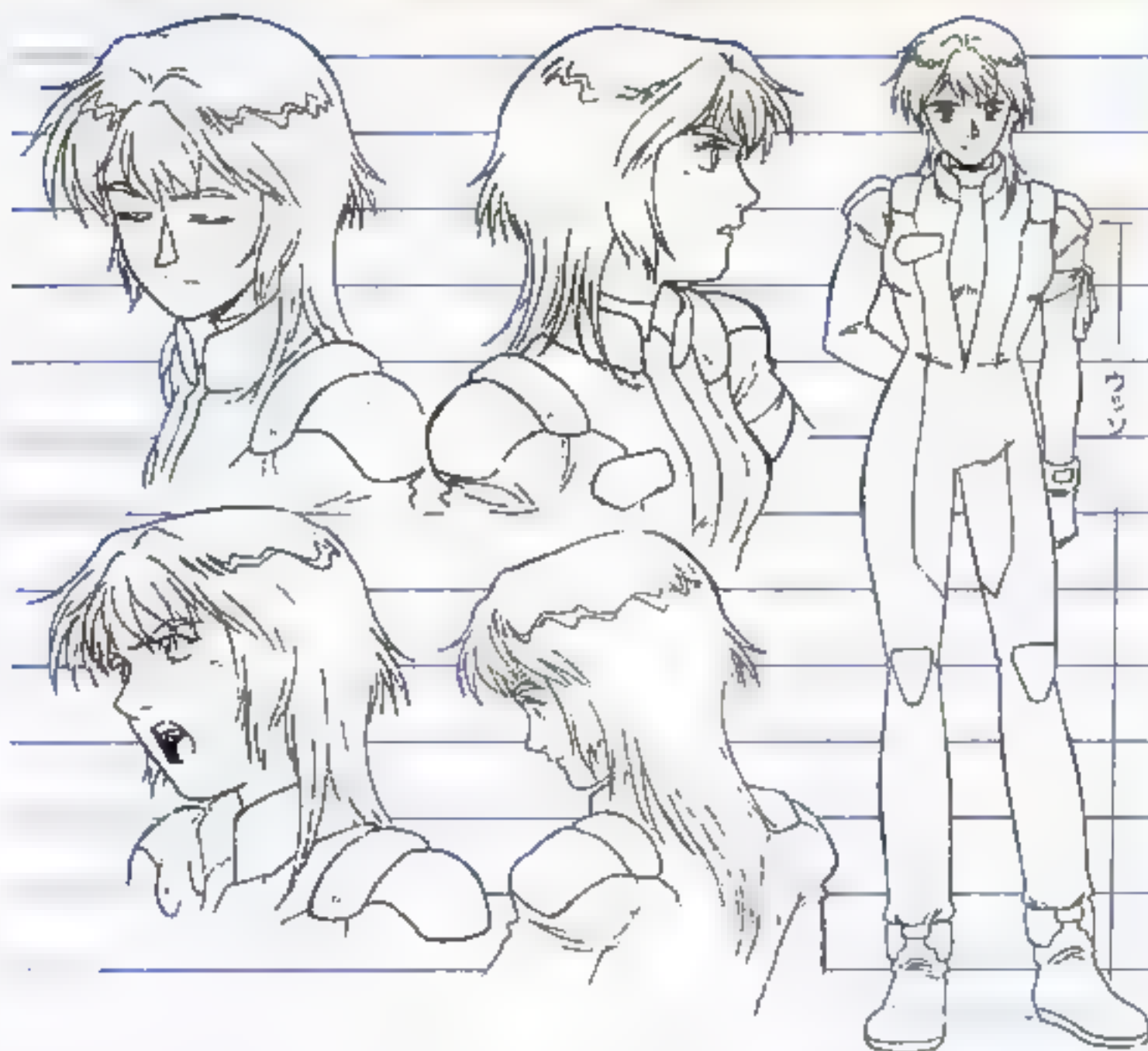
「まさかこんなに反響があるなんて

…。いただいた予告原稿は“見てくださーいね。だったのですが、監督と話をした結果いまの形になりました”



1986年6月27日静岡県生まれ。劇団青年座所属。「機動戦士Vガンダム」シャクティ・カノン役。この夏には劇場公開作品となる「平成狸合戦ぽんぽこ」(スタジオジブリ製作)でも小役として出演している

シャクティは少女と母親、両方の役どころですからよく言われました



FRANCESCA OHARA

フランチェスカ・オハラ

シュラク隊の新たなる戦士

相次ぐ戦いの中で消耗してしまったシュラク隊を補うため、新たに配属されてきた女性パイロット。美人なのだが口が悪く、よくミリエラといっしょになって純情なウッソをからかっていた。シャクティをエンジェル・ハイロゥに連れていこうとするV2を守る中で、無差別攻撃を始めたカテジナ機の行動を投降と勘違いして死亡。(31〜50話、CV=石川寛美)

MILIERA KATAN

ミリエラ・カタン

戦場に散った女パイロット

フランチェスカと同様、戦死者が続出したシュラク隊の戦力を補うために配属された女性MSパイロット。ボーイッシュなイメージで、戦場でも男顔負けの活躍を見せていた。フランチェスカのヘキサがゴトラタンによって撃破されたのを見て、怒り狂って飛び出したが、やはりカテジナの手によって殺されてしまった。(40〜50話、CV=日高奈留子)

MIZUHO & HARRY

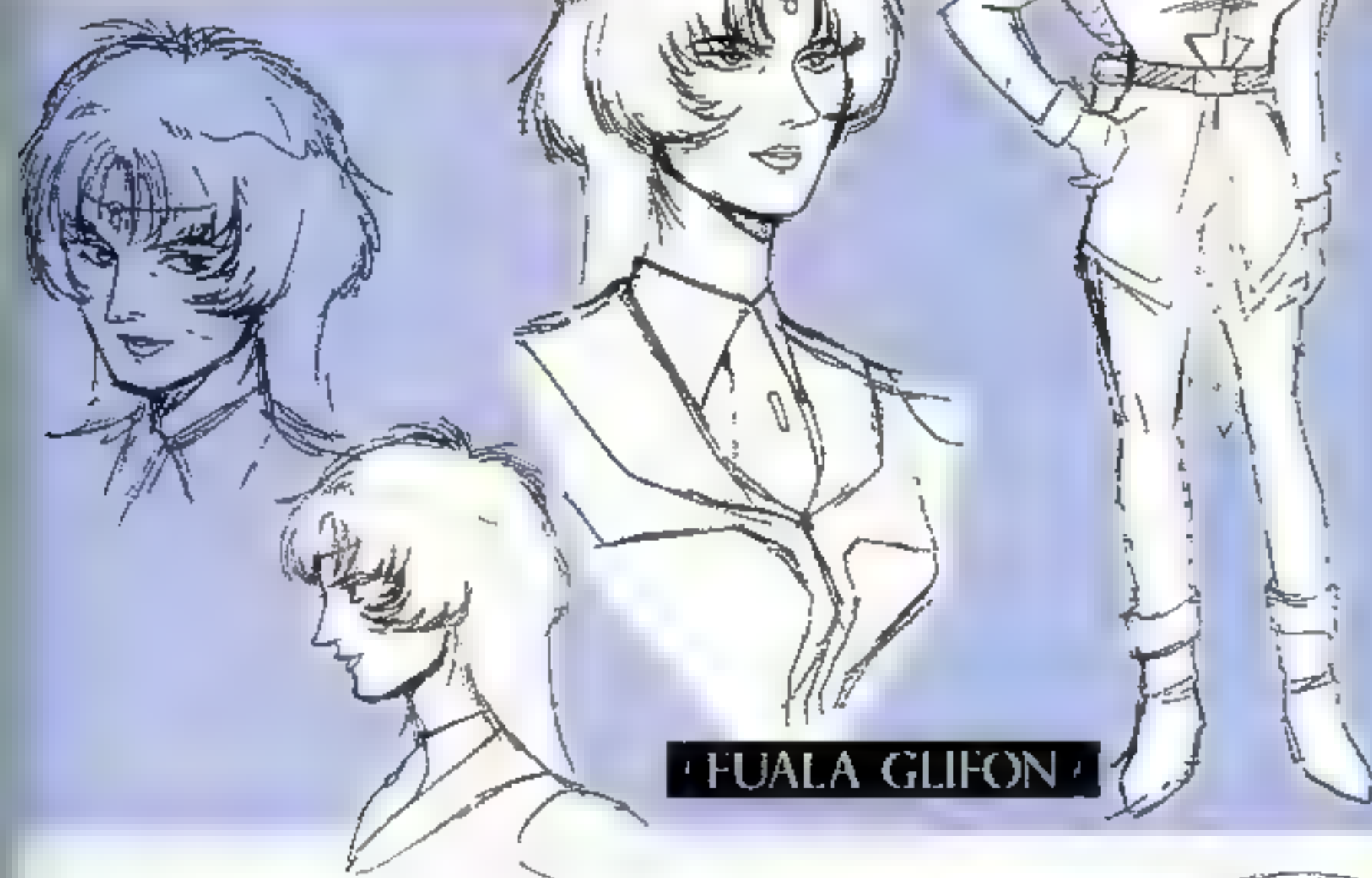
ミズホ&ハリー

モトラッド艦に挑んだ青年

地上を蹂躞するモトラッド艦隊を前にして、むだと知りつつも戦いを挑んだ、アメリカ沿岸に駐留していた名も無き部隊の2人。ミズホは整備員であったが、ザンスカールの無差別攻撃に怒りを覚え、ジャベリンに乗り込んで攻撃に参加するが、あえなく撃墜されてしまい、戦争の無情さをかいま見せていた。(34話、ミズホ=吉田古奈美、ハリー=渡辺哲也)

当初から猫っ毛だったファラ

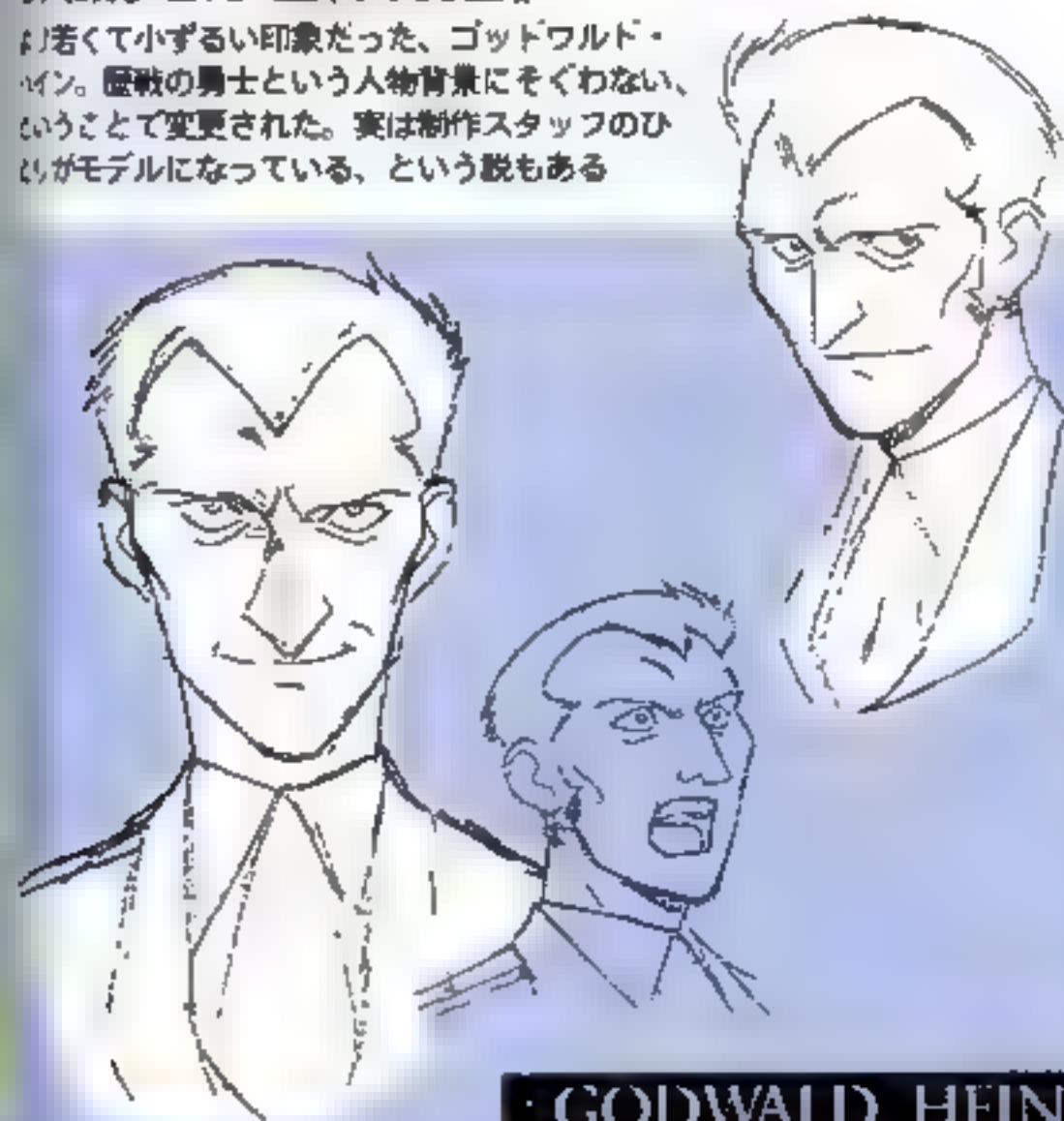
飯氏が最も画面でハマっていたのではないが、着るファラの第1稿。制服のデザインに悩んで、ここに描かれたようである。もっと「バットマン・リターンズ」に登場したキャットウーマンのようにしてほしい、との指示を受けて決定稿に至る



「FUALA GLIFON」

悪人顔すぎた「歴戦の勇士」

若くて小ずい印象だった、ゴッドワルド・ヘイン。歴戦の勇士という人物背景にそぐわない、ということで変更された。実は制作スタッフのひとりがモデルになっている、という説もある



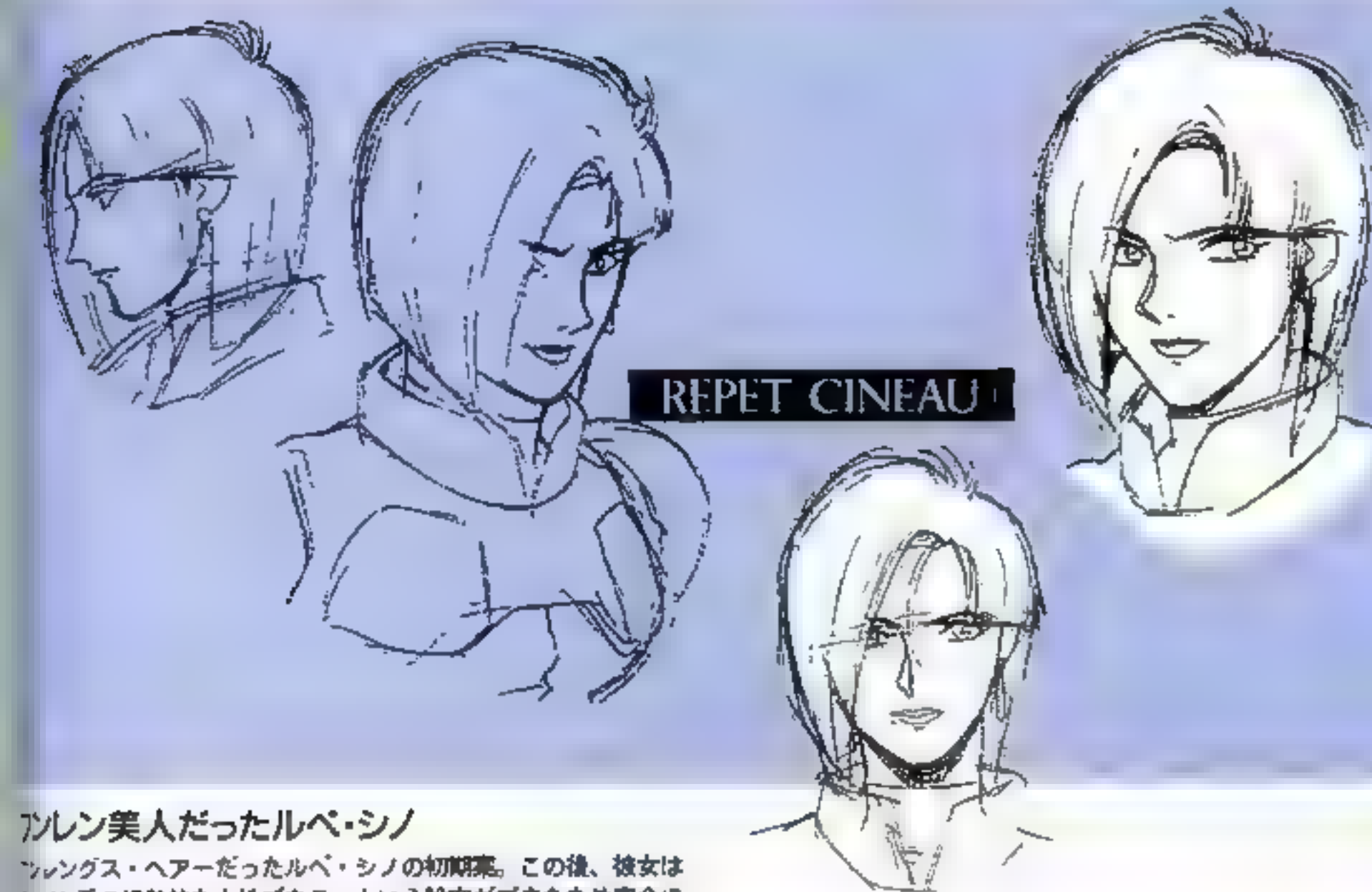
「GODWALD HEIN」



「DUKER IQ」

買祿を補って完成した決定稿

あまり極端な変更がなかったドッカー・イク。ただ、このままでは部隊司令官という役柄にしては、多少買祿に欠ける、ということで、決定稿ではロビゲが加えられたうえに、もう少し年のいったイメージのデザインになって用いられた



「REPET CINEAU」

ソレン美人だったルベ・シノ

ソレン・ヘアーだったルベ・シノの初期案。この後、彼女はソレン系の情熱的な女性である、という設定ができたため完全に修正された。誰かのデザインに転用しようかとも考えられたが、使えなかったため残念ながらあきらめたとのことである

HIROSHI OUSAKA'S DESIGN WORKS

未公開設定資料集

Part 3

逢坂浩司

数多くのキャラクターが登場した「Vガンダム」。初めてのキャラクターデザインであったため、「最初のころはほとんど手探り状態でしたよ」と苦笑しながら語っているものの、みごとにそのすべてを描き上げた逢坂氏。そんな彼が描いた、登場人物のラフデザインを紹介する



——MSの類ですと、ひと目で敵味方の判別がつくようにデザインされるわけですが、キャラクターについては、そのような注文はありましたか。「いちばん最初、発注を受けたときには格別ありませんでした。けれどニュング伯爵の第1稿のとき、けっこう怖い人物のイメージで提出したら監督から、これからたくさんそういうキャラクターが出てくるから、もっと優しい感じにしてくれという指示は受けました。ですから一応セオリーどおり、ザンスカールの人物は怖いイメージで描いてはいます。でも、今回の作品の中には絶対的な悪人というのは登場していません。だからみな、どこか普通らしさが残っているの、そういった意味では、徹底した描き分けはしませんでした」——今回は、さまざまな民族の人物が登場しましたが……

「どうにかして、日本人にとどまらない多国籍な顔というものを描こう、という努力はしました。しかし正直に話してしまうと、僕自身としてもまだ、そのあたりのことがうまくいったのかどうかは、判断できていません。デザイナーとして、最も力量が問われる部分なので、かなり気を配って描いてはいたのですが……」——いちばん苦労したのは？「キャラクターではなくて、ベスバの軍服に苦しみました。その手のものに興味のある方ならば早いのですが、僕はあまり詳しくなかったものですから。それに監督のほうからコスプレが可能なデザインにしてほしい、という注文もあったりしたので……(笑)」

——無事に放送が終了したわけですが、いまの感想はいかがですか？「なんとか1年間乗り切れたなあ、と安堵してるところです(笑)。とにかく、ファンのみならず、1年間見てくださって本当にありがとうございました」

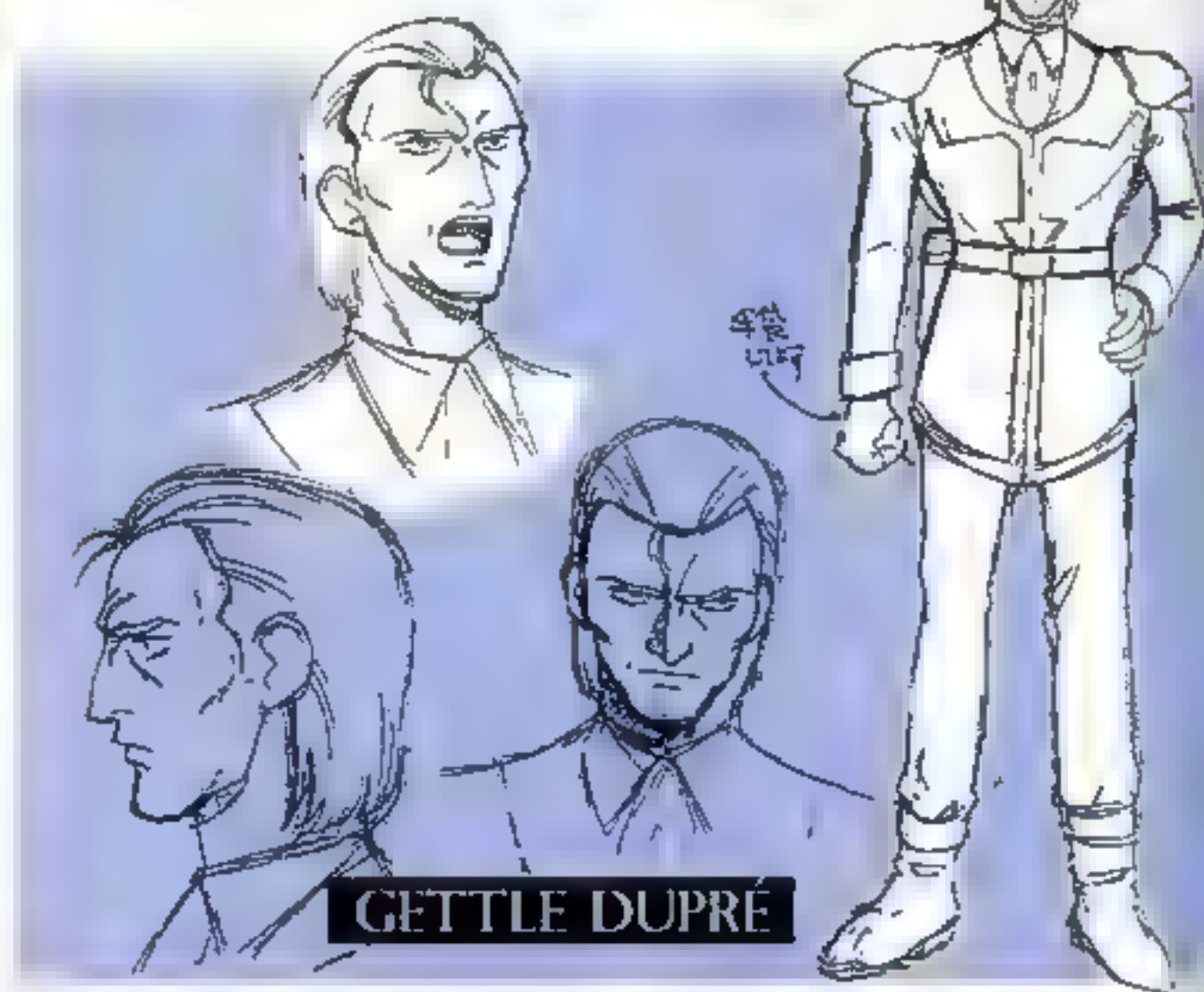
多国籍な顔をたくさん描くというのは、本当に難しかったですね



MARIA PURE ARMONIA

イメージをつかむのに苦しんで…

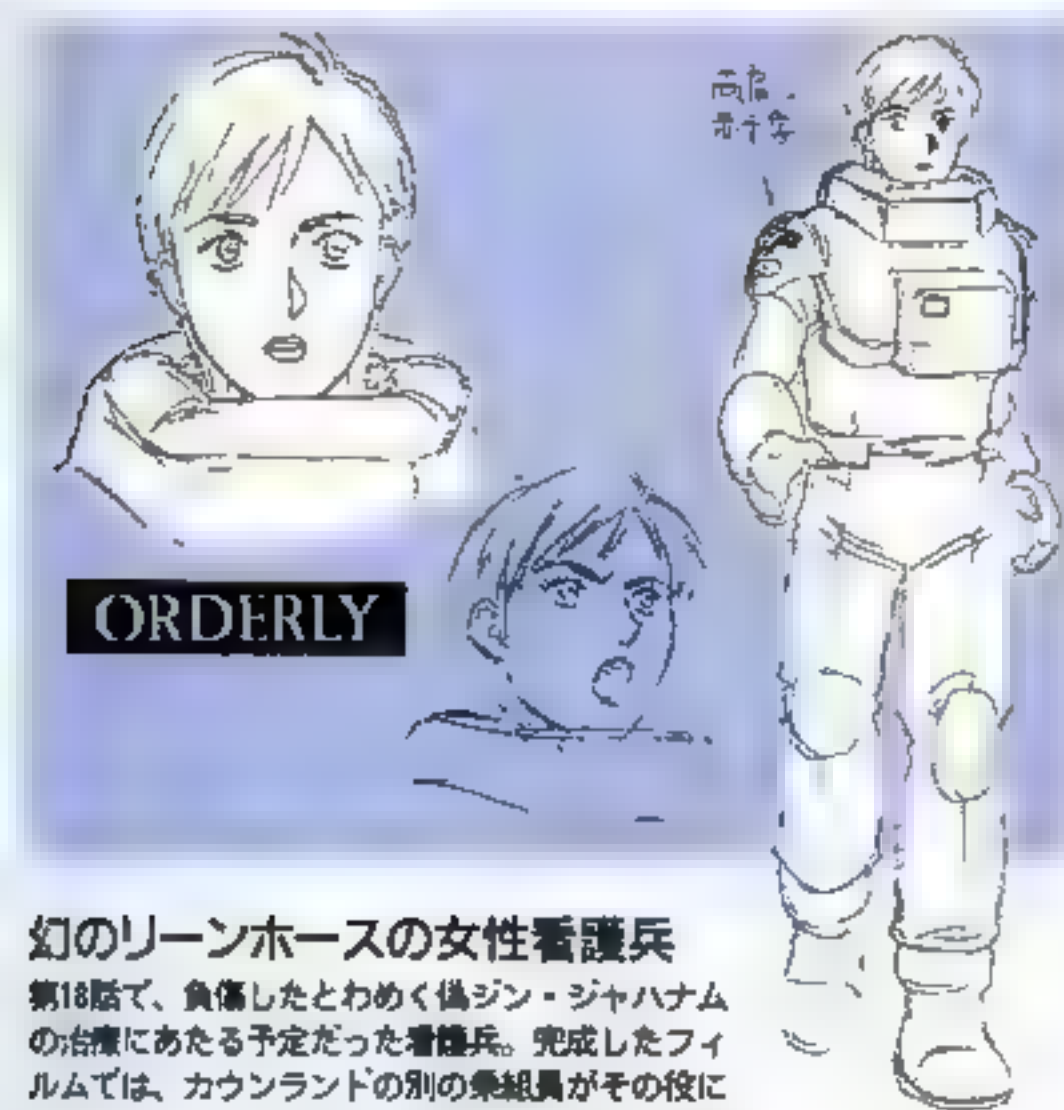
大きな髪飾りをつけ、より神秘的な印象をもっていたマリア。遠坂氏いわく、イメージをつかむのにかなり苦労したとのこと。右の3点は、日本の巫女の服装に近いものを着用した姿だが、本編での登場が見送られたため、クリンナップされていない



GETTLE DUPRÉ

タシロに用いられた初期案

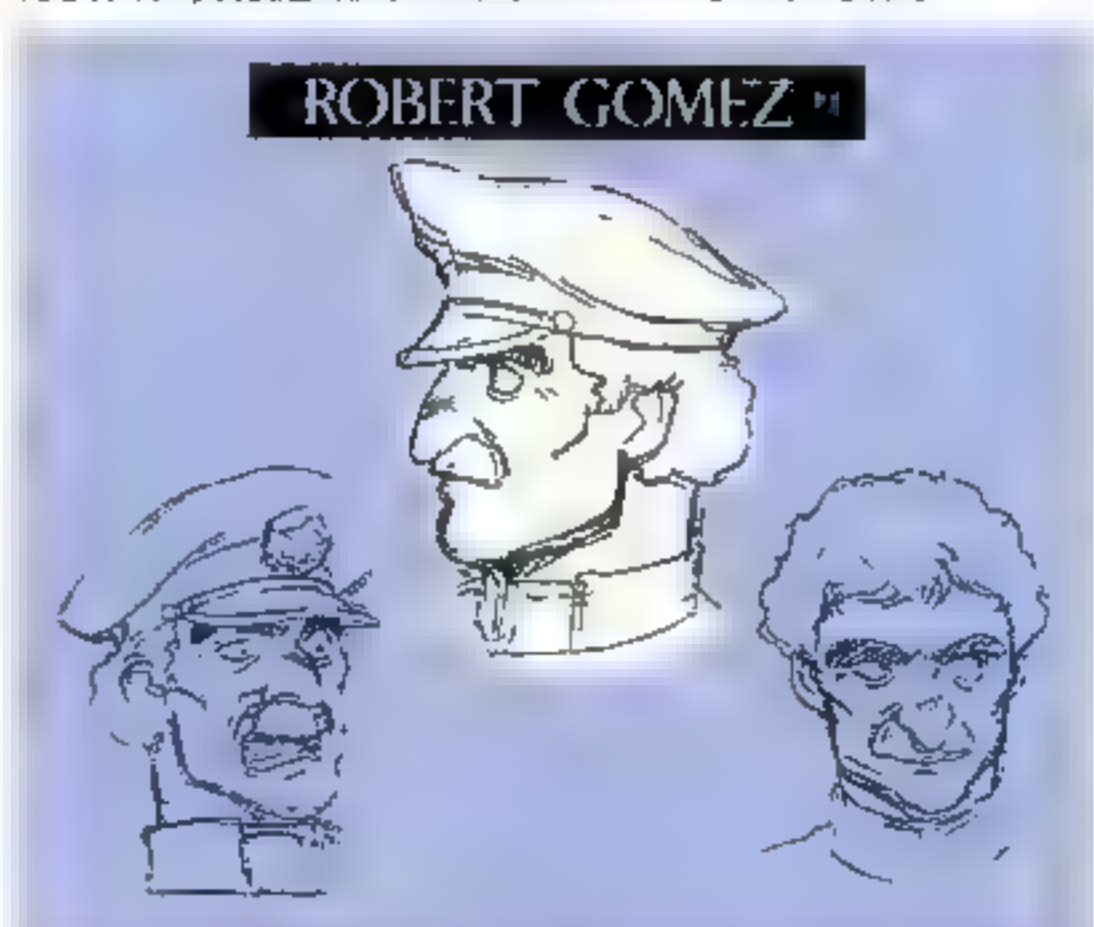
ラケーヌ基地の副司令官だった、ケトル・デプレのベース・デザイン。あいつはこんなにイイ男じゃない、もっとさえない奴だ、という監督のことで変更され、このデザインはタシロ・ヴァゴの原型として使用されることになった



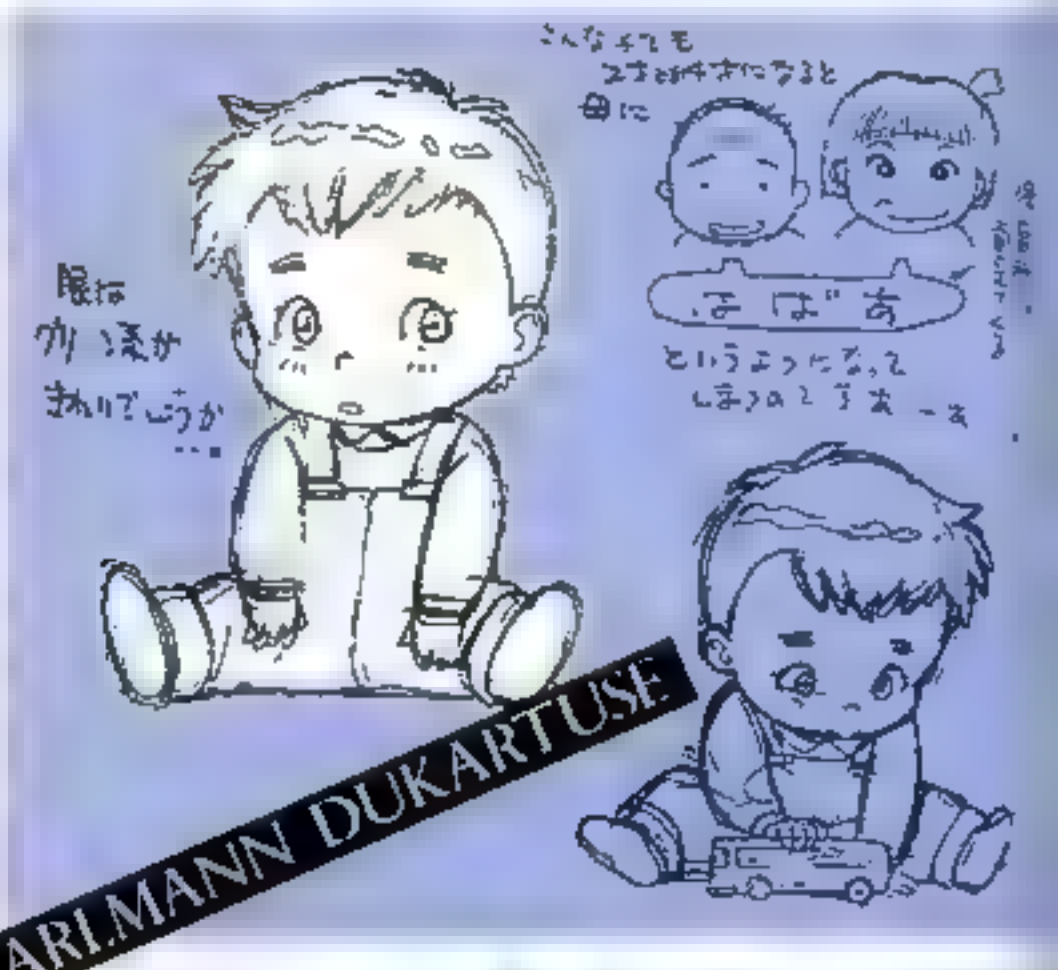
ORDERLY

格好よすぎた連邦の落ちこぼれ

性根の腐りきった連邦軍の軍人としては、あまりにも格好がよすぎる、ということでボツになってしまったロベルトの初期案。その後、多少手が加えられて、宇宙引越公社のマンデラ・スーンとして用いられた



ROBERT GOMEZ



KARLMANN DUKARTUSE

顔の彫りを深くして欧州系に

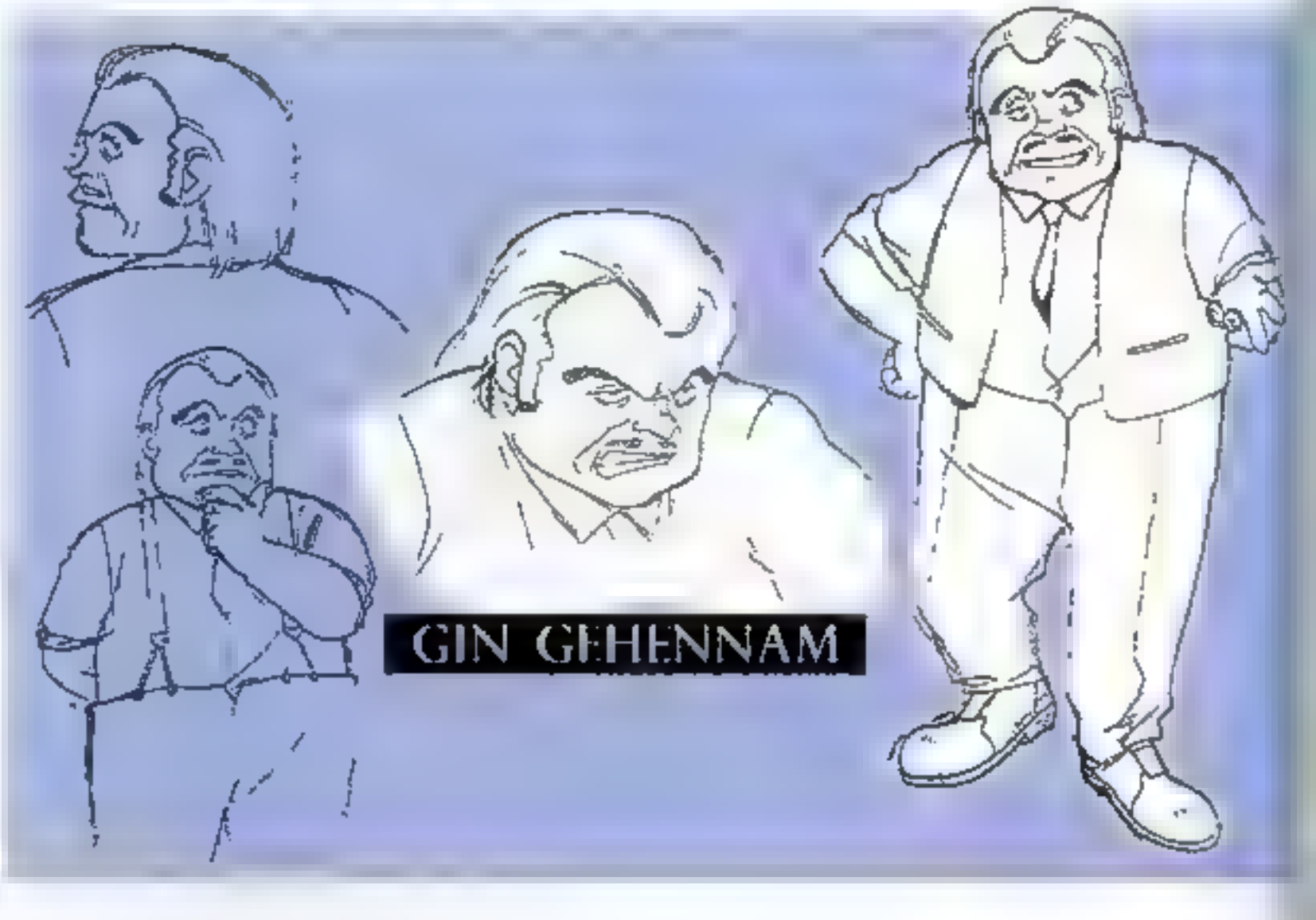
遠坂氏が自分の2人の子供を参考にして描いた、といわれている、カルルマンのラフ・デザイン。東洋人ぽい顔つきになってしまっている、との指摘を受けて、決定稿ではヨーロッパ系の民族らしくしようと、より彫りの深い顔が描かれた



ARDEO PIPPINIDEN

さらに俗なイメージだった初期案

TVに登場した決定デザイン以上に「ゲス。なイメージだった、偽ジン・ジャハナム。これは少々やりすぎではないかという声があがったため、手直しすることになってしまったが、遠坂氏個人としては、こちらのほうが気に入っているとのこと



GIN GEHENNAM

いくつかの案が描かれたクロノクルの先輩

さまざまな変遷を遂げたピビニーデン。左の図のほうが先に描かれているが、これより前にもう一稿存在しており、それはメッテール・ペンスのベースになった。なお右のものは、クロノクルの先輩にしては、年を取りすぎているということで用いられなかった

CRONICLE ASHER

クロノクル・アシャー

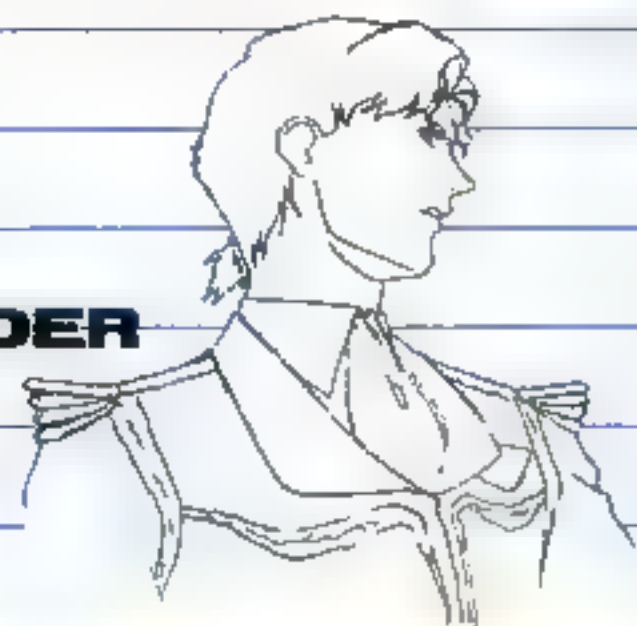
age 20

自分を縛りつける思惑を 乗り越えようとした青年

当初はベスパの一士官でしかなかったが、後にアドラステア艦隊の司令を任せられ、戦争の中核に大きく関与していくことになった青年。だが彼自身、そのような役職に就けたのは、自分が女王マリアの弟だからだ、ということを知っており、絶えずその枠を乗り越えたい、と願っていた。カテジナを公私にわたるパートナーとして選んだのは、そんな意識の表われだったのだろうが、しかし今度は逆に彼女の手の内で踊らされるようになってしまい、彼は最後までその枠を突き崩すことができなかった。(1~51話、CV=壇臣幸)

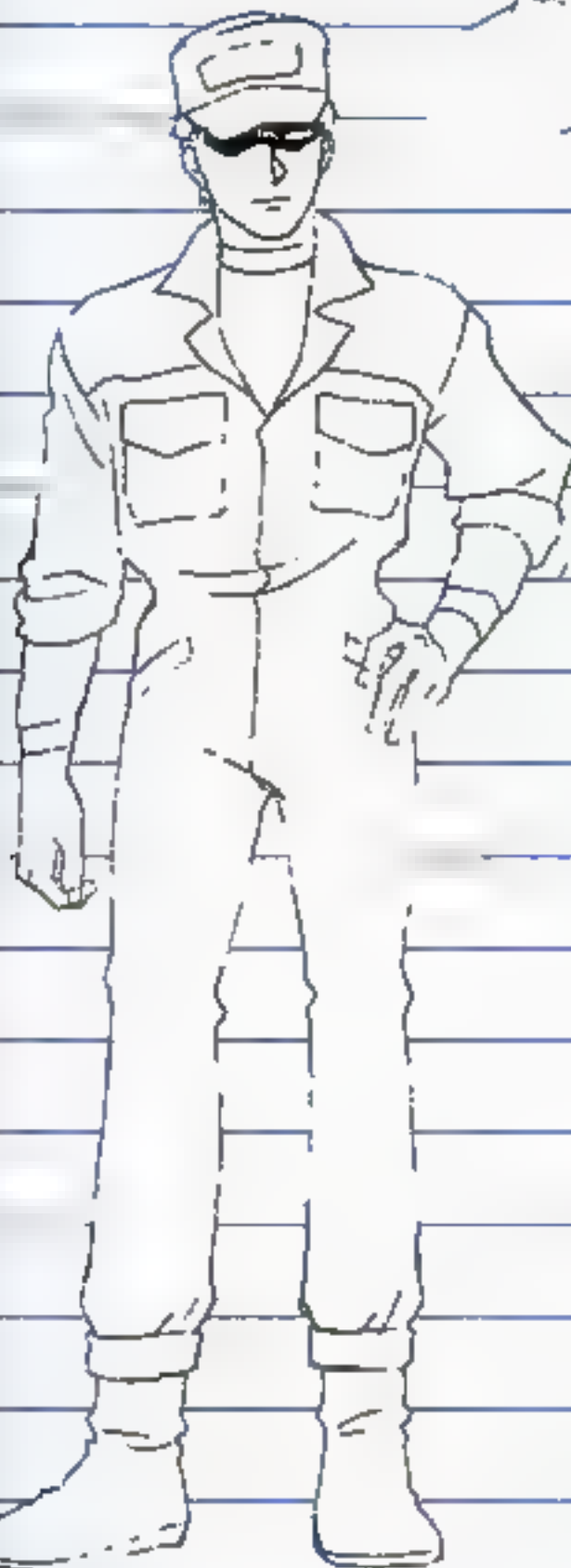
ADRASTEA FLEET COMMANDER

アドラステア艦隊の司令官に任命され、地球クリーン作戦の責任者になったクロノクル。だが結局その作戦は、エンジェル・ハイロウを投入するまでの、時間を稼ぐためでしかないものであった



DISGUISE

物語前半、リガ・ミリティアの地下工場に潜入したときの変装姿。このころはまだ威厳も感じられず、妙に作業服姿が似合っていた。状況が人をつくったのであろう



ハイザー
実線

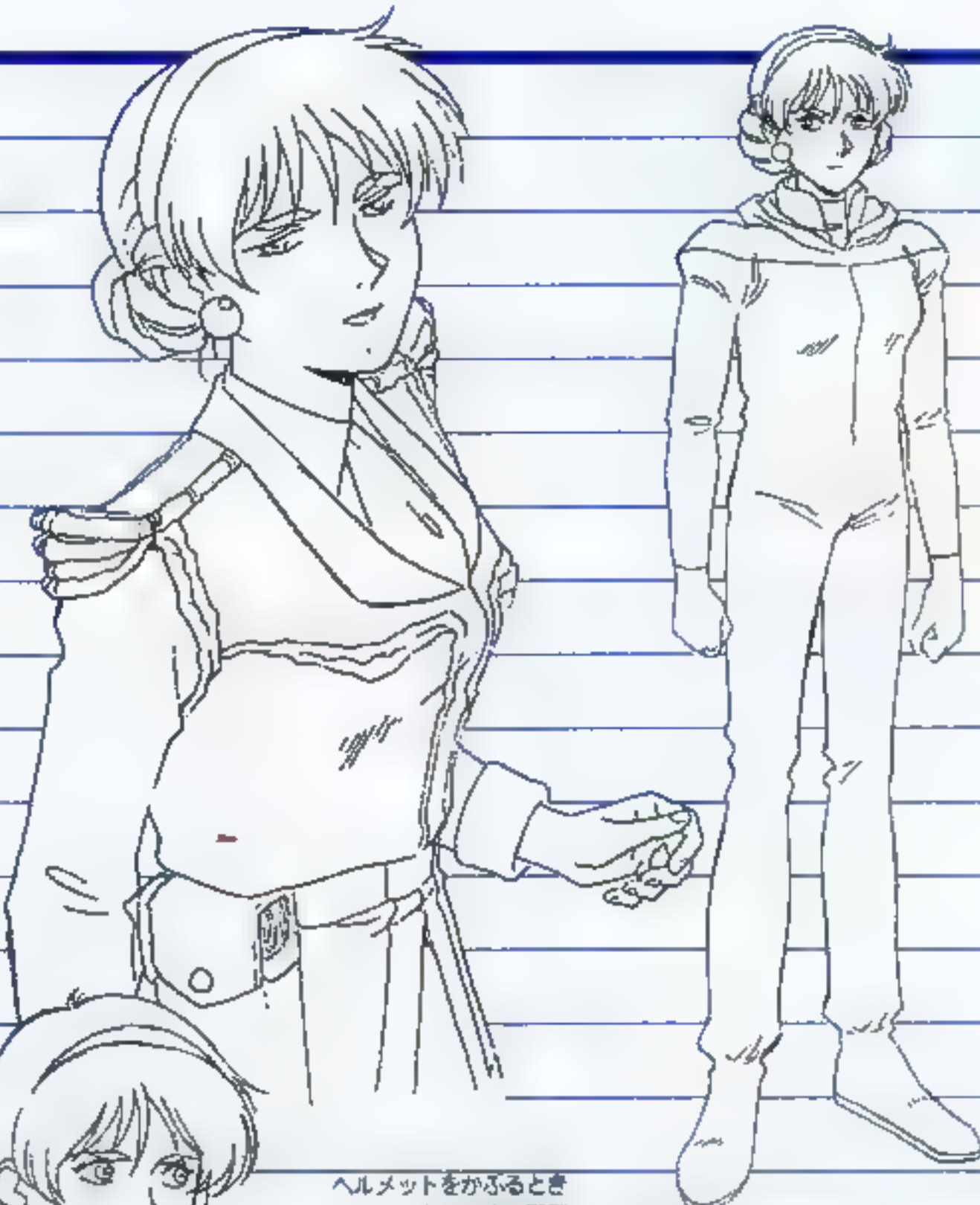
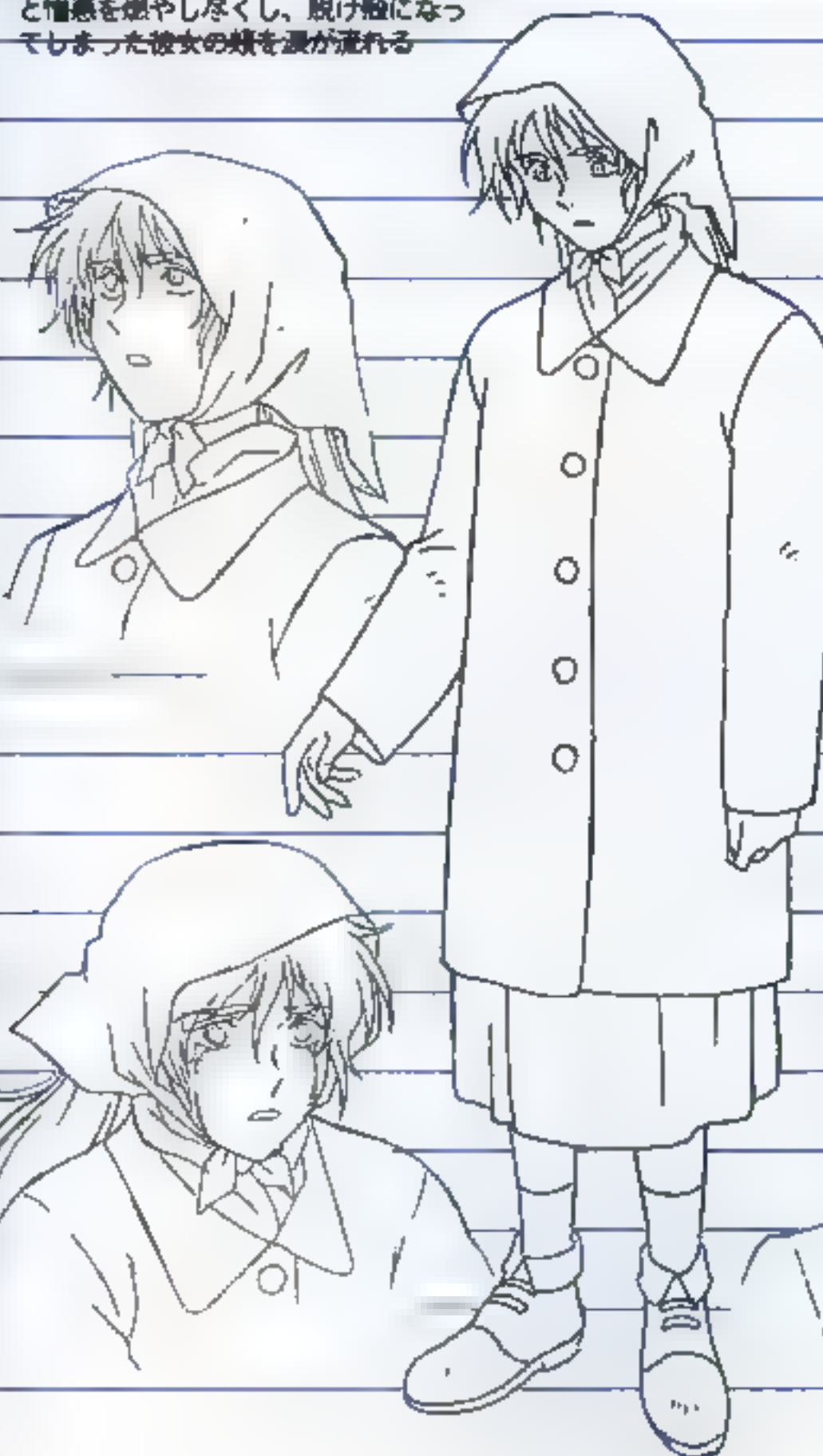
帽子、UP時
こういう処理で
(2重線処理)

帽子、普通より
深くかぶって目元
かくしています

艦隊軍

THE END OF WAR

自分を拾ってくれたクロノクル、そして光までも失ったカテジナ。……愛と憎悪を燃やし尽くし、脱け殻になっ
てしまった彼女の頬を涙が流れる



ヘルメットをかぶるとき
のカテジナの髪型

at UNDER HOOK

大気圏突入時に母艦であるアドラステアとはぐれ、海底都市アンダーフックに住むマリア主義信奉者の人々に救われた彼女は、彼らを利用してジャクワイを拉致した

下にパイロット
スーツ着込んでます
のぞかし
「ワッついてます

KATEJINA LOOS

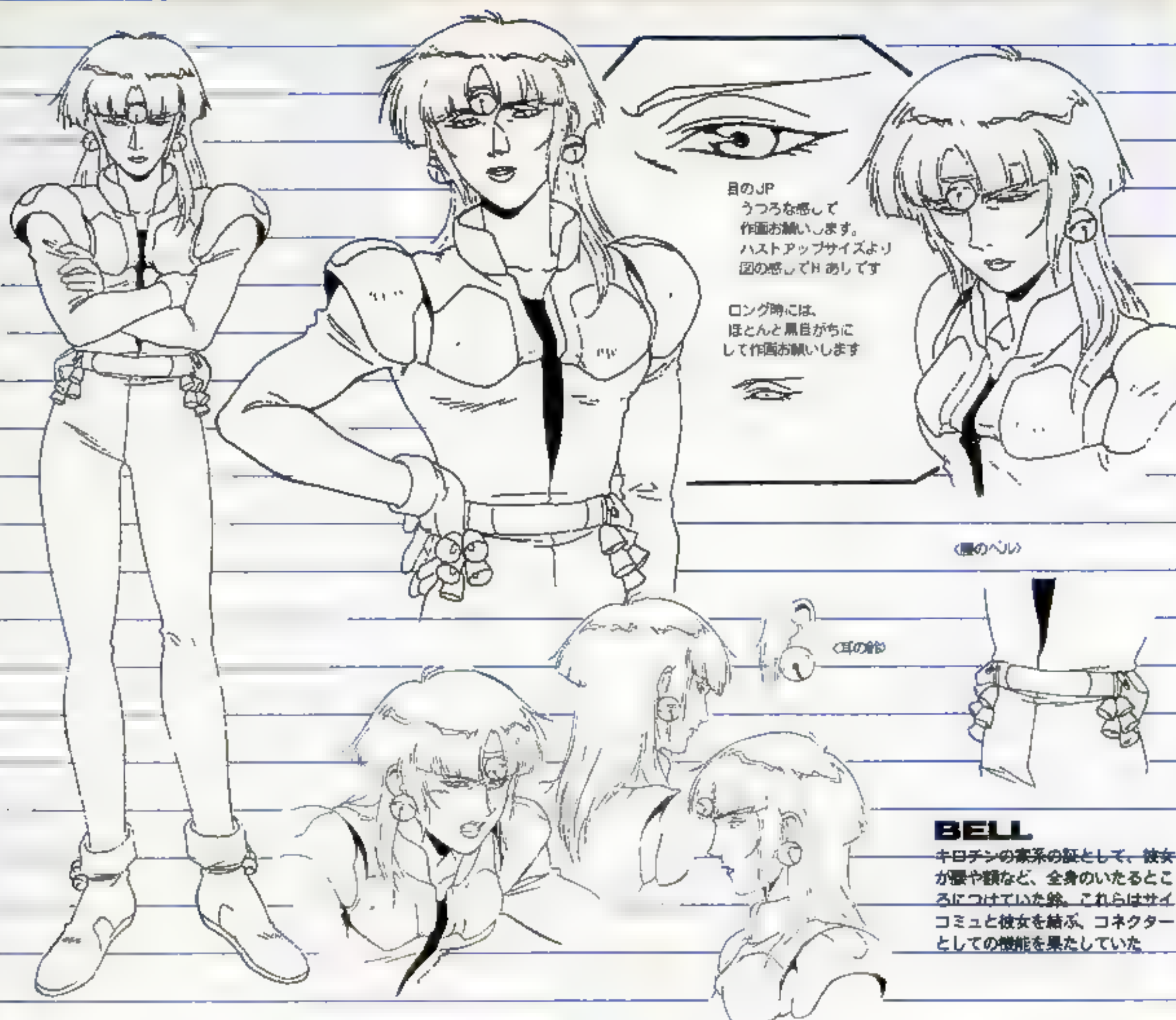
カテジナ・ルース

age 17

満たされなかった少女が 戦場で見つけたものは……

クロノクルに拾われた後、みずからの意志で戦場に赴くようになった、ウッソの憧れだった少女。だが、絶えず満たされない思いに駆られていた彼女は、己の我の中に戦場の狂気を取り込んでしまう。その結果、彼女の思いはあまりにも「女」としての業をむき出しにしたものになり、ついには人として許される範囲を超えた世界にまで飛び込んでいった……。もしかしたら、そんな彼女にとっては戦場で死ぬことこそが、幸せだったのかもしれない。うつろになった心を抱え、いま彼女は何を思うのか……。 (1~51話、CV=渡辺久美子)





FUALA
GLIFON

ファラ・グリフォン

age 22

死の瞬間、女に戻った 恐ろしくも悲しい戦士

タシロの懐刀となってウツソたちに追ってきた、恐るべき女性戦士。言動から察するに強化人間としての処置を受けているようにも感じられたが、詳しいことは不明。ザンネックやゲンガオゾを操り、一時はウツソですらも破れるかと思われたが、マーベットと対峙したとき、そのおなかの中に新たな生命が宿っているのを知り、その一瞬、戦士である自分を忘れて女に戻ってしまい、直撃を受けて炎の中に散っていった。望んで修羅の道に進んだとはいえ、それはあまりにも悲しい生きざまであった。(1~47話、CV=折笠愛)

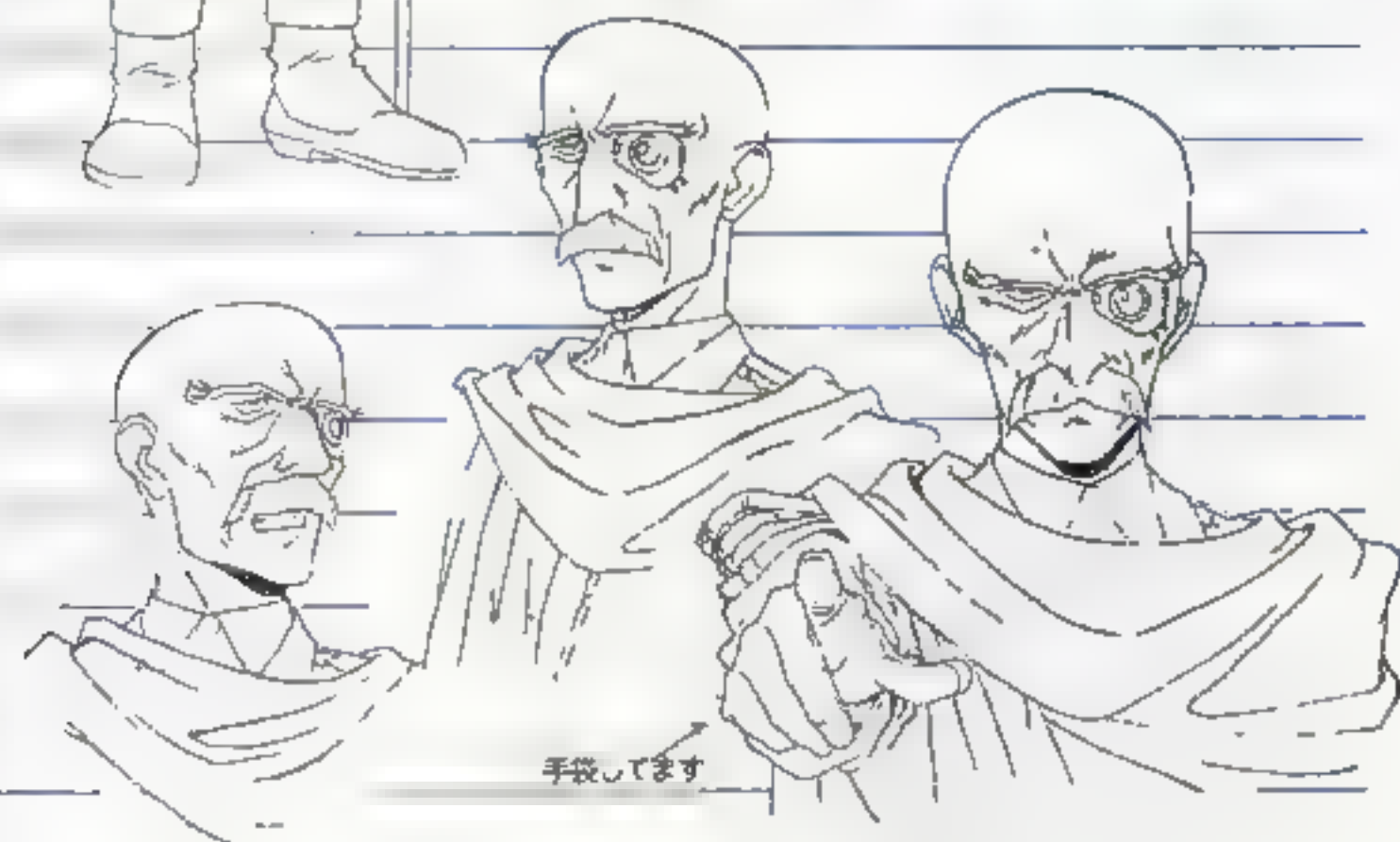
FONSE
KAGATIE

フォンセ・カガチ

age 65

英知の会得か死を迫った男

生物としての真理を忘れてしまった人類を
修正するために、エンジェル・ハイロウの稼
働を決意した、ザンスカールの宰相。だが彼
自身、心のどこかでは自分が選択した行動が
最も正しいものではない、ということを理解
していたようでもある。長い人生を歩んできた
者として、せめて何か道を示したかったの
かもしれない。(1~51話、CV=大矢兼臣)

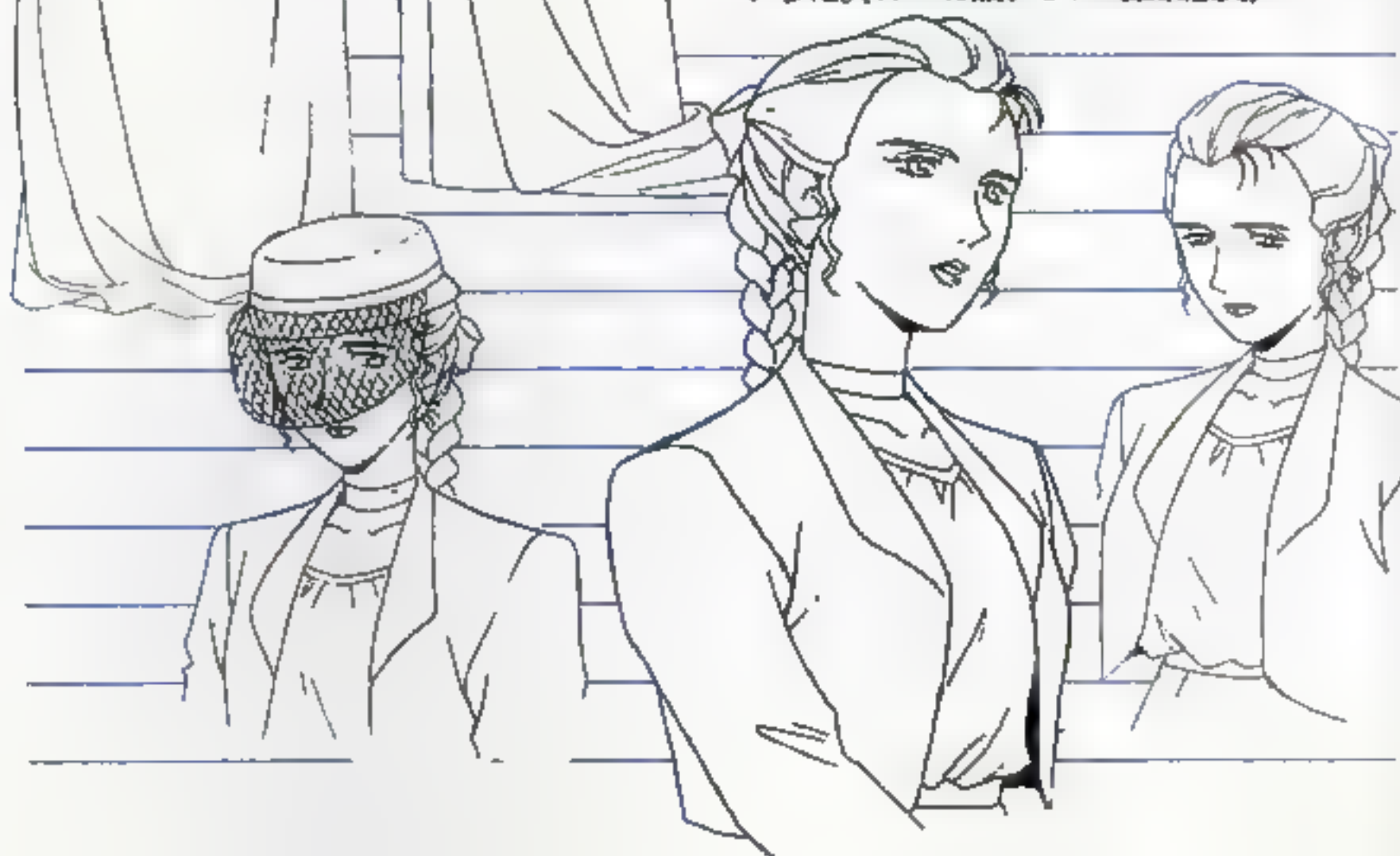


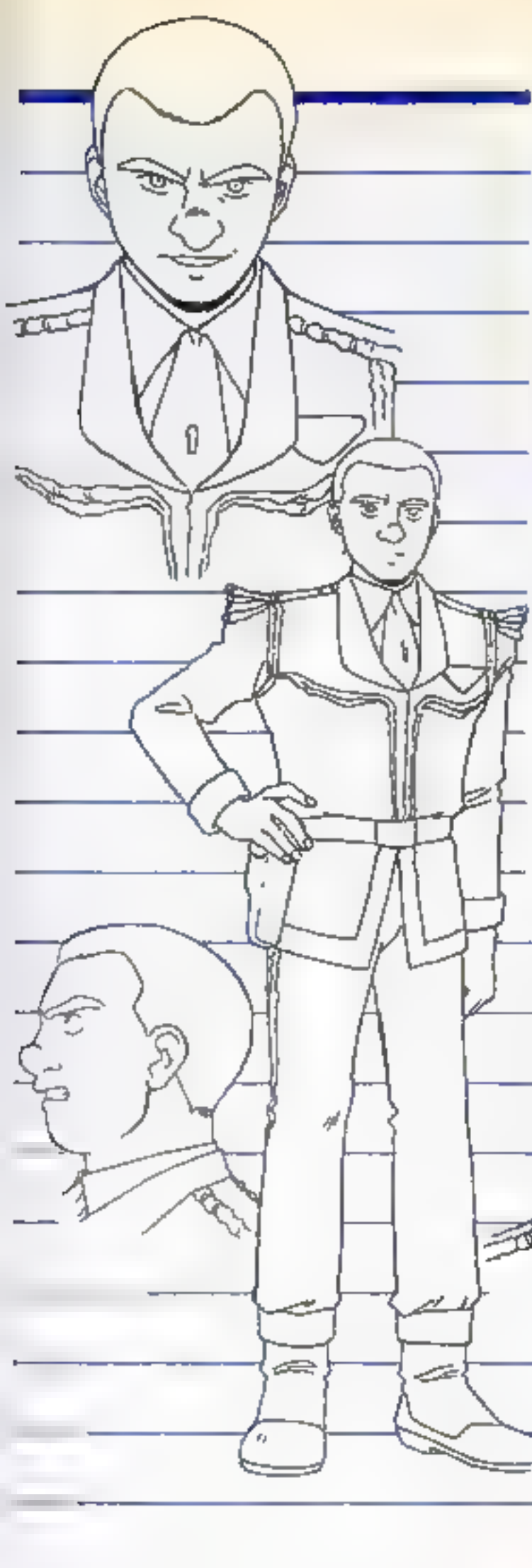
MARIA PURE
ARMONIA

マリア・ピュア・アーモニア

子供たちに未来を託して……

超自然的な能力をもつがゆえに、カガチの傀儡
としてザンスカール帝国の女王となった女
性。全人類の平和を願って、エンジェル・ハ
イロウのキー・ルームで祈りをささげるが、
それが人々に死しかもたらさないことから、
すでに自分が汚れた大人でしかなかったこと
に気づき、子供たちにすべてを託して死んで
いった。(17~48話、CV=篠原恵美)





AZIS BAGGI

アジス・バギ

クロノクル配下の将官

マケドニア・コロニーに逃げ込んだリーンホースJr.を捕獲するため、フラビイ・ゴヤと折衝にあたったクロノクルの部下。ズル賢く立ち回り、少しでも事態を自軍の都合のよい方向に進めようとするゴヤを欺き、条約を無視してコロニー内部にMSを送り込むなど、こちらもゴヤに負けず劣らずの人物であった。(28話、CV=山崎たくみ)



KUBLAI GOYA

フビライ・ゴヤ

狡猾なマケドニア軍司令官

国力の差から、ザンスカール帝国と近い関係を保ちながらも、独立を維持していたコロニー・マケドニアの軍司令官。消耗したリーンホースJr.の受け入れを承諾したが、ウッソたちを収容所に拘禁した彼の言動から察して、それは決して善意から出た行動ではなく、彼らを駆け引きに利用しようと考えたためではないかと思われる。(28話、CV=中博史)

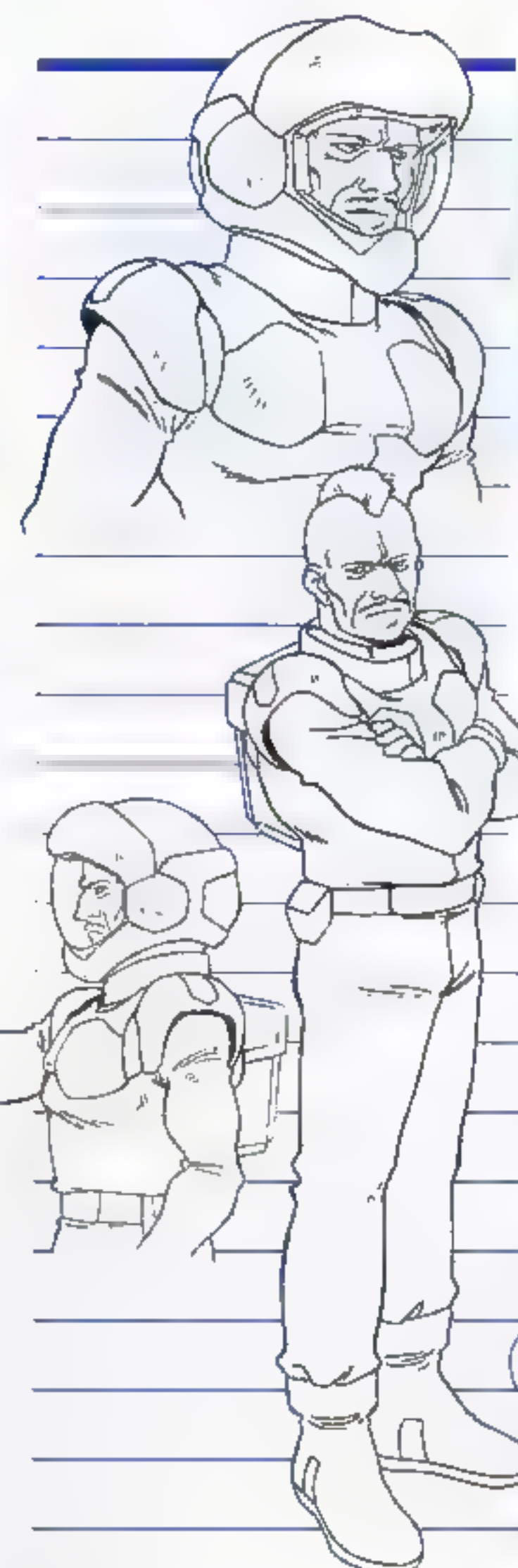


GOZ BARL

ゴズ・パール

母を盾にして戦った卑劣漢

ビビニーデンの命令により、投降を装ってミュウラを連れ出して、彼女を盾にしながらウッソたちに攻撃を仕掛けてきたパイロット。しかし、クロノクルでさえ唾棄したこの作戦にあたった報いからか、あまりの卑劣さに怒り狂ったウッソが操るV2のビームサーベルにコックピットごと貫かれ、あえない最期を遂げることになった。(32話、CV=堀之紀)



BROGH

ブロッホ

ドッグーラの凄腕操縦士

ビビニーデンの信頼が厚いMSパイロット。オリファースの特攻によって前輪部分を損傷したアドラスティアの修理に要する時間を稼ぎ出すため、MA・ドッグーラに乗り込んでリーンホースJr.の前に立ちふさがった。その操縦技量は高く、ドッグーラの驚異的な戦闘能力を存分に発揮させ、追撃に出たウッソたちを大苦戦に陥れた。(32話、CV=小杉十郎太)

ANIMATION DIRECTOR INTERVIEW

瀬尾康博

(作画監督)

——実際に作画を担当なさった身として、ウッソをはじめとした今回の登場キャラクターたちは、いかがだったのでしょうか。

「作画の負担を軽減するために、逢坂氏が描きやすいキャラクターを設計してくださっていたので、作業的にはかなり手間が減らせたように思います。けれども、影を極力つけないという方針だったので、ノッペラした絵になってしまうのを防ぐため、なるべく真正面や真横から見た構図のレイアウトは描かないように気をつかったりはしました」

——影がないと、表情をつけるのに苦労なさったのではありませんか？
「陰影で絵をつくる人もけっこういますから、確かにそのとおりなのかもしれません。でも個人的には昔から、線画に影を入れる、という感覚がなかったので、それほどキツイという思いはありませんでした。しかしこういう場合、描き手の力量ひとつにすべてがかかってくるんです。たとえば、座っているポーズひとつにしても、どのように描き分けるのか、とか。そういう部分で、作監として手を入れきれなかったなあ、という後悔は多少抱いています」

——やはり時間との戦いでものね。
「多少、不満があっても、流していかざるを得ませんでしたから。でも、単純なキャラクターにしたというのは、富野監督のチョットした意地悪だったのかもしれない(笑)。2コマ作画も禁止されていましたね。もっともこれらに頼らずに作画するというのは、基本中の基本だと思っていますが……」

——作業を終えたいま、これからの要望としては何か？

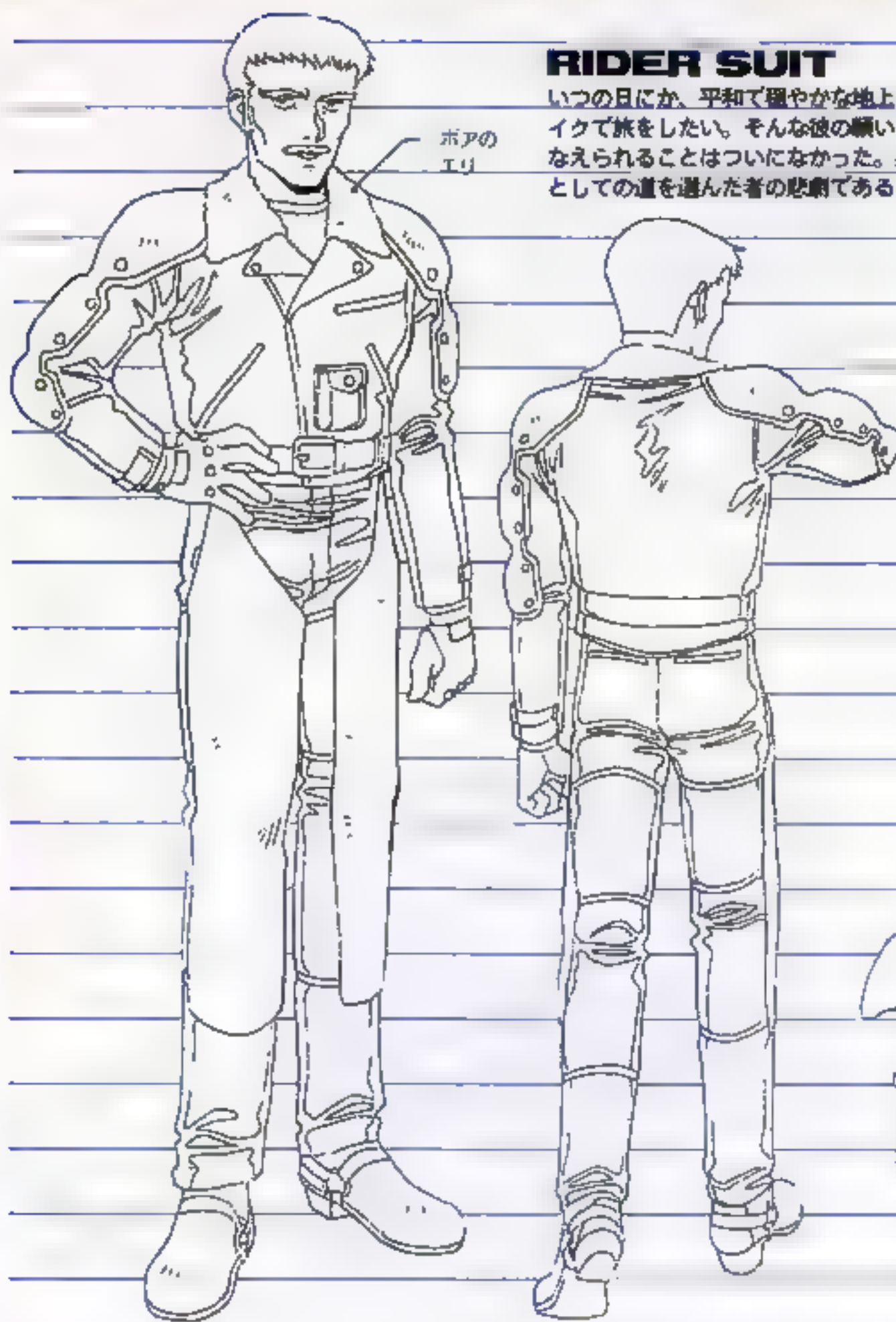
「これまで応援してくださった方、どうもありがとうございます。で、その方たちにぜひ、映画化願望のお便りを出していただきたいのです。そうすれば、もう1年間この作品で食べていける……というのは冗談ですが(笑)、もしもそういう形で映画ができたならとてもうれしいので、なにとぞよろしくお願いいたします(笑)」

1962年、鹿児島県生まれ。サラリーマンから転職してアニメーターになる。その後「Ζガンダム」第31話にて作画監督を務めるようになり「ガンダム0083」などを手がけた後に、今回の作品に参加した

ぜひファンみなさんの応援で「Vガンダム」を映画化してください!!

RIDER SUIT

いつの日にか、平和で穏やかな地上をバイクで旅をしたい。そんな彼の願いがかなえられることはついになかった。兵士としての道を選んだ者の悲劇である

ボアの
エリDUKER
IQ

ドゥカー・イク

レンダとの平和な日々を
夢見ながら死んだ男

バイク乗りの伝統の復活を願う男。元はパイロットであったが、物語の後半においてはガッダール隊での功績が認められて、アトラス艦隊を構成するリシテア級巡洋艦の艦長に抜擢された。執念でホワイトアークを追い、巨大な投網・スパイダーネットとツインラッドを用いることによって、一時は勝利を確信するが、オデロが仕組んだ廃棄タンカーを使った罠にはまり、愛しいレンダとともに死亡した。(10~38話、CV=中田和宏)

RENDA
DE PAROMA

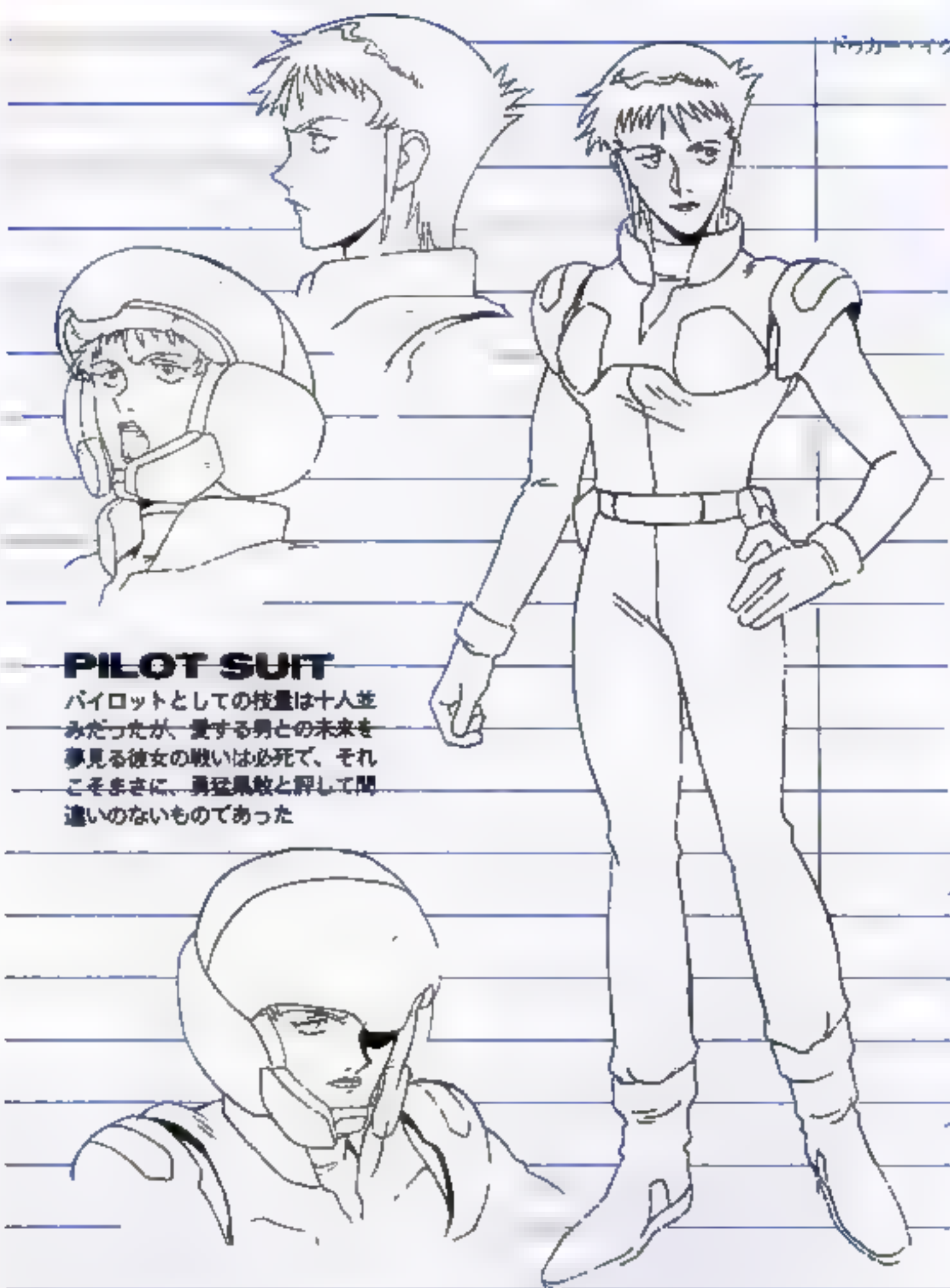
レンダ・デ・パロマ

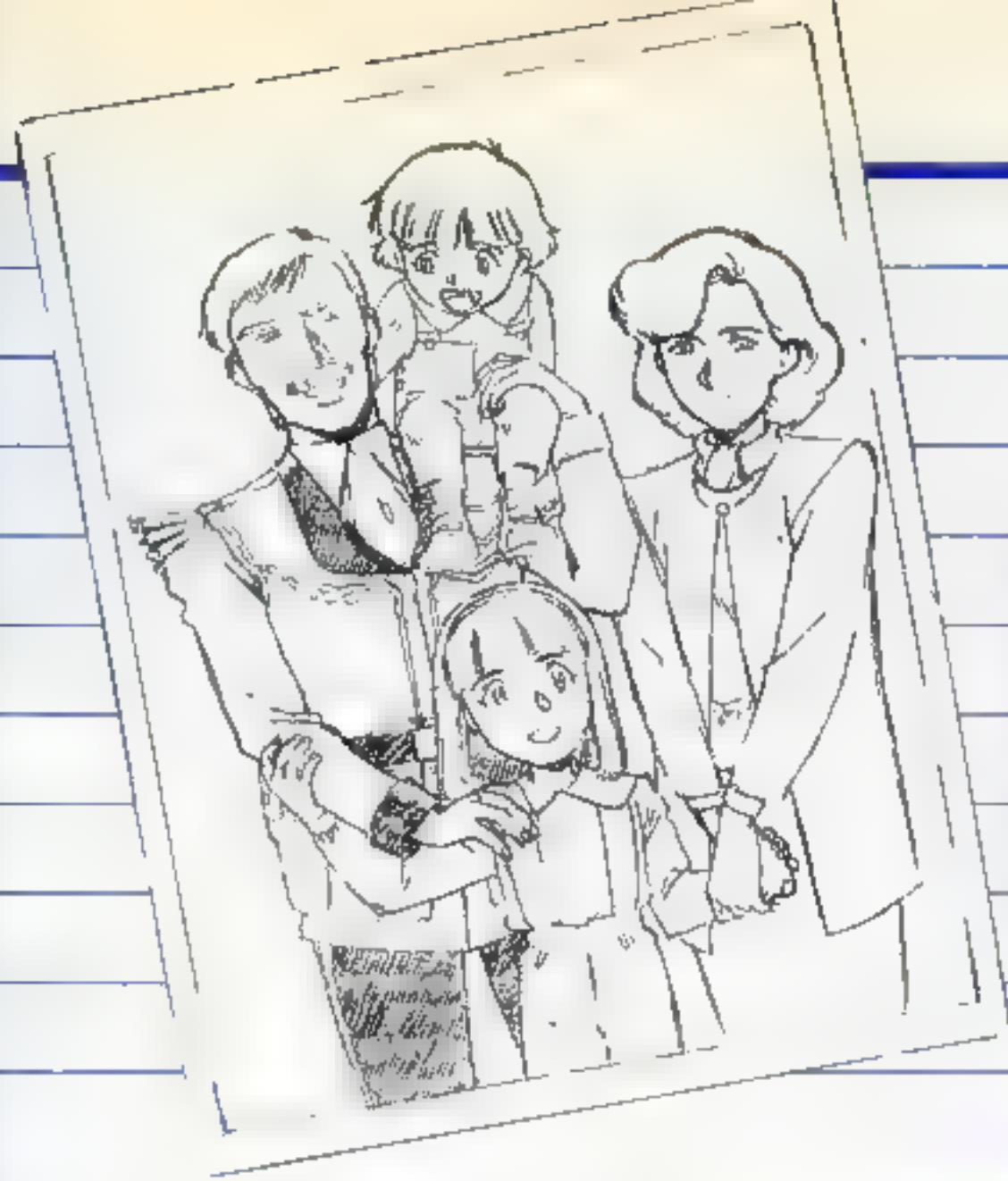
イクへの愛を胸にして
戦った女性パイロット

ガッダール隊以来、ドゥカー・イクに従ってきたパイロット。地球上の自然の中で暮らすことが夢だったが、ホワイトアークへの攻撃を開始する直前に、思いを寄せていた上官のイクから愛を告白され、そのあかしに母からもらったというペンダントを譲り受ける。だが攻撃は失敗に終わり、被弾した彼女がろうじて帰艦したところへオデロの追撃があり、イクの傍らにおいて最期を遂げることになった。(10~38話、CV=松本梨香)

PILOT SUIT

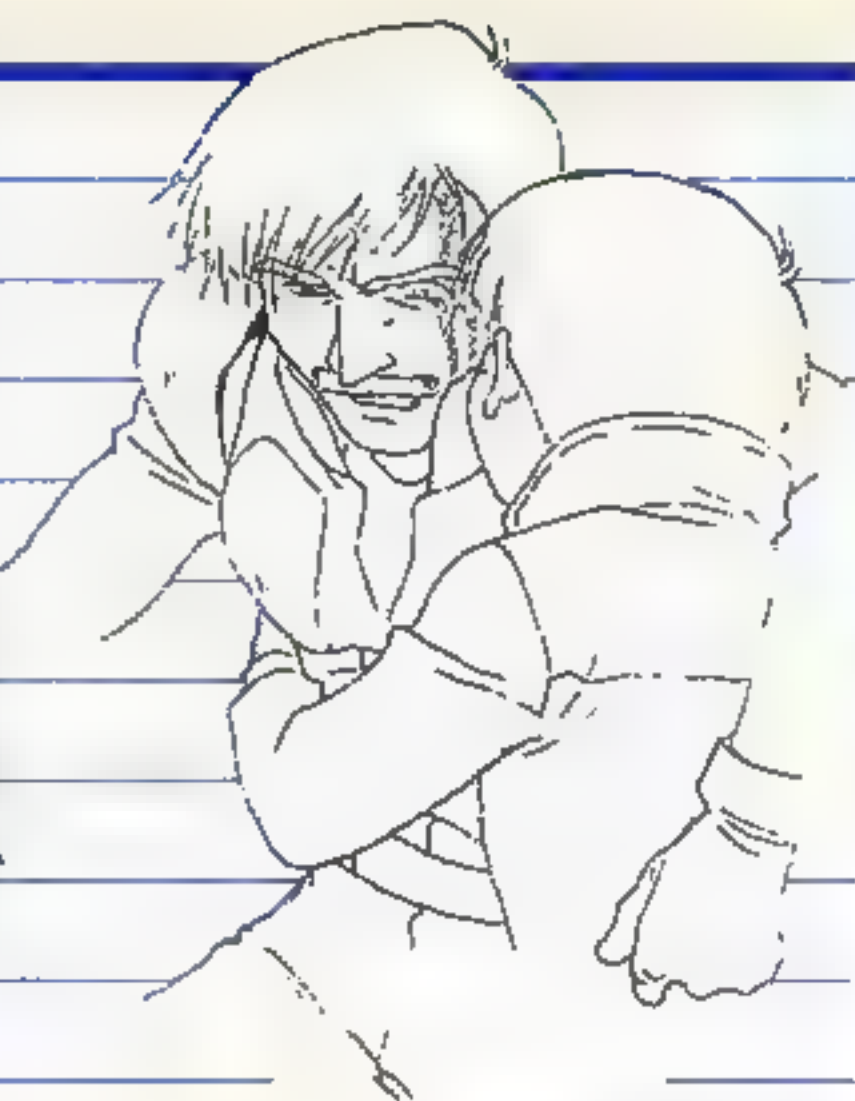
パイロットとしての技量は十人並みだったが、愛する男との未来を夢見る彼女の戦いは必死で、それこそまさに、勇猛果敢と闘って間違いのないものであった





PHOTO

マチスがコクピット内に飾っていた、妻のレーナや娘たちとの写真。彼の死に際これを目にしていたがために、ウッソはラゲーンの街で彼女たちと出会ったとき、悔愧（ごんき）の念に責めさいなまれ、戦争のむなしさを肌で知る



MAZIS WARKER

マチス・ワーカー

実直でありすぎたがゆえに死への道を歩んだ戦士

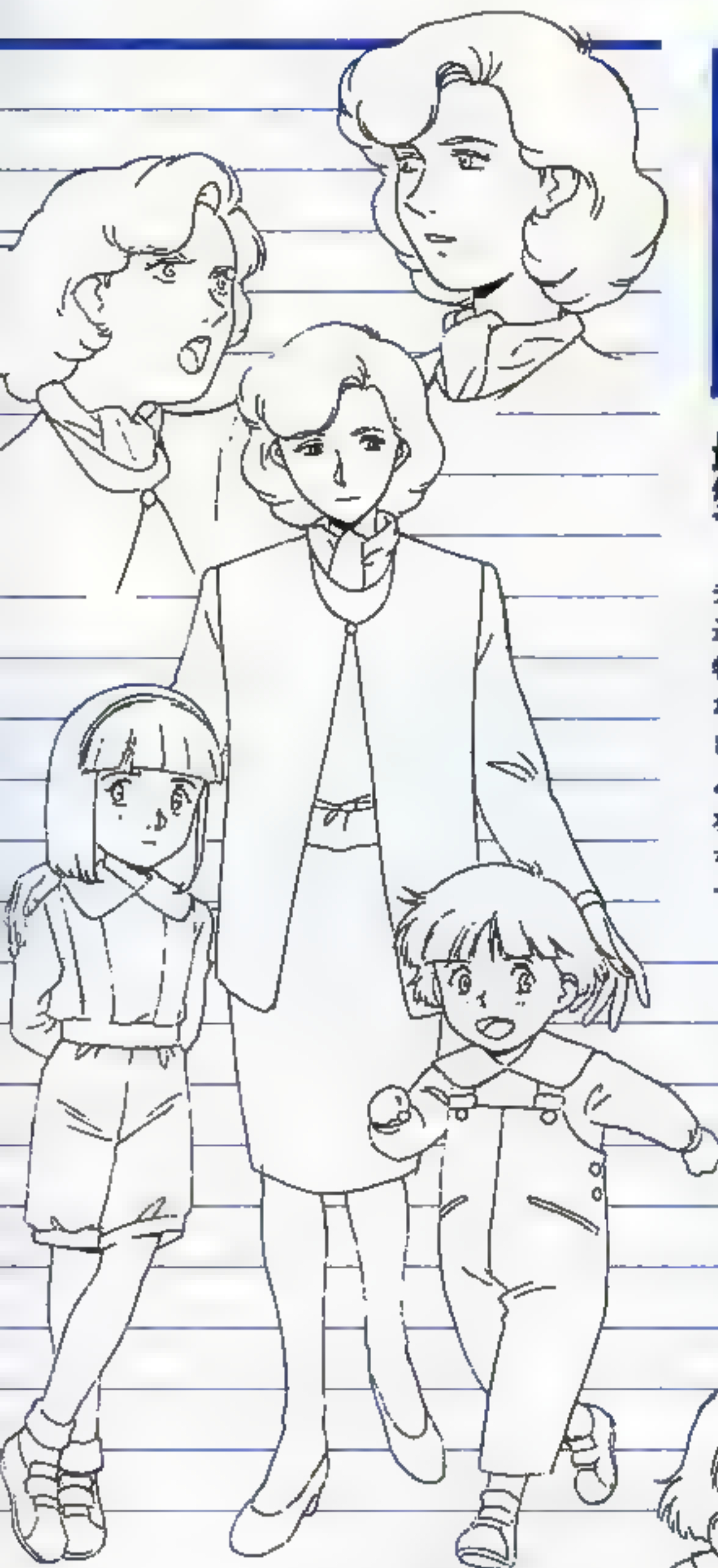
カサレリアに魅せられ、その地で家族と平和に暮らすことを夢見ていたベスパのパイロット。だが、軍人としてあまりに実直であったがために、時間稼ぎのために結ばれた和平協定に納得できず、部下とともにラゲーン基地を脱走、ソロ改でウッソたちに奇襲攻撃を実行した。特攻ともいえるその戦法はみごとなものだったが、戦士として成長していたウッソたちの敵ではなく、非業の死を遂げることになってしまった。(39話、CV＝飛田展男)

LENA WARKER & DAUGHTERS

レーナ・ワーカー&娘たち

最愛の夫を失いながらも気丈に生きる優しい母親

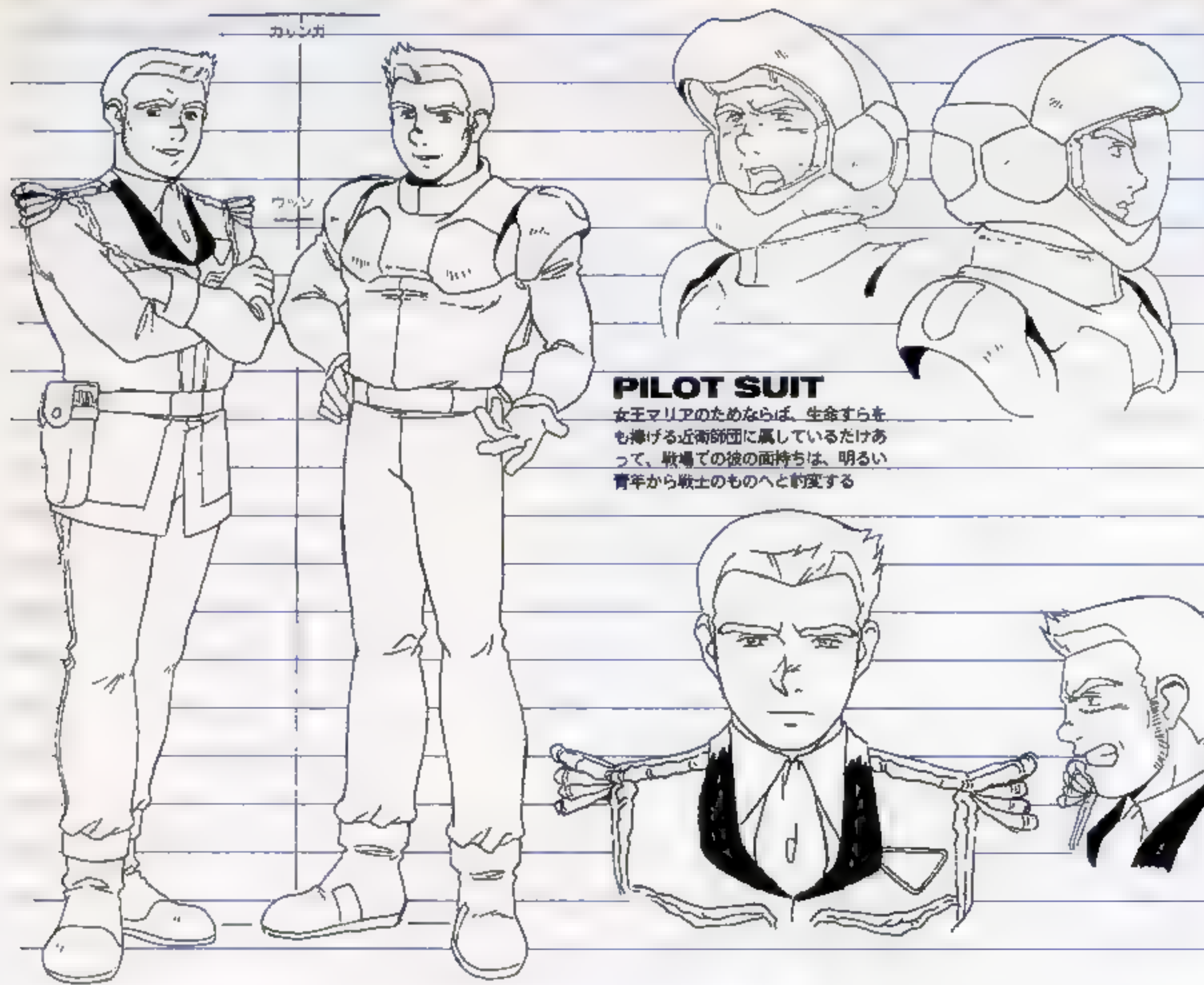
マチスの妻と、2人の間に生まれた娘たち。夫がラゲーン基地に配属されたため、それを追って地上に降りてきていたものと思われる。特にレーナは、何も語ろうとしない、いや語れないウッソに連れられて夫の墓を訪れたときにも、すべてを悟りながら彼のことを責めようとせず、人としての優しさと厳格さを兼ね備えた、ウッソの母ミューラと通じるものをもった気丈な女性であることをうかがわせていた。(40話～、CV＝松井菜桜子)



DAUGHTERS

左が長女で右が次女。それぞれ6～7歳と4～5歳程度と思われる。年齢相応に、やんちゃでイタズラ好きだが、荒れた部分を感じさせない、とても可愛い子供たちである。これもひとえに両親の教育のたまものであろう





PILOT SUIT

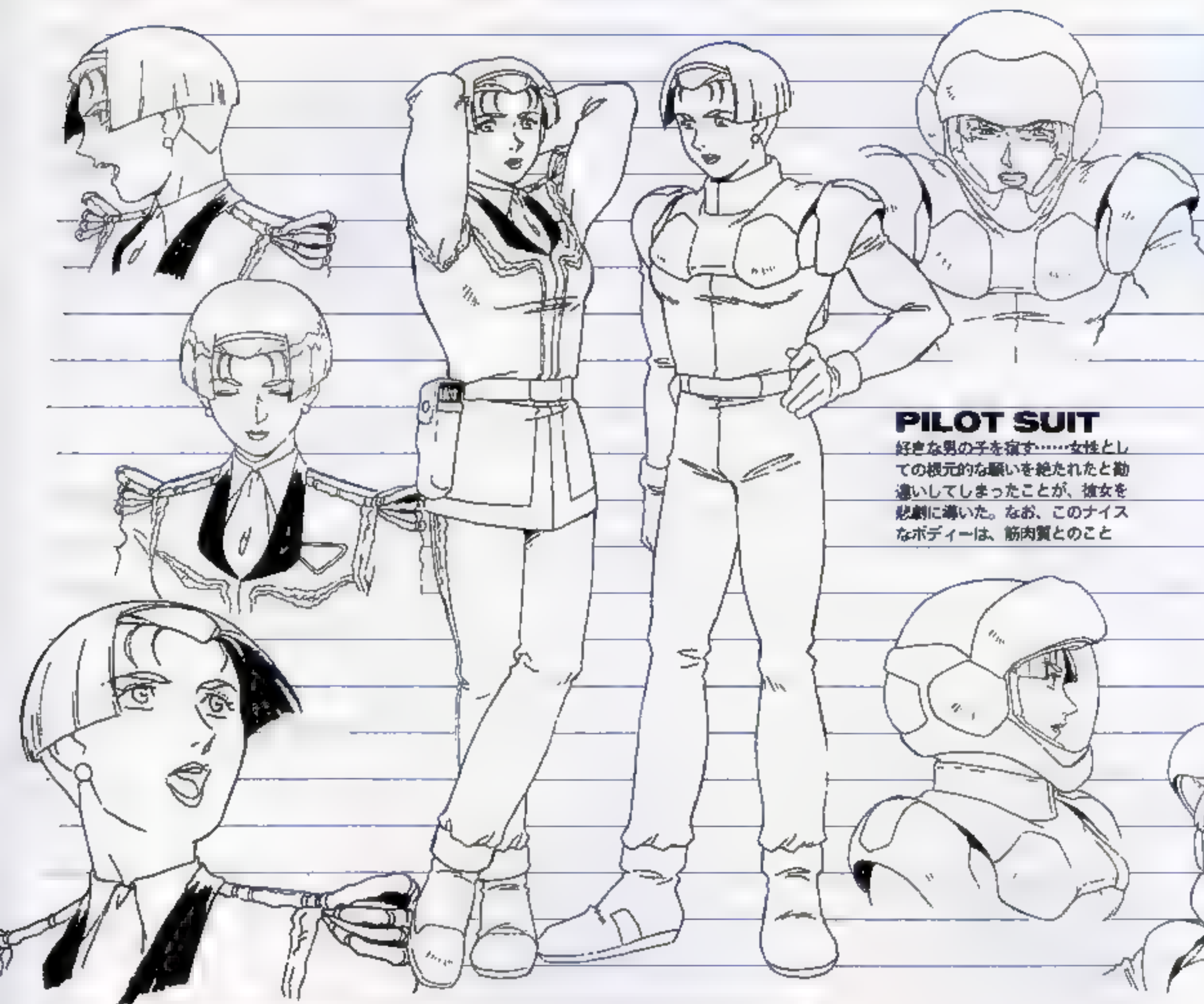
女王マリアのためならば、生命すらをも捧げる近衛師団に属しているだけあって、戦場での彼の面持ちは、明るい青年から戦士のものへと豹変する

KISHOWL BAGWATT

キスハール・バグワット

戦場の誤解の中で散った 悲劇のパイロット

近衛師団に属するパイロット。偽装してエンジェル・ハイロウに接近を謀るホワイトアークを発見、その臨機に当たるが、子供たちのことばにだまされて、逆に彼らの先導役を務めたうえに、囚われの身にまでなってしまう。その後、愛機ともども脱出に成功するが、最愛の女性でもあるカリंगाが、それを敵の策略と勘違いしたため、愛し合う者同士で殺し合いを演じてしまった。まさに悲劇の人物である。(44話、CV=梅津秀行)



PILOT SUIT

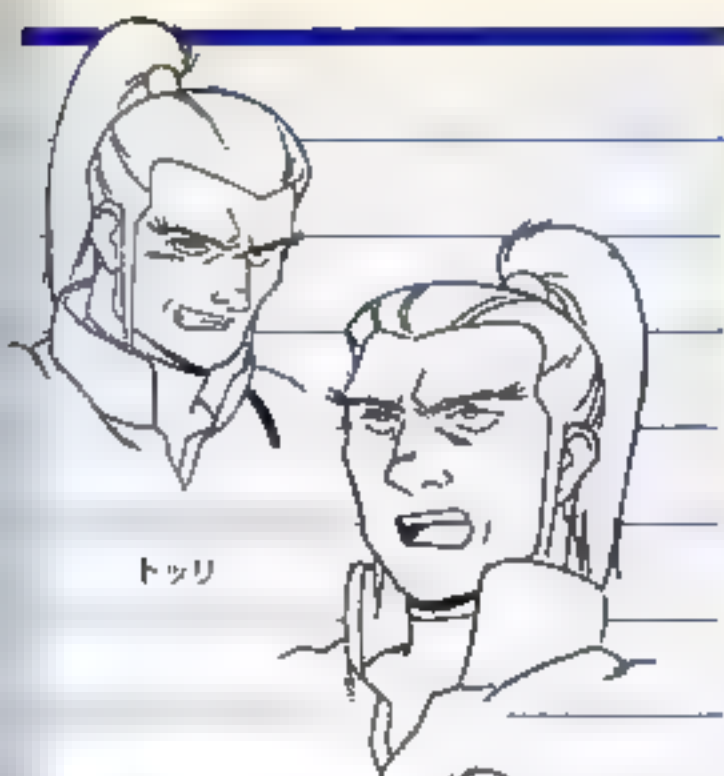
好きな男の子を宿す……女性としての根本的な願いを絶たれたと勘違いしてしまったことが、彼女を悲劇に導いた。なお、このナイスなボディーは、筋肉質とのこと

KALINGA WOGEL

カリंगा・ウォーゲル

涙に泣き濡れながら 打ち砕いた機体の中には……

キスハールが手塩にかけて育てた、近衛師団のパイロット。彼からプロポーズを受け、彼女自身もそれを承諾するつもりだったが、ウツソたちの手によって彼が殺されてしまったと勘違いしたうえにファラにあおられて、脱出してきた彼に対して攻撃を仕掛け、互いの機体をサーベルで貫いてしまう。……死の直前にさまよい出た星の海の中で、2人だけの結婚式を挙げるのができたのが、せめてもの救いであった。(44話、CV=冬馬由美)



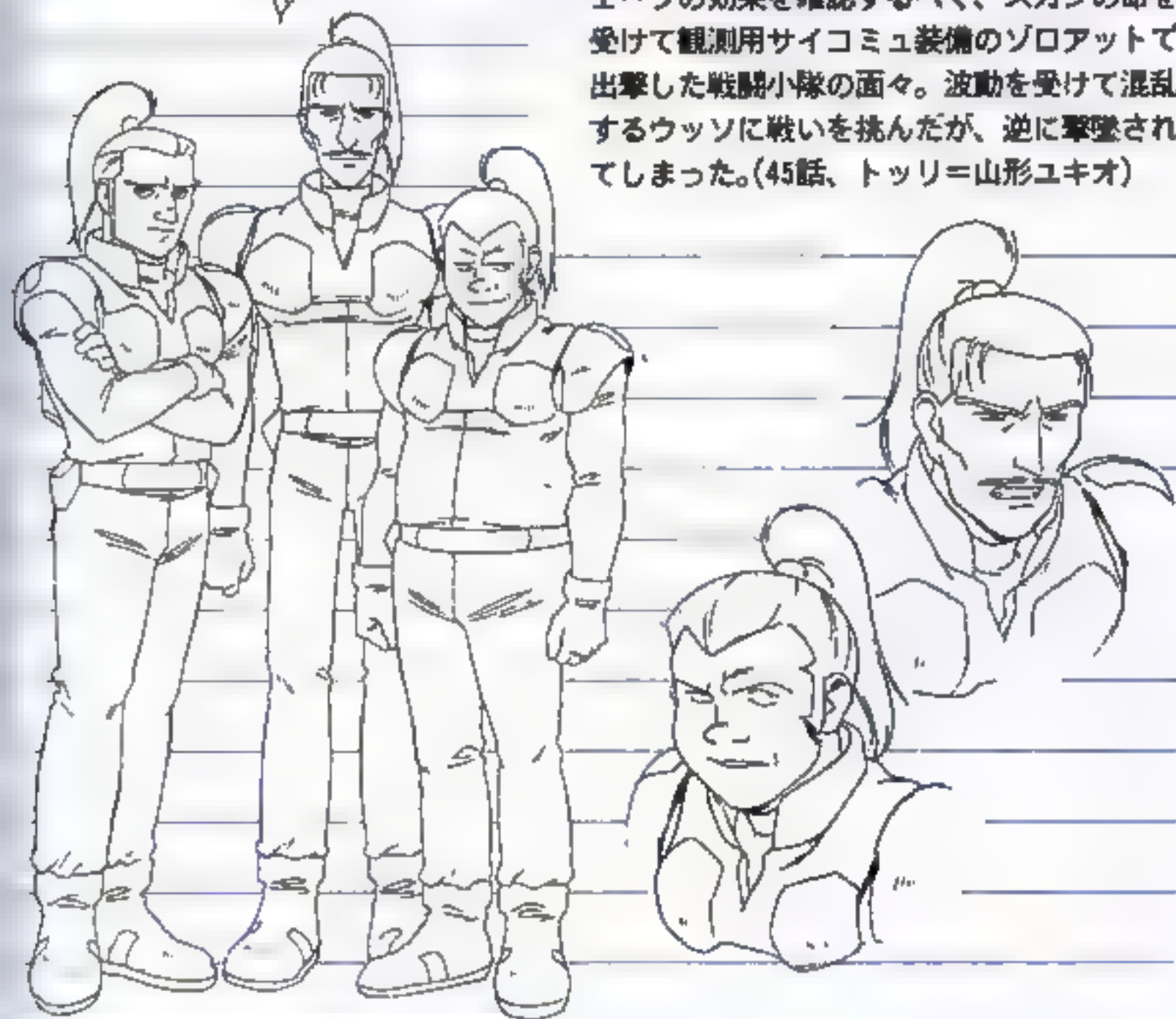
トッリ

CORPS OF TORRI ARES

トッリ・アーエス小队

幻覚に苦しむウツソを……

エンジェル・ハイロウが発するサイコ・ウェーブの効果を確認するべく、ズガンの命を受けて観測用サイコミュ装備のソロアットで出撃した戦闘小队の面々。波動を受けて混乱するウツソに戦いを挑んだが、逆に撃墜されてしまった。(45話、トッリ=山形ユキオ)



INHABITANTS OF UNDER HOOK

アンダーフックの住人たち

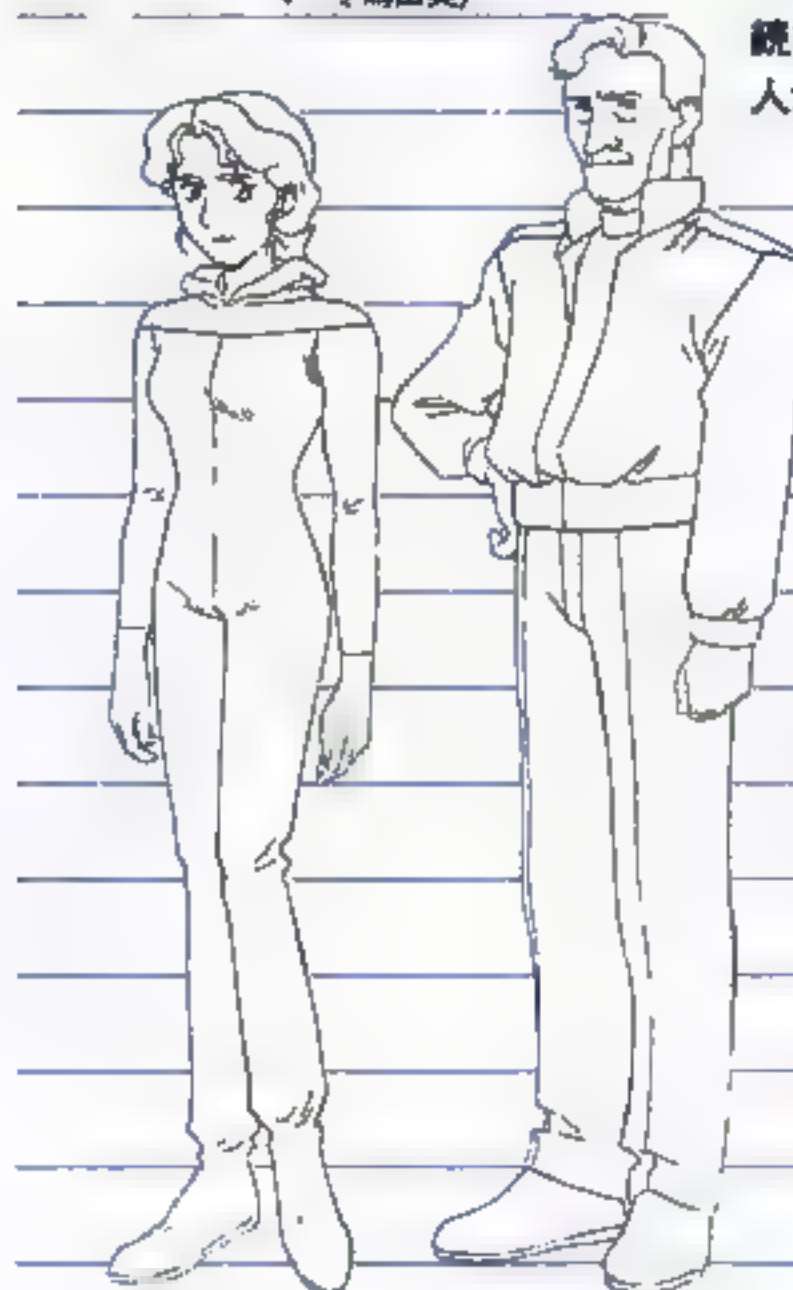
マリアを信じる海底の住人

規模は小さいものの、人類の宇宙への移民と平行する形で実施された、海底都市開発。すでに計画そのものが打ち切られているようだが、アンダーフックは中でも、管理が継続されていた数少ない都市である。多数の住人が、マリア主義を信奉していた。(33話)



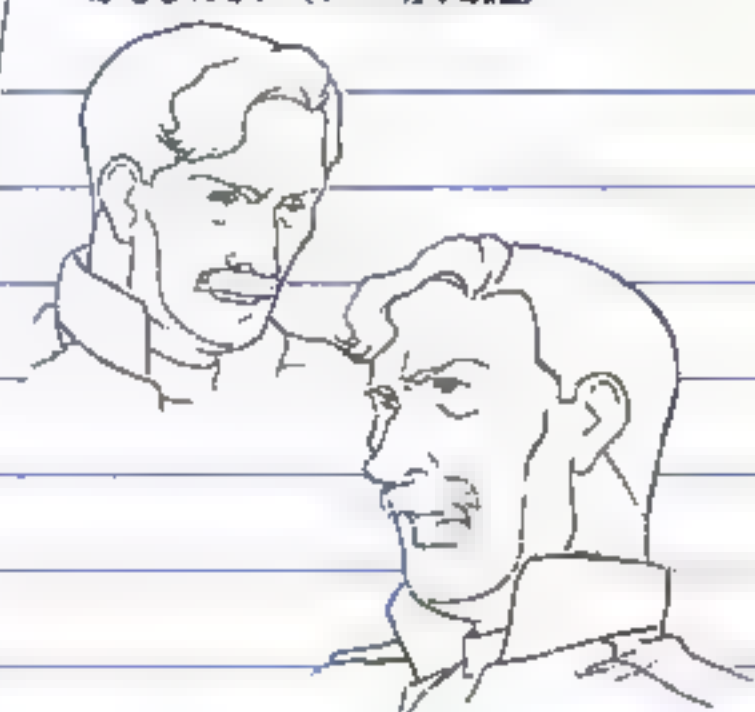
ELENA

都市内でマリア主義を信じる者たちの中心的存在。母艦とはぐれてしまったカテシナを助け、さらには彼女のこぼからシャクティを拉致した(CV=冬島由美)



VISTAN

エレナとともに行動していた男。もしかしたら彼もまた、サイキッカーとしてエンジェル・ハイロウに乗り込んでいたのかもしれない(CV=有本欽隆)



KILL TANDON

キル・タンドン

求めにこたえられなかった男

シュバッテンでパイロットを務めていた男。ファラに目をつけられ、V2を裏にかけて撃破する計略に駆り出されるが、ザンネックの操作に不慣れだったために失敗してしまい、彼女の手によって顔面に弾丸を撃ち込まれて最期を遂げた。(43話、CV=森川智之)



SISSLY FITZEENE

シシリィ・フィッツイーネ

パイロットを志願した整備員

ドゥカー・イクが率いるリシテア級モトラット艦に配属されていたメカニック・ウーマン。みずから手で整備したツインラッドとドムットリアで出撃してV2に肉薄したが、いま一步力がおよばず、返り討ちに遭ってしまった。(37話、CV=まるたまり)



CREATIVE SUPPORTER INTERVIEW

井上幸一

(文芸設定)

——文芸制作として「Vガンダム」のスタッフに名を連ねていらしゃったわけですが、まずは1年間の作業が終了しての感想をお願いします。「この作品が、これまでの「ガンダム」シリーズの流れではなく、物語的に独立した内容でしたので、わりと楽な気持ちでやっていくことができました。そのために作り手の一員でありながら、できあがっていく映像が、おもしろく感じられるようになっていきました。参加できてよかった、というのが今の正直な感想です」

——どのような部分がいちばんおもしろいと感じましたか？

「キャラクターの描かれ方ですね。どの登場人物にしても、必ずどこかに実在していそうな普通のキャラクターたちなんです。でも、ただ普通というだけでは、娯楽作品にはふさわしくない。ウッソに代表される彼らは、見せなければならぬことは実行しつつも、それをステロタイプなキャラクターほどしつこくは演じず、かといって平々凡々になって埋もれてしまうわけでもなく、うまくその間のバランスを取る必要があったんです。もちろん、やりすぎてしまったこともありましたが、最終的にはかなり納得できるところにもっていったのではないかと、思っています」

——ドラマ的には今までと違っていたところは？

「これまでのガンダムは、さまざまな面を総合的に見なければドラマが理解しにくい感じがあったのですが、今回の作品ではウッソとシャクティを追っていったほうが基本の流れが見えてくるようにできています。もっともこちらが意図をもって組み込んだ疑問の答えが、数週間先にならないと出てこない、というちょっと不親切な展開になっていたことはいえませんが、本来ならば、先に気づかれないように答えをちりばめておいて、疑問が出てきたところで、ああそうだったのか、とすべきですからね……」

1969年、山形県生まれ。玩具メーカー勤務を経てサンライズへ。設定制作・文芸・企画などを手掛けるようになるが、当初はみづからメカ・デザインも描いた。参加した作品は「サムライルーパー」など多数

ウッソとシャクティの2人を見れば、すべてがわかる物語になっています



NENEKAS

ネネカ隊

生命を賭けて戦う女たち

女性だけで構成された近衛師団部隊。師団用のリグ・シャッコーに乗り込み、エンジェル・ハイロウの直衛を担当していたが、カテジナにV2の侵入を許してしまったことをとがめられ、半裸の状態で肉弾攻撃を仕掛けるという、ほとんど暴挙とも思える作戦に参加する。その異様な戦いの姿は、ウッソを一時的に混乱させることには成功したが、しかし致命弾を与えるまでには至らず、全員あえなく死亡した。(49話、ネネカ＝横山智佐)

CAPTAIN OF SCHBATTEN

異様な自力をもっていたファラと、彼女を失った後に正気を失いはじめたタシロに圧倒されつづけていた。シュバッテンの艦長。艦と運命をともにしたようである

CAPTAIN OF LYSITHEA

ただひとり名前がついている、リシシアの艦長ボーディナム。36話において、ウッソたちの猛攻撃にさらされたときも、必死に部下に操舵を命じていた

CAPTAIN OF ADRASTEA

絶えず艦隊司令官であるクロノクルの隣に座っていた。アドラステアの艦長。34話から登場していたが、まだ年が若い彼のことをよくサポートしていた

CAPTAIN OF DALMACIAN

タルマシアンと改名した、旧スクイード2の艦長。カガチやズガンの指揮のもとで最後まで戦線を維持し続けたが、ジャンヌダルクの神攻によって死亡

CAPTAIN OF JEANNE D'ARC

艦橋のシートにハンゲルグとムバラク提督が座っていたため、滅多に登場しなかったジャンヌダルクの艦長。任務に忙殺されていたのではないかと、思われる

CAPTAINS

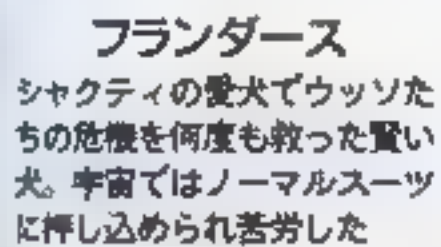
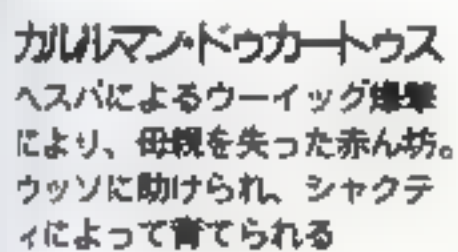
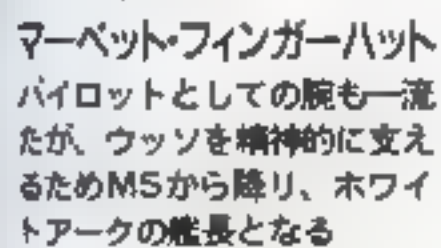
艦長

戦場を支える重要な存在

物語の展開上、日陰の存在になってしまふことが多いが、実際の戦場では重要な任務を背負っている各艦の艦長たち。艦の行動に関しては、艦隊司令以上の権限を有しており、場合によっては「要請」という形を取りながら、彼らに対して命令することすらある。本来ならばもう少し活躍してもよいと思うのだが、ブリッジに座っていることが多いため、どうしても日陰のキャラクターになってしまいがちであった。

CAPTAIN OF RASTEO

戦争の混乱の中を、うまいこと渡り歩こうとするビビニーデンと息が合っていた。ラストオの艦長。それが、自分たちが生き残る道だと信じていたのであろう

[illegible]

ウツスの父、ハンゲルグによって愛玩用につくられた。自分の能力を生かして一生懸命ウツスを助ける



ウツソの幼なじみで、ウツソ同様、リカ・ミリティアとザンスカール帝国の戦いに巻き込まれてしまう。戦争に慣れていくウツソに危機感を抱き心配をする心優しい少女。実はザンスカール帝国の女王マリアの妹で、不思議な力をもつ



消息を絶った同親を捜すためにリカ・ミリティアのカミオン部隊と行動をともにし、13歳の若さながらVガンダムのパイロットとなる。戦いを嫌悪し何度も自問しながらも、隣り来るベスバに対し、仲間を守るために戦う



オデロを兄のように慕うラグーンの少女。シャクティたちと家事や雑用、カルルマンの世話などで協力をしている



オデロ同様、ラゲーンの被災児。オデロとは違い、おとなしく理論派の檢だが、マルチナには頭が上がらないようす



ラグーンの戦災児たちのリーダー。カミオン部隊に助けられて以来、行動をともにする。後にパイロットとなる

キャラクター組織図

これまでの戦いで明るみになった強大なザンスカール帝国の全貌、それに相対する抵抗運動組織「リガ・ミリティア」の勢力、そしてその争いに関与する数多くの人々。ここでは各組織の構成員を所属別にピックアップして、わかりやすく紹介しよう。



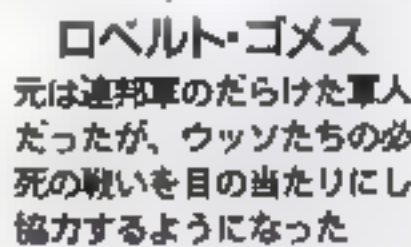
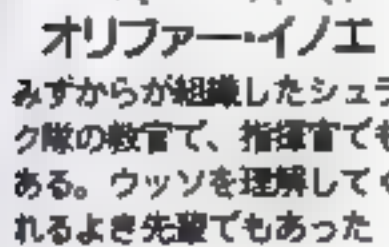
カミオン部隊

[illegible]

オイ・ニュング

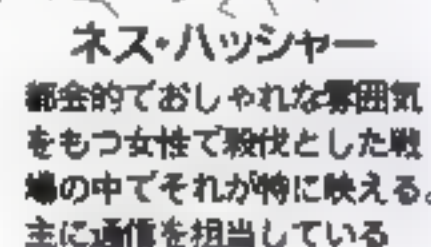
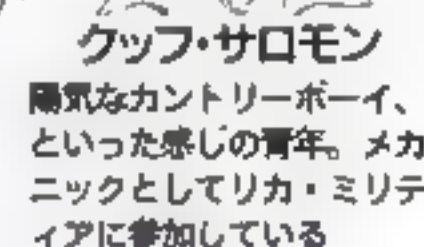
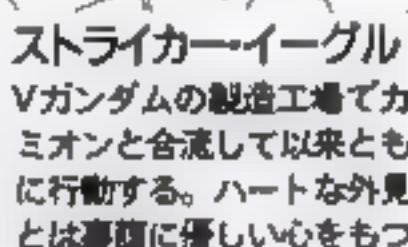
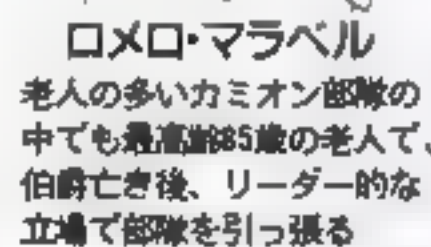
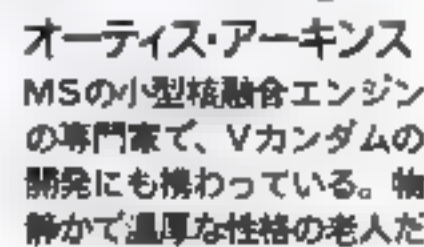
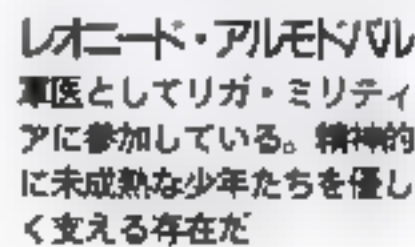
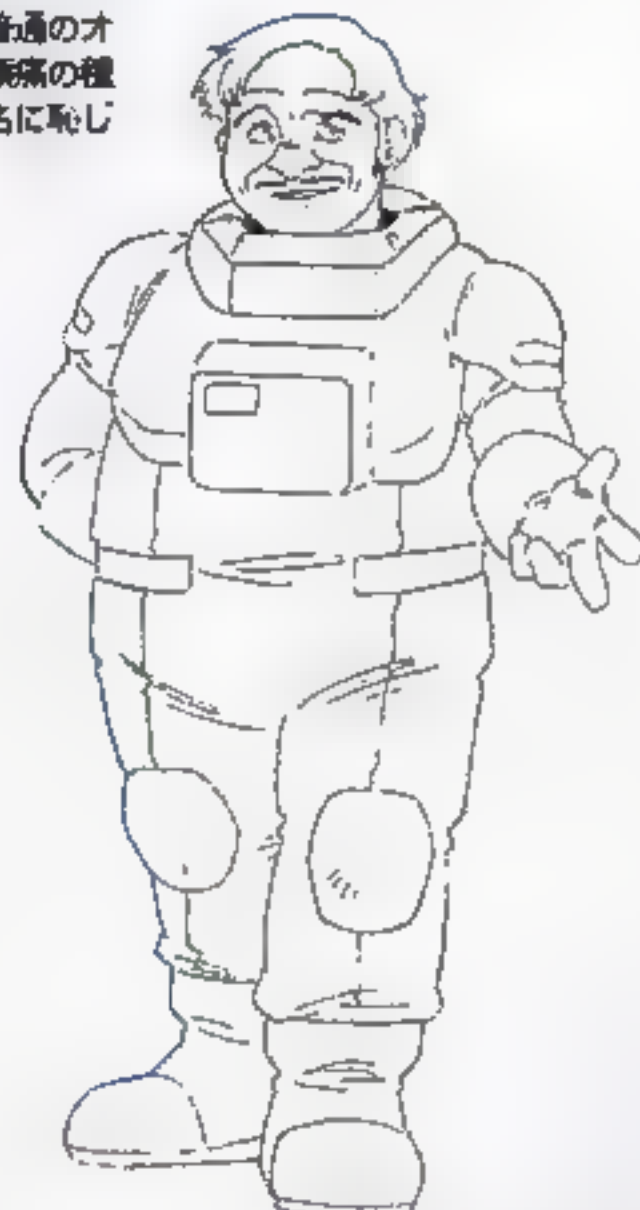
カミオン部隊の指揮官で、70歳の高齢ながら的確な指示を与え部隊を引っ張る。仲間からは伯爵と呼ばれ信頼されていたが、秘密工場内に潜入したクロノクルにカテジナとともに拉致され、キロチンにかけられてしまう

リーンホースJr

[illegible]

ジン・ジャハナム

この名は本来、リガ・ミリティアの指導者たちの呼び名だが、彼はいわゆる影武者。本当は普通のオシサンで、ゴメス船長の頭痛の種だったが、最後にはその名に恥じぬ雄姿を見せてくれた

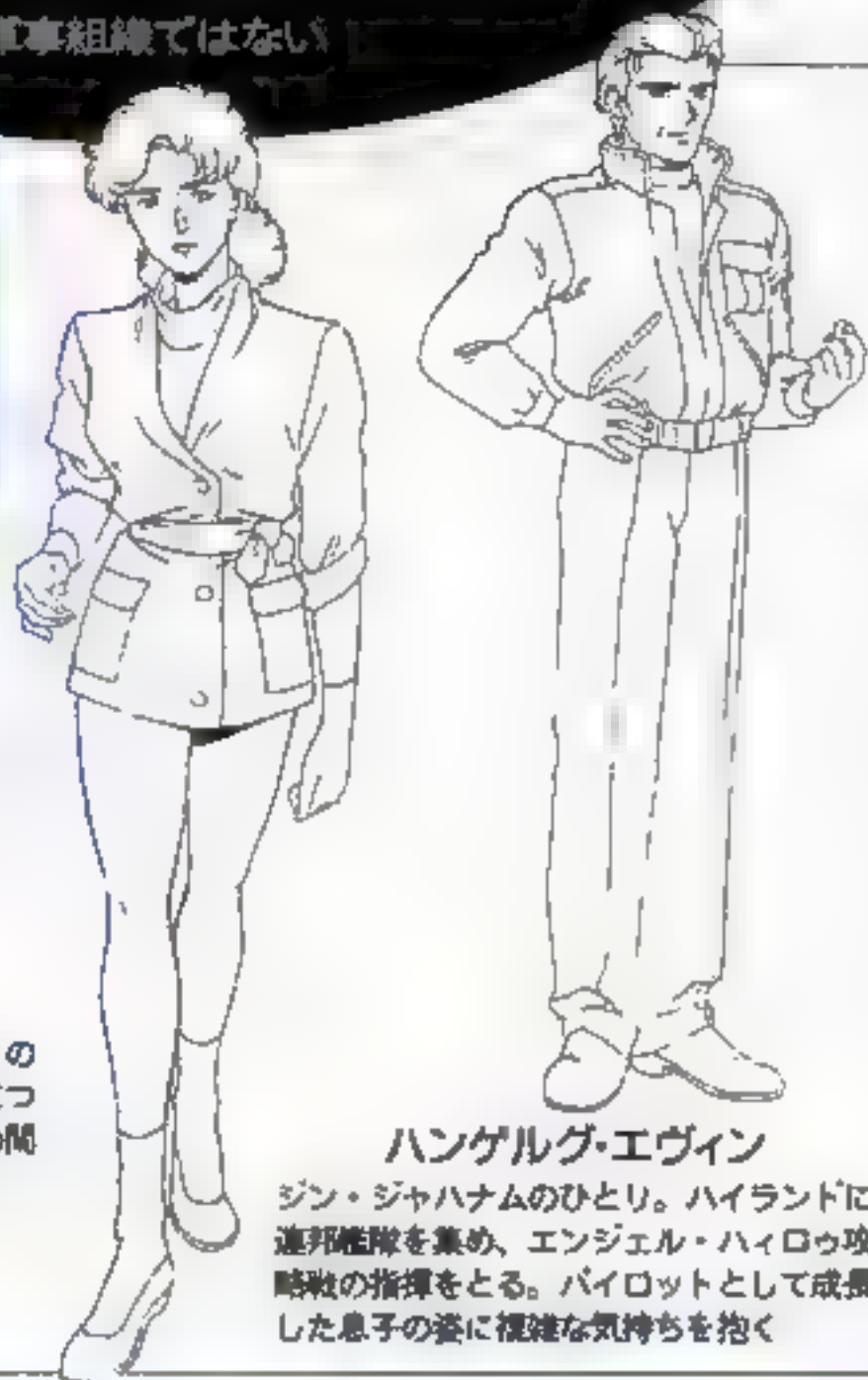


リガ・ミリティア

ザンスカール帝国に抗する多くの魂

強大な軍事力を誇り、その武力をもって地球侵略を行なおうとするザンスカール帝国。だが、それに抵抗する人々がいた。その運動組織はリガ・ミリティアと呼ばれ、各地に点在する極めて小規模な組織だ。彼らはジン・ジャハナムと呼ばれる指導者の呼びかけに応えた民間人であり、正規の軍事組織ではない。

上層部



ミューラ・ミゲル

ウツソの母親。V2ガンダムの設計図を月のリガ・ミリティアの工場に移送する任務につき、偶然ウツソと再開する。ウツソに東の間の安眠を与えるが、後の戦いで戦死する。

ハンゲルグ・エヴィン

ジン・ジャハナムのひとり。ハイランドに連邦艦隊を集め、エンジェル・ハイロウ攻撃戦の指揮をとる。パイロットとして成長した息子の姿に複雑な気持ちを抱く。



ブラスタ・イエリネス

ハイランドの子供たちの中では最も幼い少年。だが、みんなの足手まといにならないように、人一倍頑張る。

ソフィア・イエリネス

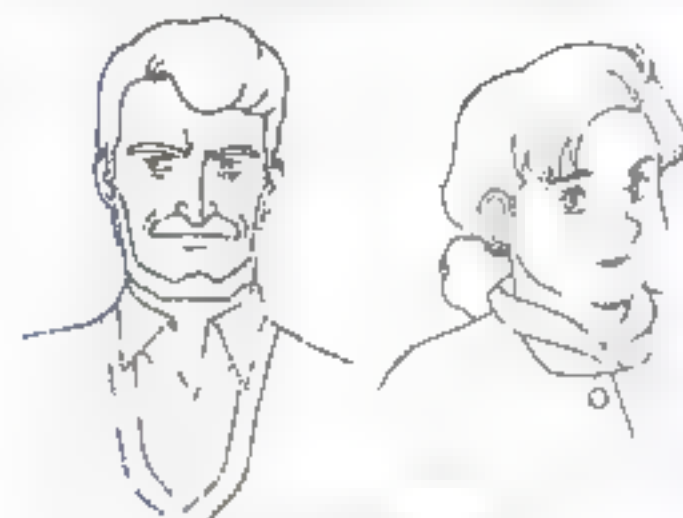
あまり目立たない控えめな少女。弟のブラスタとともに一生懸命、艦内作業や雑用を手伝っている。

カレル・マサリク

トマーシュの弟で兄のしっかり者。兄がMSで出撃した後、ホワイトアークをサポートする。

トマーシュ・マサリク

ハイランドの子供たちの中では最年長の17歳の少年。オデロやウツソとともにMSに乗りベスパと戦う。



マサリク夫妻



エリヤ・クランスキー
年齢よりも大人びた印象を受ける少女で、彼女に好意を寄せるオデロとはいきなり雰囲気だったのだが……



マルチナ・クランスキー
活発で明るい、少し勝気な少女。ウォレンの気持ちを知ってか知らずか、なぜ彼にはつれない。



クランスキー夫妻



イエリネス夫妻



ヘレン・ジャクソン

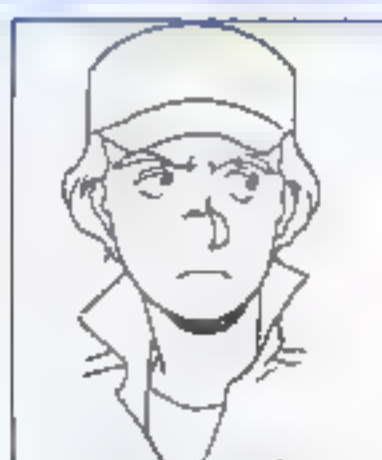
ヘチエンでウツソたちカミオン隊と合流したのも束の間、ベスパとの戦闘で敵MSと相討ちとなり戦死する。



ジュンコ・ジェンコ

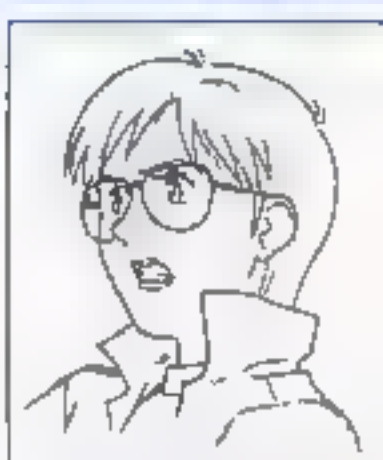
シュラク隊のチームリーダーで勝気な姉御肌の女性。だが、その死に意地だ戦い方が周囲の人々に危機を抱かせた。

初代シュラク隊



ハリー・モスト

ミズホ同様、モトラッド艦隊の侵襲を阻止せんとタンビコの街で戦うが、建物ごとタイヤに潰されてしまう。



ミズホ・ミネガン

メカニックにもかかわらず、ジャベリンに乗ってモトラッド艦隊に迎撃するが、タイヤに潰され戦死する。



エステル・チャバリ

カミオン隊とともに行動をしていたが、彼女は宇宙には上らず、地球で情報収集を行っていた。

地球連邦軍

ベスパとリガ・ミリティアとの戦いに、しばしば介入。時にはウツソたちを助けてくれた連邦軍の軍人たちが。だが、ジン・ジャハナムの要請で動いた部隊はわずかで、連邦政府の大部分は時代の流れの中で崩壊していた。



ユニー・フランシス

最終戦まで生き残った唯一の初代シュラク隊のメンバー。新メンバーとともにみごとな連携を見せウツソを助ける。



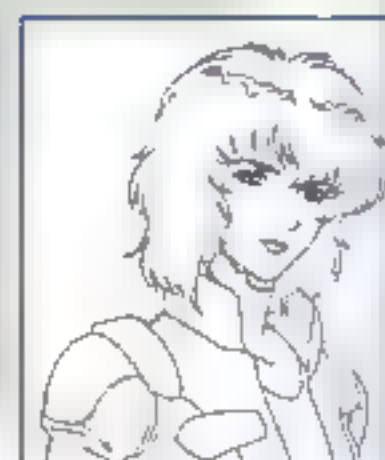
ケイト・ブッシュ

一機当りの戦士とは思えないような、幼さが残るその顔には時折寂しげな表情が浮かぶ。マストライバーを死守した。



マヘリア・メルル

その明るさと開放的な性格が魅力のグラマーな女性。アーティ・ジブラルタルでの戦闘で戦死してしまう。



ベギー・リー

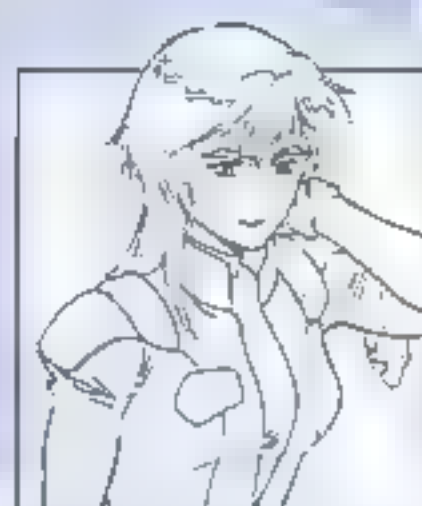
クールなまなざしの物静かな女性。ザンスカール帝国がウツソを救出させるためその命を犠牲にする。

新シュラク隊



ミリエラ・カタン

ラゲーンで補充パイロットとしてリーンホースJrに配備された。ウツソに対し手荒いながらも好意的な態度をとる。



フランチェスカ・オハラ

メンバーのほとんどが戦死したシュラク隊の補充パイロットとしてミリエラとともにやってきた女性パイロット。



ユカ・マイラス

連邦軍のバグン隊に所属していたが、カイルスキー艦との戦いで仲間を失い、シュラク隊のメンバーとなる。

モトラッド艦隊

ウッソの父により開発され、サイヤ人や宇宙の戦艦として完成された艦隊。地球クローン作戦の際に使用され、その巨大なクローンで地上を蹂躪した。艦隊司令はクロノクル・アシャーが指揮された。



クロノクル・アシャー

女王マリアの弟、シャクティの叔父にあたる人物。イエロージャケットとして、新型MS「シャッコ」のテスト中にウッソと運命的な出会いをはたす。後に、モトラッド艦隊の司令官として艦隊を率いる。

イエロージャケット

モトラッド艦隊の先鋒部隊。地上に降参したウッソと遭遇し、激しい戦闘を繰り広げる。ウッソの機動性や戦術は、彼らに大きな衝撃を与えた。



ライオール・サバト

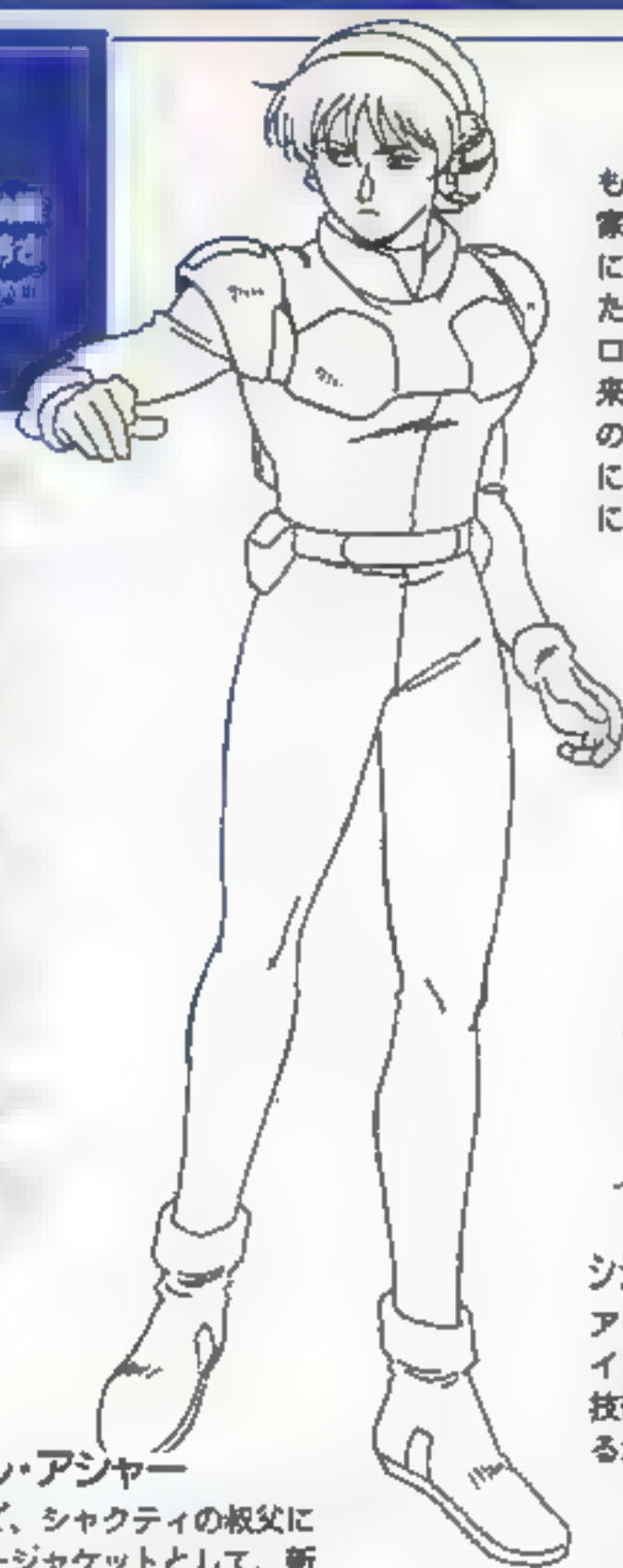
ウッソを爆撃したイエロージャケットメンバーのひとり。ウッソの乗るシャッコと戦い、戦死する。

ワタリー・ギラ

騎士道を重んじるMSパイロット。Vガンダムに敗れ、しかもそのパイロットが少年だと知り自害して果てる。

ガリー・タン

親友のサバトを殺され、復讐に執念を燃やす。単身、ゴッソーラでウッソに戦いを挑むが敗れ、捕虜となる。



カテジナ・ルース

もとはウーイグの街の商家の娘で、ウッソがひそかにあこがれていた女性だった。だが、カミオンからクロノクルに連れ去られて以来、彼の理想に共鳴し、MSのパイロットとしてベスバに加わり、ウッソたちの前に立ちふさがる。

ドッカー・イク

地球をバイク乗りの楽園にしたい、との夢を抱き、モトラッド艦の完成に向けて精力的に作戦を進めていた。指揮官としても優秀でクロノクルの下でリシテア艦を指揮する。



シジリー・フィッツイーネ
アインラッドを改造し、ツインラッドをつくった女性技術者。みずから出撃するが、戦死してしまう。



レンダ・デ・パロマ

ドッカー・イクの忠実な部下で、彼のバイク乗りとしての情熱に深い感銘を受け同行している。



アルビオ・ビビニーテン

クロノクルの士官学校時代の先輩で、彼に対して友好的な態度で接し深い信頼を得ていた。後にクロノクルの部下としてモトラッド艦隊の作戦参謀に就く。

ビビニーテン隊

クロノクルが地球に降参した際に、各地に派兵したMS部隊。ウッソの機動性や戦術は、彼らに大きな衝撃を与えた。



ルベ・シノ

ウッソを執拗に付け狙う凄腕の女性パイロット。上官であるビビニーテンを手玉に取っているふしがある。



アジス・バギ

ルベ・シノの部下で、上官の彼女の能力を認めている。ウッソのV2ガンダムの前に敗れ去る。



ブロッホ

超大型モビルアーマー「ドッグーラ」に乗るベテランのパイロット。ウッソやシラク隊を苦しめた。



ゴス・パール

ビビニーテンの命令でミューラを人質に取って戦うが、ミューラとともにリシテア艦に潰され戦死する。

ガッタール隊

モトラッド艦隊の先鋒部隊。地上に降参したウッソと遭遇し、激しい戦闘を繰り広げる。ウッソの機動性や戦術は、彼らに大きな衝撃を与えた。



フビライ・ゴヤ

マケドニアの軍人。ザンスカール帝国からは独立しているにもかかわらず、マケドニアが軽視されている事実、帝国には逆らえない現状を不満に思っている。



ズブロック・シモネフ

ザンスカール本国のコロニー公社の人間。みずから改造したモビルワーカー・サンドージュを売り込もうとベスバに協力。ウッソの乗るVガンダムに戦いを挑む。

コロニー公社

スペースコロニーの運営や管理を行なっている組織で、地球連邦政府とは不即不離の関係を保っている。引越公社同様中立的な立場にあるのだが……



マンデラ・スーン

アーティ・ジブラタルの引越公社のマネージャー。ハンゲルグやミューラとも知り合っていて、ウッソにミューラから預かったシャトルのチケットを渡す。



フサーク

ジニスとは逆に、ベスバに協力した公社のパイロット。クロノクルとカテジナ、そしてファラを宇宙に上げた。



ジニス・キッキ

シャトルジャックを襲い、リガ・ミリティアに協力した引越公社のパイロット。人のよさそうな穏やかな男。

宇宙引越公社

地球の遺産を宇宙に移送することを目的とした組織で、リガ・ミリティアとザンスカール帝国ともに中立的な立場を取っている。かつてウッソの父、ハンゲルグが所属した組織でもある。

マケドニア軍

マケドニアはザンスカール帝国と同じサイド2にある小国で、マリア主義には賛成しているものの、ギロチンを使う帝国のやり方には反対している。

ザンスカール本国



マリア・ピア・アーモニア

ザンスカール帝国の女王。だが、実質的な権限はもっておらず、帝国の象徴として力加チに利用されているに過ぎない。それでも人々を導く超自然的な力は本物で、シャクティもその力を受け継いでいる

マリアの近衛師団

エンジェル・ハイロウの空域を警備する部隊で、近衛師団用にカスタムしたリグ・シャッコーに乗る。サイキッカーたちのエンジェル・ハイロウへの移送も行っている

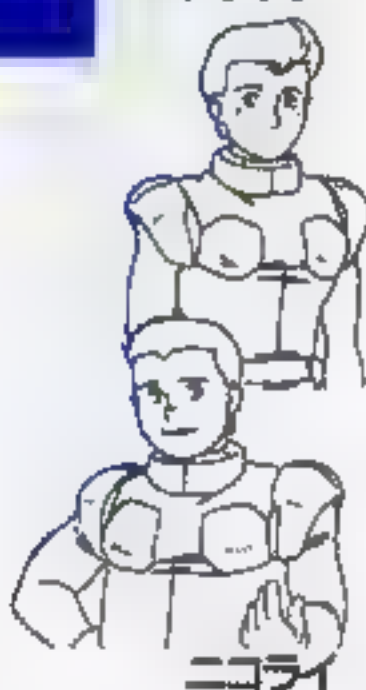


キスハール・バグワット
カリンガの上官。大組にもウツたちの目の前でカリンガにプロポーズをする。無骨だが優しい心をもつ



カリンガ・ヴォーゲル
ウツたちに捕らえられたキスハールを救出に向かうが、誤解からキスハールと戦う結果となってしまう

バトリック



ニコライ

ノミズ・セータ
バトリックたちの先輩。ウツたちとの戦いでシノーペ艦に乗り、不慣れた学徒兵たちに指示を与える

学徒兵たち

ザンスカール本国を守る若い兵士たち。ウツとの戦いが初めての戦いらしく高性能MS、シャイターンに乗りながらもダミーバールンに翻弄され、まったく歯が立たなかった

ザンスカール本国の防衛隊

ベスバは前線に戦力を置いており、本国の防衛には学徒兵を採用している。そのため、ウツたちは戦艦のMSを軽くあしらひ、コロニーに侵入することができた



フォンセ・カガチ

ガチ党の党首で、ザンスカール帝国の真の支配者。エンジェル・ハイロウを用いて地球上の人類の選行化を謀る。その人生の大半を木星船団の内部で過ごした

ラゲーン基地

もともとあった飛行場の施設を利用したベスバの秘密基地。地球防衛隊におけるヨーロッパの基地。先遣部隊であるイエロージャケツが駐留しており、その性質上戦艦MSが多数配備されている



メツチェ・ルーベンス
ファラの忠実かつ優秀な部下で、みづからの命を使いファラを救う。MA「リカール」を操縦していた

ゲトル・デブレ
ラゲーンの前司令。ファラがタシロの腹心の部下であるのに対し、彼はムッターマ・ズガン派に属する

マチス・ワーカー

休戦協定が結ばれたにもかかわらず、カサレリアに属して来たウツたちに対して攻撃を仕かける

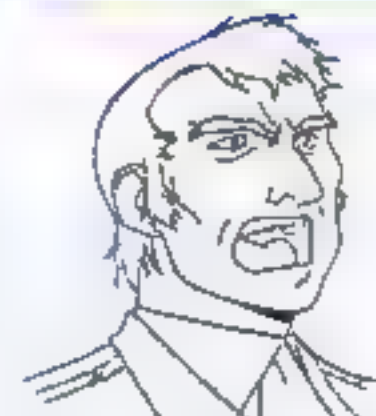


ファラ・グリフォン

ラゲーン基地司令であったが、度重なる失敗のためにタシロにより宇宙漂流刑に処せられた。だがそれはタシロが偽装したもので、ひそかに助けられたファラはパイロットとして再びタシロの下で働く

タシロ艦隊

アマルテア宇宙船でシノーペ艦隊と戦った主力艦としてカリスト艦隊を配備したエンジェル・ハイロウの艦隊。司令にカイラスギリー艦隊を率いたタシロヴァゴが就いている



ゴッドワルド・ハイン
宇宙の虎の異名をもつエースパイロット。戦いの中で戦士としての生きざまをウツに見せつける



キル・タンドン
パイロットとしてファラに見込まれ、ザンネックとともに出陣するが、彼女の作戦を失敗させ射殺される



タシロ・ヴァゴ

地球防衛隊の総司令官だったが、カイラスギリー作戦の失敗を問われてキロチンにかけられそうになる。のちに、カガチの計らいでエンジェル・ハイロウの艦隊に就くが...

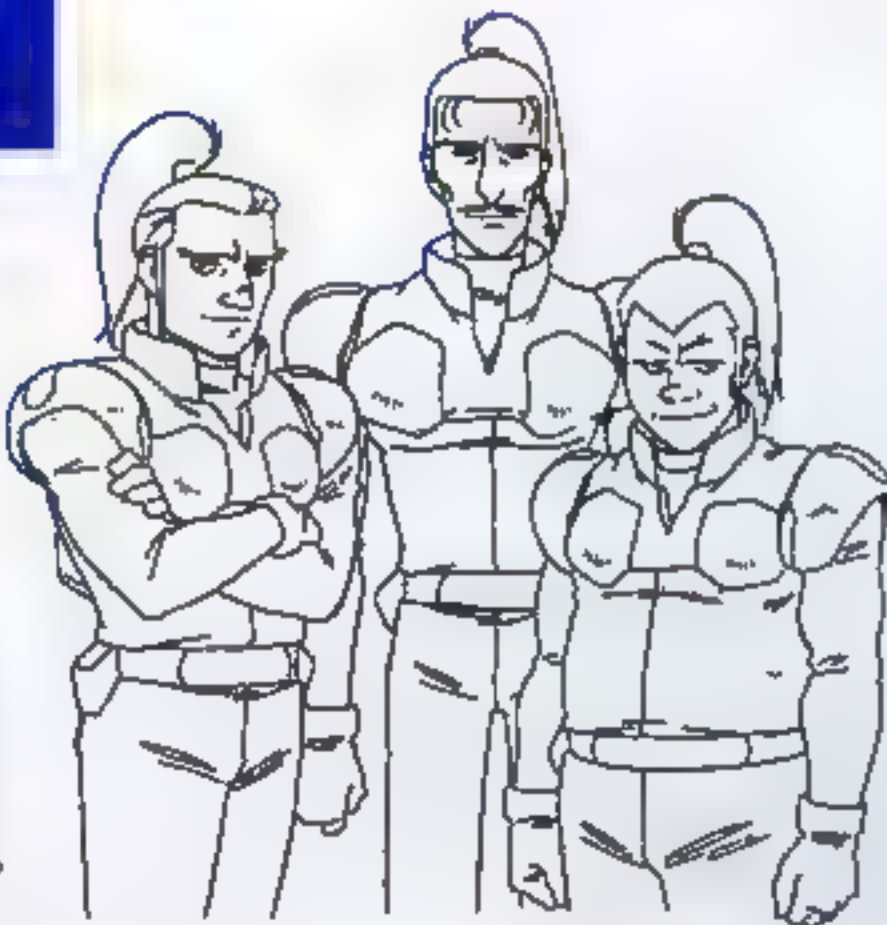
ムッターマ艦隊

ムッターマ・ズガンが指揮するザンスカール帝国の主力艦隊。連年軍の加勢により増大したリガ・ミリティアの艦隊からエンジェル・ハイロウを守るための前線に展開する

ムッターマ・ズガン

カガチの盟友で帝国の主力艦隊を率いる艦隊司令でもある。タシロのカイラスギリー作戦と並行して行っていた両面作戦が、カイラスギリー艦隊により失敗に終わる

トツリ・アーエスと部下たち
エンジェル・ハイロウの影響を測定するためにゾロアットで出陣するが、エンジェル・ハイロウの幻覚に苦しむウツと戦いになる。左の男が隊長のトツリ・アーエス



シノーペ艦のクルー

ハイランドの子供たちを人質とし、連行する任務についた彼ら。その途中でウツたちリガ・ミリティアのシャトルと遭遇し、連行しようとするが逆に艦を奪われてしまう



ハズ・カイク
シノーペの艦長。子供たちを気遣う優しい軍人。帝国のギロチンを使うやり方には疑問を感じている



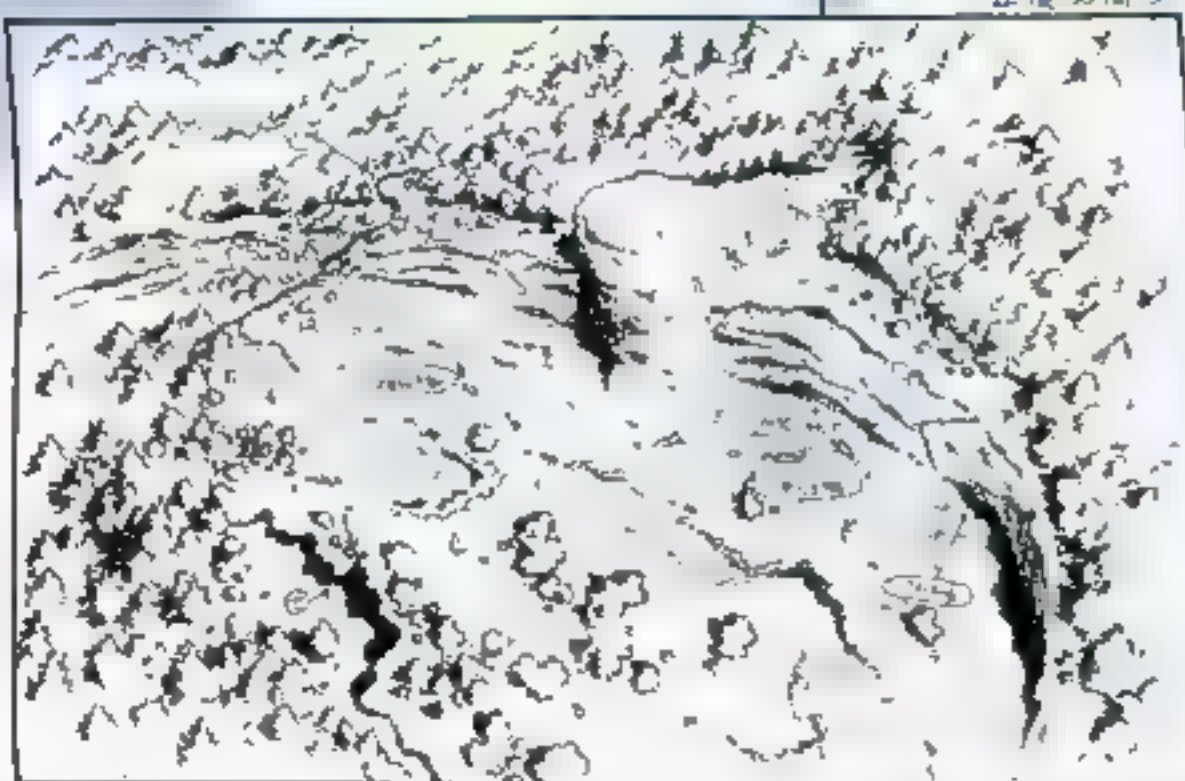
アーネスト・リゲル
ハズ・カイクとは対照的ないかつい軍人で、脱出しようとするウツたちに銃口を向ける

FILE
001

KASARERIA

ポイント・カサレリア

ウツリたち不法居住者が暮らしていた野村で、自然が豊かな土地。しかし、リガ・ミリティアのカミオン隊の通達と併せて、ウツリがイエロージャケット部隊のクロノクルからMS・シャッコーを奪ったことでベスパがこの土地に無断に訪れるようになった。両派と暮らしたこの土地が戦場となってしまい悲しむウツリだった……



山頂 方向 ↑

WOOWIG
KASARERIA

FROM SPACE



- リガ・ミリティア道路コース
- ウツリの道路コース (数字は道路の順番)
- ザンスカール軍道路コース
- ⊗BATTLE FIELD (対戦ポイント)

RA GAINE

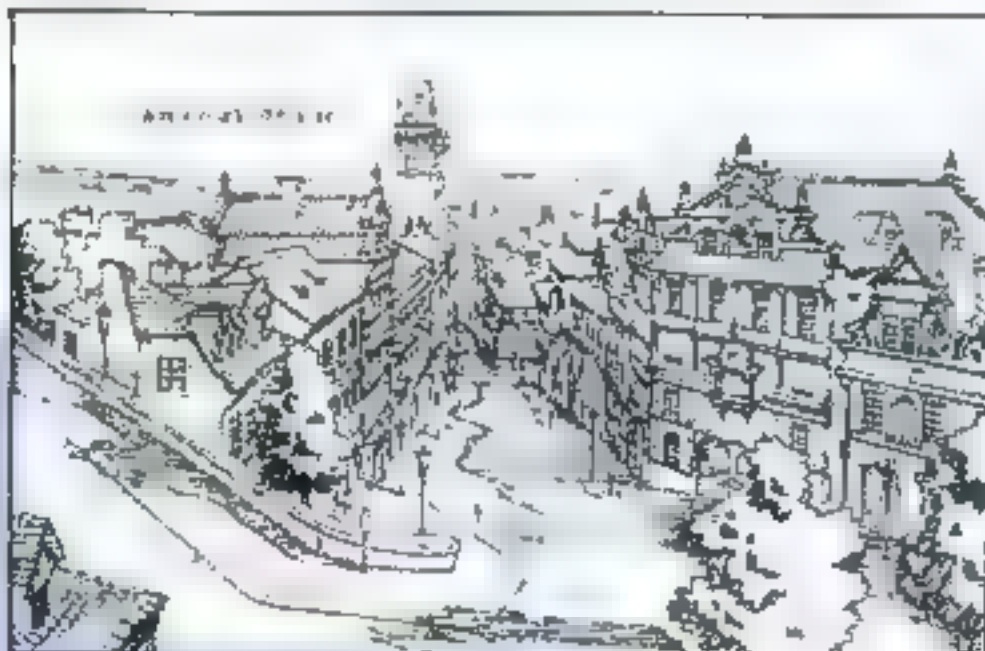
BECHYNE (DD)

FILE
002

WOOWIG

ウーイグ

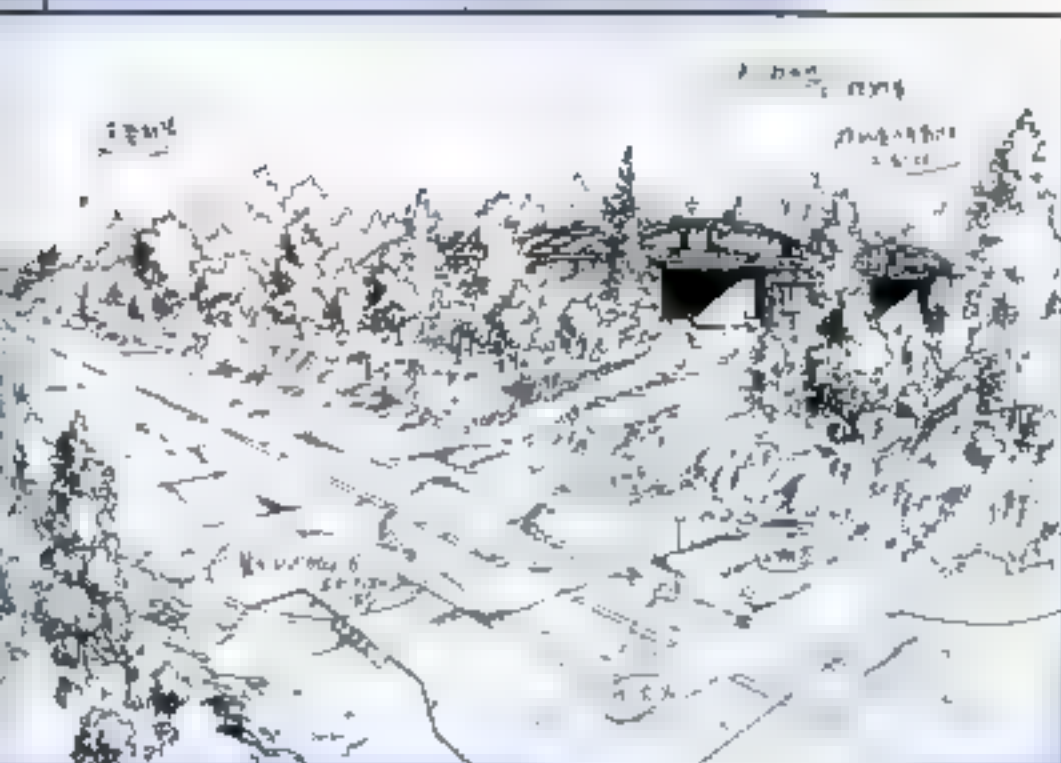
特別区と呼ばれる地球上で居住が許された人々が暮らす街。リガ・ミリティアが潜伏している、との情報を得たベスパはこの街ごと無差別に爆撃し、街を焼き払う。それを知ったウツリはそこからカテジナを救出するためにシャッコーで向かい、イエロージャケットと戦うことになる。また、その際に母親を失ったカルルマンを救う

FILE
004

BECHYNE (DD)

ベチエン

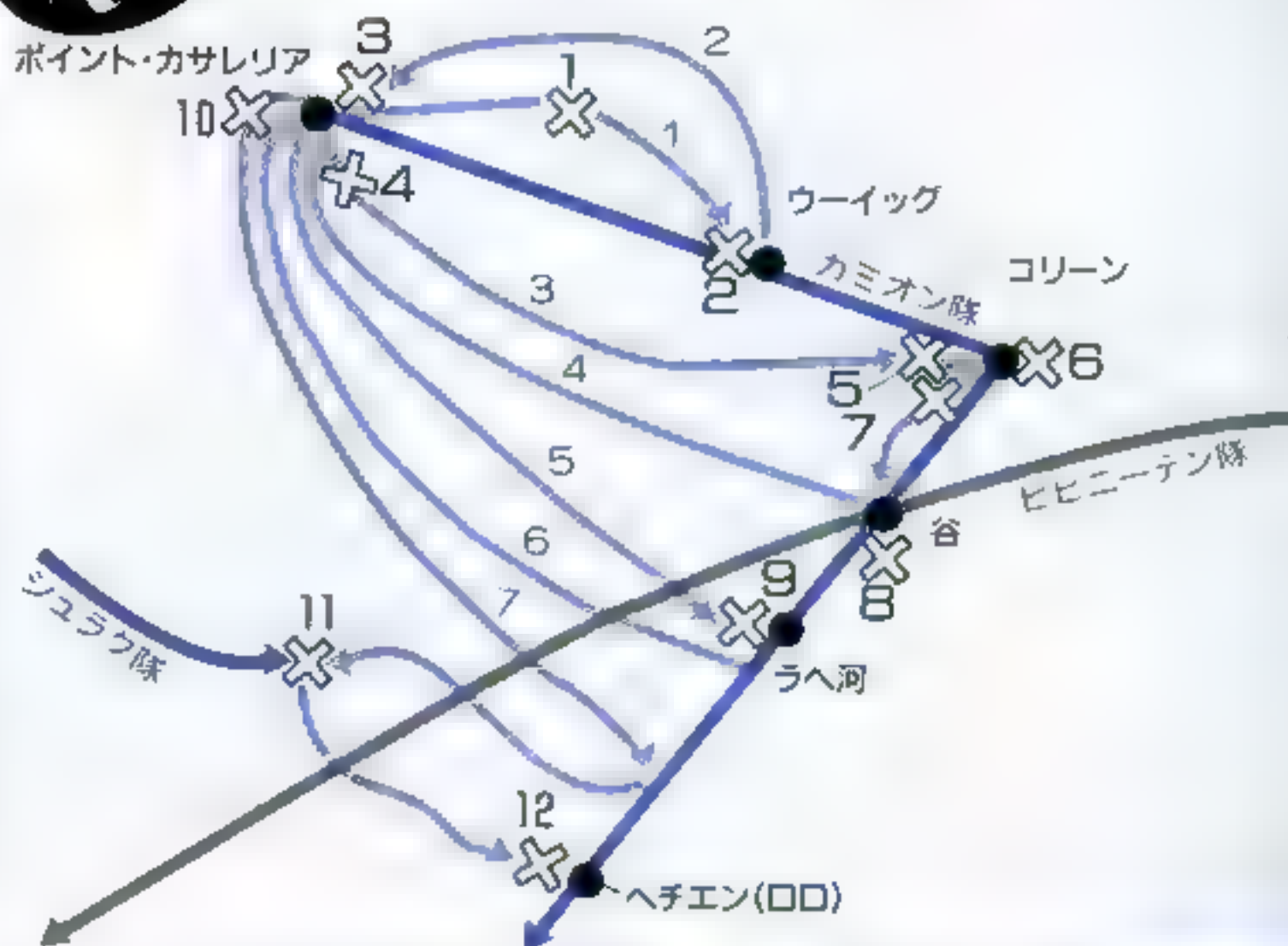
カミオン隊は飛行場跡地から輸送機を使いラゲーン基地への急襲を計画していたが、変更となりVガンダムを宇宙に運ぶためジブラルタルへ移送する。そこにビビニーデン隊と合流途中のルベ・シノ隊とドゥカー・イク率いるガッダー隊に攻撃を受けてしまう。この戦いでヘレン・シャクソンが敵MSと相打ちとなり戦死する

VICTORY GUNDAM
LOG FILE
BATTLE & MOVE
FIELD MAP

ザンスカール帝国の地球侵攻以来、地球、宇宙、サイド2と次々と戦台を移して行なわれてきたリガ・ミリティアとベスパの戦い。ここではそれぞれの歩んだ軌跡と、ウツリたちが立ち寄った土地、戦場となった場所を地図上に表わしピックアップしてみた。

CLOSE
UP!

KASARERIA→BECHYNE

FILE
003

KOLIN

コリン

リガ・ミリティアはこの廃工場の施設を利用し、Vガンダムの生産を行っていた。だが、クロノクルの諜報活動によりこの場所をガリー・タンの乗るゴッソーラに発見され攻撃を受ける。その戦いに於いてクロノクルにより、オイ伯爵とカテジナが拉致されてしまう



PART 1

EARTH 1

ポイント・カサレリア →アーティ・ジブラルタル(1~15)

ウツソの旅立ち……戦いの始まり

偶然にもベスパとリガ・ミリティアとの戦争に巻き込まれてしまったウツソは、行方不明の両親を捜すためにカミオン隊と行動をともにする。ベスパのラゲーン基地急襲が変更となり、カミオン隊はVガンダムを宇宙に運ぶためジブラルタルへと向かうが、次々と襲ってくるベスパのMS部隊の前に苦戦を強いられる。ウツソは戦争は怖いものとも知ながらも、周囲の人々に自分が必要とされている現実ゆえ、やむなくVガンダムに乗り応戦。そして多くの仲間たちの犠牲に助けられながらウツソは宇宙へと上っていくのだった。

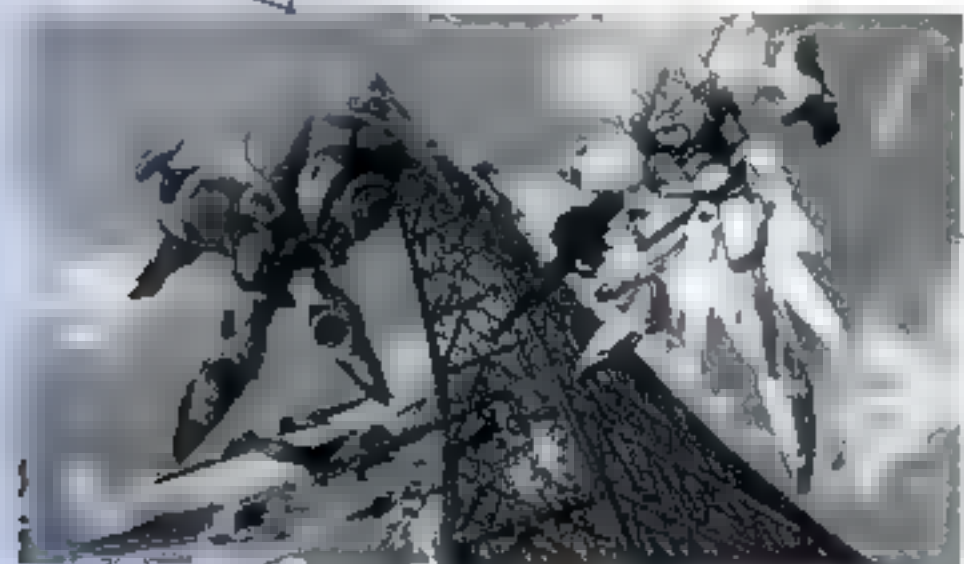
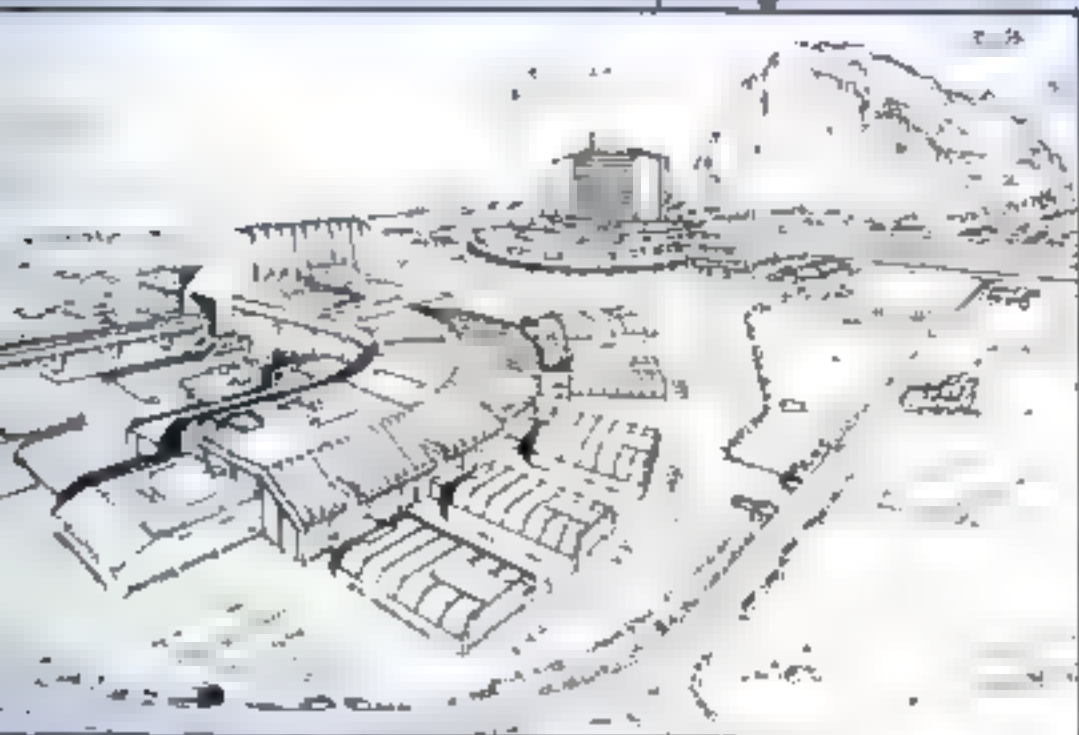


FILE 007

GIBRALTAR

アーティ・ジブラルタル

宇宙への玄関口、宇宙引越し公社は地上の遺産を宇宙に運ぶ絶対中立組織でシャトルを宇宙に上げるマストライパーを有する。このマストライパーを巡ってリガ・ミリティアとベスパが激しく激突し、その中でウツソはハルセロナで出会った女性がベスパの軍人だと知る。この戦闘でマヘリア・メルルとケイト・ブッシュが戦死する。



BATTLE FIELD

1. ウツソ(シャッコ) vs ガリー(ゾロ)
2. ウツソ(シャッコ) vs サバト(ゾロ)
3. ウツソ(シャッコ) vs サバト & ジム(ゾロ)
4. ウツソ(シャッコ) vs サバト隊 & クロノクル(ゾロ)
5. ウツソ(Vガンダム) vs クロノクル(ゾロ)
6. ウツソ(Vガンダム) vs カリ (ゴッソーラ)
7. ウツソ(Vガンダム) vs フタリー(ゾロ)
8. カミオン隊 vs ガッダール隊 & ルベ・シノ隊(トムリアット)
9. ウツソ(Vガンダム) vs ビビニーデン隊(トムリアット)
10. ウツソ(Vガンダム) vs クロノクル(ゾロ) etc
11. ウツソ(Vガンダム) & シュラク隊 vs デブレ隊(トムリアット)
12. カミオン隊 vs ガッダール隊 & ルベ・シノ隊(トムリアット)
13. ウツソ(Vガンダム) etc vs トムリアット隊
14. ウツソ(Vガンダム) etc vs ファラ(リカール) & トムリアット部隊
15. ウツソ(Vガンダム) etc vs クワン・リー(メットーザ) etc

BESPA'S BASE

+13
BARCELONA

FILE 006

BARCELONA

バルセロナ近郊の港町

FOR
SPACE

GIBRALTAR

15

輸送船より先行したウツソが立ち寄った街で、ロブ老人とは郊外の森にトップファイターを隠した際に出会った。また、偵察と称して抜け出してきたオデロたちと合流し、皮肉にもラゲーン基地の司令官であるファラ・グリフォンとお互いの立場を知らぬまま出会う。

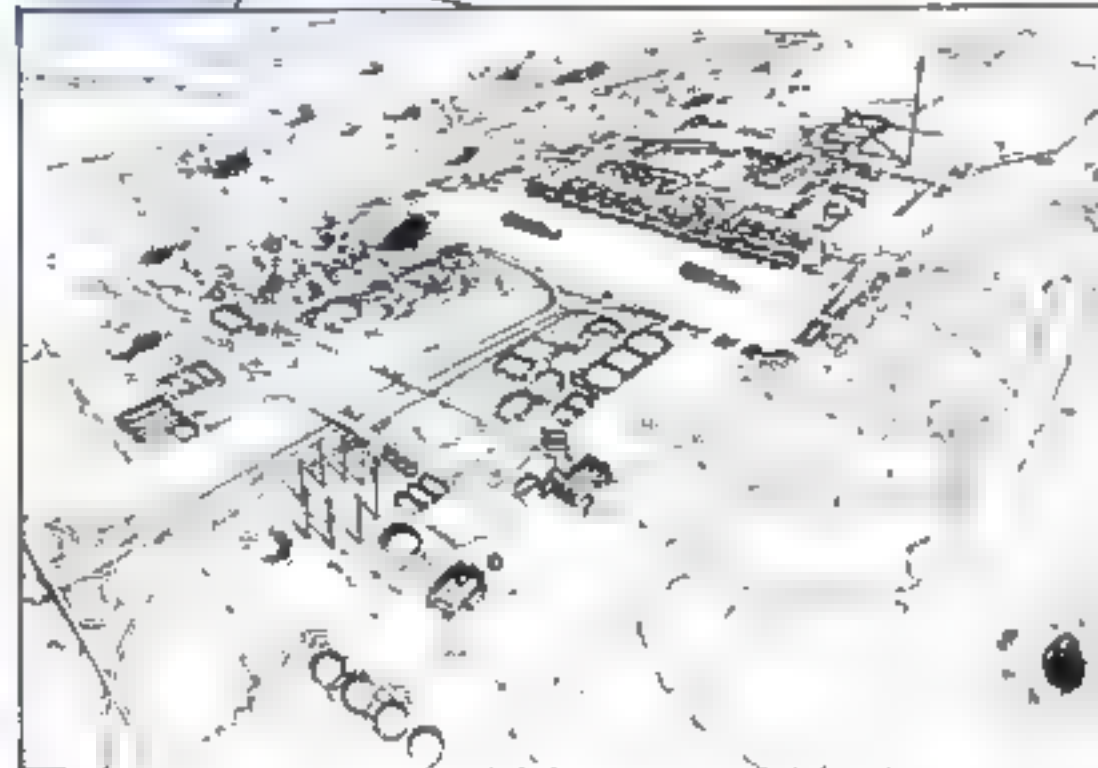


FILE 005

RA GAINE

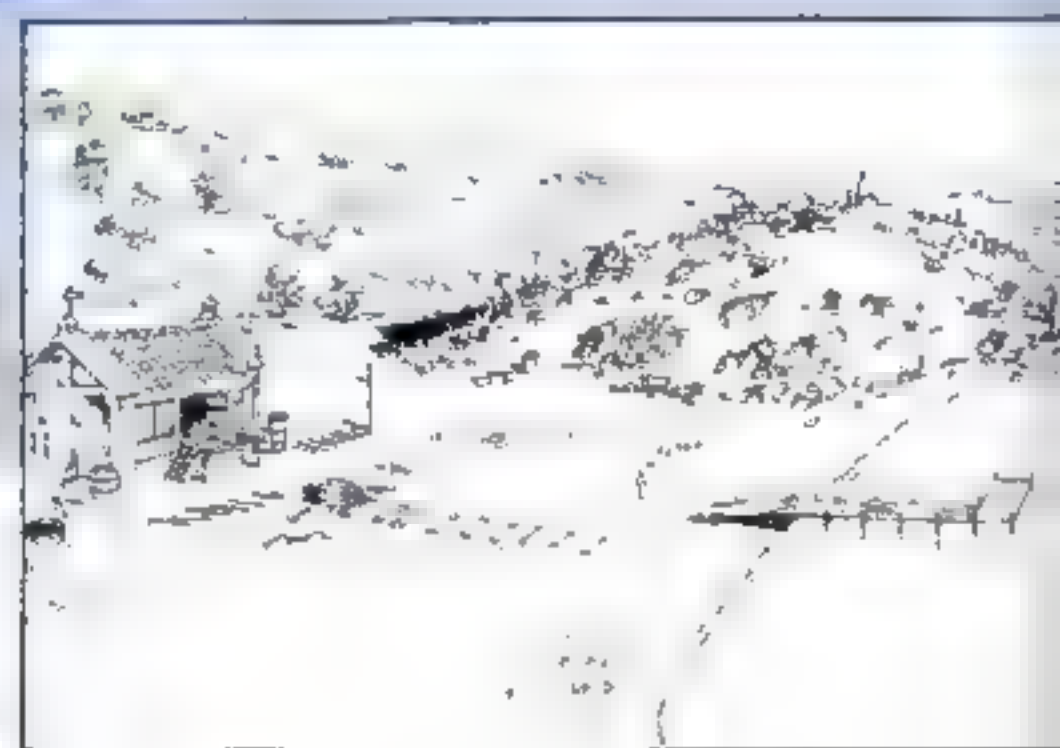
ラゲーン

ベスパの地球侵略作戦におけるヨーロッパの拠点基地。もともとあった国際線の飛行場をそのまま利用しており、イエロージャグレット部隊やカッダール隊、ビビニーデン隊が駐留していた。後半、停戦協定が結ばれ武装解除をされる前に抜け出したマテス・ワーカー率いるゾロ部隊がカサレリア付近に潜伏する。



EUROPE

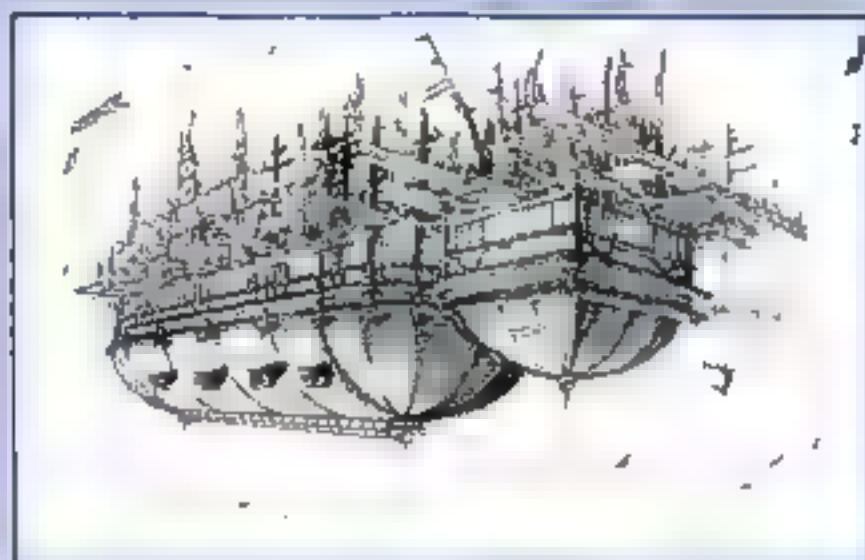
ファラ & トムリアット部隊



地球 → ラビアンローズIV(15~21)

新たな舞台、戦いは宇宙へ

リカ・ミリティア本隊よりひと足先に宇宙に上がったウツソたちは、人質としてベスパに拉致されそうになっていたハイランドの子供たちを助け、行動をとる。そして、ベスパの妨害に遭いながらも戦艦・リーンホースで宇宙に上がった本隊と合流する。そして彼らは、巨大な攻撃衛星・カイラスギリーを使って地球連邦政府に対し脅しをかけようとするベスパのカイラスギリー艦隊に対し、奇策を用いて戦いを挑み、これに勝利する。



スペースダストに浮かぶ家の残骸で、MS・アヒゴルが外壁にしがみつく形で置かれている。ウツソはここで漂流していたベスパのパイロット、ゴットワルト・ハインと出合った。そして彼が厳しい精神の持ち主ながら内に秘めた優しさを知り、好意を抱くのだった。だが、後に自分が彼と戦うことになるとうとはこのとき、予想だにしていなかったであろう……

LA VIE EN ROSE IV

リーンホースJr.

FOR SIDE 2

- リカ・ミリティア進路コース
- ウツソの進路コース (数字は進路の順番)
- ザンスカール軍進路コース
- 地球連邦軍進路コース
- BATTLE FIELD (戦闘ポイント)

BATTLE FIELD

1. クレ艦隊vsカイラスギリー艦隊
2. ウツソ(Vカンダム)vsハス・カイフ隊(ソロアット)
3. リーンホース&カウランランドvsクロノクル艦隊(ソロアット)
4. ウツソ(Vカンダム)etc vsシノヘ隊(ソロアット)
5. リーンホース&カウランランドvsカイラスギリー艦隊
6. ウツソ(Vカンダム)etc vsゴットワルト隊、アヒゴル
7. ウツソ(Vカンダム)vsゴットワルト隊(アヒゴル&ソロアット)

FOR S. DE 2

FROM SIDE 2

衛星軌道

PURE'S HOUSE

シャトル

ガウンランド

クロノクル艦隊

シャトル C'

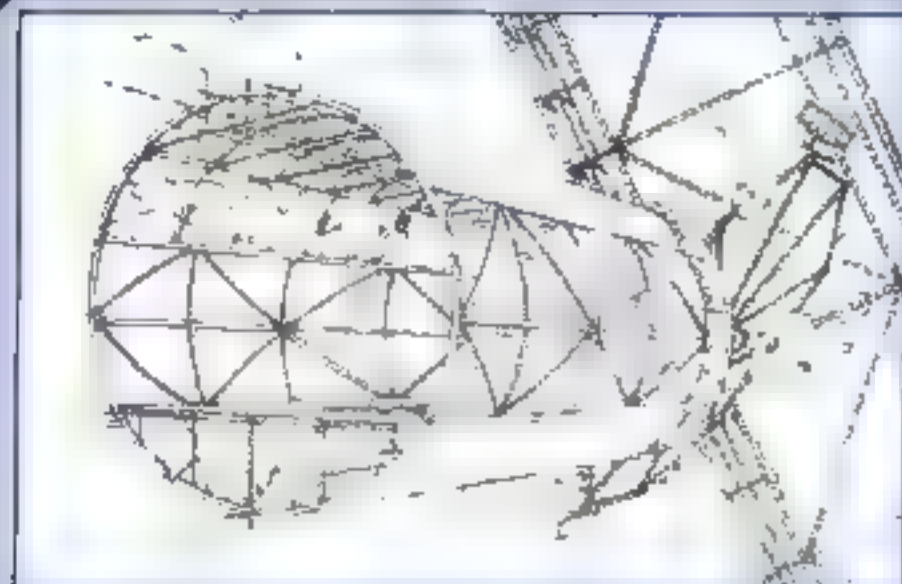
B'

A'

HILAND

ハイランド

HILAND

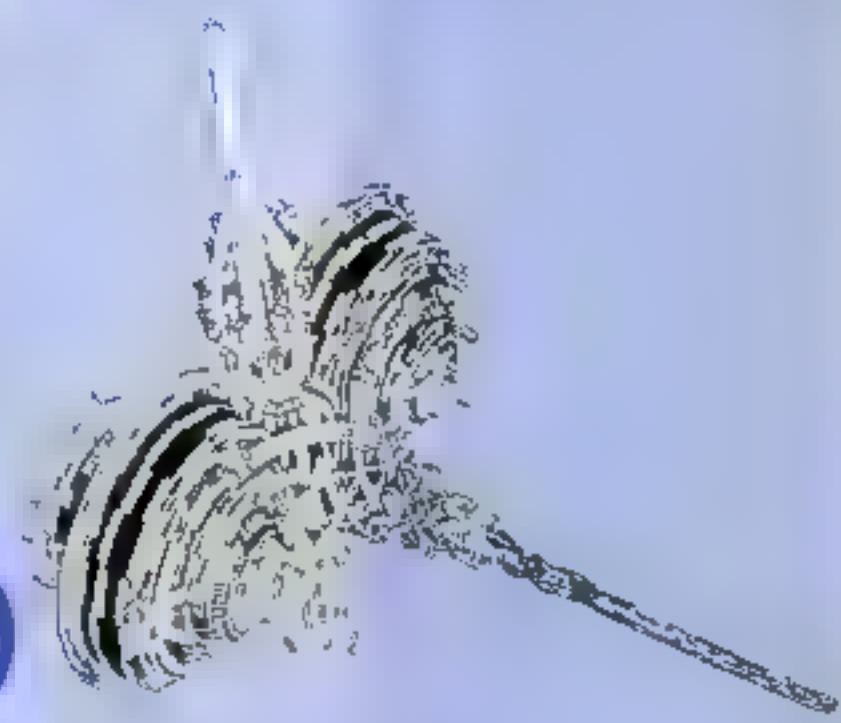


攻撃衛星であるカイラスギリーはその巨大なヒーム射出機・ビッグキャノンで衛星軌道上から直接地上を攻撃することを可能とする。ベスパはこれで地上への脅しをかけようともくろんでいたのだが、リカ・ミリティアのカウランランドを使っただけで、カイラスギリー艦隊は壊滅に追い込まれてしまった。



KEILAS-GUILIE

カイラスギリー



LA VIE EN ROSE IV

ラビアンローズIV

カイラスギリー艦隊を壊滅へと追い込んだリカ・ミリティアだが、同時に母艦であるリーンホースに修復不能なまでのダメージを負わされてしまう。そこで奪った戦艦・スクイート1を修理、改造しリカ・ミリティアの戦艦とするため、トック艦・ラビアンローズIVに接続。ここに新たなリカ・ミリティアの旗艦・リーンホースJr.が誕生した。

リーンホース

シャトル

シャトル

GIBRALTAR

EUROPE

THE NORTH POLE

A B C

PART 3

SPACE②

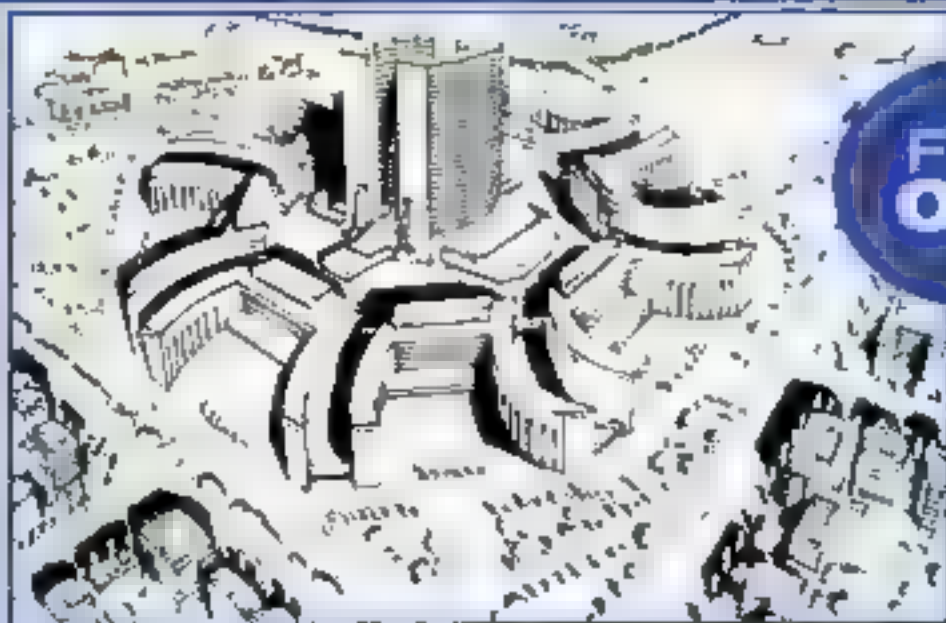
ラビアンローズIV → 地球(22~33)

新たな敵、死にゆく仲間たち

ハイランドの人々を、彼らの住んでいたサイド2のコロニーへ送るため護衛するウッソ。しかし途中でマルチナが急病となり、こともあろうにザンスカール本国コロニーへ向かうことに……。なんとか彼女を医者へ送り届けたウッソたちだが、そこにリガ・ミリティアが帝国本国に奇襲をかけてきた。ウッソたちはこれに同行し本国を脱出しようとするが、偶然本国に帰還してきたムッターマ艦隊に退路を阻まれ、ウッソたちのシノーベ艦だけが取り残されてしまう。



- リガ・ミリティア進路コース
- ウッソの進路コース(数字は進路の順番)
- ザンスカール軍進路コース
- BATTLE FIELD(対戦ポイント)



FILE 012

ZANSCARE

ザンスカール本[国]コロニー

魚の骨とアイネイアースで、サイド2のトマーシュたちが住んでいたコロニーへと向かうウッソたち。だが、マルチナの急病によりやむなくザンスカール本国コロニーに立ち寄った。そして、偶然にもリガ・ミリティアのザンスカール本国の奇襲に出くわすことに……。激しい戦いの末、ベキー・リー、シュンコ・シェンコが戦死する。

LAND FAMILY'S COLONY

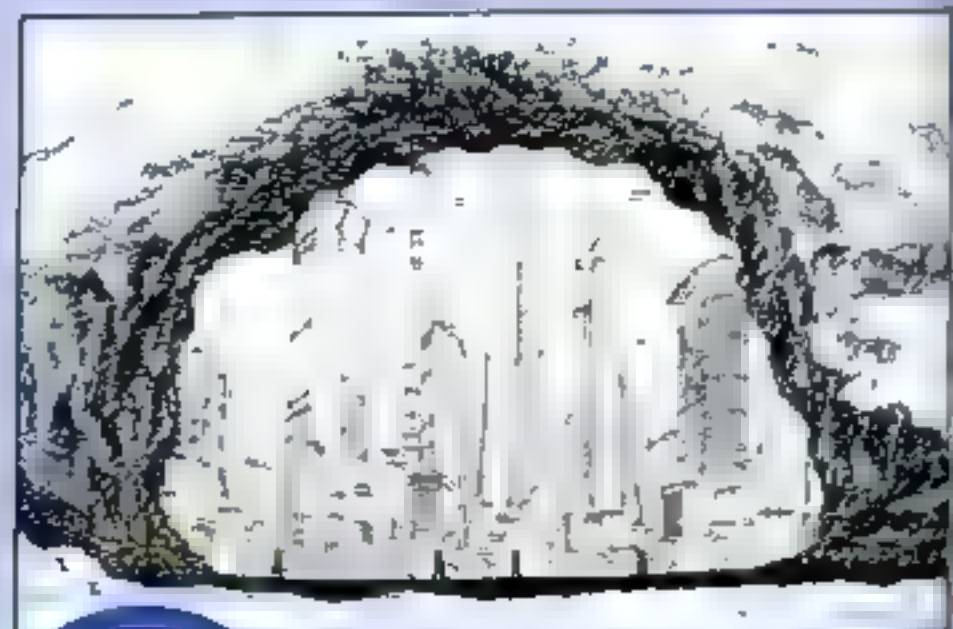
SIDE 2

MACEDONIA

ZANSCARE

MELILINN

MOON



FILE 014

St. JOSEPH

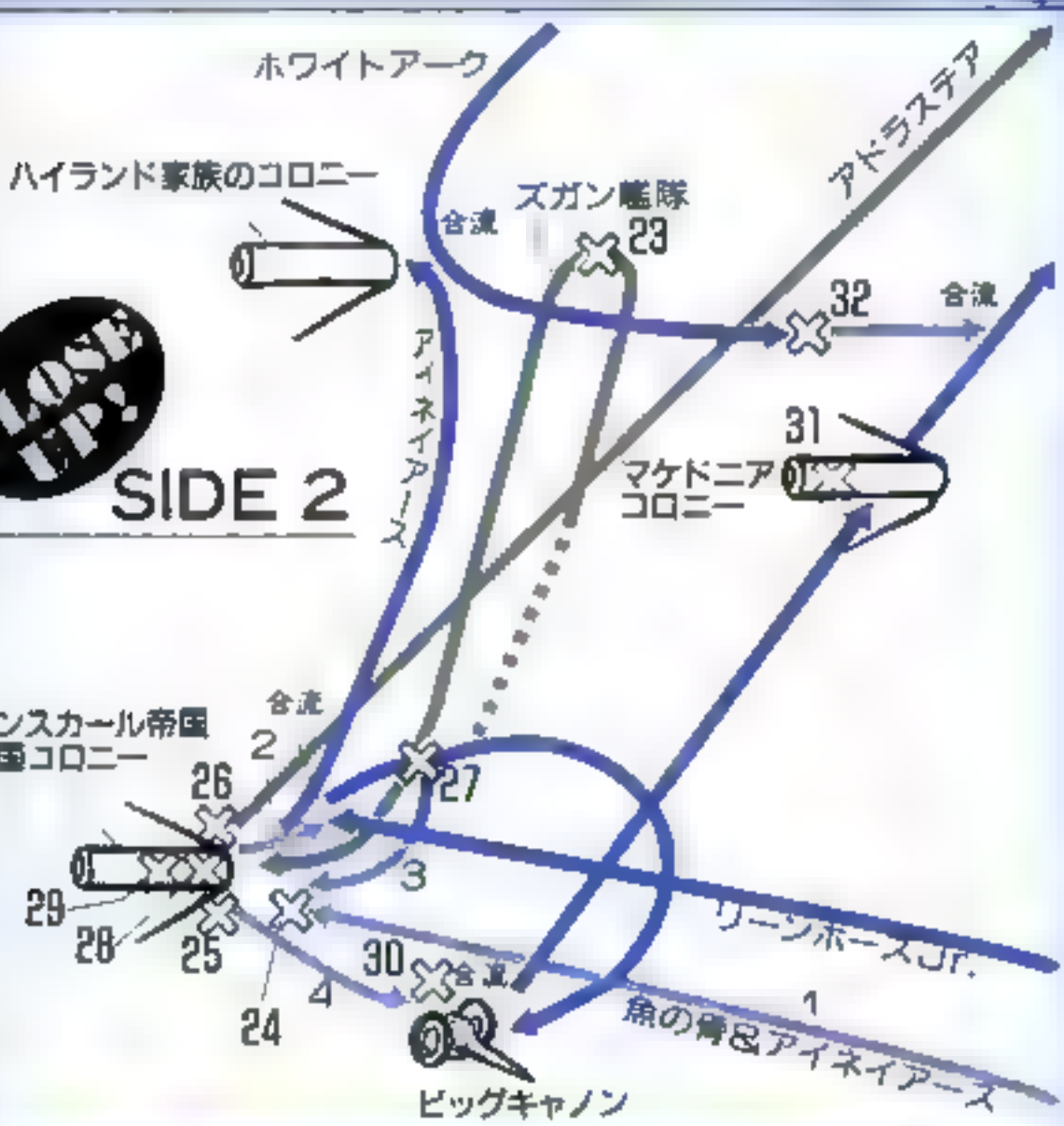
月面都市セント・ジョセフ

月面の工場から補給物資を受け取る途中ヘスバの目を欺くために月面都市セント・ジョセフに寄ったウッソたちは、任務で月に赴いていたウッソの母・ミューラと出会う。一方、月面で密かに出撃を準備していたモトラッド艦隊がついに地球へ向けて進軍を開始した。

CLOSE UP!

SIDE 2

ザンスカール帝国本国コロニー



BATTLE FIELD

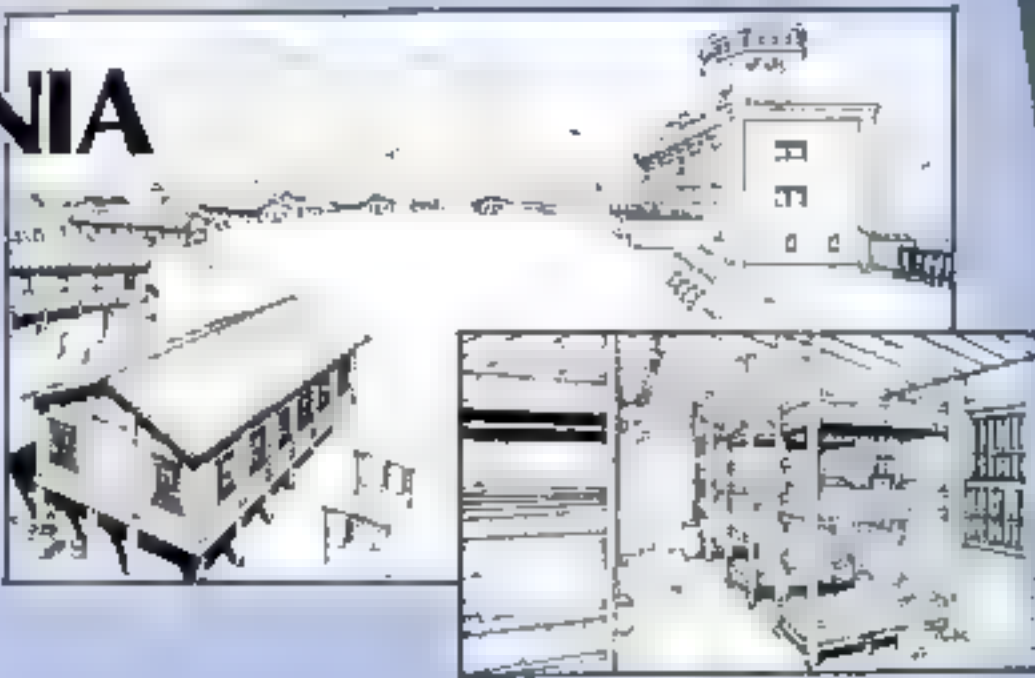
23. 地球連邦艦隊vsムッターマ・スガン艦隊
24. ウッソ(Vガンダム)etc vsザンスカール本国防衛隊
25. ウッソ(Vガンダム)vsズブロフetc (セントージュ)
26. リガ・ミリティアMS部隊vsザンスカール帝国軍MS部隊
27. リーンホースJr vsムッターマ・スガン艦隊
28. ウッソ(Vガンダム)etc vsクロノクル(コンティオ)
29. リガ・ミリティアMS部隊vsザンスカール帝国軍MS部隊
30. リーンホースJr. & ビッグキャノンvsムッターマ・スガン艦隊
31. リガ・ミリティアMS部隊vsルベ・シノ隊vsマケドニア軍
32. ウッソ(V2ガンダム)etc vsルベ・シノ隊(ゲドラフ)
33. リーンホースJr etc vsルベ・シノ隊(ゲドラフ)
34. リーンホースJr etc vsモトラッド艦隊
35. リーンホースJr. & ホワイトアークvsモトラッド艦隊
36. リガ・ミリティアMS部隊vsブロッホ(ゴージャ)etc

FILE 013

MACEDONIA

マケドニア

本国奇襲により損傷し、ムッターマ艦隊に退路を阻まれたリガ・ミリティアは帝国から独立しているコロニー・マケドニアに一時投降し、脱出の機会を待つ。そこにクロノクルの命令でシャクティを捕らえに来たルベ・シノ率いるMS部隊が急襲する。だが、この機を利用したリガ・ミリティアは収容所を脱走しこれに反撃する。



HILAND

36

THE EARTH

海底都市アンダーフック

→ラゲーン(133~40)

モトラッド艦隊の脅威

地球に降りたモトラッド艦隊を追うリガ・ミリティアは物資の補給のために海底都市アンダーフックに寄港した。そこでウツソはカテジナと再会するが、シャクティを連れ去られる結果となり、しかもそこにモトラッド艦の襲撃を受けてしまう。なんとか敵を撃退したリガ・ミリティアはそれを追撃するが、行方をくらまされてしまう。彼らがモトラッド艦隊の情報をつかんだとき、すでに「地球クリーン作戦」は開始されていた。



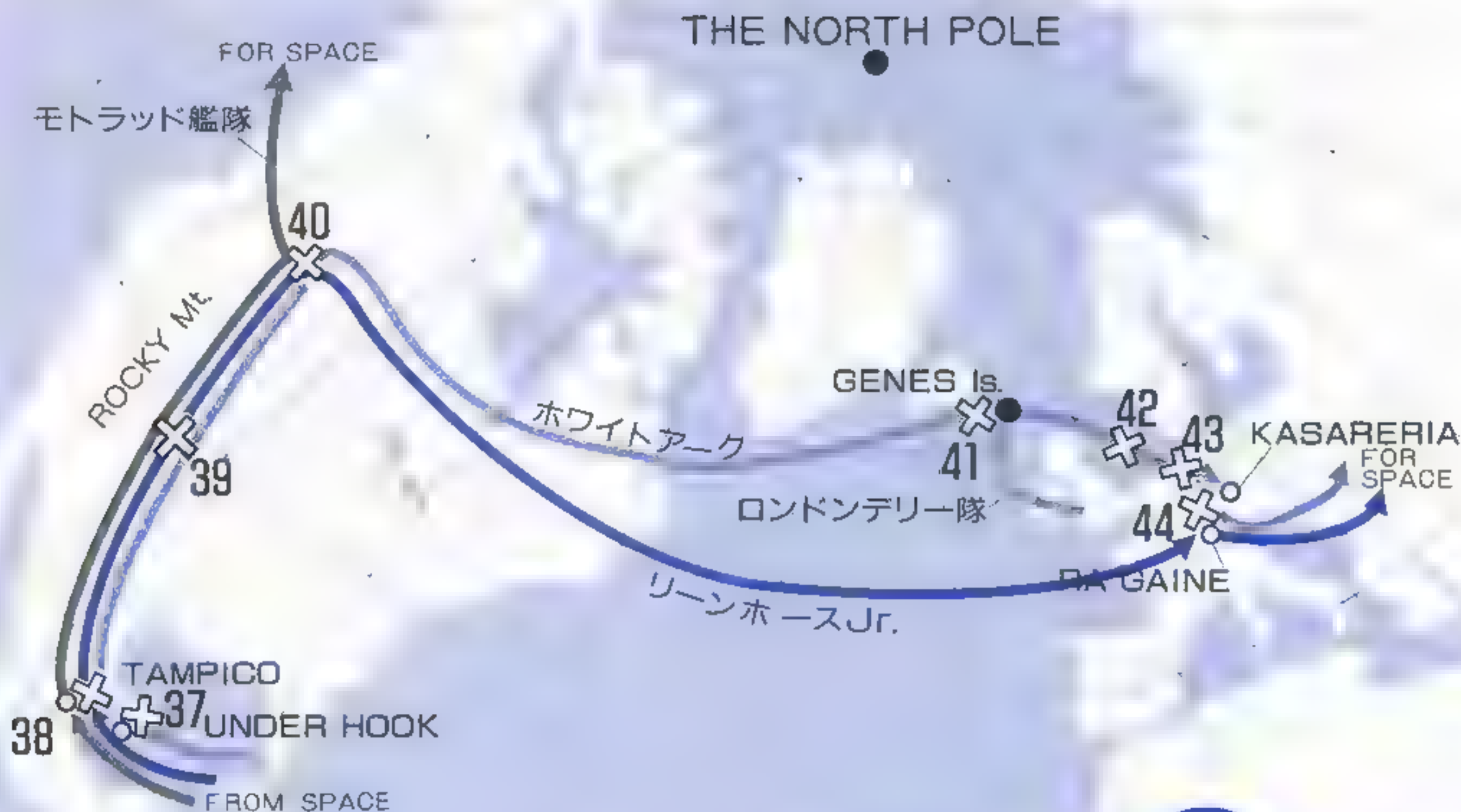
リガ・ミリティア進路コース

ウツソの進路コース

ザンスカール軍進路コース

地球連邦軍進路コース

BATTLE FIELD (戦闘ポイント)



FILE 015

UNDER HOOK

海底都市アンダーフック

地球へと降下し行方をくらませたモトラッド艦隊を追うリオンホースJrは海底都市アンダーフックに立ち寄る。だが、そこにモトラッド艦隊とルベ・シノが乗るMA・ドゥコーラが奇襲を仕掛けてきた。応戦するリガ・ミリティアをよそにウツソは、カテジナにシャクティを連れ去られてしまうのだった

FILE 016

GENES

ジュネス島

停戦協定が結ばれウツソたちは休暇をもらい、ホワイタークでカサレリアへと向かう。だがその途中、ドゥカー・イク率いるリシア艦とMS部隊が襲ってきた。応戦しながらジュネス島へと逃避するホワイタークだが、しだいに追い詰められていく。しかし、すんでのところまで連邦軍のロンドンデリー隊が応援に駆けつけ難を逃れる

BATTLE FIELD

- 37. ウツソ(V2ガンダム)etc vsルベ・シノ(トッコーフ)
- 38. リガ・ミリティアMS部隊vsモトラッド艦隊
- 39. リガ・ミリティアMS部隊vsモトラッド艦隊
- 40. リガ・ミリティアMS部隊vsモトラッド艦隊
- 41. ホワイターク隊&ロンドンデリー隊vsドゥカー・イク隊
- 42. ホワイターク隊vsドゥカー・イク隊
- 43. ホワイターク隊vsマリス・ワーカー隊(ソロ)
- 44. ホワイターク隊vsファブ(ザンネック)

FILE 017

KASARERIA

ポイント・カサレリア

カサレリアに着いたウツソたちのホワイターク。そこにマリス・ワーカー率いるベスパのソロ部隊が立ちふさがる。ウツソは敵のあまりの貧弱さについて攻撃の手を緩めぬに苦戦するはめに……。光の翼を使った戦法でそれを撃退したウツソたちはカサレリアの丘にウツソの母・ミューラや戦死した仲間、それにマリスを吊うのだった

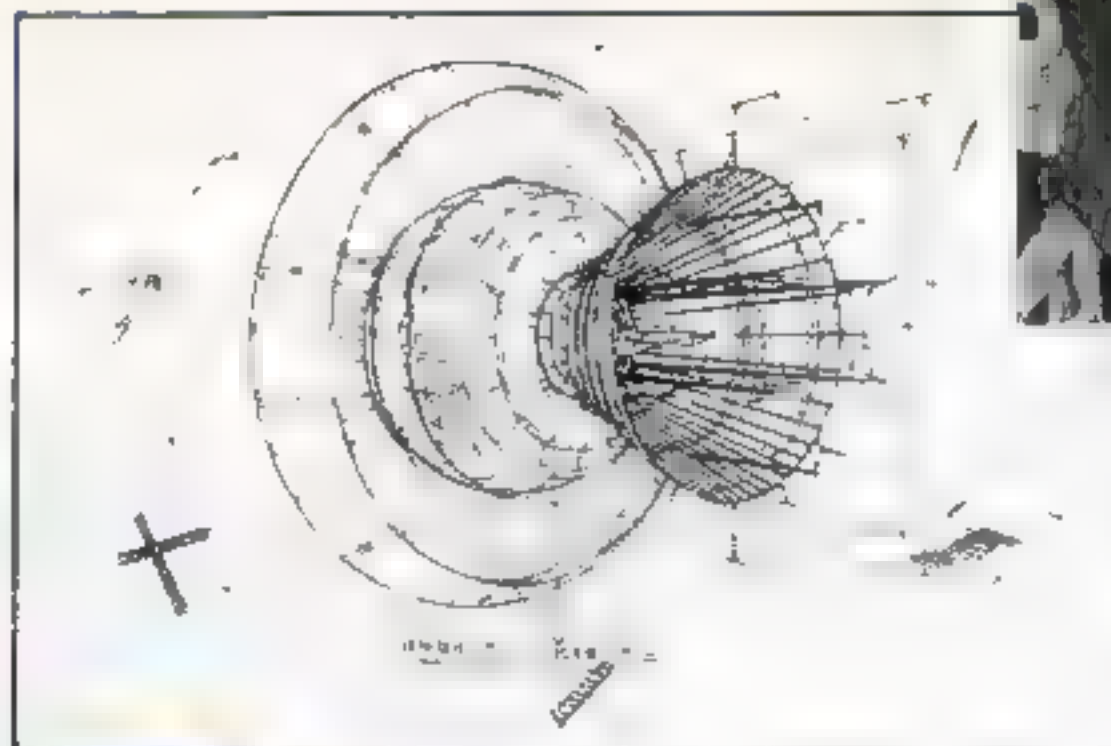
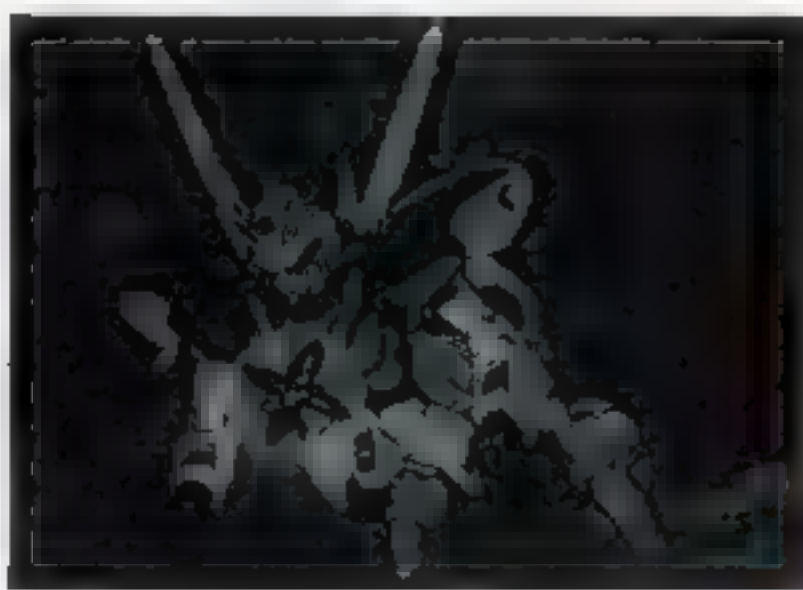
PART 5

SPACE③

地球——→エンジェル・ハイロウ周辺(40~51)

地球に降りる天使の輪

ラゲーン基地を爆撃したファラ・グリフのMS・ザンネックとベスパのMS部隊を迎撃するためホワイトアーク、リーンホースJr.はそのまま大気圏を脱出し宇宙へと出た。ベスパのMS部隊を撤退させたリガ・ミリティアはハイランドにおいて、ムバラク将軍が率いる地球連邦艦隊と合流。ウッソはそこでジン・ジャハナム=父・ハンゲルグと再会するのだった。そしてついにエンジェル・ハイロウをめぐる最後の戦いが始まる……。



FILE 018

BLUE-3

スペースコロニー「ブルー3」

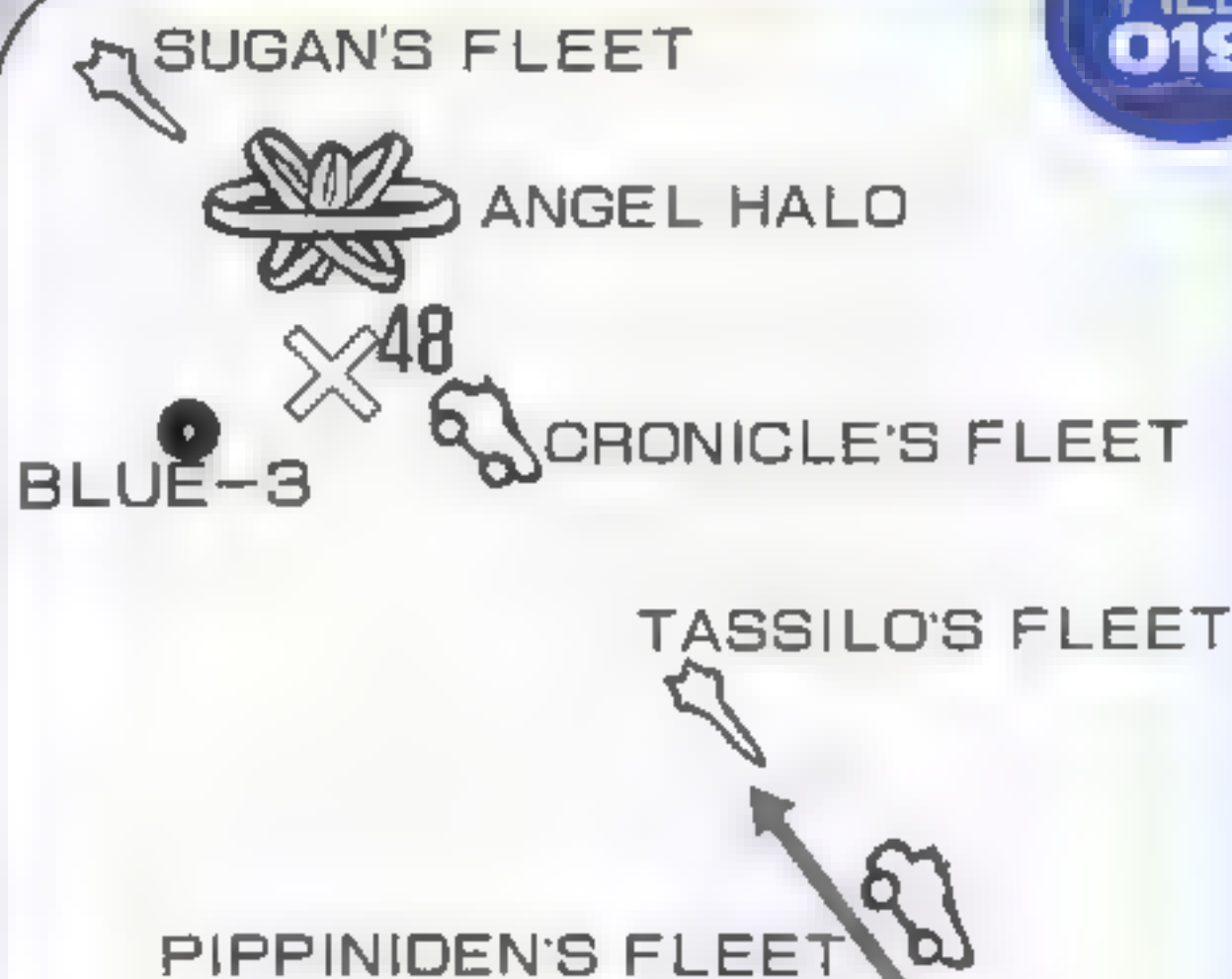
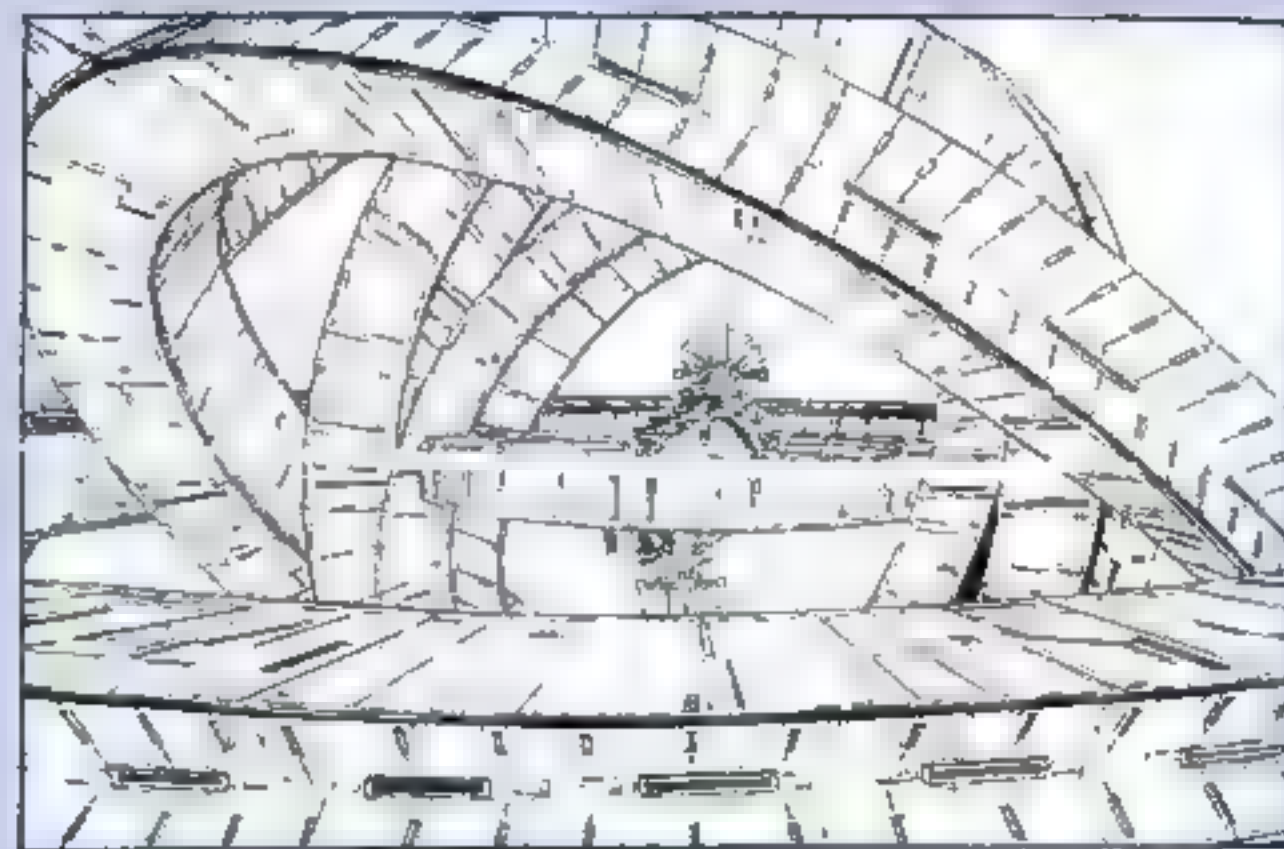
戦時中にエンジェル・ハイロウの空域に流されたホワイトアークは物資運搬船を装ってマリアの近衛師団をたらし、エンジェル・ハイロウへの玄関口、ブルー3へと運ばれる。だが、ウッソたちが潜入した事実が発覚し、近衛師団と戦いとなる。なんとかその場をしのいだウッソたち。だが、シャクティがエンジェル・ハイロウに向かうため、捕虜としたキスハールを伴いホワイトアークを抜出し、ベスパの手に落ちてしまう

FILE 019

ANGEL HALO

エンジェル・ハイロウ

カカチによって計画された、人類を遺伝子化させる恐るべき兵器。マリアはこの事実を知らされないままにこれを起動させ、地上の人々を眠りに陥れてしまう。今、ここにエンジェル・ハイロウを地上に降下させようとするベスパと、それを阻止しようとするリガ・ミリティアの最後の戦いが超高空を舞台に繰り広げられる

地球へ降下
(※ブルー3のみ不動)

CLOSE UP!

ANGEL HALO DOWN TO THE EARTH



- リガ・ミリティア連絡コース
- ウッソの連絡コース
- ザンスカール軍連絡コース
- 地球連邦軍連絡コース
- BATTLE FIELD (対戦ポイント)

BATTLE FIELD

- 45. リガ・ミリティアMS部隊vsファラ(ザンネック)etc
- 46. リガ・ミリティア連合艦隊vsビビニーデン艦隊
- 47. リガ・ミリティア連合艦隊vsヒビニーデン艦隊
- 48. ホワイトアーク隊vs近衛師団(リガ・シャクティ)etc
- 49. ホワイトアーク隊vsトッソ(ゾロメット)
- 50. リガ・ミリティア連合艦隊vsタシロ艦隊
- 51. リガ・ミリティア連合艦隊vsタシロ艦隊
- 52. リンホースJr. vsクロノクル艦隊
- 53. ウッソ(V2アサルト)vsクロノクル(リガ・コンティオ)
- 54. ジャンヌ・ダルクvsムッターマ・ズガン艦隊
- 55. オデロ(ガン・ブラスター)etc. vsカテジナ(ゴトラタン)
- 56. ウッソ(V2アサルト)vsカテジナ(ゴトラタン)

ジャンヌ・ダルク&地球連邦艦隊

リーンホースJr.

ホワイトアーク

HILAND

ZANNECK

RA GAINE

THE EARTH

MSが宇宙を駆ける、宇宙世紀の世界。そこにひそんでいる、種々雑多なキーワード。そのことばたちを通してみると、あらたなる「Vガンダム」の世界が広がっていく。画面を見ているだけではよくわからない「ガンダムワールド」の設定を解説しよう。項目下の数字は登場話数。

MSの姿勢を制御するため、機体の各所に設けられている小型のバーアデ、主に機体の運動性に影響を与える。一般にこれを多く装備しているMS・モビルアーマー（以下MA）ほど機動性が高いといえる。（以下の項参照「スラスター」）

戦間後や、宇宙開発時に発生した「ゴミ」など、いわゆるスヘー・ステブリが比較的にまとまり、軌道を遷移している宙域を一般にどう呼ぶ。スヘー・スタストともいう。

東欧のラゲン基地を本拠地に、地球侵略作戦の先鋒として駐留していた部隊地上用MSの試験、開発を兼ねて任務していた。クロノクルが所属していた部隊でもある。(以下の項参照…ヘスハ)

F91など採用された、MS用大型ビーム兵器のこと。高速で貫通力の強いビームから、低速で破壊力の強いビームまで撃ち分けることを可能とした、多目的ビーム兵器である。

地球の環境破壊にともない、宇宙移民計画の進行および、宇宙移民の財産を宇宙に運搬する業務を行なうために設立された半官半民の組織。

へスバ内で行なわれる刑罰のひとつ。
軍事法廷によつて裁定を下された受刑者
は約一週間の酸欠ボンヘと食料を廢さ

に救助された者の刑は白紙に戻されるが
発狂する前に自殺し、帰る者が少ないの
がこの刑罰の実態である。

ザンスカール帝国の最終兵器。一種の精神コントロール、脳波コントロールをするサイコミュとてもいうもの。女王マリアを中核とし、多数の純粋なマリア信者の思念を増幅、放射することにより、人々の脳に直接影響を与えうる。マリア主義に基づき、地球に安息をもたらすのが目的、とされていた

女王マリアのためなら死すら恐れない近衛師団。しかし、実際は九力チ直属の部隊である。ザンスカールにあつては珍しいベス・ハと異なる軍事組織で、エンジェル・ハイロウ周辺の警備を任務としていた。(以下の項参照：エンジェル・ハイロウ)

たとえば、地球連邦軍における軍組織の階級は、以下のようになっていると考えられる。すなわち、下から兵卒（二等兵、一等兵）、下士官（伍長、軍曹、曹長、准尉）、士官（少尉、中尉、大尉、少佐、中佐、大佐）、准将、少将、中将、大將、元帥。また、艦隊指令は提督、陸上部隊の指令官は將軍と呼ぶのが普通であるが、MS関係については若干の混乱が見られるようだ。なお、リ・方・ミリティアは軍組織ではなく、運動組織であるため、階級は存在しない。

カイルスギリー は 23
専用のビッグキャノンと、2基の大型
メカ粒子加速器で構成される宇宙衛星要

ミノフスキー物理学の成果、１フィート以上の強電界がその実用化の基礎となった。宇宙艦、MSなどの動力源として広く用いられる。ここで発生した熱量が、ジェネレーターとバーニアに振り分けて使用されている。バーニア(スラスタ、アポジモーター)ではこの高熱で気化、膨張した推進剤の噴射を行なう。この出力の比率は設計時に設定されており、そのままMSの個性となっている。(以下の項参照…ジェネレーター)

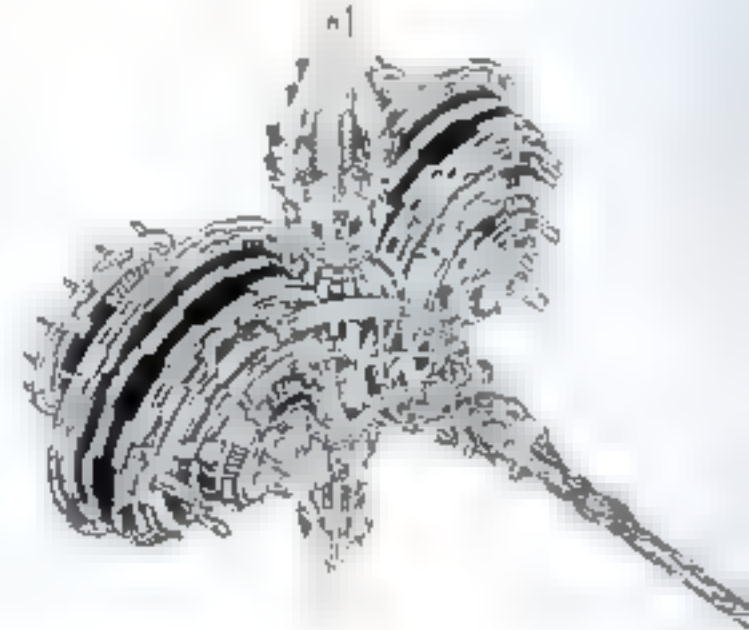
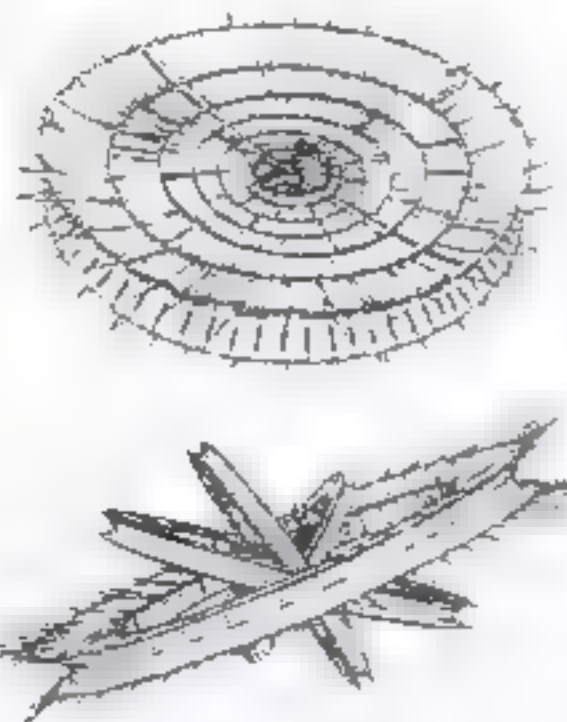
フオンセ・カチが率いるサンスカール帝国の政權与党。帝国の実質的な指導部でもある。マリア主義の実践を標榜しているものの、実際にはそういう難しい面も多々見受けられる。

また、サンスカル帝国内で、ある程度の出世を望む者は、黨員であることを要求されるようである。

トウカー・イク率いる戦間ハイク部隊
指揮官機ともいふべき、ガリクソンに率
いられた甲型・乙型の2種類の戦間ハイ
クよりなる。モトフツド艦建造のための
データ収集を目的として、地上でリガ・
ミリアニアと交戦した。(以下の項参照：
モトラッド艦)

的には、M Aに変形できる宇宙用のアビ
 ゴル、水中用のカルグイユ。そして、攻
 撃ヘリ形態をとるゾロとトムリアットな
 ど。この2つの変形パターンをもつもの
 が実戦に投入された。

ヴィクトリータイプ生産のために集められたメンバーが中心で結成された部隊であつたが、このタイプとしての素質をもつウィンソン・エウインの参加は、実戦部隊としての士気に拍車をかけた。



なお、カミオンとはフランス語で、大型輸送トラックを意味する。

ガンダリウム

MSの装甲用に開発された合金に対する地球連邦軍のコードネーム。RX-78（ファースト）ガンダムで用いられたガンダリウムαはルナチタニウムであった。その後、数々の改良や新素材の導入により特性は格段に進歩したが、名称から素材が類推されるのを防ぐため、この名称が使用され続けている。

ギロチン

フランス革命のとき、処刑の効率化を図るため考案された道具で、断頭台。これをサンスカール帝国が復活させた。血の制裁により、規律の維持、反対派の封殺などを行っていたようだ。この執行は半ばショー化していた。

ゲリラ

敵の後方に非正規の部隊で出だし、混乱させる戦法。または、その部隊。リガ・ミリティアは、現在でこそ連邦に対する協力部隊として扱われているが、当初は非正規軍としてしか認識されていなかった。つまり、ゲリラとして扱われていた。そのため、オイ伯爵も捕虜の権利が認められなかったであろう。

コア・ファイター

もともと初期のRX-78シリーズや、ZZガンダム、ネオ・ガンダムなどで採用されたコアブロック・システムの中核で、MSの制御系を集中させた脱出ボットであり、小型戦闘機。

ヴィクトリータイプでは、パイロットの生存率向上と、伝説のMSガンダムの再現の意味もあり採用された。

コーキングガン

いわゆるトリモチガン。即乾性のゲル状プラスチックを噴射し、宇宙船の装甲の亀裂などを応急に修理するときに用いられる。敵味方関係なく、大抵の宇宙船には標準化されたものが積み込まれている。人体には無害だが、動きを封じる程度の力はある。専用の溶剤を用いることで、簡単に分解・除去することができ。

コロニー公社

スペースコロニーの管理・運営をまか

されている非政府機関組織。いわゆるNGO。その特殊性から、独立性が極めて高い。一種の政治的聖域ともいえ、多少の圧力程度ははねのけ、常にコロニーの運営に専念している。

サイコ

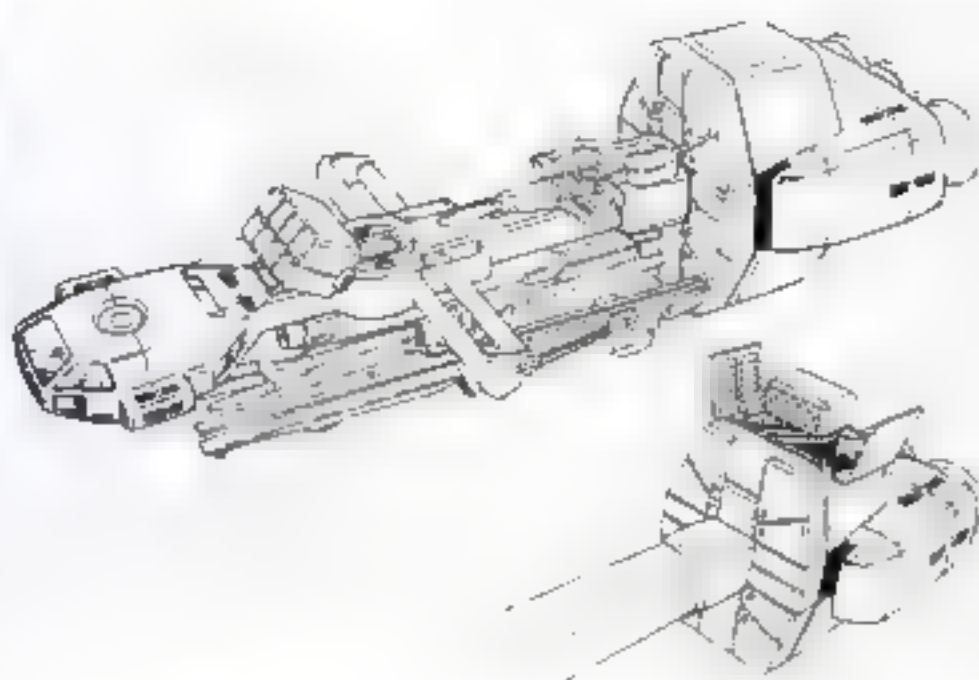
サイコミュ

サイコ・コミュニケーションの略。一般にニュータイプと呼ばれる人間の脳から出ている感応波を利用し、機械操作を円滑に行なうシステム。ミノフスキー粒子の散布下であっても、遠隔操作が可能で、多数の子機を操り全方位からの（オールレンジ）攻撃を行なうことができた。

しかし、ニュータイプという特殊能力者に依存するシステムであることや、バイオコンピュタの発達などによって兵器としての有用性を徐々に失い、現在では機動兵器に搭載することは希になってきた。

魚の骨

ウッソたちが逮捕したシノー・ベ321のニックネーム。ザンスカルカラーの赤から、白にボディカラーを塗りかえられた、その容姿から名づけられたのだろう。オデロやウォレン、トマーシユなど、子供たちを搭乗員として、ヴィクトリー用の武器を運搬したりするのに使用。



ザンスカル帝国

サイド2に生まれた新興国家。フォンセ・カチ率いるガチ党の支配の下、女王マリアを戴く君主制をひく。地球連邦政府の、形骸化し虚構した行

政に不満を抱く人々の支持の下、サイド2のほぼ全域を支配下に治めた。そして、宇宙世紀0153年。宇宙の新たな秩序づくりをめざして地球進攻を開始した。

ジェネレーター

MSなどで、核融合炉のエネルギーを電力に変換するための一種の発電装置。この出力が、一般にMSの出力といわれているものである。（以下の項参照：核融合炉）

シャトル

衛星軌道と地上を往復し、貨客を効率的に輸送するための小型宇宙船。外形は旧世紀のものと似たが、機首にヒームシールドをもつなど、機能は最新のものである。

シムラク隊

オリファ・イノエが組織した、女性ばかりからなるMS部隊。比類なきテクニクとチームワークを誇り、リガ・ミリティアの訓練場ではトップの戦績を誇る実戦部隊である。しかし、そのため常に前線に立ち続ける結果となり、損耗率の極めて高い部隊でもあった。初代隊長はジュンコ・ジュンコ。

人工重力ブロック

アマルテア、スクイードなど、ある程度大型の宇宙艦に設備されている、遠心力により疑似重力を発生させるブロック。生活の便宜を図ると同時に、乗員を微小重力状態のおよぼす害から守るのが目的。戦闘時には、回転を止めることが多い。

シン・ジャハナム

リガ・ミリティアの指導部集団に与えられた、擬似人格的な名称。ウッソの父であるハンゲルグ・エヴィンも、リガ・ミリティア指導部の一員でしかない。（以下の項参照：リガ・ミリティア）

鈴

ギロチンの家系の者は、これを身に付けることを強制されていた。フアラはみずからこれを付けることによって精神を研ぎすましていた。たまたの鈴であり、サイコミュの端末などではない。

スペースコロニー

全長30〜50キロメートル、直径6〜3

キロメートルの巨大な円筒型の人工建造物で、その自転により内壁を大地とする。人類第2の生存圏。ラグランジェポイントごとに、サイドという行政単位をもつ。ザンスカル帝国は、（ラグランジェ）4の月からもともといコロニーである。

スラスター

主に、MSの推進に使用する。一般に、推力が高いほどその機体は高加速を示すと考えてさしつかえない。メインバーニアと呼ばれることもあった。（以下の項参照：アポジモーター）

センサー

ミノフスキー粒子の散布下では、レーダーによる探索が不可能になる。そのため、素敵は各種のセンサーで行なう。現在では、光学、熱源、動体センサー、聴音器など、バツリなものからアクティブなものまで、状況と目的により使い分ける。（以下の項参照：デュアルマルチセンサー）

タ行

ダミーバルーン

ミノフスキー粒子が散布されるとレーダーが効かなくなり、無敵、有視界戦闘か、センサーで探索しながらの戦闘が基本になる。そのため有視界戦闘を行なう者には、風船やMS、宇宙船の形をしたダミーバルーンを、センサーを使う者には、風船内部に熱源を仕込んだり、金属箔を使い反応を素物に似せたダミーバルーンで、敵を混乱させるために使用することが多い。



地球連邦軍

月にある地球連邦政府の指示によって動く連邦軍。長年の平和の中で、組織は硬直化し、装備も旧式化している。それでもなお、依然地球最大の軍事組織であることには変わりない。ザンスカル帝国への認識が、一地方の動乱という程度のモノでしかないのうなずける。

デュアルマルチセンサー

ザンスカル帝国が、ほとんどのMSに採用した複眼状のセンサー。光学系のセンサーを数珠詰められている。感度の調節と保護のため、ふたはまぶた状の遮光装置で覆われている。

トップターミナル

上下2体に分離、合体をするタイプのMSの上半身パーツ。または、ヴィクトリータイプのトップリム。双方ともにハンガーとも呼称するが、これは俗称である。（以下の項参照：ボトムターミナル）

ナ行

ニュータイプ

かつて、ジオン・ダイクンが示した人の革新のあり方。現在では、その意味では死語に近く、パイロット適性の優れた人物、といった程度の意味あいしか認識されていない。その意味においては、ウッソはもとより、オデロやカチジナも確かにニュータイプである。

ノーマルスーツ

それまでスペーススーツ、略して単にスーツと呼ばれていた宇宙服が、モビルスーツの誕生によって、こう呼ばれるようになった。宇宙世紀0153年においては、ザンスカル帝国、宇宙引越公社、連邦軍が各々別のタイプのものを用い、リガ・ミリティアは連邦のものをそのまま流用している。パイロットスーツと比べ安価で、生命維持装置などの性能も高いが、反面やや動きづらい。（以下の項参照：パイロットスーツ）



ハードポイント #1

さまざまなハード、すなわち武器や特殊任務用のポッドなどを装着しておくための接続部。MSに予備の武器をもたせたり、追加武装をさせるのに使用される。また、可変モビルスーツが、飛行形態などのときに、手持ちの武器を運ぶために使うこともある。(以下の項参照: ミサイルランチャー)

ハイランド #15

かつて、地球のアジア地域に設置するために利用されていた太陽電池衛星。その発電パネルは広大で、ちよつとした艦隊が隠れることができるほどであった。ザンスカール帝国はカイラスキリーの電力源としてこれを利用しようとしていた。

パイロットスーツ #1

パイロットが過大なGなどから身を守るために身につける。宇宙服としての機能ももつが、パイロットの運動性を保証するため、その能力はノーマルスーツに劣る。(以下の項参照: ノーマルスーツ)

白兵戦

生身の兵士が、携行できる武器のみで戦うこと。本来は、刀や槍などで行なう肉薄戦のことを指す。転じて、MS同士が、ビームサーベルなどで行なう接近戦も指すようになった。(以下の項参照: ヒートロッド、ビームサーベル)

バグレ隊 #15

リガ・ミリティアの呼びかけに応え、カイラスキリー艦隊に戦いを挑んだ地球連邦軍の一部隊。しかし、十分な戦果をあげることなく大敗。その後、生き残り部隊はリガ・ミリティアと合流し、再び宇宙へスバと戦いを繰り広げた。

バックエンジンユニット #44

フアラ・グリフォンの最後の愛機であり、本来白兵戦用のMSであるゲンガオソが背負う形で装備するサポートデバイス。ジェネレーターのみならず、マルチプルビームランチャーも装備している。この装備によりゲンガオソは機動力、攻撃力を大幅に上げ、対艦攻撃が可能な重攻撃型MSとしての能力を併せもつよう



バルカン砲 #1

MSがその機体に内蔵する多銃身機関砲。それを指すための、最も一般的なことば。旧世紀の代表的多銃身砲M60A1の商品名が一般名詞に転じたものと考えられている。ちなみに、ガトリング砲も最も初期の多銃身砲の商品名である。

ハロ #1

最も身近な教育型コンピュータの実例。かつてのホビーマシンの傑作のレプリカ。しかし、V2ガンダムではパイロットに対する情報インターフェイスとしても用いられていた。



ビームロッド #37

かつてのジオン軍の名機、グフが装備していた接近戦用の武器。金属のムチを



ビームサーベル #1

高エネルギーのミノフスキー粒子を放出する兵器。柄の部分に高エネルギー状態のミノフスキー粒子が蓄えられており、短時間なら単体でもビームを発生しつづけることができる。しかし、エネルギーの供給はMSの掌を通して、本体から行なうため、機体側からある程度の出力調整を行なうことも可能である。

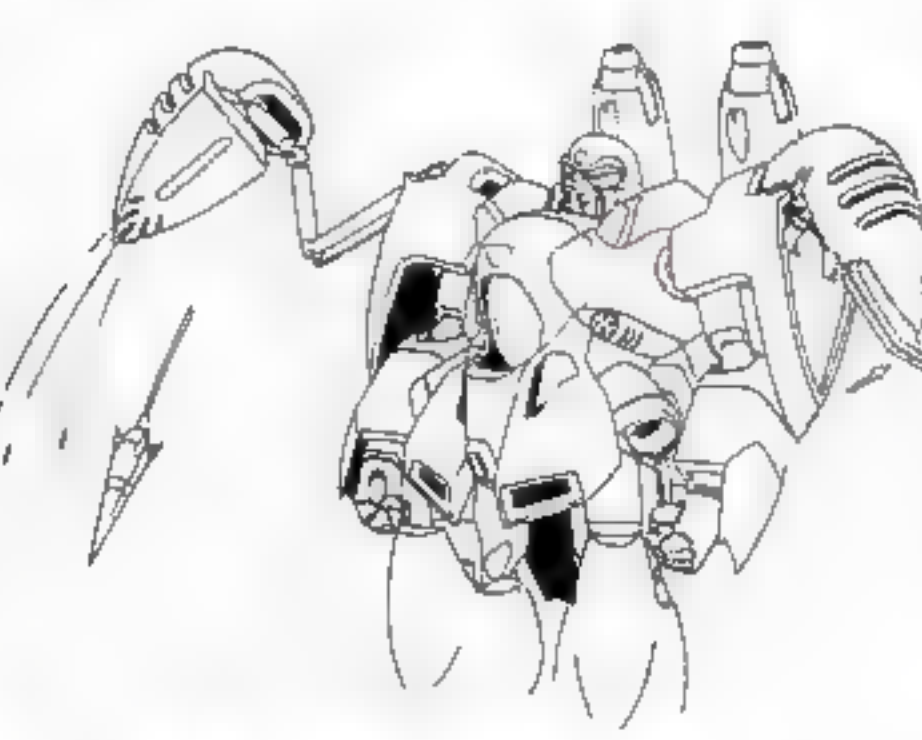
ビームを扇状に展開するビームファンや、トゲ付きの鉄球状に発生させることにより攻守一体としたビームメイス、長目の柄の先から力マ状のビームを発生させるビームサイス、オノ状のビームを発生させるビームトマホークなど、多くのバリエーションが用いられている。(以下の項参照: 効果、白兵戦、ミノフスキー粒子)

ビームシールド #6

基本的には、ビームサーベルを面状に発生させたものと考えて間違いない。核融合炉の高性能化に伴い、ジェネレーターの出力が向上したことにより、使用できるようになった。実体シールドと比べ、展開にかかる時間が無視でき、被弾による防御力の低下や非戦闘時におけるデッドウェイトも少なくすむ。しかし、中央部に露出するビームシールド発生機は比較的小さく弱点といえる。ただし、そのポイントにも十分なフィールドが発生しており、攻撃側はそれを突破し得るだけの強力なエネルギーを要求されることとなる。

ビームストリングス #16

宇宙戦専用の、一種のヒートロッド。ただし、使用するのはムチではなく数条の金属ワイヤーである。これで敵をからめとり、そこに電流を流し、敵MSを内部より破壊する。電撃の放つ光条がビームを思わせることからこの名前がつけられたようであるが、これは一種の欺瞞名称ともいえる。



ビーム内蔵式シールドロー #21

コンテイオがその両肩に装備した遠隔攻撃デバイスの名称である。両肩に装備したままでも使用できる。また、有線による遠隔操作で、爪状のビーム発生器からビームサーベル、ビームライフルを発振する。ほかにも、爪で敵MSをはさみ直接動きを封じることが可能など、応用範囲の広い武器である。

ビームライフル #1

エネルギーCAPが保持する高エネルギー状態のミノフスキー粒子を縮退させ、発生したメガ粒子をビームとして発射するMS用の携行武器。現在では、MSの主力兵器となっている。(以下の項参照: メガ粒子砲)

ビームローター #1

ビームシールドの応用。ミノフスキーフライトで対象物(地上の場合は大地)との反発を生み、その力場で発生源を浮かべる。そこでローターを回転させることにより、比較的自由な機動を得ることができる。ソロ、トムリアットなどが採用していた。(以下の項参照: フィールド、ビームシールド)

光の翼 #29

ミノフスキードライブの使用に際して、封じ込め切れずに放出される高エネルギー状態のミノフスキー粒子。これが、V2の背中から放出される状態をこう呼ぶ。いわば、強力なビームサーベルであり、敵を切り裂くことも可能。しかし、あくまでも余剰エネルギーの放出にすぎず、意識的に展開・使用するのは難しい。また、光の翼の展開されている空間では、ミノフスキー力場が著しい乱れを示し、ミノフスキーフライトなどを利用しているMSなどにとっては致命的といえよう。(以下の項参照: ミノフスキー粒子)

ビッグキャノン #17

カイラスキリーを構成するメガ粒子砲部分。リガ・ミリティアが奪い取り、ザンスカール本国コロニーに停泊中のムツタマー・ズガン艦隊を攻撃するのに使用したが、その戦いの後大破した。

ブースター #1

一般には、宇宙艦などが大気圏脱出に使用する加速用の使い捨てロケットモーター。また、MSなどを高機動化するサポートデバイス。いずれも、加速度を上げるための装備である。が、この二者はまったくの別物である。

不法居住者 #3

連邦政府は宇宙への移民を推進するため、地球に住む者に一定の条件を設けている。それに反して、地球上で生活している者たちが不法居住者と呼ばれている。しかし、通り一遍な規制であり、実効的な取り締まりも行なわれてはいないため、各地域に相当数の不法居住者がいると思われる。(以下の項参照: ポイント・カサレリア)



ブリッジ

艦船の指揮を行なうための部署。一般船舶でもこう呼ばれている。戦闘艦では、見晴らしのいい航海用ブリッジと、攻撃を受けにくい戦闘情報を集約的に管理している戦闘ブリッジに分かれていることが多い。艦橋。

ペスバ

弾道研究と宇宙偵察部隊本部(Ballistic Equipment & Space Patrol Army)の略。スズメバチの意味ももつ。ザンスカル帝国建国のときに接収された海軍戦略研究所のサナリイの一機関であり、帝国軍の設立の母体でもあった。そのため、一般には帝国軍IIペスバと認識されている。

ポイント・カサレリア

ウィックグ近郊に住む不法居住者たちが、自分たちの居住地域に与えた呼称。もちろん、非公式なもので、地球連邦政府の資料には、このような名前は記載されていない。ポリネシアのことばで、「こんには」とか「ようこそ」という意味。

ボトムターミナル

ブーツという俗称ももつ。トップターミナルに対して、下半身のパーツをさすことば。マチス・ウィッカーがカサレリア付近の戦闘でこのボトムターミナルを一種のミサイルとして使用してみせた。(以下の項参照・トップターミナル)

マ行

マイクロウェーブ

波長1メートルから0.1ミリメートルの電波。本来は、ハイランドの電力送電用の周波数帯域。カイラスギリー攻略戦において、敵の注意をそらすためハイランドから照射され、敵兵に頭痛や下痢を引き起こした。

マケドニア

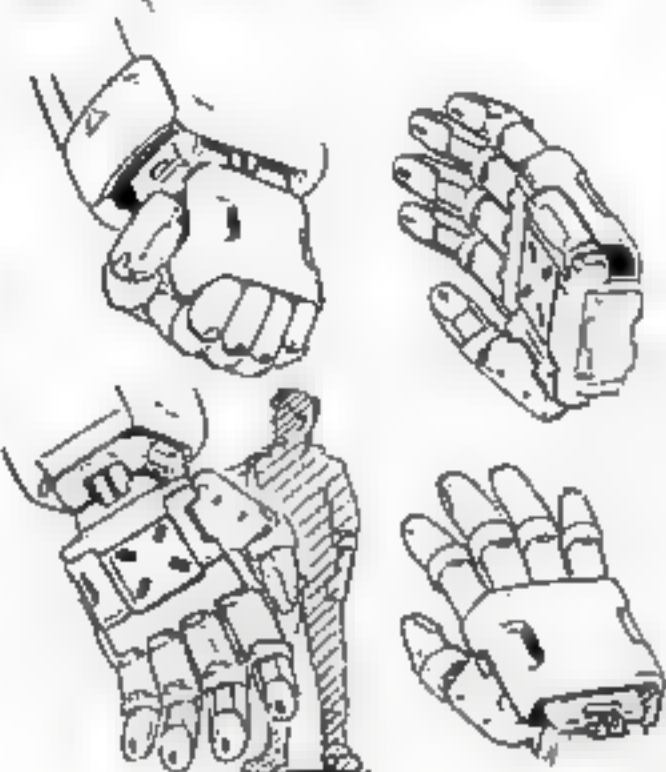
マリア主義の下に立つものとして、建前ではザンスカル帝国と対等の関係にあるサイト2の独立コロニーのひとつ。しかし、その軍事力は地球連邦軍より旧式であり、ザンスカル帝国との関係は、実際には隷属であるといっても過言ではない。

マストライバー

宇宙船などに十分な初期加速を与えることにより、少ない燃料で大気圏脱出速度を得るための設備。宇宙引越公社などが、シャトルの加速用に世界中に数基もつ。アーティ・ジブラルタルでは、円環状のリニアモーターレールだった。

マニピュレーター

機械の手の総称。MSの腕部分をこう呼ぶことが多い。MSにおいては人間にできる運動はもろろん、手首の回転などそれ以上の機能を示すものが多い。また、補助用に小型のマニピュレーターを複数もつMSもある。(以下の項参照・モビルスーツ)



マリア主義

現在の男性主導社会に警鐘を鳴らし、母系社会の成立をめざすとする思想。ザンスカル帝国が主張し、マリア・ピア・アーモニアが体現している。マリア自身のもつ、奇跡の力をバックボーンとして、すべての人が安らぎの中に生きることを目指し、戦いを否定している。しかし、それは多分に為政者が便宜上行なっているものでもある。(以下の項参照・ガチ党、マリアの祭典)

マリアの祭典

マリア主義を生み出す原点となったマリアの不可思議な力を国民の前に示すセレモニー。定期的にこなされておられ、「式典」「御慈悲」「御恵み」とも呼ばれる。かなりのシヨアアップが行なわれており、病人の回復は式典の演出上の芝居ではなく、その奇跡は現実のものである。

マルチプルビームランチャー

ゲンガオウが装備する、バックエンジンユニットが内蔵しているビーム兵器。

幅広い範囲で出力が調節でき、対艦から対MSまで、広い用途をもつビーム兵器である。すなわち、一種のウェスパーであり、バスターパーツで火力を強化したV2バスターと互角の火力を示した。

マルチランチャー

ガンイージの左肩など、MSに装備されている射出装置。ミサイル、ロケット弾、信号弾、擲弾の発射などに使う。また、似た存在としてV2用ビームライフルのマルチプルランチャーもある。

ミノフスキー粒子

宇宙世紀0069年、V・T・ミノフスキーにより、その特殊な性質を確証された極めて希薄性の高い粒子。この散布により、レーダーや電波通信などの使用が困難となった。また、核融合炉の小型化や、メガ粒子を用いたビーム兵器の基礎技術でもある。

現在では、その応用として幾つかの浮遊システムが開発されている。立方格子状のミノフスキー力場の上に発生源を浮かべ、滑らせるようにして移動することとを可能にしたミノフスキー・クラフト。

これは、比較的低高度のみでしか有効ではない。比較的高高度に発生源を浮かばせるにはミノフスキー・フライトが用いられる。そしてミノフスキー力場を封じ込め、それを推進力とするのがミノフスキー・ドライブである。これは、史上最速のMS、V2の推進に用いられた。(以下の項参照・フィールド、光の翼)

ムッターマ・スガン艦隊

フォンセ・カガチの同志、ムッターマ・スガンの率いるザンスカル帝国の主力艦隊のひとつ。ビッグキャノンの攻撃で戦力の3割程を失ったが、戦闘力は維持されていた。旗艦はスクイード2を改装したタルマシアン。

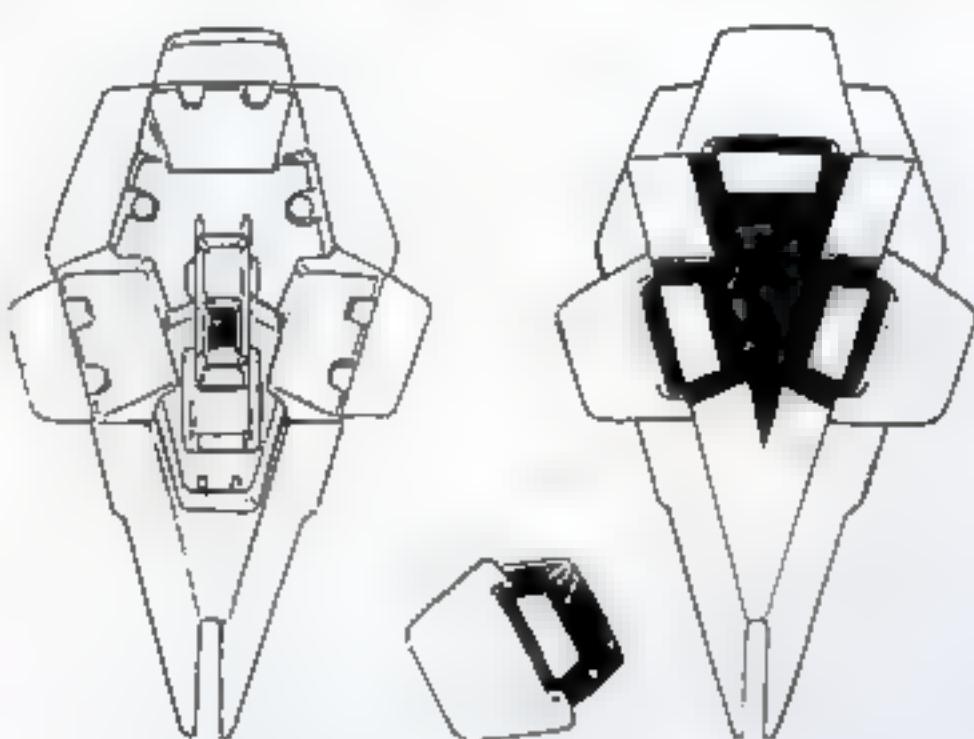
メガビームキャノン

メガ粒子加速器を利用し発射される高出力メガ粒子砲。カイラスギリーのビッグキャノンは、本来メガ粒子加速器からエネルギーの供給を受けて、メガビームキャノンとして機能するはずであった。また、ザンネックはそれをスケールダウンしたミニ・ビッグキャノンを装備していた。これは、ミニカイラスギリーと呼ばれ、超高空から地上を直に攻撃した。

その威力は、戦艦の主砲を遙かに上回るほどの高出力であった。(以下の項参照・カイラスギリー、メガ粒子加速器)

メガビームシールド

小型のビーム共振器であるビーム・ピットを3方向に展開し、広い範囲をビームシールドで覆うことができる。V2ガンダム用の最終装備のひとつで、防御のみならず攻撃にも転用可能。エネルギーの消耗が激しく、V2ガンダム以外の使用は大きく制限される。



メガ粒子

ミノフスキー粒子の縮退によって発生する、極度な電荷を帯びた重粒子。プラズマ化した金属粒子であると考えば理解しやすいであろう。いわゆるメガ粒子兵器はこの粒子を撃ち出すもの。(以下の項参照・メガ粒子砲)

メガ粒子加速器

従来のメガ粒子砲においては、臨界に達したメガ粒子は、そのままビームの発振に乗せて発射されていた。これを、強力な電場で封じ込め、加速するためのサイクロトロン状の加速器がメガ粒子加速器である。これにより、メガ粒子のエネルギー準位が、従来と比較にならないほど引き上げられるようになった。カイラスギリーで初めて実用化された。その後、小型化したものがザンネックに採用された。(以下の項参照・メガ粒子、メガビームキャノン)

モトラッド艦隊

地球クリン作戦のために開発されたモトラッド艦隊だからなる艦隊。その巨大な車輪で、エンジェル・ハイロウの降下スハースを地上につくることが目的であった。クロノクル・アシャーが、司令官を務める。(以下の項参照・エンジェル・ハイロウ、ガッダール隊)

モビルアーマー(MA)

MSの技術を応用してつくられた、単機能機動兵器。一般に、MS以上の出力と武装を誇り、限定された戦場では圧倒的な強さを誇る。反面、汎用性に欠け、特に自衛戦を仕かけられると脆い面がある。(以下の項参照・可変モビルスーツ、モビルスーツ、モビルワーカー)

モビルスーツ(MS)

ミノフスキー粒子の散布下で、有視界戦闘を行なうことを考えて開発された汎用機動兵器。現在では、音声認識やリニアシートなど、その操縦系はほとんど規格化されている。(以下の項参照・ノーマルスーツ、モビルアーマー、モビルワーカー)

モビルワーカー(MW)

MSのノウハウを生用して転用したもの。宇宙空間など、極限状態での作業に必須。MWと表記されることも多い。(以下の項参照・モビルアーマー、モビルスーツ)

ヤ行

ヤナギラン

ヤナギラン科の高原植物。かつては、シャクティにとって、今は亡きカサレリアの母とのつながりを象徴するものであったようである。シャクティは結局、ベチエン近くに種を植えたわけだが、それ以降は何かが切れたようでもあった。

ラ行

リガ・ミリティア

ギリシア語で「神聖なる軍事同盟」を意味する抵抗運動組織。あくまでひとつの運動であり、謎の指導者、ジン・シャハナムの下、すべての参加者が平等といえる。また、明確な組織や命令系統なども存在しない。そのため、各人が各々の意思と責任において、独自に行動していると考えて差し支えない。

DATA OF VICTORY GUNDAM

Vol.1に引き続きこのコーナーでは、本編第33話「海に住む人々」から最終話「天使たちの昇天」までのストーリーを設定を交えて紹介するぞ！ もちろん、スタッフ&キャストの一覧表もバッチリだ。きょうからキミも「Vガンダム」博士。の仲間入りだね！

エステル・チャバリ飛行帽姿行方をくらましたモトラッド艦隊の情報をいち早く伝えるため、旧カミオン部隊のメンバーの前に再び現われた彼女のいたがこれ。時代に流されない服装だ（34話）

エステル・チャバリの超軽量飛行機

エステルがリーンホースJr.にやってきたときに使ったエンジン付きのハンクライダー。正式にはトライクといい、尾翼の代わりにプロペラがひとつ付いている（34話）

洗濯場の少女兵

ウッソとオデロがアトラスデアに潜入したときに会った赤髪の少女。16歳という若さながらマリア主義を深く信奉し、死にゆく間際に彼女の口から漏れた最期のことはとても印象的だった（35話）

アンダーフックの教会

アンダーフックに住む地球のマリア主義者たちが集う教会。中央の円柱部分からはフォログラフィでマリアが浮かび上がり、説教を垂れるように仕掛けが施してある（33話）

ダム

タンビコの町を壊滅し、北アメリカ大陸を暴走するモトラッド艦隊の足を止めるため、ウッソたちが破壊した巨大なダム。しかし大した成果は上げられなかった（35話）

36	35	34	33	話数
母よ大地にかえれ	母かシャクティか	巨大ローラー作戦	海に住む人々	サブ・タイトル
神戸一彦 西森章 関田修 谷口守泰 吉田徹 森下博光	桶谷顕 加瀬充子 佐藤育郎 瀬尾康博	桶谷顕 山本裕介 山本裕介 西村誠芳	園田英樹 西森章 武井良幸 新保卓郎 板倉和弘	脚本
アニメ・アール 能地清 木村貴宏 藤井満 松坂定俊 森下博光 崎山知明 津熊健徳 木下由美子	村瀬修功 鶴巻和哉 鎌田祥央 吉成曜 重田敦司 福岡英典 向山祐治 守岡英行 門智昭 黒田和也 伊藤嘉之 小野田孝広 瀬尾康博 GAINAX	スタジオ・ダブ 西村誠芳 榎本勝紀 ソウル・ダブ	中村プロ 新保卓郎 板倉和弘 田島直 大塚健 新井田耕一 米山浩平	原案
スタジオ・ダブ 橋本りか 菅原洋子 根本瑞芳 小田清巳 ソウル・ダブ	スタジオ・ダブ 伊東伸高 南義昭 三木明美 斎藤昭浩 ソウル・ダブ	スタジオ・ダブ 橋本りか 菅原洋子 根本瑞芳 小田清巳 ソウル・ダブ	中村プロ 客本亮一 森寛之 平井真一 中田栄治 浅井義之	演出
旗プロダクション 宮前光春 清水隆夫 西山正紀 松嶋阿由美 金島邦夫	アトリエ・ムサ 丸山由紀子 大久保修一 若松栄司 下野哲人	旗プロダクション 宮前光春 清水隆夫 西山正紀 松嶋阿由美 金島邦夫	アトリエ・ムサ 丸山由紀子 大久保修一 若松栄司 下野哲人	作画監督
北米大陸を北へ進むモトラッド艦隊を爆発させず、ウッソの母、ミューラを救うべく発進するリガ・ミリティアのMS部隊。 一方モトラッド艦隊司令クロノクル・アシャーは、地球連邦政府とザンスカール帝国との間で結ばれようとしている停戦協定を不服とし、その協定が結ばれる前にリーンホースJr.とV2ガンダムを沈めたいと焦るばかりに、作戦司令官、アルベオ・ビビニーデンの提案した作戦を内容も知らずに許可してしまう。そして、作戦を実行することになったゴズは、リーンホースJr.に連れていくとミューラをだまし、自機ソリディアで彼女を攫り、ちょうど現われたリガ・ミリティアのMS部隊に攻撃を仕かけていく。人質がいるために攻撃できないウッソたちは苦戦を強いられる。	タンビコの町を蹂躪し、なおも進軍を続けるモトラッド艦隊の足を止めさせようと、シユラク隊による爆撃作戦を開始するリガ・ミリティアのMS部隊。 一方ウッソたちも、リーンホースJr.に捕虜として捕らえていたゴズをわざと脱出させ、敵艦内部に潜入する作戦を実行に移す。泳がされているとも知らず自機ソリディアに乗り込み、V2ガンダムを手土産にリーンホースJr.を脱出したゴズは、各MSにウッソとオデロが潜んでいたことも気づかずモトラッド艦隊の旗艦アトラスデアに帰投する。 作戦どおり艦内に忍び込んだウッソたちは、作業員に変装すると艦内の探索を開始。捕らえられていた部屋を自力で脱出したミューラ・ミゲルと再会するのだった。	モトラッド艦隊の消息をつかむべく、海上と海中に分かれて探索するウッソたち。海中を調査していたオデロ・ヘンリークのガンブラスターは、海底を進むモトラッド艦隊を発見。直ちにホワイトアークに連絡するが、ベスバのゴズ・パールが乗るMS・ソリディアに発見され、交戦状態に陥ってしまう。 一方、地球に残り情報収集を続けていたリガ・ミリティアのメンバー、エステル・チャバリの協力で、敵艦隊の目的地がメキシコのタンビコの町であることが判明したリーンホースJr.は、タンビコの町にMS部隊を集結させる。トマーシュ・マサリクの援護で、ゴズ・パールを捕らえることに成功したオデロも全速力で向かうが、敵艦隊の「地球クリーン作戦」はすでに開始されていた！	地球へと降下するモトラッド艦隊を阻止しようと後を追うリーンホースJr.だったが、カテジナ・ルース率いるMS（モビルスーツ）部隊の妨害を受け、敵艦隊の大気圏突入を許してしまう。リーンホースJr.、ホワイトアークと大気圏に突入する中、ウッソ・エヴィンのV2ガンダムは、軌道に攻撃を続けるカテジナのゲドラフと交戦しながら、もつれ合うように大気圏に突入してしまう。かろうじてリーンホースJr.のシールド内に入り難を逃れたウッソだったが、カテジナのゲドラフは燃えながら地上へと落下していくのだった。 メキシコ湾へと着水したリーンホースJr.とホワイトアークは、モトラッド艦隊の情報と補給物資を受けるべく、人工海洋都市アンダーフックへ寄港するが……。	ストーリー
12月3日	11月26日	11月19日	11月12日	放映日



廃棄荷場

停戦協定の後も戦闘を続けようとするベスパの動きをキャッチするため、ウッソが偵察していた集荷場。ウッソの狙いはズバリだったが敵MSを発見するまでに至らなかった(37話)

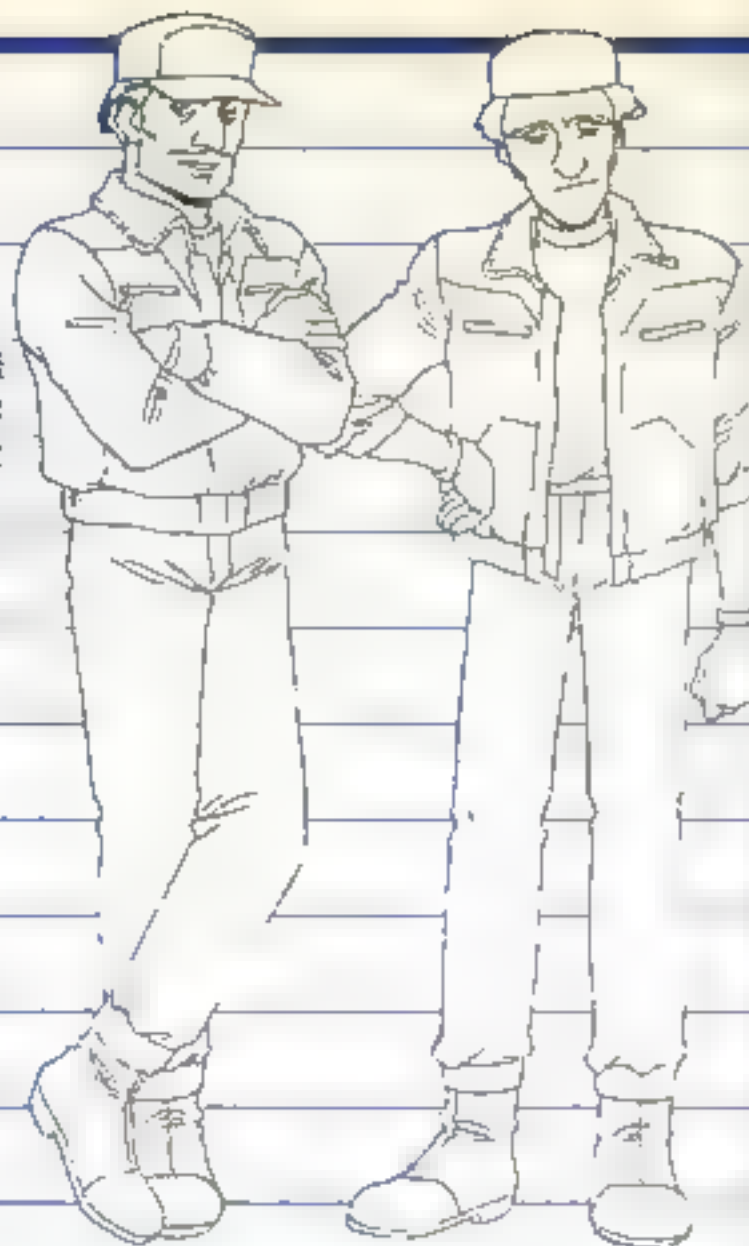


タンカーの残骸

オデロがエリシャとのデートスポットに選んだ残骸地帯。だが、このタンカーの中にはガスが充満しており、ちょっとしたスパークでも大爆発を起こす危険地帯だった(38話)

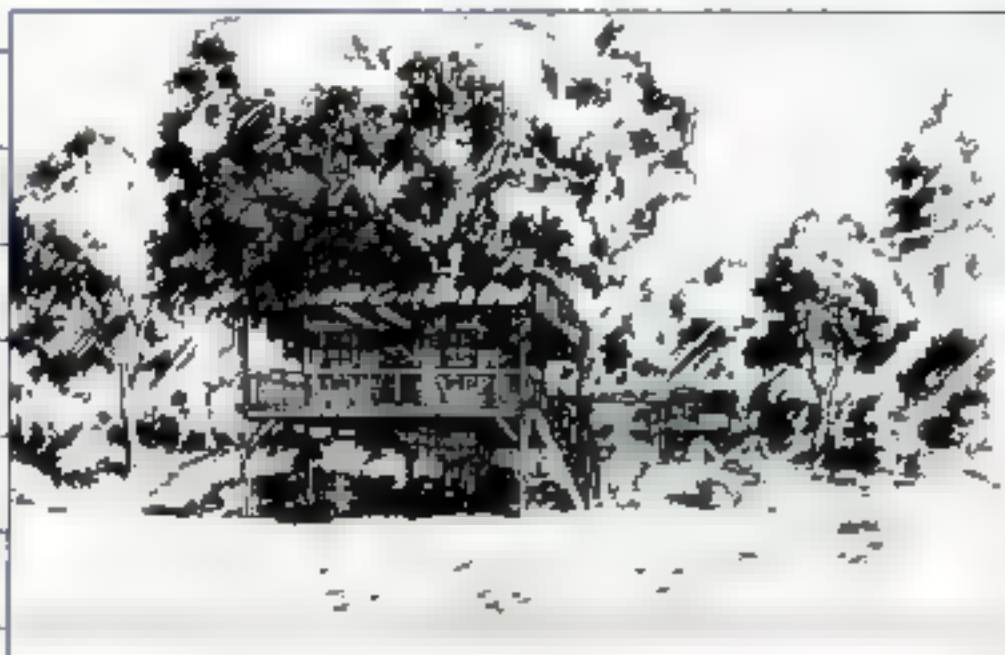
レンダのペンダント

イクがレンダにその思いを告げた際に渡したペンダントで、彼が士官学校に入るときに母親からもらった大切なモノらしい。このことから、彼のレンダに対する思いの深さがうかがえるだろう(37話)



高速艇の軍人

アイルランドにあるロンドンデリー部隊の基地から高速艇に乗り、イクのリシテア艦に急襲されたホワイトアークのピンチに駆けつけてくれた地球連邦軍の軍人たちが(37話)



カサレリア湖畔の小屋

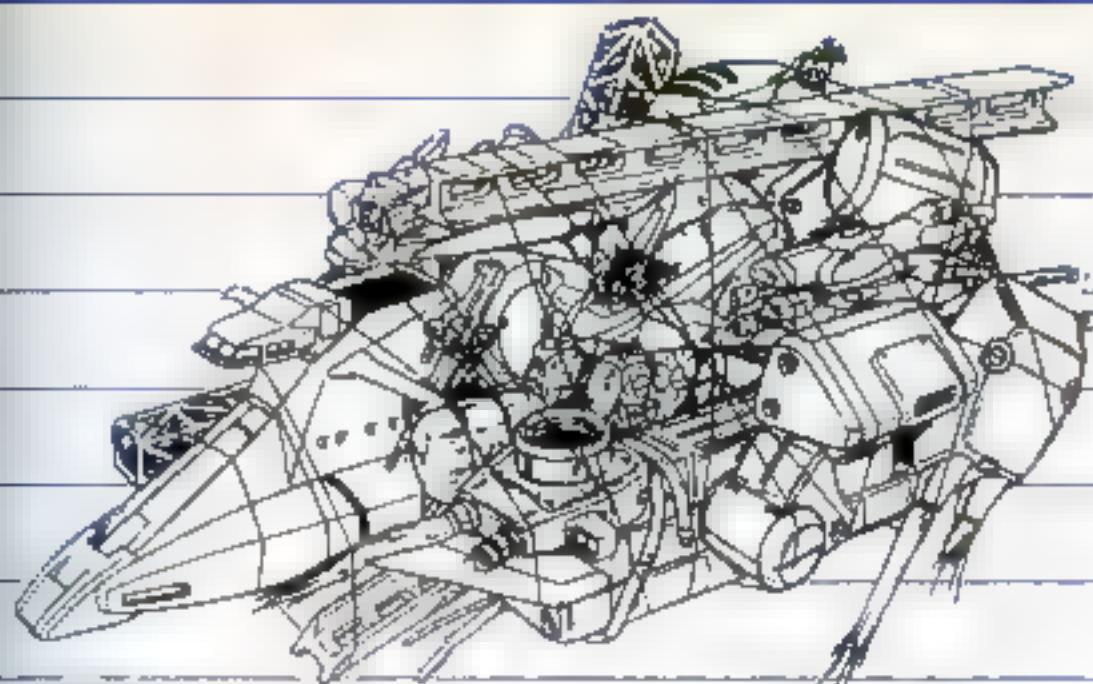
ハイラントの家族たちはカサレリアが気に入ったのか、ホワイトアークが着水した湖の畔にあった無人の小屋に住むことにしたようだ。木造建築物ではあるが、倉庫もあるし、いい物件といえる(38話)



カーゴ

ミューラとシャクティを救出するためにアドラストア内へ潜入したウッソとオデロは、洗濯物が詰まったこのカーゴにハロを隠し、船内を探索するのに使用した(37話)

40	39	38	37	話数
超高空攻撃の下	光の翼の歌	北海を炎にそめて	逆襲ツインラッド	サブ タイトル
桶谷顕	桶谷顕	園田英樹	桶谷顕	脚本
西森章	加瀬充子	山口頼房	芦沢剛史	絵コンテ
佐藤育郎	渡邊哲哉	玉田博	芦沢剛史	演出
さとうけいいち	逢坂浩司	西村誠芳	新保卓郎 板倉和弘	作画監督
高橋勇治 村中博美 羽山賢二 阿部美佐緒 後藤圭二 津幡佳明 神戸洋行 高井宏暢 安田好孝 星合貴彦 松田宗一郎	青野厚司 今掛勇 門智昭 鶴巻和哉 伊藤藤之 吉成曜 川元利浩 福岡英 典 村瀬修功 尾石達也 貴志夫美子 芹澤達一 向山祐治 GA NAX 瀬尾康博	スタジオ・ダブ 西村誠芳 榎本勝紀 ソウル・ダブ	中村プロ 新保卓郎 板倉和弘 田島直 大塚健 新井田耕一 米山浩平	原画
スタジオ・ダブ 伊東伸高 南義昭 三木明美 斎藤昭浩 ソウル・ダブ	スタジオ・ダブ 橋本りか 菅原洋子 根本瑞芳 小田清巳 ソウル・ダブ	スタジオ・ダブ 伊東伸高 南義昭 三木明美 斎藤昭浩 ソウル・ダブ	中村プロ 客本亮一 森寛之 中田栄治 西田絹江 佐藤健一	動画
猿プロダクション 宮前光春 清水隆夫 西山正紀 松嶋阿由美 金島邦夫	アトリエ・ムサ 丸山由紀子 大久保修一 若松栄司 下野哲人 飯島健二 山口主税	猿プロダクション 宮前光春 清水隆夫 西山正紀 松嶋阿由美 金島邦夫	アトリエ・ムサ 丸山由紀子 大久保修一 若松栄司 下野哲人 飯島健二 山口主税	背景
武装解除されたラゲーンの敵基地でホワイトアークの大気圏用のブースターの取り付け作業を行っていたウッソは、カサレリア付近で戦ったマチスの遺族に出会う。戦場とはいえマチスを殺してしまったその心から妻、レーナ・ワーカーに謝罪するウッソだったが、ケリラの一員の子供としか思われず、相手にもしてもらえないのだった。 ブースターを装着したホワイトアークが、カサレリアまでのテスト飛行を行なおうとしたそのとき、突如高空から強力なヒームがラゲーンを直撃、基地内はパニック状態に陥る。レーナたちが心配なウッソは基地内を走り回り彼女らを発見。次々とヒームが降り注ぐ中、ウッソたちを救出したホワイトアークは、その場を脱出するためカサレリアへと向かう。	ヨーロッパに到着したホワイトアークは、カサレリアを戦場にしまいと山ひとつ隔てた湖に着水。ウッソたちはそこから、湖畔の小屋で見つけたワッパで懐かしのわが家へ帰ることにした。だが、いざカサレリアに帰ってみると湖の方角に戦火の火柱が……。ラゲーンのマチス・ワーカー率いる敵MS部隊が攻撃を仕掛けてきたのだ。この事態に気づいたウッソはパラグライダーで、オデロたちはワッパでホワイトアークのもとへ急ぐ。 何とかV2カンダムに乗ることに成功したウッソは反撃に転じる。だが、幾多の戦場をくり抜けてきたホワイトアーク部隊に、ゾロだけで編成された敵MS部隊がかなうわけがなく、敵の非力さに戸惑うウッソは攻撃の手を鈍らせるのだった。	自分の気持ちを伝えるためにエリシャをカンプラスターに乗せ、偵察飛行に出たオデロ。ウッソとも別れデートを楽しんでいたそのとき、イクの部下、レンダ・デ・パロマ率いる敵MS部隊が発見されてしまう。エリシャを守るため懸命に応戦するオデロだったが、みずから撃ったミサイルの爆風に巻き込まれ放棄されたタンカーの中へと落ちて込んでしまう。 一方援護に駆けつけたウッソはオデロ機が撃墜されたと思い込み、敵MS部隊におびき出されているとも気づかず深追いしてしまう。そんなウッソを援護するため追従するホワイトアークだったが、突如海から現われた敵艦リシテアのスパイダーネットに捕まり動きを止められてしまう。ウッソたちは敵をホワイトアークに近づけまいと必死に防戦するが…。	地球連邦政府とザンスカール帝国との間で休戦協定が結ばれた。休暇を与えられたウッソたちは、ミューラやオリファー・イノエたちの遺骨を埋葬するために、一路ホワイトアークでカサレリアへと向かう。 だがこの休戦協定をよしとしないドゥカー・イクは、戦艦リシテアとみずから率いるMS部隊でホワイトアークを追撃。やむを得ず応戦に出るウッソたちだったが、敵のサポートメカ・ツインラッドの機動力の前に苦戦を強いられる。そしてホワイトアークは、徐々に小島の並ぶ海域へと追いつめられていく。クジラの死骸が無数に打ち上げられたその小島からは異臭が漂い、そのあまりに凄惨な光景を前に死への恐怖にとらわれるクランスキー姉妹(エリシャ、マルテナ)だった。	ストーリー
1月7日	12月24日	12月17日	12月10日	放映日

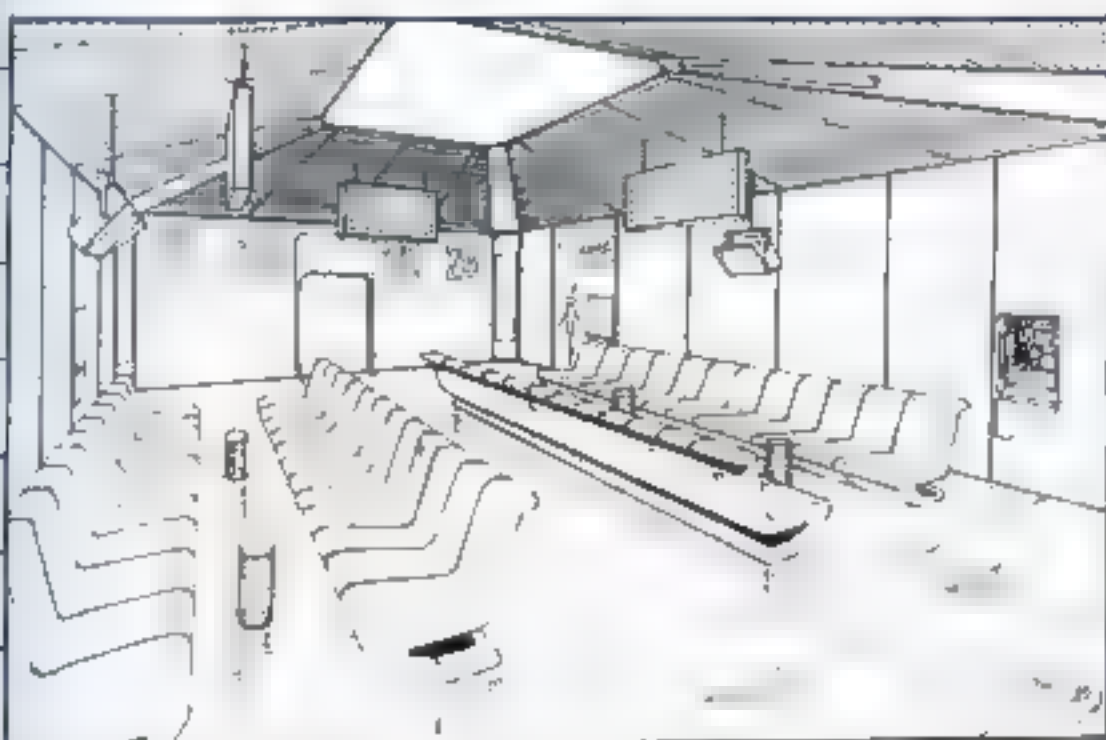


ガラクタ付きホワイトアーク

タシロ艦隊の砲撃から逃れるため、エンジェル・ハイロウの空域に迷走したホワイトアークは、V2ガンダムの部品などを選び、ビビニーデン艦隊の物資運搬船と称してブルー3へと潜入した (44話)

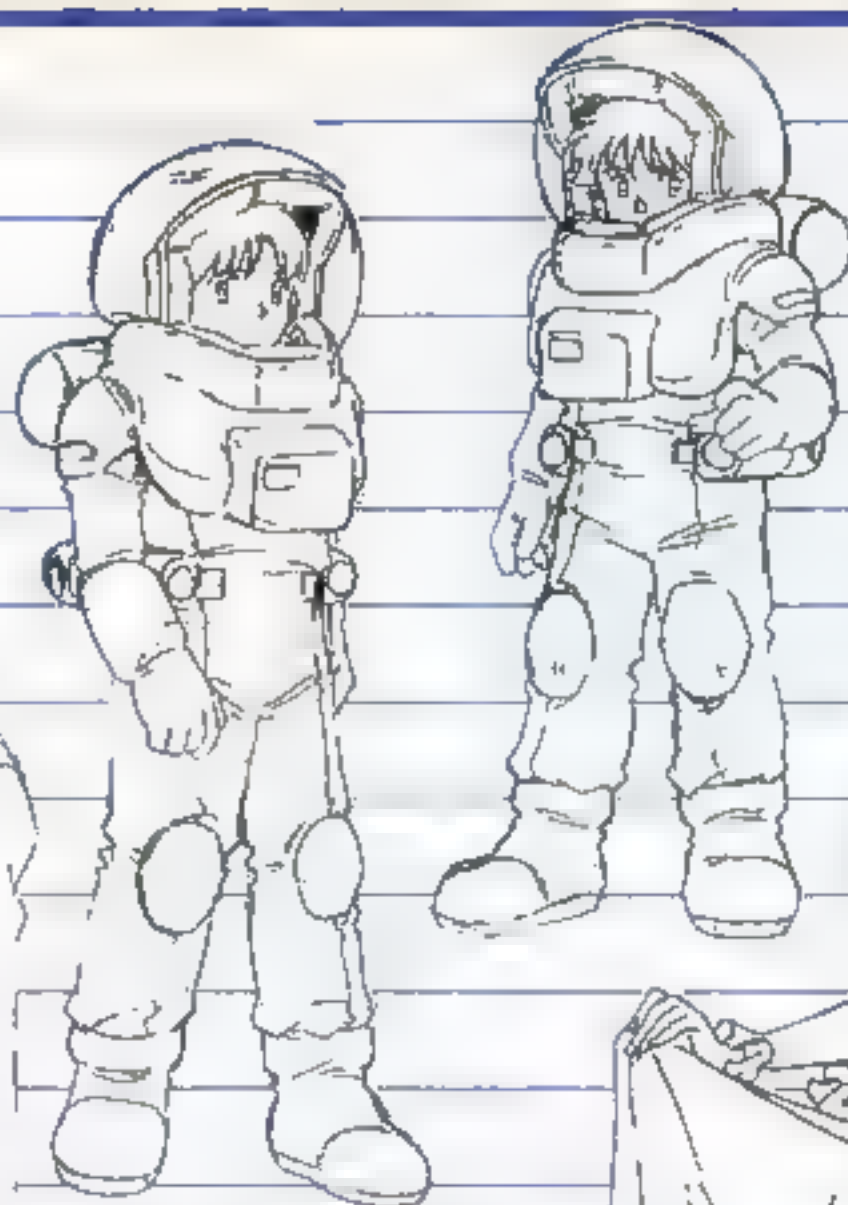
スペース・コロニー「ブルー3」の待合室

エンジェル・ハイロウの玄関口、ブルー3では、エンジェル・ハイロウのエネルギー源となるサイキッカーたちが集まっていた。年齢、性別を問わず、群がる人々を見てシャクティは驚愕した (44話)



マーベット マタニティー姿

偽装したホワイトアークがマリアの近衛師団に捕獲された際に、リカ・ミロティアとは悟られまいと妊婦を装うマーベット。おなかには布を丸めて詰めてある (44話)



シャクティ・スージの ノーマルスーツ姿

2人とも子供用のスーツを着用しているが、スージにはそれでも大きく、口元が隠れてしまう。ボンベなどの装備に関しては通常のものを利用している (41話～)



ルベ・シノドレス姿

ビビニーデンの士気を高めるため、パイロットスーツの上からスペイン風のドレスを着て現われた彼女。戦場での彼女からは考えられない女らしさがかうかえる (42話)



44

43

42

41

愛は光の果てに

戦場の彗星ファラ

鮮血は光の渦に

父のつくった戦場

園田英樹

桶谷顕

桶谷顕

園田英樹

滝沢敏文

西森章

芦沢剛史

斧谷稔 山本裕介

武井良幸

関田修

芦沢剛史

山本裕介

瀬尾康博

谷口守泰 森下博光

西村誠芳

新保卓郎 板倉和弘

今掛勇 村瀬修功 吉成曜 鎌田祥央
福岡英典 向山祐治 守岡英行 伊藤
嘉之 芹澤建一 門智昭 古川尚哉 瀬
尾康博 尾石達也 渋谷大毅 GAINAX

アニメ・アール 藤井満 松阪定俊
森下博光 崎山知明 津熊健徳
木下由美子 松田剛史
市川吉幸

スタジオ・ダブ
西村誠芳 櫻本勝紀
ソウル・ダブ

中村プロ
新保卓郎 板倉和弘 田島直
大塚健 新井田耕一 米山浩平

スタジオ・ダブ
橋本りか 菅原洋子 根本瑞芳
小田清巳
ソウル・ダブ

スタジオ・ダブ
伊東伸高 南義昭 三木明美
斉藤昭浩
ソウル・ダブ

スタジオ・ダブ
橋本りか 菅原洋子 根本瑞芳
小田清巳
ソウル・ダブ

中村プロ
客本亮一 小林宏貴 中田栄治
森寛之 熊谷剛

猿プロダクション
宮前光春 清水隆夫 西山正紀
松嶋阿由美 金島邦夫

アトリエ・ムサ
丸山由紀子 大久保修一 若松栄司
下野哲人 飯島健二 山口主税

猿プロダクション
宮前光春 清水隆夫 西山正紀
松嶋阿由美 金島邦夫

アトリエ・ムサ
丸山由紀子 大久保修一 若松栄司
下野哲人 飯島健二 山口主税

タシロ艦隊の砲撃から逃げるため、エンジェル・ハイロウの空域に向かったホワイトアーク。だがその途中、女王マリア・ピア・アーモニアの近衛師団のMS部隊に発見されてしまう。偽装とはいえ軍の捕獲物資を積み、さらに女、子供だけ乗るホワイトアークに気を許した近衛師団長、キスハール・バグワットは、エンジェル・ハイロウまでの護衛を引き受けると、同行したカリンカ・ヴォーゲルにプロポーズをして立ち去る。その恋人たちのようすからウッソは、今までにない温かさをヘスバの軍人から感じ取っていた。

スペースコロニー、ブルー3に収容されたホワイトアークの面々が見たモノは、エンジェル・ハイロウのエネルギー源となるべく集まったサイキッカーたちの群れだった。

新たに入手したエンジェル・ハイロウの映像から、連合宇宙艦隊の間に作戦会議が開かれた。ジン・ジャハナムとしての責任から、自分に対する父、ハンゲルグの態度は冷たく、不満を感じながらもウッソは、タシロ・ヴァゴ率いる宇宙艦隊を叩くため出撃する。

一方、自機ザンネックにキル・タンドンを乗せ出撃したファラは、ウッソの弱点をつき作戦を考え、V2ガンダムをおびき出すように戦う。双方ダメージを与えられず、緊迫したムードに陥ったとき、突如ザンネックのコクピットが閉きファラが現われた。単身V2ガンダムに向かってくるファラに動揺したウッソのV2ガンダムは、ザンネックに隠れていたキルが放ったメガビームキャノンに反応しきれず片腕を吹き飛ばされてしまう。

リガ・ミリティアと地球連邦軍の連合宇宙艦隊とベスバのビビニーデン艦隊との総力戦が続く中、シュラク隊の新メンバー、フランチェスカ・オハラは新兵器、メガビームシールドを装備してVガンダム・ヘキサで出撃。敵MSを撃墜するものの、シールドが発する強大なパワーを使いきれずバランスを崩している間に敵MSに撃墜されてしまう。

一方ウッソは、ルベ・シノの計略にかかり苦戦を強いられていた。さらなる攻撃がウッソを捕らえようとしたそのとき、フランチェスカを助け、彼女が持っていたメガビームシールドをウッソに渡すため、オデロのガンブラスターが現われた。オデロからシールドを受け取ったウッソは、そのシールドがもつ本来のパワーでルベ・シノを撃墜するのだった。

宇宙に上がったホワイトアークとリーンホースJrは、本部からの命令で太陽電池衛星ハイランドに再び向かうことになった。だが、ラゲーンの元基地司令官、ファラ・グリフォンが乗る大型MS・ザンネックを中心とした敵MS部隊の攻撃を受けてしまう。ザンネックの強力なビームの前に苦戦するリガ・ミリティアのMS部隊だったが、V2ガンダムの光の翼を盾にした必死の攻撃で、何とかザンネックを撃退することに成功する。

ハイランドに到着したリーンホースJrとホワイトアークは、本物のジン・ジャハナムの呼びかけで集まった地球連邦軍の艦隊の旗艦ジャンヌ・ダルクに接舷。その中でウッソは、もうひとりのジン・ジャハナムである父、ハンゲルグ・エヴィンと再会する。

2月4日

1月28日

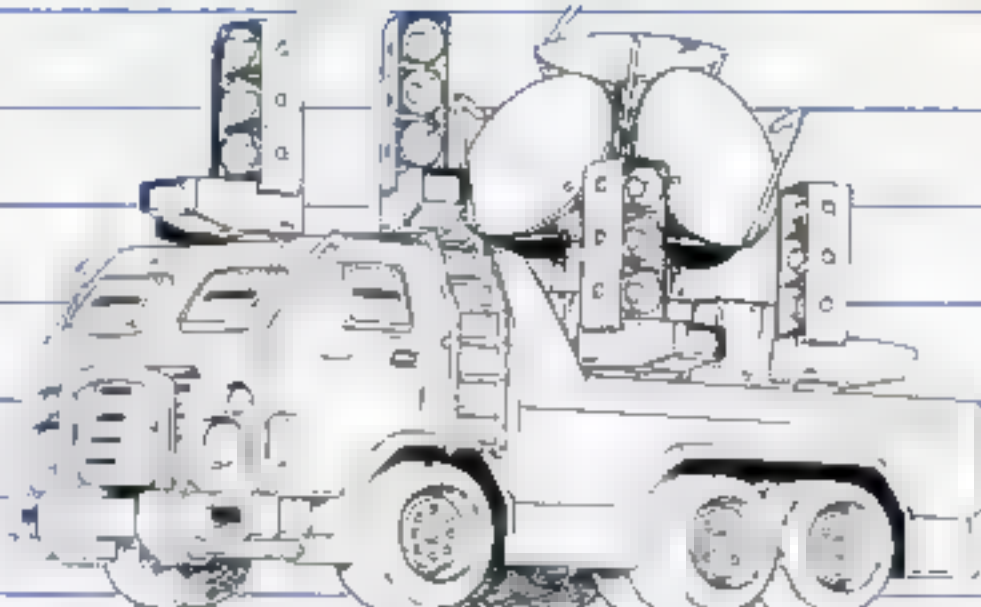
1月21日

1月14日

放映日

無人偵察モーターグライダー

無人偵察トラックと並行して使用されたモーターグライダーで、空中からの映像をチャンネルダクトへ送っていた。コクピットに見える部分はアクセス・ハッチになっている (47話)

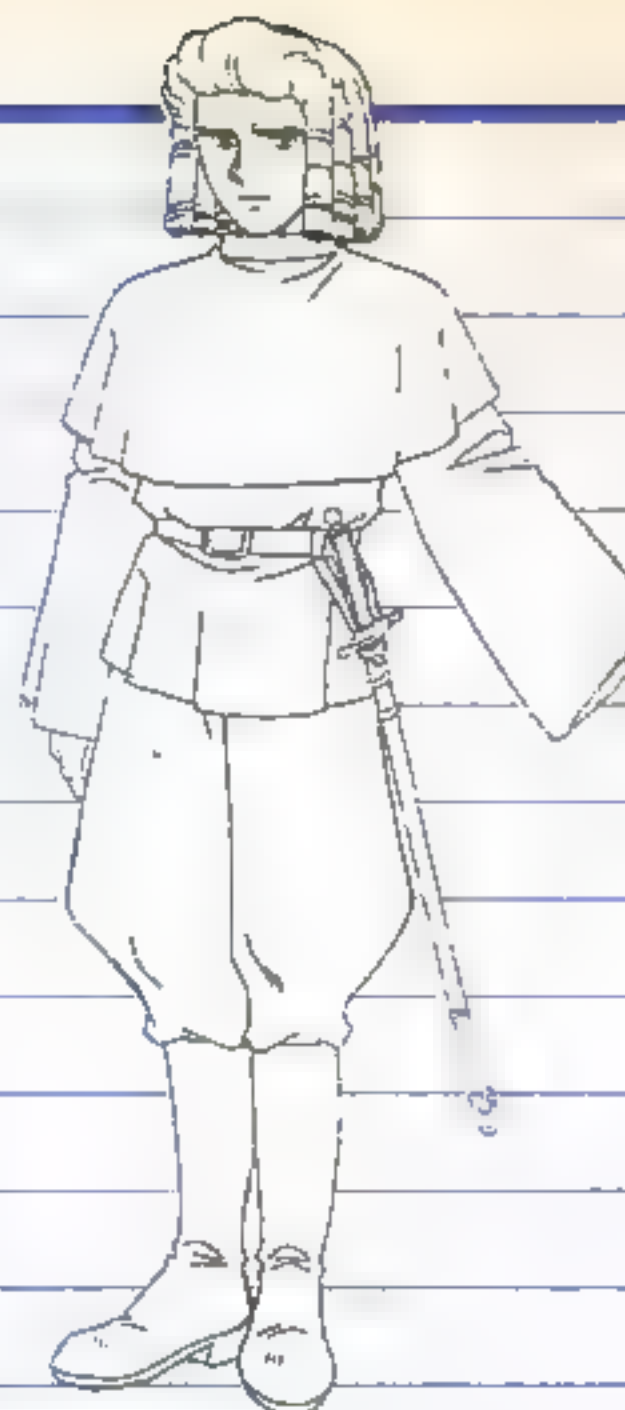
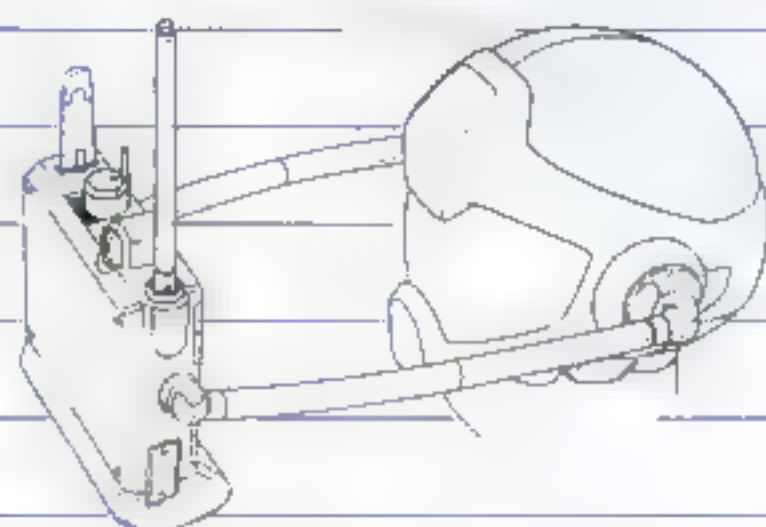


無人偵察トラック

地球上に降りまくサイコウェーブの影響を観測するために使われた無人トラック。これは本来、放射能などの人体に危険を及ぼす地域で使われるもので操作は無線による遠隔操縦で行なわれる (47話)

チェックボード

通常使われているチェックボードにヘルメットで固定するアタッチメントを付けることで、無重力下でのMSの機動チェックを容易に行なうことを可能としている (46話)

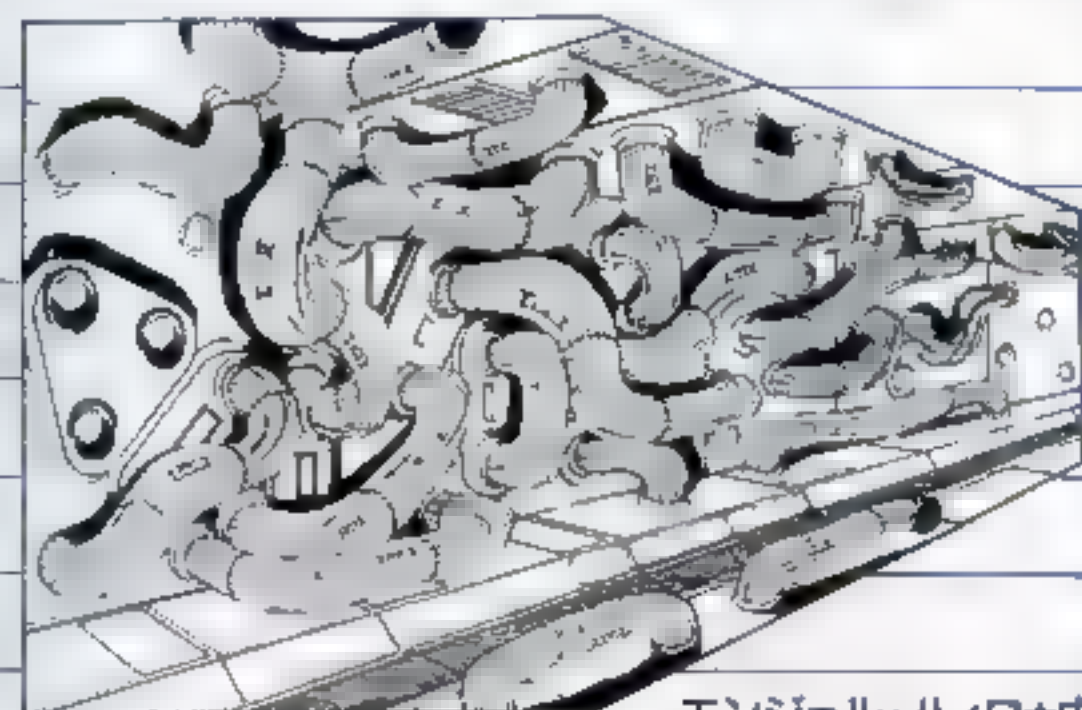


ガチ党儀仗兵

女王マリアがキールームに入るため、エンジェル・ハイロウで作業するクルーは全員、巻毛のカツラに幕僚、というガチ党員独特の儀装をしなければならないらしい (45話)

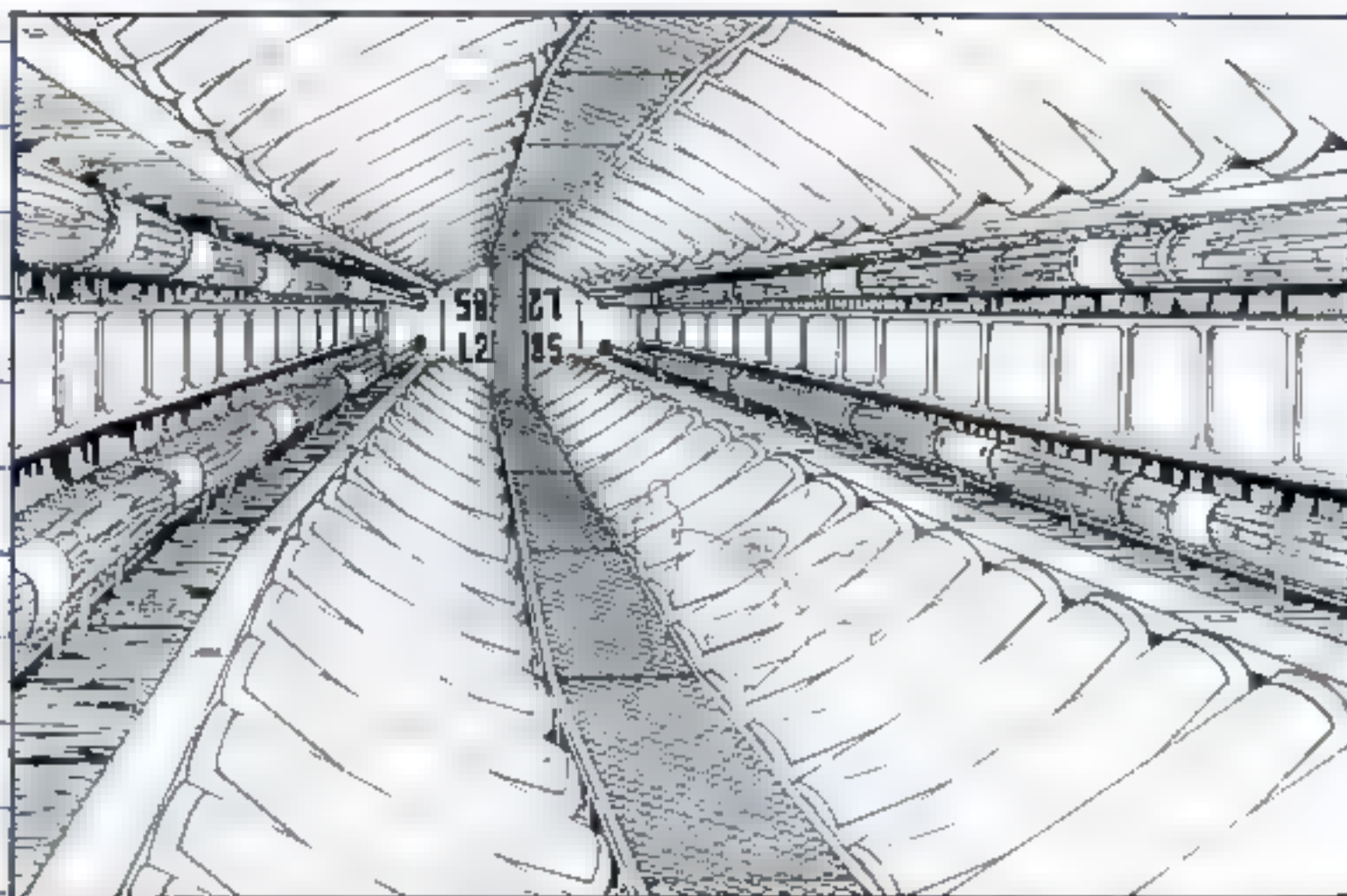
エンジェル・ハイロウ内サイキッカーのチューブ

無数に並ぶカプセルの中で眠るようにして横たわるサイキッカーたち。彼らによってマリアの思念を増幅され、地球へと放たれている。だが、その事実を彼らは知らない (45話)



エンジェル・ハイロウ内脳波ケーブル

機体ものケーブルがひしめき合う、サイキッカーたちが送るサイコウェーブの伝達機関。その大きさにまるで生物の体内に入り込んだかのような錯覚さえ覚える (50話)



48

47

46

45

消える命 咲く命

女たちの戦場

タシロ反乱

幻覚に踊るウツソ

桶谷顕

桶谷顕

神戸一彦

斧谷稔

芦沢剛史

西森章

加瀬充子

斧谷稔

芦沢剛史

渡邊哲哉

佐藤育郎

玉田博

瀬尾康博

西村誠芳

新保卓郎 板倉和弘

遠坂浩司

藤井満 村瀬修功 森下博光
伊藤嘉之 津熊健徳 門智昭
木下由美子 市川吉幸 松田剛史
アニメ・アール

スタジオ・ダブ
西村誠芳 櫻本勝紀
ソウル・ダブ

中村プロ
新保卓郎 板倉和弘 田島直
大塚健 新井田耕一 米山浩平

スタジオ・ダブ
阿部美佐緒 西村誠芳 貴志夫美子
櫻本勝紀 高井宏暢
ソウル・ダブ 星合貴彦

スタジオ・ダブ
伊東伸高 南義昭 三木明美
斉藤昭浩
ソウル・ダブ

スタジオ・ダブ
橋本りか 菅原洋子 根本瑞芳
小田清巳
ソウル・ダブ

中村プロ
客本亮一 中田栄治 森寛之
副田綱 池田有

スタジオ・ダブ
伊東伸高 南義昭 三木明美
斉藤昭浩
ソウル・ダブ

猿プロダクション
宮前光春 清水隆夫 西山正紀
松嶋阿由美 金島邦夫

アトリエ・ムサ
丸山由紀子 大久保修一 若松栄司
下野哲人 飯島健二 山口主税

猿プロダクション
宮前光春 清水隆夫 西山正紀
松嶋阿由美 金島邦夫

アトリエ・ムサ
丸山由紀子 大久保修一 若松栄司
下野哲人 飯島健二 山口主税

後退をつづけるタシロ艦隊に艦隊戦で挑む連合宇宙艦隊。その中で、マリアを救うべくシュバッテンのブリッジに取りついたウツソは、マリアを渡すように呼びかける。だが、マリアに銃口を向けるタシロの姿に一時は驚き、マリアは動揺するタシロに撃ち殺されてしまう。死にゆくマリアの心を感じたウツソは激憤に駆られ、タシロごとブリッジにビームサーベルを突き刺し、そして彼女の遺志に従い、その遺骸とともにシュバッテンをビームライフルの炎で焼くのだった。

タシロ艦隊を全滅させた後、帰艦したウツソはマリアの死の責任を感じ落ち込むが、マーベットに励まされ、彼女の中で息づく新しい命を感じて、守るための戦いという、本来の自分の戦いがもつ意味を見出すのだった。

エンジェル・ハイロウから繰り出される思念の影響は、ついに地球まで到達した。その思念を受けた者はすべて退化化が始まり、赤ん坊のように深い眠りに陥る。そんな事実を知らずカガチの虚言にたまたまれたシャクティは、マリアに代わりエンジェル・ハイロウのキールームで祈りを続ける。

一方マリアをさらい、エンジェル・ハイロウから離れていくタシロ艦隊の旗艦シュバッテンからマリアの心の声を聞いたウツソは、ファラのMS・ゲンカオゾと戦いながらもシュバッテンに向かおうとする。だが、執拗に攻撃を続けるファラに一時は隙を突かれてピンチに陥ったウツソは、駆けつけたマーベットと、彼女の中で息づく新しい命に救われ、ファラを撃墜することに成功するのだった。

合流の気配をみせるタシロとクロノクルの宇宙艦隊に危機感を感じ、攻撃の手を強める連合宇宙艦隊。ウツソもパワーアップしたV2バスターガンダムで出撃、オデロたちのガンブラスターとともに敵艦隊に突進する。

そのころシャクティ・カリンは、一路クロノクル艦隊旗艦アドラステアへ。クロノクルと会ったシャクティは、ザンスカール帝国のシンボルとなる代わりに、エンジェル・ハイロウを破壊するように説得する。だがクロノクルはそのことばに耳を貸そうとせず、ただシャクティを捕らえるのだった。

一方敗色濃厚なタシロは、自艦シュバッテンをエンジェル・ハイロウに向かわせ、キールームでマリアを人質にすると、ガチ党党首、フォンセ・カガチに反旗をひるがえすのだった。

組み立て作業が完了し、ついに開始された「エンジェル・ハイロウ」の試運転。女王マリアの思念は宇宙空間を漂い、人一倍感覚が敏感なウツソはその思念の影響を強く受け、断続的な頭痛と精神的な圧迫感を伴う白昼夢へと引き込まれていく。そして、しだいに集中力を欠いていくウツソの言動にマーベット・フィンガーハットたちが異状を感じたとき、トリ・アーエス率いる敵MS部隊の攻撃がホワイトアークを包む。守りをオデロとトマーシュに任せ、敵MS部隊の迎撃に出たウツソだったが、さらに強くなる「エンジェル・ハイロウ」からの思念を受け、幻覚と現実の区別もつかぬまま戦い、ついに動けなくなってしまう。このピンチを救うためオデロは、ひとり敵MSに突進していくのだった。

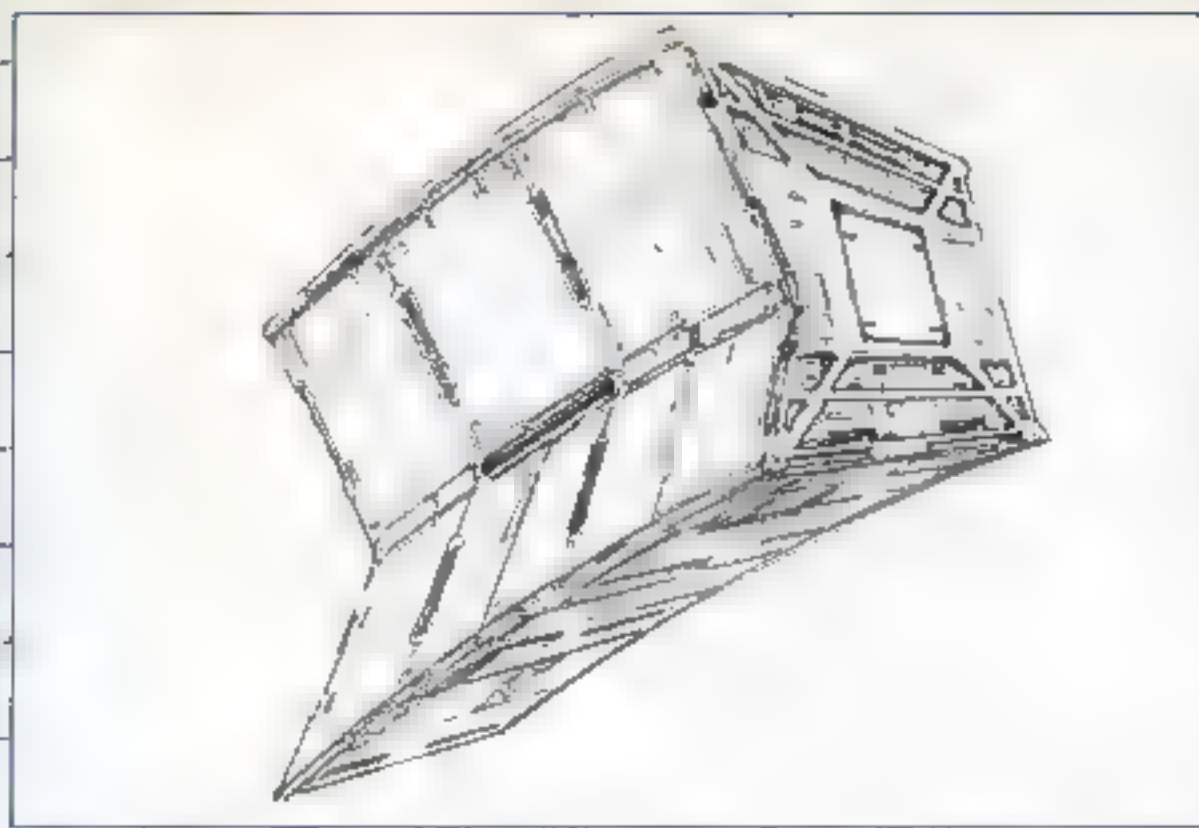
3月4日

2月25日

2月18日

2月11日

放映日

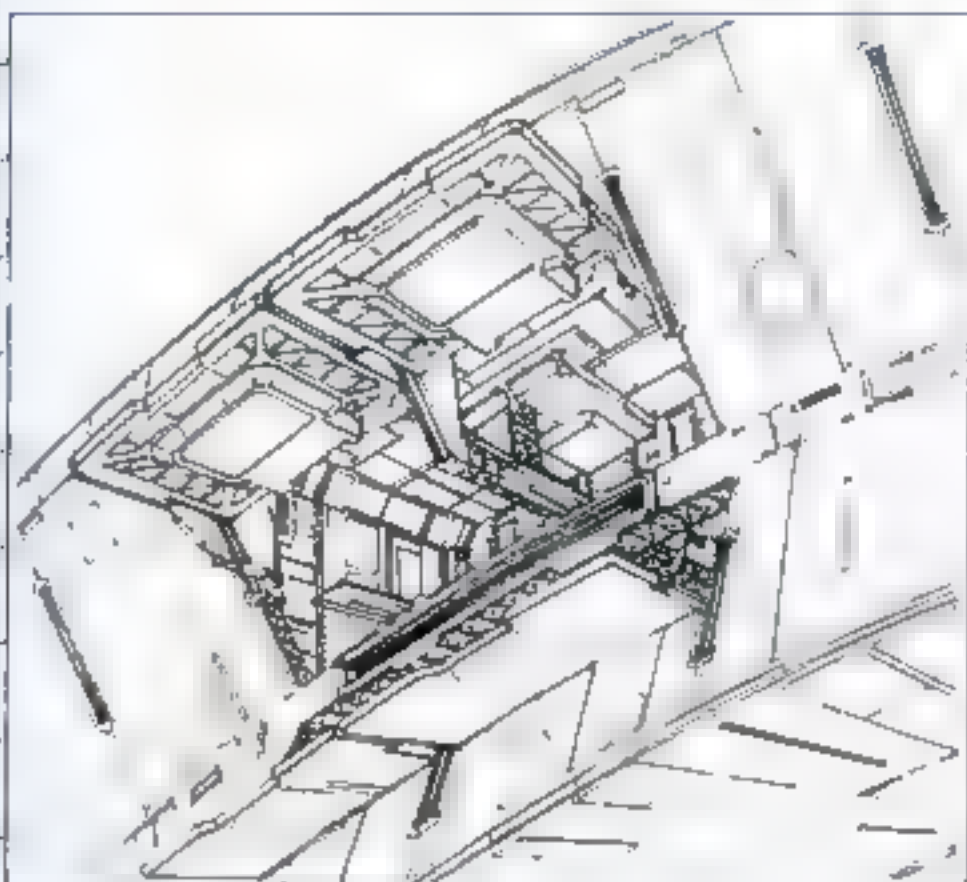
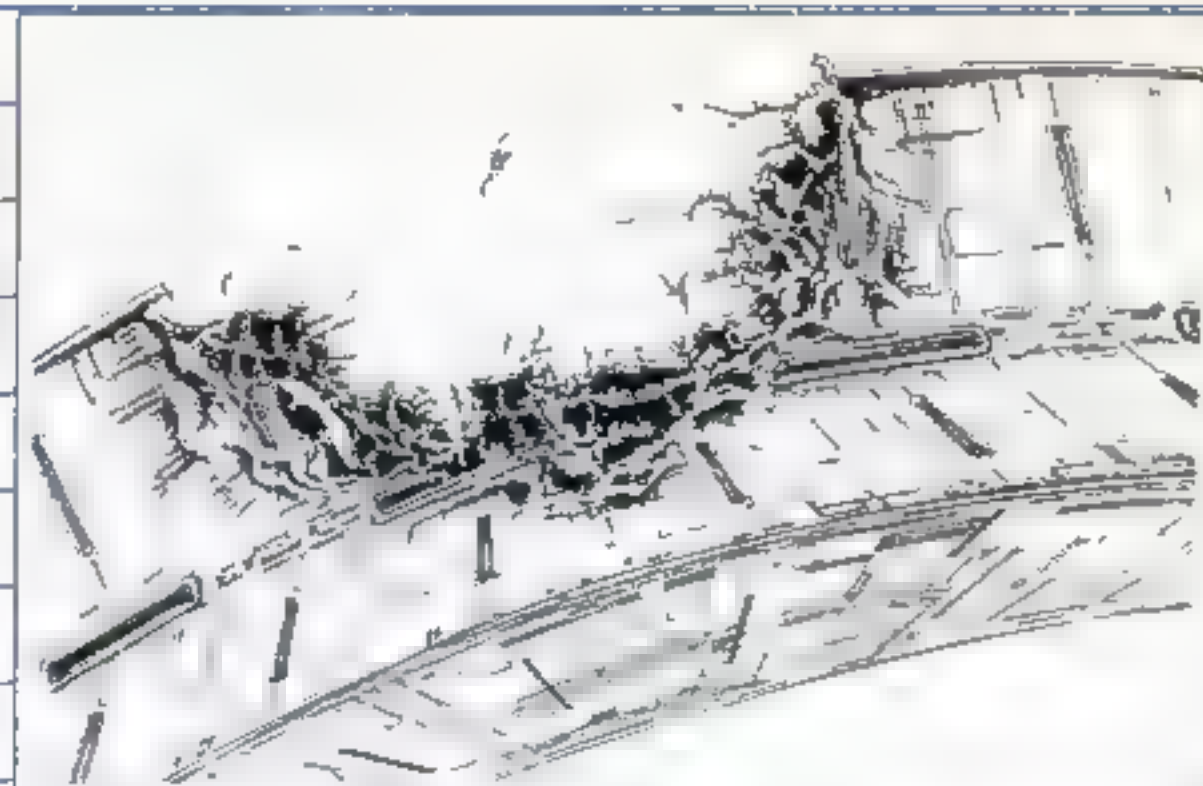


エンジェル・ハイロウ 破壊部

エンジェル・ハイロウで行なわれた戦闘の際に流れ弾が当たり破壊された部分。そのため内部にいた多数のサイキッカーたちが犠牲となり、宇宙に流されてしまった(49話)

エンジェル・ハイロウの1ブロック

このブロックの寄り集まりがエンジェル・ハイロウのリングを形成しており、シャクティの祈りによって各ブロックが光を放ちながら分解していった(50~51話)



携帯用酸素マスク

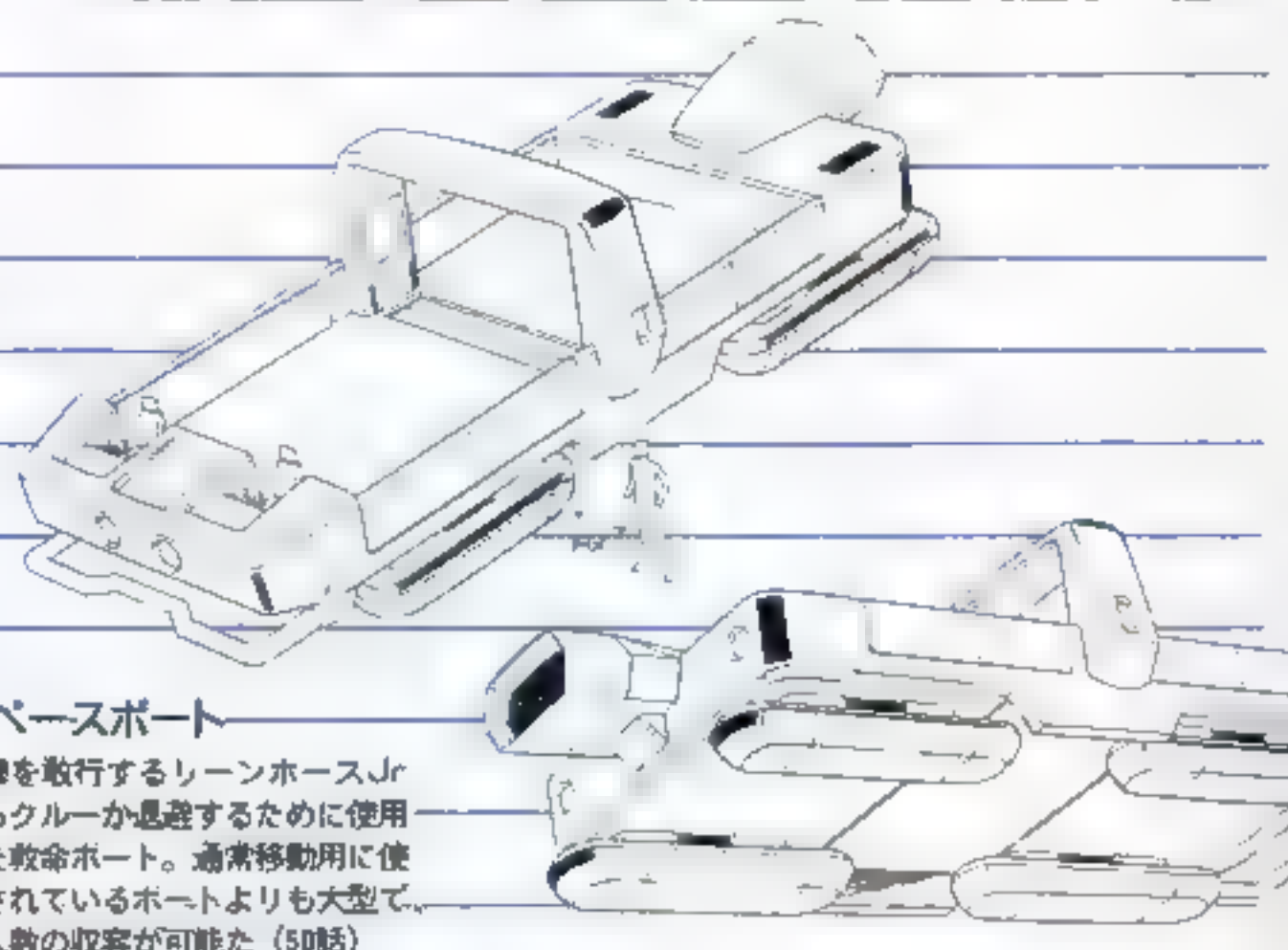
エンジェル・ハイロウが成層圏内に降下し、ヘスバと連合宇宙艦隊の戦いは酸素の薄い超高空に戦場を移した。その戦闘の際に酸素を防ぐために使われたマスクで、それ自体に酸素ボンベを内蔵していかさばらない(50話)

エンジェル・ハイロウ宇宙港ハッチ

エンジェル・ハイロウの中心部へ通じる入口。カテジナの妨害により近づけなかったウツソだったが、シュラク隊のユカの命をかけた特攻が突破口を開いた(49話)

スペースポート

突撃を敢行するリーンホースJrからクルーが退避するために使用した救命ポート。通常移動用に使用されているポートよりも大型で、多数の収容が可能だ(50話)



51

天使たちの昇天

園田英樹

西森章

西森章

達坂浩司 瀬尾康博 村瀬修功

今掛勇 鎌田祥央 福岡英典 向山祐治
吉成曜 阿部美佐緒 鶴巻和哉 門智昭
守岡英行 伊藤嘉之 吉川尚哉 芹澤健一
GAINAX

スタジオ・ダブ
伊藤伸高 南義昭 三木明美 斎藤晃浩
ソウル・ダブ

アトリエ・ムサ

丸山由紀子 大久保修一 若松栄司 下野哲人
飯島健二 山口主税

平和を願うシャクティの祈りとサイキッカーたちの力でエンジェル・ハイロウのリングは次々と分解していく。その混乱した戦場のさなか、ウツソはクロノクルと戦っていた。憎しみの力で襲ってくるクロノクルの攻撃の前にやや押されぎみのウツソだったが、援護に駆けつけたオデロとトマーシュに助けられその場をしのぐのだった。

ヘスバの艦隊と連合宇宙艦隊の戦いは、分解したエンジェル・ハイロウのリングが漂う成層圏内でなおも続いていた。この状況下、生き残った戦艦は少なく、ズガン艦隊旗艦、ダルマシアンは健在であったが、リングの陰から飛び出してきた大破したはずのジャンヌ・ダルクの再びの特攻を避けられず、ジャンヌ・ダルクとともに撃沈。その爆風が戦場を包む中、オデロはウツソにシャクティの救助を提案すると、その時間稼ぎをするためカテジナの乗るゴトタンへ攻撃を仕掛ける。だが、その攻撃はオデロにとって最期の戦いともなってしまうのだった。

3月25日

50

憎しみが呼ぶ対決

桶谷顕

山本裕介

山本裕介

新保卓郎 板倉和弘

中村プロ
新保卓郎 板倉和弘 田島直 大塚健
新井田耕一 米山浩平

中村プロ
客本亮一 中田栄治 森寛之 小林寛貴
西田絹江

猿プロダクション

宮前光春 清水隆夫 西山正紀 松嶋阿由美
金島邦夫 小谷隆之

ついにシャクティを救い出しリーンホースJr.に帰還したウツソ。だが、シャクティと心を通わせていたサイキッカーたち2万人が、キールームからシャクティが離れたことで苦しんでいる、ということウツソはシャクティから聞く。そして、ジャンヌ・ダルクから補給を受けたウツソのV2アサルトガンダムは、サイキッカーたちを助け、エンジェル・ハイロウの活動を停止させるために、シャクティを連れ、再びエンジェル・ハイロウへと向かう。

一方、エンジェル・ハイロウを取り巻く敵艦隊を叩くため再び進軍を開始した連合宇宙艦隊であったが、ズガン艦隊の防戦の前に壊滅状態に陥ってしまう。この状況を打破するためズガン艦隊に特攻をかけたジャンヌ・ダルクも新型MSリグ・コンティオを駆るクロノクルの攻撃の前に大破してしまう。そのようすを見ていたジン・ジャハナムたちは、総員を退避させるとリーンホースJr.でモトラッド艦隊に特攻を開始するのだった。

3月18日

49

天使の輪の上で

桶谷顕

西森章

関田修

西村誠芳

スタジオ・ダブ
西村誠芳 榎本勝紀
ソウル・ダブ

スタジオ・ダブ
橋本りか 菅原洋子 根本瑞芳 小田清巳

アトリエ・ムサ

丸山由紀子 大久保修一 若松栄司 下野哲人
飯島健二 山口主税

エンジェル・ハイロウ攻略戦のさなか、ウツソのV2ガンダムは、シュラク隊がもってきたアサルトパーツを装着しV2アサルトガンダムとなると、シャクティ救出のためエンジェル・ハイロウへと進軍する。だが、そこに新型MS・ゴトラタンに乗るカテジナが現われた。強力なビームキャノンと高い機動性をもつゴトラタンの前に苦戦をしながらも、シュラク隊の援護を受け、エンジェル・ハイロウのリングに取りつくことに成功したウツソは、リング内部に潜入すべく入ロゲートへと急ぐ。しかし、そこにはカテジナ率いるMS部隊が待ち構えていた。集中砲火を浴び、接近できないウツソだったが、援護に駆けつけたシュラク隊のユカ・マイラスの捨て身の特攻によりできた穴からリング内部へと侵入するのだった。

一方、リングの破壊の影響により頭痛を訴えるシャクティ。たがカガチは、シャクティに祈りをつづけさせると、全軍に地球への進軍を早めさせるように伝えるのだった。

3月11日

話数

サブ
タイトル

脚本

絵コンテ

演出

作画監督

原
案

監
製

監
製

ス
ト
ー
リー

放映日

ALL CAST & STAFF OF V-GUNDAM

CAST

ウッソ/阪口大助	ヘレン/深見梨加	ロメロ/茶風林	ロブ/岸野一彦	シシリー/まるたまり	アジス・バギ/山崎たくみ
シャクティ/黒田由美	マヘリア/まるたまり	オーティス/板東尚樹		キスハール/梅津秀行	ブロッホ/小杉十郎太
オデロ/中田雅之	ケイト/安藤忍	レオニード/中田譲治	クロノクル/檀臣幸	カリंगा/冬馬由美	ゴズ・パール/堀之紀
ウォレン/松本梨香	ペギー/荒木香恵	クッフ/森川智之	カテジナ/渡辺久美子	ネネカ/横山智佐	トッリ/山形ユキオ
スーシ/こおろぎさとみ	コニー/こおろぎさとみ	ストライカー/藤原啓治	マリア/篠原恵美	ゴッドワルド/中田譲治	デブレ/石野竜三
カルルマン/こおろぎさとみ	フランチェスカ/石川寛美	ネス/折笠愛	カガチ/大矢兼臣	バンド/太田真一郎	ガリー/山崎たくみ
ハロ/松本梨香	ミリエラ/日高奈留美	ワーグマン/藤原啓治	ズガン/中博史	トランス/真殿光昭	サバト/子安武人
トマーシュ/関智一	ユカ/田中敦子	エステル/遠依久子	タシロ・ヴァゴ/中村秀利	マチス/飛田展男	ワタリー/立木文彦
エリシャ/柳沢三千代	ハンゲルグ/堀内賢雄	ハリー/渡辺哲也	ファラ/折笠愛	レーナ/松井菜桜子	クワン・リー/小杉十郎太
マルチナ/吉田古奈美	ミュラ/兵藤まこ	ミズホ/吉田古奈美	メツチェ/森川智之	ズブロフ/中博史	フビライ/中博史
カレル/小林優子	ムバラク/藤城裕士	バーツラフ/藤原啓治	ビビニーデン/北島淳司	ノマイズ/梁田清之	ビスタン/有本欽隆
マーベット/白石文子	ジン・ジャハナム/松尾銀三	クランスキー/掛川裕彦	ルペ・シノ/伊藤美紀	ニコライ/太田真一郎	エレナ/冬馬由美
オリファー/園部啓一	ゴメス/加藤治	ドクター/掛川裕彦	イク/中田和宏	パトリック/高戸靖広	
ジュンコ/小林優子	オイ伯爵/掛川裕彦	ジニス/広森信吾	レンダ/松本梨香	ハズ/掛川裕彦	ナレーション/中田譲治

STAFF

企画	サンライズ	一/吉村深雪/長谷川孝志	松田昭彦
原作	矢立肇/富野由悠季	森雅美	APUスタジオ
キャラクターデザイン	連坂浩司	スタジオ・ボギー (濱先容子/平林陽子/笹木弥生/本多真由美/飯島浩一/久保田明美/舟田圭一/折戸幸恵/中島紀子/難波洋子/松本薫/三宅勉)/エムアイ (中山昇/宇都宮百合子/新里美千代/和井光世/中山順子/北山晶子/福岡世樹子/末永康子/小川さよ子/坂爪美和)/ティーン (新井こすえ/佐藤典子/長野容子/治田利恵子)/ニード/光華朝日制作/アニメワールド大阪/スタジオ・アド/銀河プロ/新友動画/虹橋動画	大城久典/田中華喜
メカニカルデザイン	大河原邦男/カトキハジメ/石垣純哉		東京現像所
メカニカルデザイン協力	佐野浩敏		河口住高
美術監督	池田繁美		外池葉子
撮影監督	奥井敦/大神洋一		制作進行
音楽	千住明		森邦宏/吉田有美子/浦崎寛光/村松孝次/小原浩一/塚田政宏/鈴木芳成/重洋功/喜多権徹/山洲太/荒尾哲也
音響監督	浦上靖夫		制作協力
制作協力	電通/創通エージェンシー		スタジオ・ティーン
プロデューサー	小泉美明 (テレビ朝日) 福田益朗 (サンライズ)		制作事務
総監督	富野由悠季		小林史枝
制作	テレビ朝日/サンライズ		演出助手
動画チェック	石井康雄/大谷美樹/流出保/上津達也		武井良幸/渡邊哲哉
色彩設計	小松住江/中山昇		仕上助手
色指定	小暮優子/加瀬結起/松本真司/中島紀子/新垣純子/久保田明美/舟田圭		新垣純子
			アシスタントプロデューサー
			望月真人
			文芸設定
			井上幸一
			広報
			三輪祐見子/丹波敦子 (テレビ朝日)

V-GUNDAM WORLD VIDEO & CD

VT&LD 名場面をもう一度……
テレビシリーズを1巻に4話ずつ収録した、ビデオとレーザーディスクが毎月1巻ずつ、バンダイビジュアルより発売されているぞ!



VT (第7巻): BES-913/9800円
同LD: BELL-603/7800円

CD&CDS

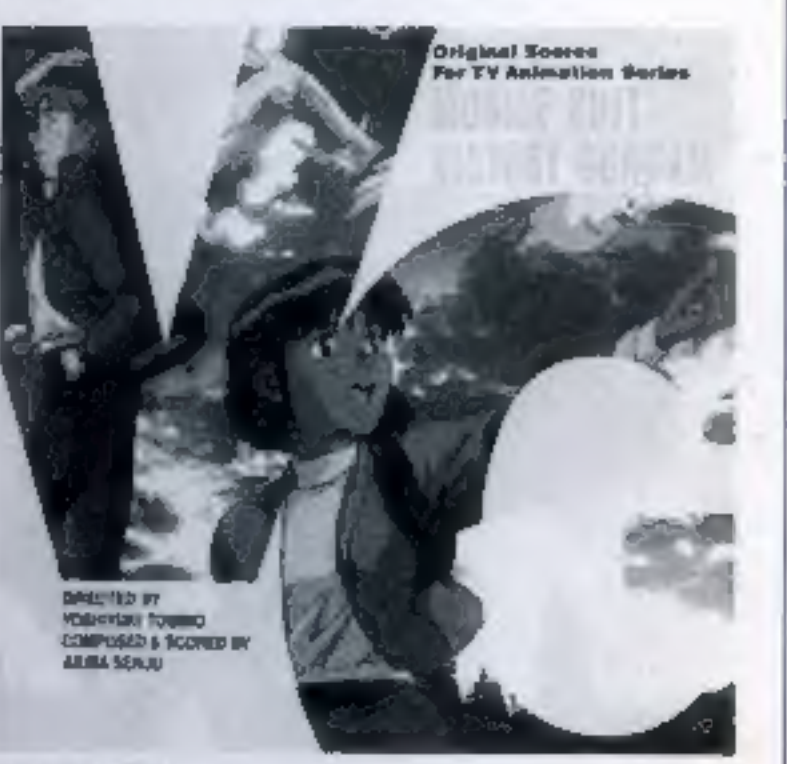


新OPテーマ曲: KIDS-157/1000円



新EDテーマ曲: APDA-98/1000円

じっくり聴こう! 音楽の世界
「Vガンダム」をより魅力的にする、新旧、迫力のオープニング&エンディングテーマ曲。そして、聴きごたえ十分のサウンドトラックアルバムがそれぞれ、アポロンとキングレコードより絶賛発売中だぞ! 6月16日には待望のアルバム第4弾「SCORE II」も発売される。劇中で使用された挿入歌やイメージソングも収録されている最後のCDだ。



SCORE II: KICA-199/2600円



See you next stage.....



NEWTYPE 100% COLLECTION 23

MOBILE SUIT VICTORY GUNDAM VOL.2 SHAHKTI'S PRAYER

©新通エージェンシー・サンライズ・テレビ朝日

ART WORKS

表紙原画=遠坂浩司 裏表紙原画=村瀬修功 仕上げ=サンライズ

THANKS

サンライズ 井上幸一 (サンライズ企画部)

ニュータイプ100%コレクション23

機動戦士VガンダムVOL.2 SHAHKTI'S PRAYER

1994年8月15日初版発行

発行人・角川歴彦 編集人・井上伸一郎

発行所・〒102 東京都千代田区富士見2-13-3 角川書店 ニュータイプ編集部 ☎03・3226・3853
営業部 ☎03・3817・8521

印刷・大日本印刷株式会社

©Kadokawashoten 1994 禁・無断転載 ISBN4-04-852485-2 C0076 Printed in JAPAN

製本には万全の注意を払っておりますが、万一、落丁、乱丁などがありましたら、お取り替えいたします。

機動戦士ガンダム-Mobile suit

【商品説明】カバーに経年による日焼けが
あります。中身に経年による日焼けが
あります。カバーに汚れが少しあります。その
他の状態は問題ありません。◇管理用ラベ
ルは剥がれ易いシールを使用しています。



X0005K87M5

1710070014001

852485-2 C0076 P1400E

定価1400円(本体1359円)

角川書店

頑固型可動模型
“HI起来”



Q2-4837

